

第四十五回 帝國議會 貴族院議事速記錄第三十二號

大正十一年三月二十五日(土曜日)

午前十時三十六分開議

議事日程 第三十二號 大正十一年三月二十五日

第一請願委員長報告

第二 大正十一年度歲入歲出總豫算追加案(第一號)審查期限ヲ定ムルノ件

第三 府縣制中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第四 北海道會法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第五 北海道地方費法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第六 市制中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第七 大正九年法律第十二號中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第八 刑事訴訟法案(政府提出、衆議院送付)

第九 信託法案(政府提出、衆議院送付)

第十 信託業法案(政府提出、衆議院送付)

第十一 擔保附社債信託法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第十二 不動產登記法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第十三 非訟事件手續法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第十四 所得稅法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第十五 相續稅法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第十六 登錄稅法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第十七 印紙稅法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第十八 日本興業銀行法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第十九 臺灣鐵道及魚沼鐵道買收ノ爲公債
大湯鐵道及魚沼鐵道買收ノ爲公債
第二十 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)
第二十一 發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)
第二十二 健康保險法案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長)
第一讀會ノ續(報告)

第三十八	農業倉庫法中改正法律案（衆議院提出）	第一讀會
第三十九	未成年者飲酒禁止法案（衆議院提出）	第一讀會（報告員長）
第四十	身元保證ニ關スル法律案（衆議院提出）	第一讀會（報告員長）
第四十一	民事訴訟法中改正法律案（衆議院提出）	第一讀會（報告員長）
第四十二	治安警察法中改正法律案（衆議院提出）	第一讀會（報告員長）
第四十三	國立大公園設置ノ請願	第一讀會（報告員長）
第四十四	大淀外ノ浦港間鐵道敷設ノ請願	第一讀會（報告員長）
第四十五	岐阜縣揖斐郡池田村ニ登記所設置ノ請願	第一讀會（報告員長）
第四十六	濱松辰野間鐵道敷設ノ請願	第一讀會（報告員長）
第四十七	弘前田代間輕便鐵道敷設ノ請願	第一讀會（報告員長）
軍人恩給法中改正ノ請願（文書表第百十四號、	會	第一讀會（報告員長）
第一百五號、第百十九號、第百四十一號、第	會	第一讀會（報告員長）
百五十三號、第百六十六號、第百八十四號、	會	第一讀會（報告員長）
第一百九十四號、第二百七十三號、第二百九十	會	第一讀會（報告員長）
號、第三百十六號、第三百三十九號、第三百	會	第一讀會（報告員長）
四十一號、第三百八十三號乃至第三百八十五	會	第一讀會（報告員長）
號）	會	第一讀會（報告員長）
札幌沼田間鐵道敷設ノ請願	議	第一讀會（報告員長）
軍人恩給法中改正ノ請願（文書表第百五十號、	議	第一讀會（報告員長）
第三百八十六號、第三百八十七號）	議	第一讀會（報告員長）
軍人恩給法中改正ノ請願（文書表第百五十四	議	第一讀會（報告員長）
號）	議	第一讀會（報告員長）
盲啞教育令發布ノ請願	議	第一讀會（報告員長）
五所川原青森間鐵道敷設ノ請願	議	第一讀會（報告員長）
松前鐵道敷設ノ請願	議	第一讀會（報告員長）
德佐大井間鐵道敷設ノ請願	議	第一讀會（報告員長）
益田萩原間鐵道一部速成ノ請願	議	第一讀會（報告員長）

第五十七	益田萩原間鐵道速成ノ請願	會
第五十八	萩小郡間鐵道敷設ノ請願	會
第五十九	萩正明市間鐵道速成ノ請願	會
第六十	土浦飯能間並境古河間鐵道敷設ノ請願	會
第六十一	川内宇佐間鐵道敷設ノ請願	會
第六十二	富山縣水見郡速川村ニ登記所設置ノ請願	會
第六十三	三戸毛馬内間鐵道敷設ノ請願	會
第六十四	根室斜里間鐵道敷設ノ請願	會
第六十五	熱海下田間鐵道敷設ノ請願	會
第六十六	上磯江差間鐵道敷設ノ請願	會
第六十七	中湧別網走間鐵道敷設ノ請願	會
第六十八	上磯鐵道敷設ノ請願	會
第六十九	松阪櫻井間鐵道敷設ノ請願	會
第七十	田名部大間間鐵道敷設ノ請願	會
第七十一	漁港修築費國庫補助法制定ノ請願	會
第七十二	自働航送船増加ニ關スル請願	會
第七十三	濱頓別興部間鐵道敷設ノ請願	會
第七十四	軍人恩給法中改正ノ請願（文書表第三百四十 號）	會
第七十五	三原吳間鐵道敷設ノ請願	會
第七十六	四日市木之本間鐵道敷設ノ請願（文書表第三 百五十五號、第四百六十七號）	會
第七十七	四日市木之本間鐵道敷設ノ請願（文書表第三 百六十六號）	會
第七十八	掛川大井間鐵道敷設ノ請願	會
第七十九	角館鷹巣間鐵道敷設ノ請願	會
第八十	相生釧路間鐵道敷設ノ請願	會
第八十一	區裁判所管轄變更ノ請願	會
第八十二	四日市木之本間鐵道敷設ノ請願（文書表第四 百十號）	會
第八十三	貴生川加茂間輕便鐵道敷設ノ請願	會
		議

第一百三十七 鹿兒島加世田間鐵道敷設ノ請願
第一百三十八 備石郵便局ニ電信事務開始ノ請願

會 議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス
〔長書記官朗讀〕

昨二十四日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可
決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

明治四十年法律第二十一號中改正法律案

臺灣私設鐵道補助法案

狩獵法中改正法律案

大正十一年度歲入歲出總豫算案竝大正十一年度各特別會計歲入歲出豫算
案

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

臨時軍事費豫算追加案(第一號)

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、通告順ニ依リマシ
テ……是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、日程第一、請願委員長報告

〔公爵二條厚基君演壇ニ登ル〕

○公爵二條厚基君 先づ第一ニ第三回請願委員會ノ御報告ヲ致シマス、委員
會ハ二回程開キマシテ、而シテ其分科會ハ六回程開キマシタノデアリマス、
其六回ノ内譯ヲ申上ダマスルト、第一分科會ハ一回開キマシタ、第二分科會
ハ二回之ヲ開キマシタ、ソレカラ第三分科會ハ一回開イタノデアリマス、終
リノ第四分科會ハ二回程開キマシテ、都合六回開イタ譯デゴザイマス、ソレ
カラ請願文書表ノ報告ハ二回イタシマシタ、又請願委員會ノ特別報告モ矢張
二回イタシタ次第デゴザイマス、ソレデ其請願書受領件數ハ百十五件ニナッ
テ居リマシテ、ソレガ百八十九通ゴザイマシタ、同ジク其連署人名數ハ五萬三
千四百二十三名デゴザイマス、次ニ其審査ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマ
ス、第二回委員長報告ノ際、文書表未掲載件數ハ七十九件ゴザイマシテ、ソ
レガ二百九通ゴザイマシテ、又第二回委員長報告後受領イタシマシタ件數ガ
百十五件ゴザイマシテ、ソレガ百八十九通ゴザイマス、合計ソレガ百九十
四件ニ瓦リマシテ、三百九十八通ニナッタ次第デアリマス、ソレニ又内譯ヲ申

上ダマスルト、請願文書表掲載件數ガ百五十三件デ、三百二十四通デアリマ
ス、外ニ第二回委員長報告ノ際文書表ニ掲載シタルモノノ中デ審査未了ニナッ
テ居リマスルモノガ四百一件デアリマシテ、千三十五通デアリマシタ、其合
計ガ五百五十四件、サウシテソレガ千三百五十九通ニナッテ居リマス、其結果
院議ニ付スベシト議決イタシマシタモノガ百二十四件デアリマシテ、ソレガ
二百三十七通デゴザイマス、ソレカラ院議ニ付スルヲ要セズト決議ヲ致シマ
シタモノガ四十件デアリマシテ、ソレガ八十一通デゴザイマス、ソレカラ又
審査未了ト致シマシタノガ三百九十件デゴザイマシテ、ソレガ千四十一通デ
ゴザイマス、次ニ請願文書表未掲載件數ガ四十一件デゴザイマシテ、ソレガ
七十四通デゴザイマス、以上申上ダマシタノガ大正十一年三月二十四日ノ午
後四時ノ締切デゴザイマス、其次ハ請願審査ノ總報告ヲ申上ダマス、請願委
員會ノ開會サレマシタ總テノ回數ハ丁度七回ニ瓦ツテ居リマシテ、同ジク其ノ
分科會ガ二十四日ニ瓦ツテ居リマス、其内譯ヲ更ニ申上ダマスルト、第一分科
會ガ六回、第二分科會ガ七回、第三分科會ガ六回、及ビ第四分科會ガ五回開會
サレテ居リマス、請願文書表ノ報告ハ九回イタシマシテ、請願委員會ノ特別
報告ハ六回ゴザイマシタ、ソレカラ請願書ヲ受領イタシマシタ件數ガ六百九
十四件デ、ソレガ千五百四十七通ニナッテ居リマス、同ジク其連署イタシマシ
タ人名數ガ二十一萬四千六百六名デゴザイマス、其内譯ヲ更ニ申上ダマスル
ト、請願文書表掲載ノ件數ガ六百五十三件デ、千四百七十三通デゴザイマス、
此結果院議ニ付スベシト議決イタシタモノガ二百件デゴザイマシテ、ソレガ
三百二十八通デゴザイマス、次ニ院議ニ付スルヲ要セズト議決イタシタモノ
ガ六十三件デ、ソレガ百四通デアリマス、ソレカラ審査未了ニスベシト致シ
マシタモノガ三百九十九件デ、ソレガ千四十一通デゴザイマス、ソレカラ請
願文書表未掲載件數ガ四十一件デゴザイマシテ、ソレガ七十四通デゴザイマ
ス、之ガ即チ初メヨリ致シマシテ大正十一年三月二十四日午後四時マデノ報
告デゴザイマス、之ヲ以テ請願委員會ノ御報告ヲ終リマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二、大正十一年度歲入歲出總豫算追加案第
一號審査期限ヲ定ムルノ件、昨日ヨリ引續イテ居リマス質疑ヲ此際許シマス、
通告順ニ依リマシテ山川男爵ニ許シマス

〔男爵山川健次郎君演壇ニ登ル〕

○男爵山川健次郎君 私ハ持病ノ爲ニ醫者カラシテ夜中外出ヲ禁ゼラレテ居ルノデアリマスガ、昨日一昨日夜更シヲシマシタ爲ニ、少シ風ヲ引キマシテ咽喉ガ少シ惡クアリマスルカラシテ、大キナ聲ガ出マセヌカラシテ、御聽キ惡クアラウト思ヒマスケレドモ、ドウカ此段ハ御諒察願ヒタウ存ジマス、教育ニ關シマシテ色ニナ問題ガ起ツテアッタト云フ歴史ガアリマスガ、即チ學制調査ダトカ、又ハ其他色ニ大キイ問題ガ起ツテ居リマスノデケリマスガ、此源ヲ調べテ見マスト云フト、悉ク學校ノ不足ト云フコトガ其源ニナツテ居ルノデアル、致シマスカラシテ永イ間色ニナ問題ガ起リマシタガ、學校創設ト云フコトデ、之ヲ解決シ得ベキモノト私共ハ見テ居リマシタノデアリマシテ、二十數年來以前カラシテ、學校創設ト云フコトヲ頻ニ唱ヘタノデアリマスガ、文部當局ノ怠慢ニ依テ學校創設ト云フモノガ拂シク參ラヌデアッタノデアル、然ニ今ノ内閣ガ出來マシテ、彼ノ所謂六年計畫ト云フモノヲ致サレマシテ、此六年計畫ニ對スル費用ト云フモノガ、帝國議會ノ協賛ヲ經タコトニナツタノデアリマス、二十數年來私共ノ唱道イタシタモノガ實現シタノデアリマスカラシテ、私ナドハ今ノ文部大臣ニ對シテ滿腔ノ感謝ヲ表シタノデアリマス、大贊成ヲ致シタノデアリマス、臨時費トシテ四千萬圓、經常費トシテ千萬圓ト云フヤウナ巨額ノ國費ヲ使ツテ學校ヲ増設スルト云フ計畫ヲ立テラレタ、是ハ全ク空前ノ事柄デアル、斯ノ如キコトハ昔カラ無イノデアル、一擧ニシテ四千萬圓ノ臨時費ヲ出シ、千萬圓ノ經常費ヲ出スト云フヤウナコトハ是ハ空前ノコトデアル、或ハ絶後カモ知レナイ、自分共ノ持論ガ實現サレタノデアリマスカラシテ、私共ハ今ノ文部大臣ニ對シテ感謝ノ意ヲ表シタモノガ、中ニハ教育界ニ於テ是ハ實ニ暴舉デアル、學校ヲ數十、一時ニ建テルト云フコトハ教員ヲドウスルカ、教員ガ千三百人モ無ケホバナラヌ、教員ト云フモノハ御承知ノ通リ如何ニ偉イ人ガアツテモ一定ノ素養ガナイ以上デアル、中ニハ教育界ニ於テ是ハ實ニ暴舉デアル、學校ヲ數十、一時ニ建テルト云フコトハ教員ヲドウスルカ、教員ガ千三百人モ無ケホバナラヌ、教員ト云フモノハ御承知ノ通リ如何ニ偉イ人ガアツテモ一定ノ素養ガナイ以上ハ教員ニハナルコトハ出來ナイ、「ニュートン」ヲ今生カシテ見タ所ガ若シ一員ト云フモノハ御承知ノ通リ如何ニ偉イ人ガアツテモ一定ノ素養ガナイ以上ハ教員ニハナルコトハ出來ナイノデアリマス、其教員ノ準備ヲシナイデ千二百人カラノ教員ヲ何處カラ見付ケルカ、是ハ暴舉ト言ハ定ノ素養ヲ與ヘナカッタナラバ、之ヲ數學ノ教員ニスルコトハ出來マセヌ、或ハ一定ノ素養ガナケレバ教員ニナルコトハ出來ナイノデアリマス、其教員ノサウデナイ、譬へテ言ウテ見マスト、住宅ノヤウナモノデ、住宅ガ無ケレバナケレバナラヌト言ツテ反對シタ人モアルノデアル、ケレドモ私共ノ見ル所ハ野天ニ住ムヨリ外ハナイ、例へバ其住宅ニシテ、若シ住宅ガアッテ疊モ無ケレバ

バ戸建具ガ無イニシテモ野天ニ住ムヨリハ宜シイ、學校モ其通りデ無イヨリ大變宜シイ、サウシテ若シ住宅ノ持主ガ注意ヲスレバ、色ニ修繕ヲシテ疊モ入レヤウシ建具モ入レヤウト云フコトニナツテ、完全ナ住宅ニナルト同ジコトデ、若シ文部省デ相當ナ盡力ヲシマシタナラバ、十年十五年ノ中ニハ良イ學校ニナル、併ナガラ初メハドウモ劣等ナル學校ヨリ外ハ出來マイト私モ思フノデアル、是ハ文部大臣ニ私ハ屢々申シタコトガアル、今度ノ御計畫ニ付テハトガアルノデアル、ソレハ其通リニ相違ナイ、併ナガラ文部省デ相當ノ盡力ヲシタナラバ、是ハ十年十五年ノ後ニハ皆立派ナ學校ニナルニ相違ナイカラシテ、今度ノ文部大臣ノ大擴張即チ六年計畫ト云フモノハ、私ハ熱誠ニ贊成シテ居ルモノデアル、文部大臣ノ盡力ヲ深ク謝スル所ノ者デアル、是デ以テ高等教育機關ガ最早十分デアル、是ヨリモ高等教育機關ノ擴張ハ必要ガナイデハ決シテナインデアリマス、勿論モウ少シ擴張セネバナラヌ、併ナガラ擴張ト云フモノニハソレソレ入費ト云フモノガ掛リマスカラ、此空前ノ大擴張ヲヤッタナラバ十分デハナイケレドモ、外ニ教育ト云フモノハ高等教育バカリシテ居ルモノデアル、外ニ爲サネバナラヌコトガアルカラシテ、此ノ壯舉ヲ致サレタノデアリマスガ、併ナガラ初等教育ノ方ニハ殆ド手ヲ著ケノ所デハナイトセニヤナラヌト私共ハ思ウテ居ルノデアル、今ノ文部大臣ハ斯ノ如ク高等教育機關ノ擴張ニ努メラレマシテ、大英斷ヲ以テ斯ノ如キ空前邊デ我慢スルヨリ外ハアルマイ、尙ホ擴張ト云フコトノ必要ハ先づ先づ目今ノ所デハナイトセニヤナラヌト私共ニハ見エルノデアル、高等教育ニハ斯ノ如ク盡力サレテ居ラレヌヤウニ私共ニハ見エルノデアル、高等教育ニハ斯ノ如ク盡力サレル初等教育ノ方ニハ殆ド手ヲ著ケテ居ラレナイ、只國語ノ調查ト云フコトガ強ヒテ言ヘバ初等教育ノ方ニ關係ガアルノデ、此コトヲ文部省デヤッテ居ラレル、是ハ勿論大切ナコトデアリマス、併ナガラ此效果ト云フモノハ二十年先キニ現ハレルカ、三十年先キニ現ハレルカ知ラレナイヤウナモノデ、目今ノ焦眉ノ急ヲ救フト云フヤウナコトニハ一向關係ノ薄イモノデアル、ソレナラバ初等教育ノ方ニハ手ヲ著ケル必要ガ無イカト言ヒマスト云フト、大ニアルノデアル、本市町村ガ非常ニ疲弊ヲ致シマシテ、小學校ノ教育費ガ誠ニ困ツテ居ル、國庫補助ト云フヤウナコトガ得ラレナイ、私ノ調べマシタ所ニ誤ガア

リマセヌケレバ、世界ノ諸大國ノ中デ小學校ノ爲ニ國庫補助ト云フコトヲシテ居ル處ハ澤山アルノデアル、又其補助ノ額ト云フモノハ夥シイモノデアル、例ヘバ英國ノ如キモノ「イングランド」ト「ウェールズ」ノコトヲ申シマスト云ト、ザット國庫補助ノ額ト云フモノハ總額ノ半分ニ當ル、二分ノ一程ニ當ル、獨逸聯邦ニハ千九百十年カラ十一年ニ亘タ所ノモノガ丁度三分ノ一程國庫デ補助シテ居ル、佛蘭西ハ幾ラニナルカト云フトは三分ノ一程補助シテ居ル、斯ウ云フヤウナ工合ニ多額ノ國費ヲ以テ小學校ノ教育費ニ充テテ居ルノデアリマス、尤モナ話デ、小學校教育ト云フモノハ殆ド是ハ國ノ肇メトモ云ウテ宜イヤウナモノデアリマスカラ、多額ノ國庫補助ヲスルト云フコトハ相當ノコトデアル、然ニ本邦ニ於テハドレダケノ補助ヲシテ居ルカト云フト、本市町村ノ小學校ト云フモノハ一億八千七百萬圓程アル、ソレニ對シテドレ程ノ國庫カラシテ金ヲ出シテ居ルカト云フト、僅ニ寺内内閣ノ……今ノ内閣デヤナイ、今ノ内閣デナクテ寺内内閣ノ時代ニ千萬圓ノ國庫補助ヲシテ居ル、タッソレキリデアル、此邊ナドヲ文部大臣ナゾ骨ヲ折ラレンケレバナラヌ所ノモノデアルケレドモ、一向其邊ニハ手ヲ著ケレナイ、高等教育機關ノ擴張ト云フコトハ寔ニ結構ナコトデアリマス、併ナガラ高等教育バカリガ教育デヤナイ、最モ大切ナノガ初等教育デアル、此事ニハ文部大臣ハ一向手ヲ著ケラレヌヤウニ見エル、國庫補助バカリデナイノデ、其外ノ小學校ニ對シ、センケレバナラヌコトガ澤山アル、師範學校ノ改良ナリ或ハ視學制度ノ改良ナゾト云フヤウナ色ノコトガアリマスケレドモ、此邊ニハ一向問題ニハ手ヲ著ケテ居ラレナイ、ソレデ第一ニ私ガ文部大臣ニ伺ヒタイコトハ、之デ以テ權衡ガ取レテ居ルノデアリマスカ、アリマセヌカ、高等教育機關ニハ型ノ如ク行ハレテ居ルケレドモ、初等教育ニハ一向骨折ラナイ、之デ權衡ハ取レテ居リマスカ、居リマセヌカト云フコトヲ第一ニ伺ヒタイ、ソレヨリ致シマシテ此昇格問題ト云フコトデアリマスガ、此昇格問題ト云フモノニ付テハ、世間デハ單ニ中橋文部大臣ガモノヲヤリ損ナツタ爲ニ、斯ンナ大キイ問題ガ起シテ來タゾト、罪ヲ一一中橋文部大臣ニ負ハシテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ事ノ沿革ヲ知ラスカラサウ云フコトニナル、決シテ中橋文部大臣ダケノ責デハナノデアル、抑モ起リハ奥田氏ガ文部大臣ノ頃出來マシタ教育調査會ト云フモノガアリマス、アノ時ニ已ニ此單科大學ト云フモノヲ認メタノデアル、調査會ガソレカラシテ段

段ニ來マシテ彼ノ臨時教育會議ニ於テ之ヲ確定イタシマシタ、其上ニ臨時教育會議ニ於テ、高等學校入學ト云フコトハ中學四年カラシテ這入ルコトノ出来ルヤウニ致シマシタ、是ガ抑モノ昇格運動ノ起リデアルノデ、種ガ播イテアル、之ニ次デ中橋君ノ輕卒ナル約束ガ禍ヲナシタノデアル、中橋大臣ハ自分ハ約束シタコトハナイト言ハレル、自分ガ言ウタコトハ聲明デアッテ、是ハ約束デハナイト言ハレル、當局者トシテ聲明シタ以上ト云フモノハ是ハ約束デアル、士君子ノ間ニハ是ハ立派ナ約束デアル、今ノ實業家ノ中ナドニハ約束ト云フモノハ文字ニ書イテ記名調印ヲシテ印紙ヲ貼ツタモノデナイト云フト、約束ニハナラヌト云フヤウノ觀念ヲ持ツテ居ル人ガ、實業家ナドノ中ニハナイデハナイ、ケレドモソシナコトニ中橋文部大臣ハ思ツテ居ラレタノデハアリマスマイガ、併ナガラ當局ノ聲明ト云フモノハ是ハ約束、當然ノコトデアルノデアルカラ、世間ノ人ガ中橋大臣ハ約束サレタト云フコトハ決シテ無理ナコトデハナイノデアル、若シ此昇格ニ十分ナ理由ガアリマスナラバ、昇格ヲシテモ敢テ禍ハ貽リマセヌ、十分ナル理由ガアルナラバ禍が貽ラヌノデアリマスルケレドモガ、若シ十分ナル理由ナシニ昇格サセマシタナラバ、ドンナ事ガ起リマス、今年五校ヲ昇格サセル、此五校ヲ若シ昇格サセタナラバ盛岡、秋田、鹿兒島ノ學校ガ黙ツテ居リマスカ、必ズ昇格運動ヲ此三校ハ始メルニ相違ナイ、又三校ヲ昇格サセタラバ、其他ノ學校、熊本ノ工業學校ダトカ、長崎ノ商業學校ダトカ云フモノハ、黙ツテ居リマスカ、決シテ黙ツテモ居ラヌ、昇格ニ次グニ昇格ヲ以テスルノデアル、重大ナ理由ガアリマシタナラバ、斯クスクノ理由ガアルカラ昇格ヲサセタノデアル、御前ノ方ニハソレダケノ理由ガナイカラシテ昇格サセヌト言ヘバ其レダケノ話デアリマスガ、今度ノハ理由ガナイノデアル、理由ナクシテ……ナイト云ツテハ甚ダ激シ過ギルカモ知レマセヌケレドモ、薄弱ノ理由ノ下ニモッテ行ツテ昇格ヲサセテ行ツタナラバ、他ノ學校ニ付テモ自分ノ方ニモ同ジ理由ガアルト云フノデ、又昇格ヲ請求シテ來ルモノヲ抑ヘルコトガ出來マスカ、強イ文部大臣ナラバ抑ヘルコトガ出來マセウ、中橋文部大臣ニモ出來ルノデアリマセウガナサラヌ、現在ノ高等師範學校ガアンナニ騒イデ居ルノデハアリマセヌカ、ドウシテ抑ヘテ居ラツシヤルカ、一向聞カナイ高等工業モ騒イデ居ル、廣島モ騒イデ居ル、文部大臣ナラバ……中橋文部大臣ガ決シテ弱イト云フヤウナコトヲ申上ル譯デハアリマセヌガ、強イ文部大臣ナラバ、學校ノ職員生徒ナラバ抑ヘルコト

私ノ見ル所デハサウデナイノデアル、ソレハドウ云フ所カラ起^タカト申シマスルト云フト、維新ノ初メニ於キマシテ、仕事ヲスル人ガナイ、電信モ架ケネバナラヌ、鐵道ヲ引カネバナラヌ、橋ヲ架ケネバナラヌ、色ンナコトガ、或ハ法律ノ方ニモ人ガ要ル、軍人ノ方モ人ガ要ル、總テ人ガ澤山要ルケレドモ日本人ニ其技術ニ達シタ人ハナイ、ソコカラ據ロナク外國人ヲ所謂傭教師ト云フモノヲ置イタノデアリマス、維新ノ初メニ於テハ其數五百何十名カラシテ六百名位外國人ガ居^タモノデアル、横濱ト東京ノ間ニ鐵道ガ出來マシタ時ニ、鐵道ノ機關車ヲサヘ動カスコトノ出來ル人ガ日本人ニ居ナカッタノデアリマスカラ、倫敦カラシテ高イ俸給ヲ使^ツテ此機關車ヲ動カス人ヲ傭^ツテ來タト云フヤウナ有様デ^{アッタ}ノデアリマス、ソレデハナラヌト云フノデ、手^ツ取早ク仕事ノ出來ル人ヲ排ヘネバナラヌト云フノハ、其ノ當時ノ爲政者ノ考デアル、ソコデ學校ヲ建テルニモ成ベク速成、手^ツ取早ク、早ク人ガ出來ルト云方針ヲ採^ツタノデアル、此工學ノ方ナドニ於テモ、其學風即チ手^ツ取早ク出來上ルト云フ方針ヲ採^ツテ其學風ト云フモノガ元ヨリハ段々直^ツテ來テ居リマスケレドモ、未ダ尙ホ其學風ト云フモノガ學校ニ殘^ツテ居ルノデアル、即チ應用ニ重キヲ置クト云フヤウナ學風ガ今マデ殘^ツテ居ルノデアリマス、應用ニ重キヲ置クノハ宜イケレドモ、學理ノ方、或ハ基礎學ノ方ニ重キヲ置カヌト云ウテハ惡ウアリマスガ、重キヲ十分ニ置カヌト云フヤウナ學風ガ今殘^ツテ居ルノデアル致シマスカラシテ、長ラク工科大學長ラシテ居ラレマシタ辰野金吾君ナドハ、是デハドウモイカヌカラ、モウ少シ工科ノ學生ニハ基礎學ヲヤラニヤナラメト、ソレカラ若イ助教授ノ爲ニ非常ニ獎勵シテ、力學ダトカ數學ダトカ云フヤウナモノ、或ハ電氣工學デモスル人ニハ物理學ト云フヤウナ基礎學ヲ修メヌトイカヌト云フコトヲ說イテ聞カセラレマシテ、若イ助教授ナドハ是等ノ學問ニ努メタモノデアル、スルカラ決シテ今ノ此工科大學、帝國大學ノ工學部ト申スルモノハ、應用ニ重キヲ置カヌナゾト見マシタナラバ是ハ大變ナ間違ヒノ話デアル、ドク云フ所カラ來マシタカ分リマセヌガ、今ヨリモ應用ニ重キヲ置ク大學ヲ排ヘタナラバ、是ハ餘程學理ノ方ニ迂イ大學ガ出來ルノデ、大學ト名ヲ加フルダケノ價值ノナイモノガ出來ルト思フノデアル、又商科大學ノ方ニ致シマシテモ、今ノ一橋商科大學ト云フモノガ重キヲ應用ニ置カヌト云フト、アノ學校ハ應用ニ非常ニ重キヲ置イテ居ルト云フコトハ諸君モ御存ジノコトデアルト思フ、何ヲ苦シデ應用ニ重キヲ置ク大學ヲ建テニ

ヤナラヌト云フコトハナイノデアル、又高等師範學校ヲ東京並ニ廣島高等師範學校ヲ昇格サセテ、文理科大學ニスルト云フノガ原案デアリマス、此事ニ付テハ先日以來江木君カラシテ縷々述ベラレマシタコトガアリマスカラシテ、重複スルコトハ私申シマセヌガ、補ツテ置キタイト思フノデアル、臨時教育會議ニ於テ此事ハドウシタカト云ヒマスト、如何ニモ高等師範學校ト云フモノハ大事ナ學校デアルガ、之ヲ大學ニスル必要ハナイ、大學ニシナイデ専攻科ヲ置イテ、之ニ十分ナル設備ヲ加ヘタナラバ立派ナ教員ヲ出スコトガ出来ル、帝國大學ト互ニ流通シテ設備等ヲ流通シテヤツタナラバ、尙更宜イデハナイカト云フヤウナコトニナツタノデアル、大學ト云フモノハ一學科ヲ深ク修メルト云フノガ本體デアリマスカラ、教員ヲ拵ヘルノニハ一學科ヲ深ク修メヨリモ、モウ少シ間口ガ廣クナケレバナラヌト云フコトデアル、教員ニナルノニハ唯單ニ、例ヘバ數學ノ教員ニナリマストシタ所デ、數學ダケヲヤッテハ教員ニハソレバカリデハイカヌカラ、教員ニナルノニハ教育學ヲセニヤナラス、或ハ心理學ヲシナケレバナラヌ、中等教員ニナルニハ法制經濟モ視イテ置カナケレバナラヌ、或ハ論理學ナドヤツテ居ランナラヌト云フヤウナ、色ナコトヲヤツテ置カナケレバナラヌ、ソレニ以テ行ツテ數學ノ素養ト云フモノヲ深クシナケレバナラヌ、深クナケレバナラヌ、併シ大學デスル程ニ深クナクトモ宜イ、其代リニ幅ガ廣クテ深サハソレダケ大學ノ卒業生ノ如ク深クナイ、ト云フノガ本體デアル致シマスカラ、大學ト昇格サセマシテ教員ヲ作ルヨリモ、高等師範學校デ置イテ、專攻科ノ設備ヲ完備シタナラバ、最モ良イ教員ガ出來ルト云フコトハ、識者ヲ俟タズシテ分ツテ居ルコトデアル、此分ツテ居ルコトニ對シテ今度ハ大學ニ昇格スル案ヲ立テラレタ、私ハ臨時教育會議ノ一員デアリマシタガ、不幸ニシテ臨時教育會議ノ決議ノ多クハ私ハ同意出來ヌコトガ多クアツタノデアリマス、然ラバ眞ニ理由ガアルナラバ、教育會議ノ決議ヲ翻シテモ私ハ宜イト思フケレドモガ、此專攻科ノコトナドハ、私ガ最モ同意スル所ノモノデ、之ヲ翻サンナラヌ理由ハ少シモナイノデアル、何ノ理由、何ノ爲ニ斯ノ如キ臨時教育會議ノ議決ヲ翻サレタノデアルカ、是ハ私ニハ分ラヌ、斯ノ如ク見來ルト云フト、今度ノ昇格ニハ重大ナル理由ト云フモノガナイノデアル、スルカラドウシテモ昇格ノ熱ト云フモノガ起ツテ來テ、ソイツガ年々歲々絶エヌト云フコトニナルノデアリマスカラ、教育上はハ由々敷大事デアルト思フノデアル、學生ガ其本分ヲ忘レテ昇格運動ニ奔走

スル、職員ハ其職ヲ曠ウシテ昇格運動ニ奔走スル、實ニ憂フベキ現象デアルノデアリマス、之ヲ今度五校ヲ昇格サセタナラバ、繰返シテ申シマスル通り昇格熱ト云フモノハ益々熾ニナツテ來ルノデアル、元ト昇格熱ノ起ツタト云フノハ高等商業學校ガ始リテ、アレヲ許シタノガ抑ミノ間違デアルノデアリマスガ、アレハモウ出來タコトダカラ仕方ガナイ、昇格ハ一橋ノ商科大學ヲ打切ツテ仕舞ッテ、此五校ト云フモノノ昇格ヲ否決デモ致シマシタナラバ、初メテ此昇格熱ト云フモノハ醒メルデアリマセウト思ヒマスガ、併ナガラ私ガ存ゼヌ理由ガアツテ、此書キ物ニナイ重大ナル理由ガアツテ、昇格ヲ行ハンナラヌト云フコトガ或ハアルノデアラウト思フノデアリマス、文部大臣ノ胸中ニハ重大ナル理由ガアツテ、ドウシテモ昇格ヲ行ハンナラヌト云フヤウナ理由ガアルノデアラウト思ヒマスカラ、若シ左様ナ重大ナル理由ガアリマスルナラバ、其理由サヘアルト云フト、此續々起ツテ來ル所ノ昇格運動ト云フモノヲ直グニ押ヘ付ケテ仕舞フコトガ出來ルカラシテ、若シサウ云フ重大ナル理由ガ之ニ書イテアル以外ニアリマスルナラバ、此理由ヲ教ヘテ戴キタイ、是ガ私ノ第二ノ質問デアル、成タケ早ク繰上ゲマスカラ、モウ一つ伺ヒタイコトガアル、是ハ近來我ガ日本ニ於テモ此普通選舉ト云フコトノ聲ガ甚ダ喧スシイ、私ハ御斷ハリヲシテ置キマスガ、私ハ必シモ普通選舉ヲ主張スルモノデハアリマセヌ、併ナガラ世界ノ大勢ニ顧ミ日本ノ今ノ様子ヲ見マスト云フト、普通選舉ト云フモノハ早晚實現サルルコトハ免レナイモノト私ハ見ルノデアル、衆議院ノ有様ヲ御覽ニナツテモ分ル、憲政會、國民黨、皆普通選舉ト云フモノニ熱中シテ居ル、與黨、政府ノ與黨タル政友會ハドウカト云フト、政友會モ決シテ普通選舉ヲ惡イト言ツテ居ラヌ、宜イガ、尙ホ早イト云フノデアル、是ハ何時實現サルルカト云フ問題デ、實現スルカシナイカト云フ問題デハナイノデアリマス、然ルニ普通選舉ト決シテ分ツベカラザル所ノモノハ初等教育デアル、我國ノ初等教育ノ有様ハドウ云フモノデアリマスカ、諸君モ御承知デアリマセウガ、實ニ其結果タルヤ貧弱ナモノデアル、我國ノ教育者ハ動モスレバ、我が日本ノ普通教育、初等教育ノ普及ヲ以テ我國ノ誇トシテ居ル、就學兒童ノ割合ト云フモノハ九十七「バーセント」トカアルト云フコトデアリマス、殆ド世界ニサウ云フ國ハナイ位デアル、是ハ誇ツテ宜イノカモ知リマス、實質ト云フモノハ小學校六年ノ教育ヲ受ケマシテモ、普通ノ本ヲ讀

ムコトガ出來ナイ、普通ノ法令ヲ讀ムコトガ出來ナイ、手紙ヲ書クノニモ怪シゲナル文章ヲ以テ漸ク手紙ヲ書クト云フ位ノモノデアル、是ハ外國ニハナイコトデアル、外國ノ六年ノ歐米ノ六年ノ教育ヲ受ケタ者ハ斯ンナモノデハアリマセヌ、歐米ニ於テ六年ノ教育ヲ受ケマシタ者ハ普通ノ本、普通ノ本ト申スノハ専門學ノ本デナイ、歴史トカ傳記トカ紀行トカ云フヤウナモノハ、是ハ容易ク容易ニ讀ミ或ハ自分ノ意思ヲ相當ノ國語ヲ以テ發表スルコトガ出来ルト云フ、六年教育ヲ受ケタ外國ノ有様デアル、併ナガラ日本デハ出來ナイ、出來ナイト云フコトハ何モ教育ガ惡イノデハナイ、教育ハ良イガ日本ニハ避ク可カラザル所ノ教育ニ對スル障碍物ガアル、ソレハ何カト云フト第一ニハ漢字ト云フムヅカシイモノデアル、第二ニハ言文不一致ト云フコトデアル、口語ト文語ノ二ツアル、新聞ノ論說體ト、ソレカラ候文ト都合三ツ文ガアルヤウナコトデアル、斯ウ云フ障碍物ガアルカラシテ、日本ノ六年ト西洋ノ六年トハ效果タルヤ大差ガアル、ソレカラシテ外國デ以テ六年デ初等教育ヲ足レルトスルナラバ、日本デハ八年ニモ十年ニモセスケレバナラズノデアル、所ガ之ガアベコベニナツテ居ル、歐米ノ大國中デ日本ノ如ク十二歳デ以テ義務教育ヲ打切ル所ハナインデアル、長クナリマスカラ餘リ數字ハ讀ミ上げマセヌガ、チヨット訂正イタシテ置キマス、ナインデハナイ、十二歳デ打切ル所ガアル、亞米利加合衆國ノ四十八州ノ中デ十二歳デ初等……義務教育ヲ打切リマス所ハ四十八州ノ中三州ダケアリマス、其後ハ或ハ十八マデスル所モアリ十六或ハ十四、十五ト云ウヤウナ風ニナツテ居ルノデアル、十二デ打切ルノハ佛蘭西、英吉利、獨逸ニハナク亞米利加四十八州ノ中ニ三州ダケ十二デ打切ル所ガアル、斯ウ云フヤウニ日本ノ初等教育ト云フモノハ非常ニ貧弱デアル、此貧弱ナル教育ヲ受ケタ國民ニ普通教育ノ……普通選舉ノ權利ヲ與ヘルト云フコトハ如何ナモノデアリマセウカ、併ナガラ與ヘスト云フコトハ最早防グコトハ出來ナイノデアリマス、是ハ此勢タルヤ到底當ル可カラザルモノデ、之ヲ若シ下手ニ防止シタナラバ大變ナ危険ガ起ル、是ハ是非許スヨリ外ハナイ、時期ノ問題デアリマスガ、何年後カ、來年ニナリマスカ十年後ニナリマスカ分リマセヌケレドモ、矢張許スヨリ外ハナイト私ハ見テ居ル、然ニ此貧弱ナル、此貧弱ナル教育ヲ受ケタ者ニ武器ヲ與ヘテ危険ハナイカト云フト、私ハ危險ハ……誠ニ憂慮ニ堪ヘナイト考ヘテ居ルノデアリマス、サウイタシマスカラ、今日ノ急務ト云フモノハ普通……初等教育ヲ大ニ獎勵シテ

義務教育ヲ私ハモウ四年モ延長シタイト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併ナガラ一足飛ビニスルト云フコトハ金ガ掛ツテ出來マスマイケレドモ、セメテハ二年位ノ延長ト云フモノヲ差當リシテ頂キタイモノデアル、併ナガラ二年ノ延長ト云フコトハ金ガ掛ル、二年延長ト致シマスト臨時費ニ於テ七千萬圓、是ハ文部省ノ御調ナノデアリマスガ、臨時費ニ於テ七千萬圓、ソレカラ經常費ニ於テ千四百萬圓程掛ル、此金ハ今町村デハ負擔スルコトハ出來マセヌ、現狀サヘモ維持スルニモ困ツテ居ルト云フ狀態デアリマスカラ、此上七千萬圓ノ臨時費ハ、千四百萬圓ト云フ經常費ヲ負擔スルコトハ出來ナイ、出來ナイカラ是ハ國庫デ負擔スルヨリ外ハナインデアリマス、斯ノ如キ有様デ若シ四年ノ義務教育ヲ延長イタシ……若シ義務教育ト言ツテモ補習教育ノ形ニナツテ出ルノデアリマスガ四年延長イタシマスレバ、ドノ位金ガ掛ルカ、如何ニモ夥シイ金ガ掛ルモノト見ナケレバナラヌ、是ハ町村デ負擔スルコトハ出來ナイカラ國庫カラソレヲ出スヨリ外アリマセヌ、然ラバ此ノ國庫ノ教育ニ費ス金ト云フモノハ、成ベク節約シマシテ其方ニ向ケナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス、今比較的不急デアル所ノ高等教育ノ擴張ヲ行フヨリハ、即チ昇格ヲ行フヨリハ……此昇格ノ爲ニハ臨時費ガ五百萬圓掛ツテ經常費ガ三百萬圓近ク掛ルノデアリマスカラ、是等ノ金ヲ節約シテ尙ホ他ニ財源ヲ求メテ、義務教育年限延長ト云フコトヲセネバナラヌト私ハ思フノデアル、サウデナイト云フモノヲ防止スルコトガ出來ルカト云フト、是ハ出來マセヌ、出來危険ガアリハセヌカ、是ハ實ニ憂慮ニ堪ヘヌコトデアルガ、併ナガラ此普通選舉ト云フモノヲ防止スルコトガ出來ルカト云フト、是ハ出來マセヌ、出來ナイト云フ非常ニ危険デアル、我ガ國家存在ト云フコトヲ維持スルニ大ナルヨリ外ハナイ、其延長ニ全力ヲ盡サナケレバナラヌノデアリマスルカラ、私ハ今比較的不急ナ所ノ高等教育機關ノ擴張ト云フモノハ見合ハセナケレバナラヌ、私ハ高等教育機關ノ擴張ヲ否トスルモノデハ無論ナイ、モウ少シ擴張シタインデアルケレドモ、併ナガラソレヨリモ、モウ少シ急務ナモノガアル、急務中ノ急務ハ義務教育ノ延長デアル、ソレニハ成ベク教育費ヲ節約シテ其方ニ使ツテ、他ノ方ヲ止メテ義務教育ノ年限延長ヲ行ハナケレバナラヌ、ソレデ私ハ高橋總理大臣ニ對シテ伺ヒタイト思フ點ハ、今ノ内閣ハ義務教育延長ト云フコトヲ近キ將來ニ於テ爲サルル積リデアルカ、爲サレヌ積リデアルカ、若シ義務教育ノ延長ヲ爲サルナラバ、其財源ヲ如何ニ爲サルルカ、是ダケノ

コトヲ内閣總理大臣ニ伺ヒタイ、是デ私ノ質問ハ終リマシタ

〔國務大臣中橋德五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（中橋德五郎君） 唯今ノ山川男爵ノ御尋ニ御答ヲシマス、最後ニ
義務教育延長ノ點ニ付テ御尋ガアリマシタ、總理ニ御尋ガアッタノデアリマ
スルカラ、何レ總理ヨリ御答イタスコトト思ヒマス、尙ホ私ヨリモ當局ノ考
ヲ申上ゲタイト思フ次第デアリマス、御質問ノ要旨ハ、第一ガ國庫補助ノ制
度ガ英佛獨ニ於テハ非常ニ多額ナモノヲ出シテ居ルガ、我國ニ於テハ其率ガ
非常ニ低イ、是デ當局ガ高等教育機關ノ設備ニ盡力ヲスルフト、初等教育ニ
盡力スルノトノ權衡ヲ得テ居ルカ、ドウカト云フコトノヤウニ、伺ヒマシタ、
此點ニ付テハ當局ニ於テハ斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス、申スマデモナク現
在ノ制度ニ於キマシテハ屢々申上ゲタコトデアリマスカラ、繰返ス必要モアリ
マセヌカ知レマセヌガ、話ノ順序トシテ申上ゲマスガ、今日教育費ノ支出ヲ從
來三段ニ分ケテ政府ハ實行シテ來テ居ツタ、專門以上ノ學校ニ於テハ、之ヲ國
庫ニ於テ支辨スル、中等程度ノ學校ニ於キマシテハ府縣ニ於テ之ヲ支辨スル、
初等ノ教育ハ主トシテ市町村ニ於テ之ヲ支辨スル、斯ウ云フコトニナツテ來
テ居リマスカラ、此通ソニ今日マデ實施ヲ致シテ來テ居リマス、而シテ此經
費ノ増額ハ何レモ設備ノ方法ニ從ヒマシテ増額ヲシテ居ル、此増額シテ居ル
ノハ單ニ專門以上ノ學校ニ於テ設備ヲシテ支辨ヲシテ居リマスバカリデアリ
マセヌコトハ、御承知ノ通ソノコトデアリマス、近年府縣ガ經營シテ居リマス
中等程度ノ學校ノ設備擴張ハ非常ナ擴張デアリマス故ニ、經費モ亦著シク增
額ヲシテ居リマスノデ、此頃デハ七八千萬モ使ツテ居ルヤウナ譯デアリマス、
經常費ト臨時費ト混ゼテ居リマスケレドモ、大體七八千萬以上デアリマ、ス又
市町村ニ於キマシテモ同様デアリマシテ、先程御話デアリマシタ通り、義務
教育ダケガ一億八千萬、其他ヲ混ゼマスルト云フト、二億一千萬ニ、十年度
ニハ上ボルコトニナツテ居ル譯デアリマス、或點マデ貧弱デアルト云フコト
ハ誠ニ殘念デアリマスガ、國民ガ全體ニ此教育ニ向ツテ熱心ヲシテ居ルト云
フコトハ、誠ニ慶バシキコトト思ツテ居リマス、當局ハ之ニ向ツテ經費ノ支出
ノ場所ノ如何ニ拘リマセズ、各其三段ノ程度ノ學校ノ設備ニ鑑ミマシテ、施
設ヲ進メルト云フコトニ努力ヲ致シテ居ル見込デアリマス、ソコデ此初等教
育ニ對シテノ學校ノ補助ノ問題デアリマスガ、是ハ我國ニ於テ極メテ新シイ
モノデアリマス、二百萬圓ノ支出ヲ致シマシタコトハ餘程低クアリマスケレ

ドモ、各國ニ於テノ如ク多額ノ補助ヲ出スト云フコトノ問題ハ、比較的ニ新シイ問題デアリマスデ、初メテ之ヲ實施シマシタノハ、今ヨリ四五年前ノ前内閣ノ時ニ實施シタノデアリマス・斯ウ云フコトニナツテ居ル次第デアリマス、之ニ反シマシテ歐洲ノ各國ニ於テハ餘程以前ヨリシテ之ヲヤツテ居ル、段ニ増額ヲシテ居ル狀況、就中英國ノ如キハ、唯今モ居リマセウガ、文部大臣ニナツタ人ガ新規ノ計畫ヲ立テテ、教育費ノ半額ヲ出スト云フコトノ奮發ヲシタヤウナ譯デアリマシテ、以前ハソレ程デナカッタ、又佛蘭西ノ如キハ御話ノ通り三分ノ二支出シテ居ル、獨逸ハ三分ノ一バカリ支出シテ居リマスガ、是ハ我國ニ於キマシテモ年所ヲ經チマシタナラバ、蓋シ同様ニナルダラウト私ハ考ヘテ居リマス、ドウ云フコトカト云ヒマスルト云フト、ドウシテモ政黨内閣ニナリマスレバ、地方ニ地盤ヲ持チ、地方ノ自治體ノ利害ト云フモノヲ考ヘマシテ、之ニ向ツテ其負擔ノ權衡ヲ圖リ若クハ之ニ向ツテ其發達ニ注意ヲスルト云フコトハ、餘程深切ニナル譯デアリマスカラ、各黨自分ノ政權ヲ持ツテ居ル時ニ方リマシテハ、出來ルダケ此地方ニ向ツテ地方ノ便利ニナルヤウニ、一體ノ負擔ノ公平ニナルヤウニ力ヲ入レルト云フコトハ當然ダラウト思ヒマス、故ニ此ノ國庫補助ノ問題ハ、是ハ次第ニ増額スルト云フコトハ當然ダラウト思ヒマス、久シク政黨内閣ヲ行ツテ居ル國ニ於テハ、此補助ガ増額シテ居ルト云フコトモ、是モ自然ノ勢デナイカト考ヘル次第デアリマス、ソレデ現内閣ニ於キマシテモ、此問題ヲ非常ニ重要視シテ居リマシタガ、此成立ノ際ニ方リマシテハ、御承知ノ通リ財界ガ非常ニ狀況ガ宜シカッタノデ、市町村ノ財力ノ増加ト云フモノガ大變ナ勢ヲ以テ進ンダノデアリマス、故ニ市町村モ亦色々ノ仕事ヲシテ負擔シ、ソレ程困難ヲ感ゼズニズンズン負擔ヲシタト云ノ狀況デアリマスカラ、一時ハ問題ガ少シ落付イタ譯デアリマス、然ニ九年ノ春ノ不況ナ時期ヨリ致シマシテ、負擔ニ困難ヲ感ジタト云フコトニ皆ナツタモノデアリマスカラ、如何ニ解決シヤウカト云フコトニ緊縮ノ方針ヲ執ツタモノデアリマスカラ、如何ニ解决シヤウカト云フコトニマスカラ、ソレヨリ致シマシテ、現内閣モドウカ此問題モ早く解決シテ往キタイト云フコトニ努力イタシ、熱心ニナツタノデアリマス、ト云フ所ニ財政云フコトニマスカラ、丁度其研究ヲ致シテ居リマス所ヘ華府會議ニ於テ軍縮ノ問題ガ出マシタ、ソレデ先ツ此方ガウマク往ケバ千載一遇デ、相當

ノ剩餘ヲ生ズルコトガ出來ル、然ラズトモ軍備擴張ト云フモノヲ日本ガ苦ンデ居ツタモノガ要ラナイト云フコトデアリマスカラ、之ヲ以テシテヤッタラ宜カラウト云フコトニ相談ヲ決メタノデアリマス、故ニ恐ラクハ今後此問題ハ相當ナル解決ヲ付ケルコトト思ツテ居リマス、金額モ亦相當ニ増額ヲスルコトデアリマセウ、現内閣ニ於テハ増額ノ計畫モ立テマシテ……又次ノ内閣ニ於キマシテモ、増額ノ計畫ヲ立テマシセウシ、段々進ンデ行キマスレバ、歐米各國ノヤウナ事情ニ自然ニナルダラウト思ツテ居リマス、是ハ今日ノ政黨内閣デハ勢ノ趨ク所當然サウナラウト考ヘテ居リマスカラ、大體向フノ如ク多數ノ費用ヲ出サナイト云フコト、サウ云フ問題ヲ惹起シタコトハ日淺日本デハ……ソレカラ政黨内閣ノ實施ト云フコトハ日淺イト云フコトノ結果ダラウト思ツテ居リマス、單リ初等教育ダケニ政府ガ力ヲ用キナカッタト云フ御話ハ時々伺ヒマスガ、當局ニ於テハ左様ニ考ヘテ居リマセヌ、左程ニ考ヘテ居リマセスト申シマスノハ、ソレソレノ設備ニ向ツテ擴張ヲ致シタ程度ニ於テハ、初等教育機關ノ擴張モ、中等教育ノ擴張モ、程度ニ於テハ餘り違ハスト見テ居ルノデアリマス、此二三年來ノ中等教育ノ學校ノ增加ト云フモノハ著シイモノデアリマス、各府縣ニ於キマシテ支出シテ居ル金額モ最近七八百萬圓以上ノモノヲ出シテ居ルノデアリマスカラ、十年度ニ於テハ大凡七八千萬圓デアリマスガ、假ニ臨時費ダケデモ相當ノ金額ヲ出シテ居ル譯デアリマス、其負擔ノ仕方ニ付テハ今日餘程不權衡ニナツテ居ルト思ヒマスカラ、此年進ンデ居リマスカラ、力ノアル所ニ向ツテ義務教育ノ年限延長ト云フコトハ今デモ出來マス、唯今日ハ全體ヲ通ジテ申シマスト云フト、市町村ニ三千四千バカリノ村ニ於キマシテ、負擔ノ存外ニ重ク感じテ居ル所ガアル、先づ此方ヲ緩和イタシテ、セメテ其負擔ノ三ガ一ナリ半額ナリヲ國庫デ持ツテヤルヤウニシマシタナラバ、全體ノ市町村ノ負擔力ト云フモノハ平均シマスカラ、平均シマシタナラバ此義務年限延長ノ千四百萬圓ヤソコラノ負擔ハ一向困難デナイ、現ニ出來ルノデアリマス、多クノ市町村デハ既ニヤツテ居ル、高カラドウナルカ分リマセヌガ、多分實行ガ出來マセウ、出來マスレバ是等ノコトヲ解決スルニハ餘程容易イコトダラウト思ウテ居リマスケレドモ、併シ私共ハ之ヲ以テ負擔ノ轉換方法ト考ヘテ居リマスノデアリマス、初等教育ニ向ツテ力ヲ用キル用キヌノ問題ニハ綠ガアルニハアリマスルガ、國庫カラシテ金ヲ出サナイカラシテ盡力ハシナイノダト云フ證據ニハナラナイト、當局ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、去ナガラ之ト同時ニ國庫補助問題ト同時ニ考前ニモ之ヲヤツテ見ヤウカト云フ考ヲシタノデアリマス、即チ財界ノ好景氣ノ時分デアリマシタ、各市町村ノ負擔力ノ裕デアル時デアリマシタ、然ニ直

ニ九年ヨリシマシテ不況ニナリマシタカラシテ、此際ニ實行ト云フコトハ餘程困難デアルト云フ考ヲ以テ見合ハシテ居ル次第デアリマス、幸ニシテ軍縮ノ結果、即チ市町村ノ負擔ニ向ツテ相當ナ補助金額ヲ支出スルコトヲ得マシタナラバ、ソレコソ此義務教育年限ノ延長ト云フモノヲ實施スルニハ非常ニ好都合ダラウト思ウテ居リマス、是モ御参考ニ申上ゲテ置イタ方ガ宜カラウト思ヒマスルガ、當局ノ考デハ此義務教育年限延長ニ要シマスル經費ヲ、山川君ノ御話デハ國庫デ以テ之ヲ持ツタラ宜カラウト云フ御話デアリマス、義務教育年限ノ延長ト申シマスルケレドモ、今日計畫イタシテ居リマスルノハ二年デアリマス、マダ其後二年行クコトニナリマス、其二年ト云フ間ニ尋常小學ヲ卒業シタル生徒デ高等小學ニ進ンデ居ル者ガ既ニ半ニナツテ居ルデス、居リマセヌ、市ノ如キハ現ニ此富裕デアリマス、市ニ於テハ現ニ多額ノ増加は今日既ニ半分ハ這入ツテ居ルデス、アト五割ノ問題デアリマス、市町村ハ或モノハ資力ガ乏シクアリマスルケレドモ、全體ニ於テハソレ程疲弊シテ居リマセヌ、市ノ如キハ現ニ此富裕デアリマス、市ニ於テハ現ニ多額ノ増加ヲシテ居ルノデアリマス、ソレ程貧弱ナル日本ノ市町村デヤアリマセヌ、毎年進ンデ居リマスカラ、力ノアル所ニ向ツテ義務教育ノ年限延長ト云フコトハ今デモ出來マス、唯今日ハ全體ヲ通ジテ申シマスト云フト、市町村ニ三千四千バカリノ村ニ於キマシテ、負擔ノ存外ニ重ク感じテ居ル所ガアル、先づ此方ヲ緩和イタシテ、セメテ其負擔ノ三ガ一ナリ半額ナリヲ國庫デ持ツテヤルヤウニシマシタナラバ、全體ノ市町村ノ負擔力ト云フモノハ平均シマスカラ、平均シマシタナラバ此義務年限延長ノ千四百萬圓ヤソコラノ負擔ハ一向困難デナイ、現ニ出來ルノデアリマス、多クノ市町村デハ既ニヤツテ居ル、高等小學ハ半分出來テ居ル、之ニ義務ト云フ名前ヲ付ケレバ宜シイ、アト五割ニ向ツテ義務年限延長ヲヤル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソレカラニシテ、義務年限延長ヲヤル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ臨時費ノ如キモ、六七千萬圓計算ヲシテ居リマスケレドモ、是ハ數年掛カッテヤレバ宜シイノデ、ソレモヤリ様ニ依テソレ程掛リマセヌ、各市町村ニヤラセマスレバ、ソレゾレ經濟的ニヤリマセウカラシテ、ソレ程金ハ掛ラヌカモ知レマセヌヤウナ譯デアリマス、是ハ普通選舉ト關係ノ問題デアリマスルカラ、少シ長過ギタカモ知レマセヌケレドモ、詳シク申上ゲマシタヤウナ次デアリマス、是ハ當局ニ於キマシテ熱心ニ研究ヲ致シテ居ル次第デ、既ニ數年前ニモ之ヲヤツテ見ヤウカト云フ考ヲシタノデアリマス、即チ財界ノ好景氣ノ時分デアリマシタ、各市町村ノ負擔力ノ裕デアル時デアリマシタ、然ニ直昇格問題ノ沿革並ニ今後此案ヲ若シ實施シタナラバ、續々運動ガ起ツテ之ヲ

壓シ、之ヲ制スルト云フコトハ、迎モ政黨内閣ノ者デハ出來ナイダラウト云フ御懸念ノヤウニ伺ヒマシタ、是モ一種ノ御觀察ノ仕方デアリマセウ、其理由トシテハ此昇格案ハ地方ノ有志、或ハ代議士ノ運動、以テ出來タモノノ如キヤウニモ御説明ヲ聽取ッタ廉モアリマスルガ、當局ニ於テハサウ云フ考ヲ以テ拵ヘタノデアリマセヌ、御話ノ通リニ此問題ノ起リタルヤ抑、古イノデ、奥田君ガ文部大臣ヲヤツテ居リマシタ時分カラ、實ハ萌シテ居ルト御話ガアリマシタガ、其通リデアリマス、ソレカラ臨時教育會議ニ於テ單科大學ヲ御決議ニナル、是ハ他日必ズ何等カ變動ヲ來スト云フコトハ、其時カラ既ニ其論者ノ中ニモ想像ヲシテ居ッタト云フ御話ヲ直接私共ハ隨分聽イテ居リマス、故ニアア云フヤウナコトガ一時流行スルト云フコトモ、是ハ人間ガ病氣ニ罹ルヤウナモノデアッテ、ドウモ免レナカッタラウト思フノデアリマス、ソレニ付テハ私ガ約束ヲシタト云フ御話モアリマシタガ、是ハマア昨年當院ニ於テモ屢々御議論ノアッタコト故ニ、私ハ繰返シマセヌ、之ヲ約束ト看做シ爲サル御方モアルダラウシ、當局ハ自分ノ計畫ヲ話シタノデアルト云フヤウニ心得テ居ルヤウナ次第デアリマスルデ、此御議論ハ再ビ茲ニ御説明申上ゲテ繰返スノ必要ハナカラウト思ヒマスカラ、是ハココデ止メマスガ、此運動ノ爲ニ今後續々又大學ヲ拵ヘナケレバナラヌト云フヤウナ御懸念ハ餘リニナイデヤナイカト私ハ思フノデ、現ニ盛岡ノ如キ、鹿兒島ノ如キ、先キ御引用ニナリマシタガヤウニ、土地ノ人ニ話ヲ致シ、土地ノ有志ニ懇談ヲ致シ此方ノ考ヲ話シ、運動シタツテ政黨内閣必ズモノヲ肯クモノデハナイ、運動シテ却テ出来ナイカモ知レナイゾ、ヤリタクテモ出来ナイデヤナイカト云フ話ヲ懇々シタノデアリマス、ドウシテモ筋ノ立ッタル計畫ノ下ニ立ッタモノノデナケレバ實施ハ出來ナイ、其證據ニハ六年計畫ノ實施ニ付テ、二十九ノ專門學校ヲ全國ニ配置ヲ致シマシタ、此配置ニ付テハ幸ニシテ今日マデ政黨ノ運動ニ依テ位來ルダケ早キ時期ニ於テ此場所ヲ選定シ其位置ヲ決メタノデアリマス、故ニ政黨内閣必シモ政黨員ノ運動バカリ肯イテ居ナイ、ソレヲ深イコトヲ知ッテ居ル者ハ政黨内閣ヨリシカ知ッテ居ル者ハアリマスマイト云フヤウニ私ハ思ヒマスカラ、其御懸念ハドウデアリマセウカ、是モ御銘々ノ御判断デアリマスルカラ、御判断ニ御任セスル譯デアリマスルガ、私共ハ却テ斯ウ學校ノ昇

格運動ト云フモノヲ制スルノハ、强大ナル政黨ノ力ヲ持ッテ居ル者ノ方ガ能ク出來ル、斯ウ云フヤウナ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス、ソレカラ其中ニ師範學校ノ生徒ガ云々ト云フコトデアリマシタガ、是ハ新聞ニ出テ居ルヤウナコトハナイノデス、多少ハ心配ヲシテ皆丁度試驗休ミ、今ヨリ一週間程前ニ試驗ガ濟ンダカラ博覽會ノ見物ニ上京シテ居ルカラ運動シャウト云フ人モヲ撮ラレタ、其寫真ヲ見テ此奴運動ニ來タンダト云フコトニナリマスケレドモ、アレ程ニハナイト當局ハ見テ居リマス、ソコデモウ一ツハ此案ヲヤルヨリ年限延長ガ我國ニ於テハ一番重要ナル、一番緊急ナル大切ナ施設ト見ル、其前ニヤラナクテモ宜イデハナイカト、斯ウ云フ御話ノヤウニ伺ヒマシタ、話デアリマシタガ、當局ニ於テハ斯ウ考ヘテ居リマス、此ノ國庫補助モ數十万圓ノ金ガ要ル、義務教育年限ノ延長ハソレガ出來レバ自然ニ出來マス、實行シヤウト思ヘバ出來ル、而シテ是等ノ經費ハ主トシテ經常費ニナル譯デアリマスカラ、一年二千萬圓出シマスルナラバ、十年ニ二億ノ金ト云フコトニ考ヲ持ッテ居リマス、三千萬圓出セバ十年デ三億ニナル、ナカナカ太イ金デアリマス、從前ノ經常費デ行カナケレバナラヌ、其方ノ計畫ハ其方ノ計畫デ進メタイト云フノ計畫ヲシタ譯デアリマス、ソレカラ高等教育機關ノ擴張ハ、前ニハ四千四百萬圓考ヲ持ッテ居リマス、ソレカラ高等學校ノ計畫ハ以前ヨリシテ五千五百萬圓ノ計畫ヲシタト云フコトニモ見レルノデアリマス、ソレカラ必要ノ程度ノ御話ガアリマシタガ、是モ見ヤウニ依リマスルカラ、此一千百萬圓即チ三箇年ノ臨時費ガアル譯デアリマス、見ヤウニコトニ比ベテ、比較シマスレバ勿論問題ハ小サクアリマス、今一ツハ此問題ニ付テ世間ニ誤解ヲ來シ、行掛リヲ來シタヤウナ問題ヲ取除ケテ之ヲ見ルト云フト、大シタ問題デモ何デモナカラウト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、云々赤裸々ニ申シマスレバ一千百萬圓デ相當ノ學校ヲ拵ヘル、前ニ三十カ四十ノ學校ヲ拵ヘルノニ必要ニ應ジテ之ヲ一部追加スル、斯ウ云フコトデアリマス

ルカラ、ドウモ新聞紙上ニ書キ、昨年ヨリシテ色々問題ニナッテ居ルモノダカラシテ大變之ガ大キナ問題ノ如クナッタノハ、政治問題トシテ大キイノデアリマス、學制問題即チ學校創設問題トシマシテハ大シタ重大ナモノヂヤナイ、即チ年限延長ト比ベテドウカト云フヤウナ問題デハナカラウト考ヘテ居ル次第デアリマス、而シテ當局ハ實行上ハドウスルカ、兩方併行シテ行ク積リデアリマス、年限延長ハ其次ニ來ルケレドモ、兎ニ角國庫ノ補助ノ問題ヲ第一緊急トシテ解決シタイ、ソレカラ此問題モ先年來ノ議會ニ問題ニモナッテ居ルノデアリマスルカラ之ヲ解決シテ行キタイ、斯ウ云フ考ヲ有ッテ居ル譯デアリマス、マア一面カラ申シマスレバ我ガ國庫モ窮乏ダト云ヘバ窮乏デアリマスガ、歐羅巴各國ノ財政ニ比ベタラスンナ裕カナ國ハアリマスマイ、是程富力ノ増進シツツアル裕カナ國ハナイノデアリマス、故ニ斯ウ云フ計畫ヲヤルノニ私ハサウ困難デハナイト思フ、國庫ノ補助モ無論進行ガ出來ルト云フ考ヲ有ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、大體是デ……

〔國務大臣子爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵高橋是清君) 私ニ對シテノ御質問ノ、義務教育年限延長ニ關スル此財源ヲ如何ニスルカト云フコトニ付テ、御質問ニ對シテハ大要既ニ文部大臣ヨリ先刻御答ヲシタノデ、私ガ再び御答スル必要ハナイカノ如ク考ヘマスガ、義務教育延長ニ付テハ其必要ヲ大ニ認メテ居ルノデアリマス、而シテ此負擔ハ町村ガ主ニ今日負擔シテ居ルノデアリマス、故ニ町村ハ其負擔ニ苦シシムデ居ルノデアリマス、茲ニ國庫負擔額ヲ増額スルト云フ考ヲ有ッテ居ルノデアリマシテ、其コトハ既ニ先般此所ニ於テ述べマシタ所ノ施政ノ方針ノ中ニモ述べテ居ル次第デアリマス、最モ之ニ重キヲ置イテ居ルト云フコトモ其節モ述べタ次第デアリマス、而シテ華盛頓會議ノ結果國庫ニ餘裕ヲ生ズルト云フコトハ、何人ト雖モ豫想ノ出來ルコトデアル、若シ左様ナ餘裕ガ出來ル場合ニ於テハ、先づ以テ教育、普通教育ニ付テ國庫ノ負擔ヲ増額スルト云フコトモ言ウタノデアリマス、蓋シ全ク御同感デアラウト思フ、變ッタ○議長(公爵徳川家達君) 休憩イタシマス、午後ハ一時三十分ヨリ開會ヲ致シマス

午後零時七分休憩

ルカラ、ドウモ新聞紙上ニ書キ、昨年ヨリシテ色々問題ニナッテ居ルモノダカラシテ大變之ガ大キナ問題ノ如クナッタノハ、政治問題トシテ大キイノデアリマス、學制問題即チ學校創設問題トシマシテハ大シタ重大ナモノヂヤナイ、即チ年限延長ト比ベテドウカト云フヤウナ問題デハナカラウト考ヘテ居ル次第デアリマス、而シテ當局ハ實行上ハドウスルカ、兩方併行シテ行ク積リデアリマス、年限延長ハ其次ニ來ルケレドモ、兎ニ角國庫ノ補助ノ問題ヲ第一緊急トシテ解決シタイ、ソレカラ此問題モ先年來ノ議會ニ問題ニモナッテ居ルノデアリマスルカラ之ヲ解決シテ行キタイ、斯ウ云フ考ヲ有ッテ居ル譯デアリマス、マア一面カラ申シマスレバ我ガ國庫モ窮乏ダト云ヘバ窮乏デアリマスガ、歐羅巴各國ノ財政ニ比ベタラスンナ裕カナ國ハアリマスマイ、是程富力ノ増進シツツアル裕カナ國ハナイノデアリマス、故ニ斯ウ云フ計畫ヲヤルノニ私ハサウ困難デハナイト思フ、國庫ノ補助モ無論進行ガ出來ルト云フ考ヲ有ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、大體是デ……

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後一分開會
〔長書記官朗讀〕

本日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正十一年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)大正十一年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)、大正十一年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)、大正十一年度歲入歲出總豫算追加案(第四號)、大正十一年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)、大正十一年度歲入歲出總豫算追加案(第五號)可決報告書

陪審法案可決報告書

○議長(公爵山川健次郎君) 私ノ質問ニ對シマシテ總理大臣竝ニ文部大臣カラ御答辯ガアリマシタガ、總理大臣ニ對シテハ近キ將來ニ於テ義務教育年限ヲ延長ナサル御考ガアルカナイカト云フコトヲ御尋シマシタガ、之ニ一向御答ガナイ、ソレカラ文部大臣ニ對シマシテハ、昇格サセルニ付テ重大ナ理由ガナクテハナラナイ、外ニスペキコトヲシナイデ、金ヲ使ッテ昇格ニ利用スルノデアルカラシテ、此理由書ニ書メアルダケノ理由デハ又騒動ヲ他ノ學校ニ惹起スト云フ虞ガアル、若シ重大ナ理由ガアルナラバ、他ノ學校ニ昇格熱ガ傳染シナイ、私ノ見ル所デハ重大ナ理由ガ無イ、併ナガラ文部大臣ノ御考ニハ必ズ重大ナ考ガアルデアラウカラ、之ヲ教ヘテ貰ヒタイト云フコトヲ私ハ御聞キシタノデアリマス、ソレニハ御答ガナイ、ソレカラ致シマシテ文部大臣ハ山川ハ小學校ニ氣ヲ付ケテ居ナイト云フケレドモ、此兩三年來小學校ノ方モ大ニ進歩シテ居ルト言ハレル、是ハ文部大臣ニ御世話ニナッテ擴張シタ譯デハナク、町村ト云フ法人ガヤツタノデアッテ、文部大臣ノ御蔭デモナンデモコトハナイヤウデアリマス、是ダケ御答イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 休憩イタシマス、午後ハ一時三十分ヨリ開會ヲ致シマス

タヤウデアリマス、負擔者ガ違フト云フコトニハ文部大臣ハ少シモ骨ヲ折ラナイ、町村ト云フ法人ガヤツタモノデアル、是ハ少シモ御答辯ニナツテ居ラナイト思ヒマス、デ其コトハ先づ御答辯ガ出來ナイナラバ、ソレデモ宜シウゴザイマスカラシテ、今ノ重大ノ理由ト云フコトハ有ルカ無イカ、唯一言伺ヒ

タイ、總理大臣カラモ重ネテ御答辯ヲ願ヒタイ

〔國務大臣子爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵高橋是清君) 義務教育年限ノ延長ノコトニ付マシテハ、文部當局ヨリ其事ニ付テ意見ヲ先刻述ベテ御答ハシテアリマシテ、大體私ハソレデ御諒解ニナツタコト考ヘテ居ツタノデアリマス、御趣意ニ於テハ無論異存ハナイノデアリマス、併シ文部大臣ノ述ベラレマシタル通り、是マデ教育費ノ負擔ハ高等教育ニ付テハ國ガ負擔シ、中等教育ニ付テハ府縣ガ負擔シ、初等教育ニ付テハ町村ノ負擔ト云フコトニ大體定マツテ居ルノデアリマス、而シテ此初等教育ニ屬スル町村費ノ負擔ニ付テハ、國庫ハ財政ノ許ス限リ其負擔ヲ増加スルト云フコトヲ以テ今日方針トシテ居ルノデアリマス、是デ御諒承ヲ下サレルコト考ヘマス

○男爵山川健次郎君 總理大臣カラシテ伺ヒタイノデス、先刻文部大臣ノ御答ガアリマシタガ、是ハ私ノ質問ニ對シテ御答ニナツテ居ラナイ、近キ將來ニ於テ義務教育年限延長ノ御意思アリヤ否ヤト云フコトヲ問ウタ、所ガ義務教育ノ年限ヲ延長スルコト考ヘテ居ルトカ、計畫スルトカ云フコトデ、近キ將來ニ於テソレヲナサル御考デアルカ、ナサレヌト云フ御考デアルカ、一言デ宜シウゴザイマスカラ、其事ヲ總理大臣カラ伺ヒタイ

〔國務大臣子爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵高橋是清君) 固ヨリ成ベク早ク延長ヲシタイノデアリマス、併シ是ガ財源ヲ見付ケナケレバナラヌ、其財源ハ初等教育ハ專ラ町村ノ負擔ニナツテ居リマス、其負擔スル方ノ國庫ノ力ヲモ計リ、又之ヲ負擔スル方ノ國庫ノ力モ計ラネバナラヌ、財政ノ都合ニ依テ是ハ定ムベキコトデアッテ、出來ルコトナラバ成ベク早ク延長シタイト私ハ考ヘテ居ル、

○男爵山川健次郎君 今ノ御答辯ニ依リマスルト、近キ將來ニ於テ年限延長ヲナサレル、ナサレヌカト云フコトハ御明言ガ出來ナイ、斯ウ承知シテ宜シイノデアリマスカ

〔國務大臣子爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(中橋德五郎君) 唯今義務教育年限延長ト云フコトニ付テ總理大臣ニ御質問ガアリマシタ、是ハ私ヘノ御質問デアリマセヌカラ、私ヨリ御答ヲスル必要ハナイトモ思ヒマス、併シ先程當局ノコトデアリマスルカラ御参考ニ當局ノ意見ヲ申述ベタ次第デアリマスガ、ソレニ付テ近キ將來ニ於テ實行スルノ意思ガアルカ無イカ曖昧デアッタト云フヤウナ御話デアリマスガ、大抵御推察下サルコトダラウト思ツテ、大體ノ意見ヲ述ベタ譯デアリマスガ、文部當局ト致シマシテモ改メテ茲ニ申上ゲテ置キマスガ、義務教育延長ハ、成ベク早ク之ヲ實行シタイト云フ考ヲ以テ居ルコトハ、山川男爵ト同様デアリマス、ソレカラ私ヘノ御質問ニ、小學校ノ改善ニ付テハ市町村ガ之ヲ實行シタ、文部省ハ關係ガナイノダト云フヤウナ御趣意ノヤウデアリマシタガ、當局ハ左様考ヘテ居リマセヌ、無論今日ハ市町村ノ負擔トシテ、義務教育及ビ他ノ初等教育ハ實行イタシテ居リマスガ、是ハ總テ文部當局ノ監督ヲ受ケテ實行シテ居ル譯デアリマス、故ニ此三四年ノ間市町村ニ於テ小學校ニ盡力サレタコトハ、非常ニ感服ヲ致ス譯デアリマスカラ、是ガ監督指導ハ文部當局ニ於テ致シタノデアリマスカラ、費用ノ負擔ニ付テモソレゾレ協議ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレニ向ツテ國庫補助金額ヲ増額シ得ナカッタト云フコトハ、洵ニ御不服デアリマセウ、當局モ甚ダ殘念ニ思ツテ居リマス、故ニ是モ近キ將來ニ於テ出來ルダケ早クヤリタイ、相當ナコトヲシタイト云フコトヲ、總理大臣ヨリモ私ヨリモ屢々明言ヲ申上ゲテ居ル次第デアリマス、ソレカラ師範制度ノ改善、視學制度ノ改善ノ御話ガアリマシタガ、今回提案ヲ致シマシタル師範大學ノ設立モ、是ハ師範制度ノ改善ノ一ツ當局ハシテ、御協賛ヲ願ツテ居ル次第デアリマス、從テ全體ノ師範制度即チ今日ノ高等師範、並ニ各府縣ニアリマスル所ノ師範制度モ、是非是ハ改善シタイト云フ考ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、今日ハ初等ニ致シマシテモ又高等教育ニ致シマシテモ、總テ歲月ト共ニ向上シツツアル譯デアリマスカラ、今日ノ教官ノ力デハ並ニ其ノ人格ノ力デハ満足ヲシ得ナイ、既

ニ三四十年ニモナツテ居リマスルシ、ノミナラズ從來ノ師範制度ノ教育ノヤリ方ハ動モスレバ形式ニ流レ、劃ニ流レルト云フ弊ガアツタノデアリマスルカラ、是ハ泰西ノ制度ニ倣ヒマシタ際ニハ免レスコトデアリマス、非常ナ効果ヲ及ボシタニ相違アリマセヌガ、又長クナレバ茲ニ弊ガ生ズルト云フコトデアリマスカラ、唯今目的トシテ居リマス所ノ師範制度ノ改善ハ、制度ヲ改正シ教員ノ人格並ニ學力ノ程度ヲ高メル、ト云フコトニ致シタイト云フ目的デ進メル積リデアリマス、之ヲ今日マデ遅レテ來マシタノハ洵ニ殘念デアリマスガ、一時ニハ何分手ガ付キマセヌ、又全國ニ瓦ツテ居ルモノデアリマスシ、十七八萬人ノ教官ニモ關係スルコトデアリマスカラ、餘程是ハ慎重ニヤリマセヌト、實行上ハ餘程困難デアラウト思ヒマス、故ニ是ハ直チニト云フ譯ニハ行キマスマイト思ツテ居リマスガ、是非改善ヲ致シタイト云フノデ、調査ヲ進メテ居ルノデアリマス、又視學制度モ同様デアリマス、中央ニハ視學官ヲ置ク制度ヲ拵ヘタダケデハ行キマセヌ、各府縣ニハ是非教育部ノヤウナモノヲ設ケマシテ、内務部ト併立スルヤウナコトニシナイト云フト、今日ノ如ク教育ノ事務ガ普及シ盛ンニナツテ來マシタ場合ニハ、行クマイト思ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、是モ漸次實行シマセヌト云フト、急ニハムヅカシカラウト云フヤウナ考ヲ持テ居ルヤウナ次第デアリマス

○伯爵林博太郎君 此昇格豫算問題ノ質問ニ付マシテハ、尙ホ幾多ノ御通知ガアルヤウニ承ツテ居リマスルガ、御承知ノ如ク此問題ハ四年間ニ瓦レル問題デアリマシテ、皆様ニ於カレマシテモ篤ト御熟知ノコトト考ヘマスルノデ、且ツ會期モ切迫シテ居ルノデアリマスルカラ、此際此質問ヲ打切りマシテ、直チニ豫算總會ニ移スベシト云フ動議ヲ提出イタシマス

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 此動議ハ二十人以上ノ贊成ヲ要シマス
〔「贊成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 二十人以上ノ贊成ガアツト認メマス
〔江木千之君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 江木君ハ……

○江木千之君 唯今ノ動議ニ付テ少シ疑ガアルノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○江木千之君 唯今一年間トカ四年間ニ瓦ル問題デアルト仰セラレタヤウデ

アリマスガ、高等師範ニ文理科大學ト云フヤウナコトハ……高等師範ノ上ニリ方ハ動モスレバ形式ニ流レ、劃ニ流レルト云フ弊ガアツタノデアリマスルカラ、是ハ泰西ノ制度ニ倣ヒマシタ際ニハ免レスコトデアリマス、非常ナ効果ヲ及ボシタニ相違アリマセヌガ、又長クナレバ茲ニ弊ガ生ズルト云フコトトデアリマスカラ、唯今目的トシテ居リマス所ノ師範制度ノ改善ハ、制度ヲ改正シ教員ノ人格並ニ學力ノ程度ヲ高メル、ト云フコトニ致シタイト云フ目的デ進メル積リデアリマス、之ヲ今日マデ遅レテ來マシタノハ洵ニ殘念デアリマスガ、一時ニハ何分手ガ付キマセヌ、又全國ニ瓦ツテ居ルモノデアリマスシ、十七八萬人ノ教官ニモ關係スルコトデアリマスカラ、餘程是ハ慎重ニヤリマセヌト、實行上ハ餘程困難デアラウト思ヒマス、故ニ是ハ直チニト云フ譯ニハ行キマスマイト思ツテ居リマスガ、是非改善ヲ致シタイト云フノデ、調査ヲ進メテ居ルノデアリマス、又視學制度モ同様デアリマス、中央ニハ視學官ヲ置ク制度ヲ拵ヘタダケデハ行キマセヌ、各府縣ニハ是非教育部ノヤウナモノヲ設ケマシテ、内務部ト併立スルヤウナコトニシナイト云フト、今日ノ如ク教育ノ事務ガ普及シ盛ンニナツテ來マシタ場合ニハ、行クマイト思ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、是モ漸次實行シマセヌト云フト、急ニハムヅカシカラウト云フヤウナ考ヲ持テ居ルヤウナ次第デアリマス

○江木千之君 是ハ數年間ノ問題デアルト云フ御話デアル、文理科大學ヲ師範ノ上ニ設ケルト云フコトハ、是ハドウ惑ウテ居ラレル、其爲ニ我ニハ質問ヲ重ねテ居ル、斯ウ云フ譯デアリマス、サウ云フ類ノコトガ多々アルノデアリマシテ、分リキッタヤウニ仰セラレルノハ、全ク是ハ事實ニ違ツテ居リハセヌカ、殊ニ從來教育ヲ專門トシテ居ラレル方ニモ種々ノ疑問ガアルノデ、マスガ如何ナルコトデゴザイマセウカ、詳細ニ御説明ヲ願ヒタイ

○伯爵林博太郎君 私ノ動議ハ質問打切りト云フ、質問終結ト云フコトデアリマシテ、且ツ豫算總會ニ移スベシト云フコトガ動議デゴザイマス、併ナガラ唯今私ノ申シタコトニ付テ、理由ガ少ナイト云フヤウナ御話デアリマスカラ、一言イタシテ置キマスガ、四年間ト申シタノハ此數年間ト云フ意味デアリマシテ、長イ間教育會議ニ於テ銓衡イタサレタル問題デアリ、世間ニ於テ相当ニ知ラレテ居ル問題デアリマスノデ、此際豫算總會ニ移シマシテモ、尙ホ質問スルト云フ餘裕モアルノデアリマスカラ、其意味ヲ以チマシテ、豫算總會ニ移スベシト云フ動議モ出シマシタ次第デゴザイマス

〔江木千之君、江木翼君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 江木翼君ハ……

○江木翼君 提案者ニ對シテ御尋致シマス、唯今ノ最初ノ御提議デハ、質疑終結ノ御動議ノ如ク見エル、第二回ノ御説明デハ豫算委員會ニ移スベシトノ御動議ノヤウニモ見エル、若シソレ前段ノ如ク、質疑終結ノ動議ト致シマスルナラバ、豫算委員會ニ付議サレテ更ニ豫算委員長カラ茲ニ報告サレマスル

疑ヲ繼續スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ效果ヲ持ツト思フノデアリマス、ド

ウモ左様ナ意味デナイヤウニ豫テ承ハッテ居リマスルガ、聞キ誤リデゴザイ

マシタラウカ、モウ一過其點ヲ明カニシテ下サレムコトヲ望ミマス

○伯爵林博太郎君 私ハ相當大聲ヲ以テ御話イタシタ積リデス、御聞キニナッ

タラウト存ジマスガ、尙ホ御聞キニナラナカツタヤウデアリマスカラ申上ゲ

タス、私ハ此際質問ヲ繼續スルト同時ニ豫算總會ニ移スベシト云フ動議ヲ提

出イタシマシタノデ、質問ノ終結ト云フコトノミヲ殊ニ致シタ譯デゴザイマ

セヌ

○北條時敬君 今ノ質問ヲ打切ルト云フコトニ付テ、私ハ動議ヲ提出シタ發

議者ニ質問シタイコトガアリマス、私ハ豫テ此昇格問題ニ付テ質問シタイコ

トヲ申込ンデ居ルノデアリマス、通告ヲ致シテ居リマスノデアリマス、昨日

各派ノ交渉委員ノ間デ御相談ガアリマシテ、サウシテ私ハ今回質問ヲスルト

云フコトニ決マッテ居ルト云フ通知ヲ受ケテ居ルノデアリマス、先程ニ至テ

或ル研究會ノ交渉委員ノ方ガ來ラレマシテ、私ノ屬シテ居ル無所屬ノ方ニ御

出ニナリマシテ、此質問ヲ打切ルト云フ動議ヲ提出スルカモ知レナイト云フ

コトデアリマシタ、サウスルト昨日ノ各派交渉委員ノ間デ御協定ニナッテ居

ルコトガ、今朝ニナッテソレハ其交渉ノ趣旨ト云フモノニ背イテ、質問打切

ト云フ動議ヲ提出セラレテ居ルノデアリマス、又茲ニ其動議ガ提出サレルニ

付テ、先程ノ説明ヲ聞キマスルト云フト、委員會ニ此質問ヲ移スト云フコト

付アル、斯ウ仰シヤルノデアル、豫算委員會ニ質問ヲ移スト云フコトニナリマ

スレバ、又其豫算委員會ニ於テ更ニ動議ガ出マシテ打切ル、打切ランナラヌト

云フ風ナコトガアルカモ知レヌト思フ、私ハ豫算委員デモ何デモアリマヒヌ

カラ、豫算委員會デ質問ヲスルセヌト云フコトハ、私ハ一向ニ關係ガナイカ

モ知レヌ、併ナガラ豫算委員ニ關係ノアル質問ノ通告者ガアルノデアリマ

ス、ソレ等ノ人ニ對シテモ矢張此ノ本議場デ決メラレタコトガ、豫算委員會

ニ於テ更ニ其質疑ヲ打切ルト云フ風ナコトガ、又發議サレルコトノ動議ガ更

ニ起ルカモ知レヌト思フノデアリマス、ソレデ只今質問打切ルト云フ動議ヲ

提出セラレタ林伯ニ、尙ホ私ハ念ノ爲ニ聞イテ置キタインデアリマス、ソレ

ハ茲ニ於テ豫算ヲ打切ルト云フコトニシテ、昨日交渉シタコトニ背イテ豫算

ノ打切リシタ……質問打切リノコトニ致シタケレドモ、更ニ此豫算委員會ニ

於テ質問打切りト云フ動議ヲ、再ビ起サヌヤウニ保障ヲ得タイノデアリマ

ス、其御考ハ如何デアリマスカ、承ハッテ置キタイ
○伯爵林博太郎君 只今北條君カラノ御質問デアリマスガ、少シク私ニハ要領ヲ得マセヌノデアリマス、私ハ此際質問ヲ終結イタシテ、本案ヲ豫算總會ニ移スベシト云フ動議ヲ提出イタシマシタノデアリマス、ソレ以外ニ私ハ動

議トシテ提出イタシマセヌデシタト云フコトヲ申上グマス

○江木翼君 只今ノ林伯ノ御答デ此際質疑終結スルト云フ動議デアリマス

斯ウ云フコトデ即チ豫算委員長ガ報告セラレタ場合ニ於テ、更ニ質疑ヲ繼續シテ差支ナイ意味デアル、斯様ナ意味ノコトノ御動議デアルト拜聽イタシマ

シタガ、然ラバ其御動議ハ私ハ議院規則ニナイ御動議デアルト了承セザルヲ

得ヌノデアリマス、議院規則第百五條ニ定メテ居リマスガ、質疑ガ續出シテ

容易ニ終局ノ付カナイ場合ニハ、之ヲ打切ルコトガ出來ルト云フコトハ、質

疑ト云フモノヲ打切ッテ、サウシテ討議ニ入ラウ、斯ウ云フ目的ノ爲ニ第百

五條ハ出來テ居ル、今此際打切ッテモ、更ニ豫算委員長ノ報告ノ際ニハ質疑

スルコトガ出來ルト云フコトデアルナラバ、少シモ其目的ハ達スルモノデナ

イノデアリマス、從ヒマシテソレハ私ハ百五條ノ規定スル以外ノ事柄デアル

ト斷定シナケレバナラヌト思ヒマスルガ、議長ハ如何ニ御解釋ニナッテ居ル

ノデアリマスカ、其點ヲ議長ニ確メマス

○議長(公爵徳川家達君) 只今林伯爵ノ動議ハ、規則第百五條ニ該當シテ居ルト議長ハ認メテ居リマス

○江木翼君 ソレハ如何ナル論據ニ依テ左様ニ御決定ニナルノデアリマス

カ、百五條ト云フモノガ制定ニナリマシタノハ、一昨年ノ議會ニ於テ始メテ

出來タ條項デアルト、私ハ記憶イタシテ居ルノデアリマス、ソレ以前ニハ此

規定ハナカツタモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテソレ以來未だ曾

テ此條項ト云フモノハ適用シタルモノハナイノデアリマス、從テ何等先例ハ

ナイト思フ、而シテ其質疑ナルモノハ、其質疑ガ續出シテ容易ニ之ヲ纏メル

コトガ出來ヌ、是ハ冷カニ御覽ニナリマスト分リマスガ、質疑ガ續出シテ容

易ニ終局シナイト云フ場合ニ於テ、茲デ質疑ヲ打切ッテ討論ニ入ルト云フ……

討議ニ入ル目的ノ爲ニ此質疑ヲ打切ルト云フコトガ、百五條ニ依テ規定サレ

タモノト思ヒマス、從ヒマシテ斯ノ如キ所ノ先例ヲ茲ニ作ラレルト云フコト

ハ、私ハ甚ダ宜シカラヌコトデアルト思フノデアル、ソレトモ議院規則ニ依ラズニ、茲ニ新ニサウ云フ御先例ヲ作ラレルト云フコトデアリマスルナラ

子爵京極	高備君	子爵黑田	清輝君	子爵京極	高義君
子爵本多	忠鋒君	子爵吉田	清風君	子爵豐岡	圭資君
子爵秋月	種英君	子爵伊東	祐弘君	子爵松平	乘長君
子爵大河内	正敏君	子爵伊東	祐弘君	子爵野村	益三君
子爵白川	資長君	子爵米津	政賢君	子爵堤	雄長君
子爵丹羽	長德君	子爵渡邊	千冬君	子爵池田	政時君
子爵八條	隆正君	子爵西尾	忠方君	子爵新庄	直知君
子爵秋田	重季君	子爵竹屋	春光君	子爵牧野	一成君
子爵戸澤	正己君	子爵村上	敬次郎君	子爵板倉	勝憲君
子爵蒔田	廣城君	犬塚	勝太郎君	子爵北里	柴三郎君
嘉納	治五郎君	富谷	鉢太郎君	岡野	敬次郎君
大久保	利武君	河村	讓三郎君	河村	善益君
和田	彦次郎君	笠井	信一君	荒井	賢太郎君
岡	喜七郎君	石渡	敏一君	木場	貞長君
水野	鍊太郎君	男爵黒川	幹太郎君	鮫島	武之助君
高橋	幸世君	男爵中川	良長君	加藤	恒忠君
男爵眞田	高成君	男爵中川	良長君	橋本	圭三郎君
男爵藤堂	邦憲君	福永	吉之助君	南	弘君
山之内	一次君	中村	純九郎君	室田	義文君
磯部	四郎君	小山	健三君	竹越	與三郎君
安樂	兼道君	市來	乙彥君	佐藤	友右衛門君
早川	千吉郎君	大村	彥太郎君	八木	久兵衛君
和田	豊治君	伊藤	傳兵衛君	田中	源太郎君
伊藤	善吉君	鎌田	榮吉君	竹村	與右衛門君
桑原	義正君			鎌田	勝太郎君

成清信愛君

高倉	虎君	津村	紀陵君	金杉	英五郎君
中村	斂君	岡本	榮吉君	二階堂	三郎左衛門君
近岡	圓一郎君	藤本	閑作君	高橋	源次郎君
平尾	理三郎君	宮川	久一郎君	田中	清文君
成清	喜三郎君	横山	章君	三木	與吉郎君
反對者氏名	信愛君	櫻井	伊兵衛君		
松室	致君	侯爵鍋島	直映君	侯爵德川	圀順君
大島	健一君	侯爵大隈	信常君	侯爵佐佐木	行忠君
仲小路	一正君	子爵加藤	高明君	男爵山根	武亮君
内田	宣麿君	男爵宇佐川	高千穂	北條	時敬君
男爵阪谷	廉君	男爵名和	千穂	江木	千之君
男爵山内	長憲君	男爵名和	和	石塚	英藏君
男爵新田	嘉吉君	男爵内田	芳郎君	男爵西村	精一君
男爵毛利	忠純君	男爵内田	正敏君	男爵古市	公威君
男爵船越	光之丞君	男爵内田	岡田	男爵太秦	供康君
男爵安場	末喜君	男爵平野	良平君	男爵西	紳
男爵伊達	篤秉君	男爵若王子	具威君	男爵坂本	守正君
男爵横山	隆俊君	男爵千秋	長祥君	男爵藤井	俊篤君
男爵赤松	範一君	季隆君	福原	男爵山内	包總君
男爵二條	正麿君	男爵永山	中村	男爵山内	鎌二郎君
男爵野田	龜喜君	男爵神山	是公君	男爵山内	鎌二郎君
男爵周布	兼道君	郡昭君	厚君	男爵北大路	實信君
男爵島津	健之助君	資治君	男爵坪井	九八郎君	
		男爵清水	男爵土屋	男爵永山	
		男爵今園	光金君	男爵永山	
		國貞君	盛興君	男爵岩倉	
				男爵調所	
				男爵藤村	
				男爵矢吹	
				省三君	
				義朗君	
				恒徳君	
				道俱君	
				義朗君	
				敏三君	

男爵藤田 平太郎君

原 保 太 郎 君

阪本 鈴之助君

安立 綱之君

伊澤 多喜男君

岡田 文次君

片岡 直輝君

星島 謙一郎君

橋本 辰二郎君

高橋 隆一君

江木 翼君

鈴木 捜兵衛君

西川 勝五郎君

富永 猿雄君

湯淺 倉平君

石橋 謙二君

矢口長右衛門君

根津 啓吉君

○子爵前田利定君

○議長(公爵徳川家達君)

谷森 真男君 三宅 秀君
藤田 四郎君 仁尾 惟茂君
若槻 禮次郎君 高田 早苗君
川上 親晴君 菅原 通敬君
田所 美治君 西久保 弘道君
江木 翼君 湯浅 倉平君
鈴木 捜兵衛君 石橋 謙二君
西川 勝五郎君 矢口長右衛門君
高橋 隆一君 根津 啓吉君
富永 猿雄君 貴族院議長公爵徳川家達殿

府縣制中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正十一年三月二十三日

右特別委員長
大久保 利武

北海道會法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正十一年三月二十三日

右特別委員長
大久保 利武

北海道地方費法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正十一年三月二十三日

貴族院議長公爵徳川家達殿
右特別委員長
大久保 利武

貴族院議長公爵徳川家達殿
右特別委員長
大久保 利武

市制中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正十一年三月二十三日

右特別委員長
大久保 利武

貴族院議長公爵徳川家達殿
右特別委員長
大久保 利武

○議長(公爵徳川家達君)

○議長(公爵徳川家達君)

○議長(公爵徳川家達君)

府縣制中改正法律案外四件 第一讀會ノ續(委員長報告)
大正十一年三月二十五日 府縣制中改正法律案外四件 第一讀會ノ續(委員長報告) 九一九

右特別委員長
大久保 利武

貴族院議長公爵徳川家達殿

「大久保利武君演壇ニ登ル」

○大久保利武君　府縣制中改正法律案ノ委員會議事ノ模様ヲ申上ダマス、本案ノ大體ノ説明ニ付テハ、本議場ニ於テモ政府委員ヨリシテ既ニ述べラレテ居リマスルガ、尙ホ委員會ニ於キマシテモ詳細ニ其説明ヲ求メマシテ、議事ヲ進メタ譯ニアリマスルガ、詳細ナルコトハ會期切迫ノ折柄デゴザイマスルカラシテ、速記録ニ譲リマシテ、極ク大體ノコトヲ御参考ニ申上ゲマスル、本案ノ改正ノ要旨ハ、選舉權及ビ被選舉權ノ擴張ト、ソレニ伴フ手續上ノコトガ改正ノ要旨ニナッテ居リマシテ、其他改正ニ選舉權ニ關係ノナイコトガ多少アリマスルガ、大體ハ右ノ要旨デゴザイマスル、第一ガ選舉權ノ擴張、現行法ニ依リマスルト云フト、選舉有權者ノ數ガ、大正八年ニ改正ニナリマシタ衆議院議員ノ選舉有權者ノ數ト餘程ナ懸隔ヲ生ズルコトニナリマシテ、現行ノ府縣制ニ於キマシテハ、人口百人ニ付五人一分、衆議院議員ノ選舉有權者ノ數ニ比ベマスト云フト、人口百人ニ付キ五人四分ト云フ、比較ニナッテ居リマシテ、而モ世運ノ進歩ハ選舉權ノ擴張ノ必要ヲ認メマスルノデ、今回擴張ノ案ヲ提出サレタルコトニナッテ居リマスル、從來ノ選舉權ノ資格ニ於キマシテハ、府縣内ノ市町村公民デアッテ、其上ニ府縣内ニ於テ一年以内直接國稅ヲ納ムルコトヲ要件ト致シタノデアリマシテ、稅額ノ多寡ハ之ヲ問ハヌコトニナリマシタ、斯ノ如ク選舉權ヲ擴張イタシマスルガ、今回ノ改正案ニ付マシテハ、府縣内ノ市町村公民ニシテ、其府縣内ニ於テ一年以内直接國稅ヲ納ムルコトヲ要件ト致シタノデアリマシテ、稅額ノ多寡ハ之ヲ問ハヌコトニナリマシタ、斯ノ如ク選舉權ヲ擴張イタシマスルベ、其結果トシテ有權者ノ數ハ二百四十餘萬人ヨリシテ、五百三十四萬餘人ニ増シマシテ、結果百人ニ付キ十人ト云フ增加ニナルノデアリマス、第二ノ被選舉權ノ擴張ノコトヲ申上ゲマスガ、被選舉權ノ有權者資格ハ直接國稅十圓以上ノ納稅者デアッテ、現行ノ選舉有權者ハ三圓以上、斯ノ如ク等差ガ付イテ居ツタノデアリマスルガ、今回ノ改正ニ於キマシテハ、被選舉權モ亦選舉權ノ方モ共ニ稅額ハ要セヌト云フコトニシテ、單ニ直接國稅ヲ納ムルト云フコトニナッタノデアリマスル、第三ニ改正ノ要點トナッテ居リマスルノハ、郡區ノ區域ニ依ル即チ現行法ノ選舉區ヲ、更ニ數選舉區ニ分ツコト

云フ規定ヲ設ケタノデアリマス、此理由ハ前申上ゲマシタ如ク、選舉有權者ガ約倍加イタス結果ニナリマシタカラシテ、選舉區ノ中デ有權者ノ多イ所ハ選舉競爭激甚ヲ來スト云フ傾キヲ生ジマス、又選舉費用モ從ツテ多キヲ要シ、開票ノ場合ニ於キマシテモ、種々ナル問題ヲ生ジ、時間手數等ノ掛ル爲ニ從來ノ經驗ニ依リマシテ、色々問題ヲ生ズルト云フ虞ガアルシ、弊害ヲ認メマシタノデ、府縣會ノ議決ヲ經テ内務大臣ノ許可ヲ得テ、選舉區ヲ數區ニ分ツテ、選舉ヲ行フト云フコトノ出來得ル規定ガ設ケラレダノデアリマス、第四ニ補缺選舉ニ關スル規定ヲ改メタコト、第五ガ選舉手續ニ關スル改正、是等ハ多ク衆議院議員選舉法ニ倣ヒマシテ、府縣制ノ上ニモ改正ヲ加ヘラレタノデアリマス、細カイコトハ速記録ニ譲リマス、第六、府縣會議員被選舉權ノ有無ニ關スル異議ノ出來タ場合ニ、府縣參事會ノ權限ヲ擴張シタコトデアリマス、第七ガ地方ニ於テ此點ガ選舉ノコトニ付テ關係シテ居ラヌ點デアリマスガ、即チ地方ニ於テ手數料ノ新設増額ト云フコトニ付テ、内務大臣ノ許可ヲ要スルト云フコトニナッテ居ツタノガ、知事限リニ於テ之ヲナシ得ルト云フコトニ致シマシタ、又府縣知事ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ、府縣吏員ニ委任スルト云フヤウナ事務管掌ノ上ニ於ケル改正デアリマス、第八ニ最後ニ附則ノ規定ガゴザイマスガ、是ハ府縣會議員ノ選舉權及ビ被選舉權ヲ定メル場合ニ於テ、昨年市町村制ガ改正ニナリマシテ、公民ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行スルト云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、未ダ改正市町村制ノ實施ニナラヌ市町村モアリマスルノデ、從テ新舊兩方ノ規定ヲ生ズルコトガアルノデアリマスルカラ、今回選舉權ノ擴張ト云フ趣意カラシテ、未ダ市町村制ノ實施シテ居ラナイ町村デモ、之ヲ適用シ得ルト云フ附則ノ改正ガゴザイマス、要スルニ本案ハ選舉權及ビ被選舉權ノ擴張ト其手續ノ改正ガ要點デアリマスル、大體ノ説明ヲ委員會ニ於テ政府當局ヨリ求メマシテ、然ル後ニ質疑ニ移リマシタ、其質疑ノ要點ハ、斯ノ如ク選舉區ヲ小サク數選舉申上ゲマシタ郡市ノ區域ニ依リ現行法ノ選舉區ヲ、更ニ數選舉區ニ分ツコトヲ得ル規定ヲ設ケラレタ、此點デゴザイマス、此點ニ付テ委員ノ中ヨリシテ段々御質疑ガアリマシタ、其質疑ノ要點ハ、斯ノ如ク選舉區ヲ小サク數選舉申上ゲマシタ郡市ノ區域ニ依リ現行法ノ選舉區ヲ、更ニ數選舉區ニ分ツコト少數ノ政黨トノ間ニ於テ、選舉ヲ爭フ時分ニ不公平ヲ生ズル虞ガナイカト云フ點、又此改正案ノ第二項ニ勅令ヲ設ケルト云フコトニナッテ居リマスガ、

唯勅令ニナルカ、此數選舉區ニ分ツ上ニ付テノ標準ヲ設ケ得ルコトガ出來ヌモノデアラウカト云フヤウナ質問ヲ起シタノデアリマス、之ニ對シテ政府委員ハ、成程サウ云フコトモアリ得ルカモ知レヌデアルガ、併ナガラ府縣知事ガ地方ノ事情、選舉區ノ模様ニ依テ府縣會ニ之ヲ諒リ、且ツ監督官廳ガ之ヲ審議シテ許スト云フコトデアレバ、サウ云フ虞モ無カラウト思フ、又標準ヲ設クルコトガナカニカ各地色ニナ事情モ異ナルコトデアルカラシテ、標準ヲ設クル譯ニモ行カヌト云フ答辯デアッタノデアリマス、其他ニ段々質疑ガゴザイマシタガ、最モ質疑ノ要點ニナツテ居リタノハ其點デアリマス、大體ノ質疑ヲ終リマシテ、討論ニ移ツタ際ニ、委員ノ中ヨリシテ此府縣會規則ノ第四條ニ左ノ二項ヲ加フ、改正案ニアリマスル、冒頭ニアリマスル條項デアリマスルガ、此四條ニ左ノ二項ヲ削除シタイト云フ意見ガ出テ參リマシテ、其理由トシテハ先刻述ベラレマシタ質疑ノ要旨ト同様デアッテ、ドウモ近時ノ選舉ノ模様カラシテ、數選舉區ニ分ツト云フコトハ往々弊ノ出易イコトデアッテ、不公平ニ流レルト云フ心配ガアル、例ヘバ府縣會ノ決議ヲ經、大臣ノ許可ヲ受クルトシテモ、其弊ハ矯メルコトガ出來ヌデハナイカ、無論此條項ハ削除シテ現行ノ儘ニシテ置キタイト云フ說デ、此削除說ガ出マシタ、又ソレニ對シテ原案贊成ノ說モ出タノデアリマス、其ノ原案ノ贊成ノ說トシテハ、成程サウ云フ弊モアルデアラウガ、併ナガラ選舉有權者ノ倍加シタル今日、選舉區ヲ現行ノ儘ニシテ置クト云フコトガ、地方ニ依テハ隨分競爭激甚デ、種々ノ弊害ガ出ルデアラウ、又現行ノ郡制ノ中ニモサウ云フ規定ハ既ニアルノデアッテ、而モ府縣會ノ議決ヲ經テ、知事ガ内務大臣ノ許可ヲ受ケテアルコトデアレバ、必シモサウ云フ弊害モ起ルマイ、十分ニ監督モ行ヒ得ルト云フコトニ信賴ヲシテ行ツテ宜カラウ、各利害得失論モアルケレドモ、改正案ヲ以テ必要ト認ムルト云フ原案贊成ノ說モ出タノデアリマス、採決ニ際シマシテ、此第四條ノ新タニ加ハリマシタ二項ニ對スル削除說ガ二名デゴザイマシテ、原案贊成ガ四名デ、結局原案ガ可決サレマシタ、其他ニハ別ニ何等御意見モ出ナカッタノデアリマス、斯ノ如クシテ府縣制中改正法律案ハ原案ノ通リニ可決イタシマシタコトデアリマス、添ヘテ申上ゲテ置キマスルガ、原案ハ衆議院ニ於テ第六條ノ外少シ修正ニナツテ居リマスルガ、是ハ既ニ政府ニ於テモ同意ニナツテ居ルコトデアリマスルカラシテ、本員ガ原案ト申シマシタノハ、此衆議院ニ於テ修正ニナツタモノヲ含ンデノコトト御承知ヲ願ヒマ

スル、次ニ北海道地方費法中改正法律案、本案モ委員會ニ於キマシテ、大體ノ説明ヲ求メタノデアリマスルガ、極ク簡單ニ其要點ヲ申述ベマスルト云フト、北海道ハ近時段々發達シテ參リマシテ、現行ノ北海道會、並ニ北海道地方費法ト云フモノハ、何レモ明治三十四年ノ制定デアリマシテ、其後二十年間ニ於ケル人口ノ上ニ、且ツ地方費經濟ノ上ニ於テモ非常ナ發達ヲ來シテ居リマシテ、現行ノ制度ヲ以テ之ヲ維持シテ行クト云フコトハ、北海道ノ現状ニ照シテ之ヲ許スコトガ出來ナイ進歩ノ實況ニナツテ居リマスノデ、今回改正ヲ試ミルコトニナツタノデアリマスル、即チ北海道會法ニアリマシテハ、第一選舉權ノ擴張、被選舉權ノ擴張、並ニ道會ノ權限擴張、又北海道ニ新シク參事會ヲ設ケルト云フ如キコトガ要點ニナツテ居リマスル、又北海道ニ於ケル特別ノ事情ニ依ルモノノ外ハ、大體ニ於キマシテハ今回ノ改正ハ府縣制ノ規定ニ依ルコトナツテ居リマスル、尙ホ選舉區、議員ノ定數、選舉區ヨリ選出スペキ議員ノ數、是等ハ從來勅令デ規定ニナツテ居リタノデアリマシテ、内地ノ現行法トハ異ナツテ居リマスルガ、併ナガラ是等ノコトハ道會組織ノ基礎トモ言フベキ重要ナ事項デアリマスカラシテ、總テ之ヲ法律ヲ以テ規定スルコトニ致シマシテ、今回改正ニナリマスル道會法中ニハ、總テ統一スルコトニ致シマシテ、今後改進ニシテ行クト云フコトニナツテ居リマス、選舉權及び被選舉權ニ付マシテモ、北海道ハ内地ト違ヒマシテ、土地ノ所有者ニ對ウナルカト云フト、十四萬一千餘人ニナリマシテ、現行法ニ依ル有權者ノ四萬六千餘人ニ比ベテ約三倍ノ増加ヲ見ルコトニナツテ居リマス、選舉權及シテ選舉權竝ニ被選舉權ヲ認メルコトニナツテ居リマシテ、即チ二年以來同一ノ市町村内ニ住所ヲ有シ、二年以來其ノ市町村ノ費用ヲ負擔スルト云フコトノ規定ニナツテ居リマシテ、而モ其土地ノ種類ハ更ニ何等ノ制限ヲ置カナシテ云フコトニナツテ居リマスル、次ニ北海道會ノ權限ノ擴張デアリマス、是シテ、今回内地ノ府縣會ト其權限ヲ同一ニスルト云フコトヲ適當ト認メマシテ、大ニ擴張ニナツテ居リマスル、又今回改正ノ一要點トシテハ、從來北海道廳ニハ府縣同様ナ參事會ト云フモノハナクシテ、參事會ガ行フ所ノ職務權限ハ總テ道廳ノ長官ガ之ヲ行フコトニナツテ居リマシタガ、今回ノ改正ニ際シマシテ、北海道廳ニモ内地府縣同様ニ參事會ヲ設ケルト云フコトニ致シマシテ、其組織權限等モ總テ内地ト同様ニナリマシテ、名譽職參事會員ノ

數モ十人ト云フコトニナリマシタ、此北海道地方費法中改正法律案デアリマスルガ、是ハ北海道法改正案ト密著ノ關係ヲ有ツテ居リマスルカラシテ、同時ニ之ヲ、内容ト委員會ノ經過ヲ申上ゲタ方ガ便宜ト存ジマスルカラシテ、一括シテ申上ゲルコト致シマスル、北海道ノ地方費法ハ是マデハ地方稅ノ賦課竝ニ徵收、支出費用等極ク其大綱ノコトヲ規定シテアッテ、其他ノ重要ナ事項ハ地方費令及ビ單行勅令デ定メテ居ツタノデ、是亦地方費中ニ統一スル必要ヲ認メマシテ、大體府縣制ノ規定ヲ準用スルコトニ改ツタノデアリマスル、尙ホ詳細ノコトハ速記録三月二十五日ニ讓リマシテ、北海道會法、北海道地方費法中改正法律案、此二案ノ内容ハ唯今申上ゲル通リデアリマスル、此兩案トモ委員會ニ於キマシテ質疑應答ヲ重ネマシテ、討論ニ移ツタノデアリマスルガ、此兩案トモ何等意見ハゴザイマセヌ、原案通りニ全員一致デ可決イタシマシテゴザイマス、次ニ市制中改正法律案、此案ハ現在北海道ニアリマスル札幌、函館、小樽、旭川、室蘭、釧路ノ六區、此六區ニ市制ヲ布イテ市トスル爲ニ、法律ノ改正ヲ行フ案デゴザイマスル、從來此現行ノ市制ハ、町村制ヲ施行シテ居ナイ地域ニハ之ヲ行ハナイト云フ主義ヲ執ツテ居リマシテ、北海道ノ如キ町村制ヲ施行シテ居ラヌ所ニハ、市制ノ施行ハ出來ヌコトニナツテ居リマスル、依テ現行ノ市制ヲ改正イタス必要ヲ見ルノデアリマスル、又現行ノ市制ハ府縣制ヲ施行スル府縣管内ノ市ニ之ヲ適用スルノガ原則デアリマシテ、府縣制ヲ施行シテ居ラナイ北海道ニ市制ヲ施行スルニ付マシテハ、市制中ニ相當ノ改正ヲ加ヘル必要ガアルノデ、今回提出ニナリマシタ、百七十七條ノ改正及ビ附則ヲ設ケル必要ヲ見ルコトニナツタノデアリマス、斯ノ如ク町村制ヲ改正シ、又市制ノ中ノ百七十七條ノ規定ヲ新ニ設ケテ、以テ現在北海道ニアリマスル六ツノ區ヲ市制ノ市ニナシテ、此地ニ市制ヲ施行スルト云フ目的デアルノデアリマスル、本案モ政府委員ノ説明ヲ求メ質疑應答ヲ重ネテ討論ニ移リ、全會一致何等異議ナク可決シタノデアリマス、次ニ大正九年法律第十二號中改正法律案、此案モ簡單ナ案デゴザイマシテ、從來樺太ニハ所得稅ノ實施ニ付マシテ所得稅ノ第一種所得稅ノミガ樺太ニ行ハレテ居ツテ、第二種三種ハ行ハレテ居ラナカツタノデアリマス、ソレヲ今回第二種三種トモ樺太ニ之ヲ施行スルコトニナリマシタノデ、本案ノ改正ヲ爲スニ至ツタノデアリマスル、是亦詳細ナルコトハ速記録ニ依テ御覽ヲ願フコトニ致シマシテ、詳細ハ略シマスル、本案モ政府委員ノ説明ヲ求メ、質

疑應答ヲ重ネマシテ討論ニ移リマシタガ、何等別ニ意見モナク全會一致ヲ以テ可決イタシタノデアリマスル、以上極メテ大體ニシテ極要點ダケヲ申上ゲタノデアリマスガ、前申上ゲマスル通リ會期切迫ノ折デアリマスカラ速記録ニ讓リマシテ、大體ノ委員會ノ經過結果ヲ御報告申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今大久保特別委員長ノ報告セラレマシタ、日程第三ヨリ第七迄ノ法案ヲ、第二讀會ニ移スコトニ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 五案ノ第二讀會ヲ直チニ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、五案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ五案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第八、刑事訴訟法案、政府提出、衆議院送付第一讀會ノ續、委員長報告、寺島伯爵

刑事訴訟法案

右別冊ノ通改正セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十三日

右特別委員長

伯爵寺島誠一郎

〔特別委員ノ修正ニ係ル條ノミナ印刷ス〕
〔小字ハ修正文、一ハ同削除ノ符號ナリ〕

〔第百二十九條ナ第百三十條ニ改ム〕
〔第百三十一條 第九十七條、第九十八條及第百條乃至第百十條ノ規定ハ第百二十三條及第百二十九
條ノ勾引又ハ勾留ニ付之ヲ準用ス〕

〔第百三十條ナ第百三十二條ニ改メ以下第百六十七條マテ條數順次繰下ク〕
○ハ第百二十三條各號ノ

〔第百二十三條 左ノ場合ニ於テ急速ナ要シ判事ノ勾引狀ナ求ムルコト能ハサルトキハ檢事ハ勾引狀
ヲ發シ又ハ之ヲ他ノ檢事若ハ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

一 被疑者定リタル住居ナ有セサルトキ

二 現行犯人其ノ場所ニ在ラサルトキ

三 現行犯ノ取調ニ因リ其ノ事件ノ共犯ヲ發見シタルトキ

四 既決ノ囚人又ハ本法ニ依リ拘禁セラレタル者逃亡シタルトキ

五 死體ノ檢證ニ因リ犯人ヲ發見シタルトキ

六 被疑者常習トシテ強盜又ハ竊盜ノ罪ヲ犯シタルモノナルトキ

〔第百二十三條ナ第百二十四條ニ改メ以下第百二十五條マテ條數順次繰下ク〕
○又ハ勾引狀ノ執

〔第百二十六條 司法警察官現行犯人ヲ逮捕シ又ハ之ヲ受取り○タルトキハ

行ナ受ケタル被疑者ヲ受取り

即時訊問シ留置ノ必要ナシト思料スルトキハ直ニ釋放スヘシ留置ノ必要

アリト思料スルトキハ遲クトモ四十八時間内ニ書類及證據物ト共ニ之ヲ

地方裁判所若ハ區裁判所ノ檢事又ハ相當官署ニ送致スル手續ヲ爲スヘシ

〔第百二十七條 司法警察官吏檢事又ハ司法警察官ノ命令ニ因リ現行犯人ヲ

逮捕シ○タル場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依ラス速ニ之ヲ命令シタル檢

事又ハ司法警察官ニ引致スヘシ

〔第百二十八條 檢事現行犯人ヲ逮捕シ又ハ之ヲ受取り○タルトキハ遲クト

タル被疑者ヲ受取り

モ一十四時間内ニ訊問シ留置ノ必要ナシト思料スルトキハ直ニ釋放スヘ

シ留置ノ必要アリト思料スルトキハ速ニ公訴ヲ提起シ又ハ書類及證據

物ト共ニ之ヲ管轄裁判所ノ檢事又ハ相當官署ニ送致スル手續ヲ爲スヘシ

檢事他ノ檢事ヨリ被疑者ヲ受取りタルトキハ前項ノ手續ニ準シ處分スヘ

シ但シ留置ノ必要ナシト思料スルトキハ勾留ヲ取消スヘシ

檢事他ノ檢事ノ囑託ニ因リ被疑者ニ對シ勾引狀ヲ發シタル場合ニ於テハ第一項ノ手續ニ依ラス速

ニ之ヲ囑託シタル檢事ニ送致スヘシ

〔第百六十九條ナ第百七十二條ニ改メ以下第百七十二條マテ條數順次繰下ク〕
○ハ第百七十二條各號ノ

(第百七十九條ヲ第百八十一條ニ改メ以下第二百十一條マテ條數順次繰下ク)
○ハ第二百二十三條各號ノ場合又ハ

第二百十二條 檢事。現行犯人ヲ逮捕シ又ハ之ヲ受取リタル場合ニ於テ急

速ヲ要スルトキハ公訴提起前ニ限リ第百八十二條乃至第二百九條ノ規定ニ準シ證人ヲ訊問シ又ハ其ノ訊問ヲ他ノ檢事若ハ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

司法警察官ハ前項ノ場合ニ於テハ公訴提起前ニ限リ第百八十二條乃至第二百九條ノ規定ニ準シ證人ヲ訊問シ又ハ其ノ訊問ヲ他ノ司法警察官ニ命令シ若ハ囑託スルコトヲ得

(第二百十三條ヲ第二百十五條ニ改メ以下第二百五十二條マテ條數順次繰下ク)

付強制ノ處分ヲ必要トスル
罪證ヲ湮滅シ又ハ之ヲ使用シ難キ

第二百五十三條 檢事捜査ヲ爲スニ當リ罪證ヲ湮滅シ又ハ之ヲ使用シ難キニ至ル虞アルトキハ公訴ノ提起前ト雖押收、搜索、檢證及^{○被疑者ノ勾留}、^{○被疑者ノ勾留}人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ其ノ所屬地方裁判所ノ豫審判事又ハ所屬區裁判所ノ判事ニ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル請求ヲ受ケタル判事ハ其ノ處分ニ關シ豫審判事ト同一ノ權ヲ有ス

(第二百五十四條ヲ第二百五十六條ニ改ム)

第二百五十五條 第二百五十五條ノ規定ニ依リ被疑者ヲ勾留シタル事件ニ付十日内ニ公訴ヲ提起セサルトキハ檢事ハ速ニ被疑者ヲ釋放スヘシ

五

第二百五十三條ノ規定ニ依リ押收ヲ爲シタル事件ニ付公訴ヲ提起セサル處分ヲ爲シタルトキハ檢事ハ速ニ押收物ヲ還付スヘシ但シ必要アル場合ニ於テハ公訴ノ時效完成スルニ至ル迄之ヲ保管スルコトヲ得

(第二百五十六條ヲ第二百五十八條ニ改メ以下第五百五十三條マテ條數順次繰下ク)

五百五十四條 上訴申立後ノ未決勾留ノ日數ハ左ノ例ニ依リ之ヲ本刑ニ通算ス

一 檢事ノ上訴ナルトキハ勾留日數ノ全部

二 檢事ニ非サル者ノ上訴ナルトキハ勾留日數ノ二分ノ一

前項ノ規定ニ依ル通算ニ付テハ未決勾留一日ヲ刑期ノ一日又ハ金額ノ一圓ニ折算ス

上告裁判所原判決ヲ破毀シタル後ノ未決勾留ハ上告中ノ未決勾留日數ニ

準シ之ヲ通算ス

(第五百五十五條ヲ第五百五十七條ニ改メ以下第六百三十條マテ條數順次繰下ク)
(各條項本文中ノ條數ハ修正ノ結果ニ依リ整理スルモノトス)

「伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル」

○伯爵寺島誠一郎君唯今日程ニ上ボリマシタ、刑事訴訟法案特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ、時間ノ餘リアリマセヌコトニ鑑ミマシテ、最モ簡単ニ御報告申上ダマス、唯今ゴザイマス所ノ即チ現行ノ刑事訴訟法ト申シマスノハ、明治二十三年ノ頃ニ出來マシタモノデアリマス、至テ不備不完全ナモノト云

レル點モ少ナクナイノデアリマス、或ハ是ガ爲ニ人ヨリ誤解セラレテ、人権蹂躪ナドノ聲モ聞クコトモアルノデアリマス、其外色ノノ點ニ於キマシテモ窮屈ナ箇所ガアリマス、是等ノ點ヲ改善シ又時勢ニ適應スルヤウニスルノ必要ガアルノデアリマシテ、今度新タニ此刑事訴訟法案ナルモノガ政府ヨリ提出サレタノデアリマス、扱今度政府ヨリ提出サレタ所ノ結晶デアルノデアリハ、三十年來司法當局ハ勿論、政府ノ苦心トサレタ所ノ結晶デアルノデアリマス、而シテ刑法、監獄法等今後改正セラルベキ法典ノ先驅トナッテ出テ來タモノト思ハレルノデアリマス、扱唯今ノ刑事訴訟法ハ、明治二十八年十二月刑事訴訟法調査委員會ト云フモノガ出來マシテ、其手デ調査イタスコトニナツタノガ、最初ノ此刑事訴訟法ニ對スル研究ノモノデアッタノデアル、三十年ニ至リマシテ此調査會ハ……調査委員會ハ一ツノ草案ヲ得タノデアリマス、ソレカラ後或變化ヲ經マシテ、法典調査會ト云フモノノ手ニ此刑事訴訟法調査委員會デ拵ヘタ草案ガ移ルコトニナツタノデアリマス、三十四年ニ至テ略、出來上リマシタノデ、關係方面ヘ其草案ヲ覽示サレタノデアリマス、關係方面ト云フト、裁判所即チ檢事局及ビ辯護士會ノヤウナ方面ヲ指シタノデアリマス、ソレ等ニ覽示シテ、ソレ等ノ意見ヲ徵シタト云フコトデアリマス、四十一年ニ至リマシテ法律取調委員會ト云フモノガ出來マシタノデ、又其手ニ此法典調査會ノ手カラ移ルコトニナツタノデアリマス、其間法典調査會ハ廢止サレタコトデアリマス、大正二年ノ十月ニ此法律取調委員會ノ手ニ於テ又

一つノ成案ヲ得テ、尙ホ進シテ研究ヲサレタノデアリマス、大正五年ノ五月ニ至リマシテ、此ノ未定稿ヲ今度ハ以前ヨリモ範圍ヲ廣クシテ、各方面ニ公表シテ、更ニ意見ヲ徵セラレタノデアリマス、其方面ハドチラカト申シマス

ト、検事局ハ勿論……裁判所ハ勿論、檢事局、大學、其他各私立大學、其他ノ關係ノ官衙官廳等ト、自分ハ存ジマスガ、其方面ニ公表シテ更ニ意見ヲ徵シタノデアリマス、七年ノ九月ニ其結果トシテ三タビ稿ヲ改メテ、初メテ完了シタモノデアッタノデアリマス、尙ホ九年ノ四月ニ刑事訴訟法改正調査委員會ト云フモノガ出來テ、更ニ其事業ヲ繼續シテ、昨年秋ニ及ンダノデアリマス、遂ニ昨年ノ八月二十四日ヲ以テ完備シタ草案ガ、即チ今日諸君ノ前ニアル所ノ刑事訴訟法案デアルノデアリマス、扱御承知ノ通リ……御覽ノ通リノ大法典デゴザイマス、其内容ノ大綱ダケモ申上ダマスレバ、九編ニ分レテ居リマス、ソレニ附則ガ屬シテ居リマス、第一編ト致シマシテハ總則、次ニ第一審ニ關スル規定ヲ掲ゲテアリマス、次イデ上訴、大審院ノ特別權限ニ屬スル訴訟手續、再審、非常上告、略式手續、裁判ノ執行及ビ私訴ノ九編ニ分レテ居ルノデアリマス、ソレデ今度ノ刑事訴訟法ノ要點ハ、極ク簡略ニ申上ゲマスレバ、以前カラ見ルト手續ヲ非常ニ改善シテアルモノデアリマス、次ニ検事、ソレカラ被告、裁判所、第三者、ソレニ付テ色ニノ點ニ於テ便宜ヲ圖リ窮屈ヲ除キ、改善シタモノデアリマス、即チ檢事ノ方ニ付マシテハ、搜查ノ手段ニ便シマス證據蒐集ヲ容易ニスル、斯ウ云フヤウナコトデゴザイマス、被告ニ付マシテハ、被告ノ防禦權ヲ許シタコトデアリマス、裁判所ニ付マシテハ近來世界ニ、ト申シマシテハ少シ大キ過ギルカモ知レマセヌガ、大體ニ於テ各國ニ於テ認メラレテ來テ居リマスノハ、刑事訴訟法トハ遠ザカッテ居ルガ爲ニ、今日ノ新刑事訴訟法ニ於テ是等ノ點ニ注意ヲ與ヘタノデアリマス、又公判準備手續ガ前ニハ不備デアッタノヲ改善シタノデアリマス、第三者ニ付マシテハ、此訴訟ノ爲ニ第三者ガ蒙ル迷惑等ヲ出來ルダケ減ジタト云フノデアリマス、諸政府ノ提案ニナリマシタ此刑事訴訟法案ニ付マシテハ、衆議院ニ於キマシテ幾多ノ修正ヲ加ヘタノデアリマス、此修正ニ對シマスル政府ノ考ハ、ドウデアルカト云フコトヲ、委員會ニ於テ尋ねマシタ所ガ、大體修正ニ付テハ、政府ハ同意シテアルガ、或ハ強ヒテ不同意ハ唱ヘタイノデアマシテ以來、慎重ニ審査ヲ致シタ次第デアリマス、殊ニ小委員會ヲ設ケマシテ八名、委員長、副委員長ヲ加ヘタ小委員會デアリマス、此八名ノ小委員會ニ於テ再三再四此全編ニ通ジテ政府ヨリ説明モ聞キ、又質疑モ致シマシテ、

十分ノ答辯モ得テ、或一ツノ、衆議院修正ニナッテ此ノ本院ノ議ニ上ボリマシタ刑事訴訟法案ニ付テ、更ニ修正ヲシタ次第デアリマス、此修正モ詳シク申上ダルト宜シイノデアリマスガ、其小委員會ニ於テ決定ニナリマシタ修正ハ或一ツノ考カラシテ遂ニ其通リニハ委員會ニ於テ決シナイコトニナッタコトデアリマスガ、時ノナイ爲ニ便宜上小委員會ノ修正報告ハ之ヲ略スルコトニシテ、皆様ニ於テ速記録ニ付テ詳細御承知ニナラムコトヲ願ッテ置クコトニ致シマス、扱委員會ニ於キマシテハ、小委員ノ修正報告ヲ得マシテ、其後ニ更ニ慎重考慮ヲ加ヘテ、斯ウ云フ趣意ヲ以チマシテ考慮ヲ加ヘテ、昨日來御手研究シ、衆議院デ最モ重キヲ置イタ修正ノ件ト考ヘラルモノヲ、悉ク原案第デアリマス、其意味ト申シマスルノハ、小委員修正ト衆議院修正トヲ比較ニ復活サレタ、即チ小委員ニ於テ復活サレタ、此修正ヲ以テ衆議院ニ望ムトキハ、同意ヲ得ルコトハ甚ダ困難デアラウ、一方此刑事訴訟法ノ如キ國家必要ノ大法案ヲ一日モ早ク施行スルコトヲ希望スル精神カラ之ヲ見レバ、自然兩院ノ協議會ヲ開クコトニモナラウ、或ハソレガ爲ニ遂ニ期日切迫ノ折柄デアルカラ、審査ノ上ニ豫測スベカラザル障礙ヲ見ルコトモアレバ、遺憾此上モナイコトニナル、故ニ茲ニ衆議院ノ修正ニ敬意ヲ表シ、併セテ小委員修正ノ要點ニモ大イナル關係ヲ生ゼザル範圍ニ於テ、妥當ナル案ヲ得ルニ於テハ此案ノ通過ヲ見得ルコトデアラウト云フ御趣意デ、此御手許ニ廻ツテ居ル修正モナイコトニナル、故ニ茲ニ衆議院ノ修正ニ敬意ヲ表シ、併セテ小委員修正致ヲ以テソレヲ可決確定スルコトニナツタノデアリマス、其質問應答ニ於テハ、後デ一寸申上ダマスルガ、斯ノ如キ次第デアリマスルガ故ニ、而シテ御承知ノ通リ此ノ本案ハ唯今茲ニ可決決定ニナリマシテモ、更ニ再ビ衆議院ノ方ニ回付サレベキモノデアリマスガ故ニ、十分御考慮ヲ加ヘラレテ、委員長報告通りニ可決確定アラムコトヲ偏ニ希望スル次第デアリマス、是ヨリ順序ハ遲レタヤウデアリマスガ、委員會ニ於ケル此條文ニ付テノ質問ノ極ク主ナモノダケラ、題材ダケデモ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、一番先ニ問題ニナリマシタノハ第六條デゴザイマシテ、是ハ事物ノ管轄トカ、土地ノ管轄トカマシテ以來、慎重ニ審査ヲ致シタ次第デアリマス、殊ニ小委員會ヲ設ケマシテ八名、委員長、副委員長ヲ加ヘタ小委員會デアリマス、此八名ノ小委員會ニ於テ再三再四此全編ニ通ジテ政府ヨリ説明モ聞キ、又質疑モ致シマシテ、

出タノデアリマス、政府ヨリ答辯ヲ得テ、其尋ネラレタ御方ニ満足ヲ與ヘタ
ヤウニ委員長ハ了解ヲ致シマシタ、次ニ第二十五條ニ於テ衆議院ガ第二項ヲ
加ヘテ居リマス、之ニ依テ辯護人ノ忌避權、獨立權ト云フモノヲ認メテ居リ
マスノデ、此件ニ付テモ委員會ニ於テハ質問應答ガアツタノデアリマス、次ニ
第三十六條法人ト云フモノハ、今日マデ其重役トカ代表者トカ云フモノニ依
テノミ訴訟ノ時ニハ代表サレテ居ツタノヲ、法人自ラガ此訴訟行爲ノ能力ヲ持
ツコトニナツタノデアリマシテ、其數人同シク法人ヲ代表スル場合ト雖、其訴
訟行爲ニ付テハ各自之ヲ代表スル、被告法人ナルトキハ其ノ代表者訴訟行爲
ニ付テハ各自之ヲ代表スル、被告法人ナルトキハ其ノ代表者訴訟行爲
第デアリマス、ソレカラ第六章ノ書類ト云フ點ニ付マシテ、即チ條文デ申シ
マスレバ、五十四條、五十五條、此豫審書類ト云フモノヲ、豫審調書ト云フ
モノヲ公表シテ、甚ダ人ノ名譽ヲ毀損スルト云フヤウナコトガ往々ニシテア
ルノデ、此點ニ付テハ十分政府デモ考慮ヲ加ヘラレテ、斯ウ云フヤウナ規定
ヲ茲ニ設ケラレタノデアリマス、即チ「訴訟ニ關スル書類ハ公判開廷前ニ於テ
ハ之ヲ公ニスルコトヲ得ス」今日ニ於テモ公判ニ付スルマデハ、豫審調書ト
云フモノハ公ニ出來ヌノデアリマスガ、此事件ヲ公判ニ付スル豫審調書ト
ノ最後ニアル其言葉ヲ以テ、モウ公判ニ付セラレタカラ、其調書ヲ發表シテ
モ宜イト云フ一つノ解釋モアル爲ニ、隨分公判ノ開廷前ニ新聞紙ナドニ豫審
ノ調書ガ出ルト云フコトハ我ニ見受ケル所デアリマシテ、是等ニ付テハ何
トカ一段ト考慮ヲ加ヘナケレバナラヌト云フヤウナ御注意ガ、委員會ニ於テ
出タノデアリマス、ソレ等ノ制裁等ニ付テハ、今度ノ新刑法ノ制裁ノ規定ニ
許可ヲ受ケ速記者ヲシテ公判ニ於ケル被告人又ハ證人ノ供述ヲ筆記セシムル
付テハ、當局トシテ十分考慮ヲシツツアルシ、又尙一層研究ヲスル積リデア
ルト云フ御答デアツタノデアリマス、第六十五條ニ於テハ辯護人ハ「裁判所ノ
コトヲ得」ト云フ新シイコトガ加ヘラレマシタ、即チ速記者ヲ裁判所ニ入レ
テ速記ヲ取ラセルト云フコトデアリマス、併ナガラ其出來タモノハ此裁判所
ノ公ノ書類ノ方ニハ這入ラヌモノデアツテ、ソレニ添付サレテ、而シテ其中ノ
調書ノ記事ヲ助ケルト云フ位ノ意味ヲ持ツ書類ニナルモノデアルヤウニ私ハ
承ツタノデアリマス、ソレカラ第四百十條、四百十四、四百十六、上告ト云フ
件ニ付テハ此刑法獨特ノ、此刑法ニ於テ初メテ見マス所ノ上告ニ關スル規定
デ、獨創的ノモノデアルノデアリマス、ソレカラ四百四十一條、四百四十二條

等ニ於キマシテ、今日マデ大審院ハ法規ノ審判ト云フコトハ致シタノデアリ
マスガ、事實ノ審理ト云フコトニ付テハ今日マデシナカツタノデアリマス、出
來ナカツタノデアリマス、今日以後ニ於テハ大審院ガ自カラ認メテ、其ノ事實
ヲ審理スベシト認ムル時ニ於テハ、其審理ヲ爲スコトヲ得ト云フ、或一定場合
ニ於テ其審理ヲ爲スコトヲ得ルヤウニナツタノデアリマス、ソレカラ四百八
七條ニ於テ之ニ或者ノ利益ノ爲ト云フコトガ茲ニアリマス、其利益ト云フコ
トニ付テモ、必要ナ質問應答ガアツタノデアリマス、ソレカラ其第五項ニ於テ、
第五ニ於テト申上ゲタ方ガ宣イト思フノデアリマス第四百八十七條ノ其五ニ
於テ、衆議院ニ於テ此新シイモノヲ入レテアルノデアリマス、是ハ政府モ別
ニ異存ガナイカラ同意スルト云フコトデ、被告ノ防禦權ヲ認メテ一つノ記載
ヲ茲ニシタノデアリマス、其他ノ點ハ此修正ヲ加ヘラレタ點ニ付テデアリマ
ス、第百二十三條是ハ刑法ノ目的ヲ達シ良民ノ保護ヲシタイト云フ其精神ニ
合致シマシタモノデアツテ、是等ノ條項ハ衆議院ニ於テ削ッタノデアリマシタ
ケレドモ、全部貴族院ニ於テ復活シタノデアリマシタ、但シ此第六ニ於キマシ
テ被疑者ト云フ者ノ下ニ尙ホ一層其資格ヲ明白ニスル爲ニ、被疑者ノ中デモ、
常習トシテ強盜又ハ竊盜ノ罪ヲ犯シタル者ニ對シテ之ヲ適用スルト云フコト
ニナツタノデアリマス、最後ノ六ノ項ニゴザイマシタ司法警察官云々ハ、是ハ
衆議院ノ意嚮通り削除ニナツタコトデゴザイマス、ソレカラ第百二
十七條ニ於テモ其意味ニ關聯シテノ修正ガアリマシタ次第デゴザイマス、ソ
レカラ第二百五十五條、是ハ衆議院ノ削除ヲ政府原案ノ如ク復活シテ、更ニ元
ノ通リシタノデアリマス、ソレカラ二百五十七條第一項ハ政府原案ニ修正ヲ
加ヘテ復活スルコトニ致シマシタ、即チ第一項トシテ左ノ如キ規定ヲ設クル
コトニシテ復活シタ外ニ「十日内ニ」ト云フ字ヲ公訴ノ前ニ加ヘルコトニ致シ
タノデアリマス、十日間ノ暇ガアツタナラバ十分手續ヲシテ、十日ノ暇サヘア
レバ其手續ヲ達スルコトハ差支ナカラウト云フコトデ、政府モ同意サレテ居
ル次第デアリマス、ソレカラ三百十一條、其末ノ方ニ「辯護人數人アル場合ニ
於テ被告人ノ爲ニスル意見ノ陳述ハ重複シテ之ヲ爲スコトヲ得ス」ト云フ政
府ノ原案ニ對シテ、衆議院デハ之ヲ削除ヲシタノデゴザイマス、是ハ大分小
委員會等ニ於テハ議論ガゴザイマシタガ、遂ニ其通り之ヲ削除シテ置クコト
ニ致シマシタ、尤モ重複シタ辯論ト云フコトモ辯論ヲ聽イテ見ナケレバ分ラ
ヌト云フヤウナ說ガ衆議院ニ於テハアリマスサウデ、重複シテ居ルカ居ラヌ

カハ辯論シタ上デナケレバ分ラヌノデ、衆議院ハサウ申シマスルシ、又政府者ニ於テモ辯護士ノ德義ニ訴ヘテ、十分是等ノ點ニ付テハ注意自省スルト云フコトヲ望マレテ居ル次第アリマス、ソレカラ五百三十二條略式裁判ノ手續ニ依リマシテ、其正式裁判ノ請求ハ拠棄スルト云フニ付テハ色ムノ誤解ヲ生ジマシテ、検事が何カ壓迫デモ加ヘテ此拠棄スルコトヲ承知サセルトカ、或ハ警察官ガ矢張同様ニ強制的ニサセルト云フコトカラ之ヲ加ヘタノデアリマスガ、衆議院ハドウモ之ヲ加ヘテ置クト云フコトハ甚ダ誤解ヲ來タシ、又人權蹂躪ナドト云フコトヲ言ハレル本ニナルノデアルカラ、是ハ削ヅテ仕舞ハナケレバナラヌト云フノデ、衆議院ノ修正通リ其儘ニナツテ居ル次第デゴザイマス、是ハ五百三十五條ニ於テモ同様ノ理由デゴザイマス、其他五百五十八條ハ貴族院ニ於テ此第一項ノ二ト云フノニ付テハ、或一ツノ考ヲ以テ削ヅテ居ツタノデアリマスケレドモ、遂ニ委員會ニ於テハ之ヲ復活スルコトニナリマシタ、併ナガラ「檢事ニ非サル者ノ上訴ニシテ其ノ理由アルトキ」ト云フノヲ加ヘテ、理由ノアル上訴デアッタナラバ拘留日數ノ全部ヲ通算スル、斯ウ云フコトニナツタノデアリマス、至テ時間切迫ノ爲ニ簡單過ギテ御分リニナラナカッタ點モアリマセウガ、其點ハ御容赦ヲ願ヒマス、報告ハ是デ終リマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○子爵池田政時君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス。

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○大山綱昌君 贊成

○子爵池田政時君 贊成

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ於テ御異議ガナケレバ、第九ヨリ第二十マデ同一委員ニ付託セラレマシタカラ、一括シテ議題トナシ特別委員長ノ報告ヲ煩シマス、議事日程ノ朗讀ハ御異議ガナケレバ本日ハ省略ヲ致シマス

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

信託法案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正十一年三月二十三日

右特別委員長

伯爵兒玉秀雄

貴族院議長公爵徳川家達殿

信託業法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正十一年三月二十三日

右特別委員長

伯爵兒玉秀雄

貴族院議長公爵徳川家達殿

擔保附社債信託法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十三日

右特別委員長
伯爵兒 玉 秀雄

登錄稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十三日

貴族院議長公爵德川家達殿

不動產登記法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十三日

右特別委員長
伯爵兒 玉 秀雄

印紙稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十三日

貴族院議長公爵德川家達殿

非訟事件手續法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十三日

右特別委員長
伯爵兒 玉 秀雄

日本興業銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十三日

右特別委員長

伯爵兒 玉 秀雄

臺灣銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十三日

右特別委員長
伯爵兒 玉 秀雄

貴族院議長公爵德川家達殿

相續稅法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十三日

右特別委員長
伯爵兒 玉 秀雄

貴族院議長公爵德川家達殿

北海道拓殖銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十三日

右特別委員長
伯爵兒玉秀雄

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵兒玉秀雄君演壇ニ登ル〕

○伯爵兒玉秀雄君 唯今、議題ニナッテ居リマスル信託法外十一件ノ委員會ノ御報告申上グマス、會期切迫ノ際ニ當リマシテ、法律上カラ見マシテモ、經濟上ノ見地カラ致シマシテモ、重大ナル關係ノアル此法案ヲ委員會ニ付託セラレタルコトニ付マシテ、委員會ハ少カラズ當惑シタノデアリマス、併ナガラ銳意努力イタシマシテ、之ヲ審議ヲ了シ、今日御報告申上グルヤウニ取運ンダノデアリマス、第一ニ信託法ニ付テ御報告申上グマス、信託法ハ信託ニ關スル法律上ノ觀念ヲ規定イタシタル所ノモノデゴザイマス、民法ニ對シマシテ特別法ノ地位ヲ占ムル所ノモノデゴザイマス、御承知ノ通リ、信託ナル觀念ハ其ノ本源ヲ英吉利ニ發シマシテ、是ガ米國ニ移リマシタル以來、漸ク其性質ヲ一變イタシマシテ、營利的信託即チ信託會社ノ勃興ヲ見ルニ至タノデアリマス、我國ニ於キマシテ所謂公益信託ニ屬スル所ノ事實ハ既ニ存在シテ居ルノデアリマス、尙ホ又營利的方面ニ於キマシテハ、大體米國ニ於ケルト同様ノ有様ヲ以テ盛ナル勢ヲ以テ進歩シツツアルノデゴザイマス、信託ノ法律的觀念ハ特殊ノ財產權デゴザイマス、財產ヲ處分スル場合ニ當リマシテ民法上ノ代理關係ヨリ一步進ミマシテ、自己ノ財產ヲ他人ニ與ヘマスルケレドモ、其財產ノ委託ヲ受ケマシタ受託者ハ、自己ノ利益ノ爲ニ是ハ管理處分スルコト能ハズシテ、專ラ受益者ノ爲ニ之ヲ管理處分シナケレバナラヌト云フ事柄ガ、信託ノ根本觀念デゴザイマス、即チ受託者ハ財產自體ヲ自己ノ所有ト致シマスケレドモ、自己ノ利益ノ爲ニ之ヲ處分スルコト能ハズシテ、受益者ノ利益ノ爲ニ全部之ヲ管理處分シナケレバナラヌト云フ事柄ガ根本觀念デゴザイマス、信託法ハ其第一條ニ於テ根本觀念ヲ認メテ明確ナル規定ヲ設ケタノデゴザイマス、我國ニ於キマシテ信託ニ關シマスル所ノ法規ハ殆ど絶無デゴザイマス、唯僅ニ擔保付社債信託ニ關スル法規ノ存スルノミデゴザ

イマスルガ故ニ、今回政府ガ提案イタシマシテ、信託法ノ制定ノ必要ヲ認メルト云フ次第ニナッタノデアリマス、信託法ニ於キマシテハ第一條ニ信託ノ義務、信託財產、信託ノ責任、受託者ノ交迭並ニ信託ノ終了ニ關スル事項ヲ規定イタシタルモノデアリマシテ、一條ヨリ七十三條ニ亘ツテ居ルノデアリマス、最後ニ公益信託ニ關シマスル規定ヲ設ケラレテ居ルノデゴザイマス、本案ニ付マシテ委員會ニ於キマシテハ、此信託ナル新シキ理想ガ、果シテ我國ニ於テ圓滑ニ運用ガ出來ルデアラウヤ否ヤト云フコトニ付テ、大ナル疑問ヲ生ジタノデゴザイマス、併ナガラ公益信託ニ關シテ既ニ事實ガ日本ニ存在シテ居ル、又信託業務ノ今日ノ有様ヲ見ルナラバ必ヤ此信託ノ觀念ハ日本ニ同化シテ、特有アル發達ヲナスベキコトハ信ジテ疑ヒナイト云フ政府ノ言明デゴザイマス、尙ホ又民法上ノ財團法人ト、最モ之ニ類似シタル所ノ公益信託業ニ於テモ質問ガゴザイマシタ、此最モ其性質ガ類似スル所ノ二者ハ果シテ兩方ノ規定ヲ設ケル必要アリヤ否ヤ、此點ニ付マシテ政府ハ學校又ハ其他ノ學會等ニ之ヲ利用スレバ、兩々相俟テ完全ナル發達ヲナスベキモノナリト云フ説明デゴザイマシタ、次ニ信託業務ニ關係イタシマシテ我國ノ信託法ハ唯今申上ゲマスル通リニ、大體亞米利加主義ヲ採テ來タノデゴザイマスル、所謂固有信託ノ外ニ色ミノ附隨業務ヲ營シテ居ルノデゴザイマス、政府ノ調查ニ依リマスレバ、其數五百以上ニ上リ、固有資本ハ實ニ三億以上ニ達シテ居ルノデアリマス、然ニ從來之ニ對シテ何等ノ規定ナク、何等ノ監督ガゴザイマセヌガ故ニ、其內容ニ立入テ見マスレバ、業務者ソレ自身ノ貧弱ナル者モゴザイマスルシ、業務ノ狀態頗ル如何ハシキ所ノ者モゴザイマシテ、此儘ニ打捨テ置キマシタナラバ、果シテ信託ノ十分ナル發達ヲ見ルヤ否ヤヲ疑フト云フ狀態ニアルノデゴザイマス、斯ノ如キ狀態デゴザイマスカラ、信託法ニ於テ定メタル根本觀念ニ基キ、之ヲ營利的ニ運用スル場合ニ於キマシテハ、必要ナル法規即チ信託業法ノ制定ヲ見ルニ至タノデゴザイマス、信託業法ニ於キマシテハ、信託業ヲ營ム所ノ者ハ必ズ政府ノ免許ヲ要スルコトヲ必要條件ト致シテ居ルノデアリマス、而シテ百萬圓以上ノ資本ヲ有スル株式會社ニ限定シテ居ルノデアリマス、本案ニ付マシテ委員會ニ於テ最モ質問ノ生ジマシタノハ、第四條及ビ第五條ノ規定デゴザイマス、信託會社ニ於テ信託引受財產ノ問題並ニ信託會社ノ附隨業務ニ關スルノ規定デアリマス、政府ハ信託ハ社會的又

經濟的ノ重大問題デアリマシテ、我國固有ノ制度デアル所ノ家族制度ヲ嚴正ニ維持スルニ於テ、最モ有效ナル手段ナルモノト申シテ居リマス、且ツ信託ハ信用ヲ本トシテ營ム所ノ業務デアリマス、尙ホ又我國ニ於テハ最モ新シキ試ミデアリマス、此點ニ付マシテ此信託財産ノ種類ニ付マシテモ、最モ嚴正ニ之ヲ制限スルノヲ以テ、信託業法ノ完全ヲ期スル所以ナリト云フ政府ノ明スル所デアリマス、此意味ニ於キマシテ第四條ニ於キマシテ、信託業トシテ當然ナスベキ所ノ業務ヲ列記的ニ記載シテ居ルノデアリマス、第五條ニ於キマスル附帶業務ニ付マシテモ、信託業者ガ之ヲ兼營スルヲ便宜トスル、且ツ又信託業務ノ性質ニ反セザル範圍内ニ於キマシテ之ヲ許スコトニ致シテ居ルノデアリマス、次ニ當業者ガ最モ苦痛ニ感ズル點ハ、第七條竝ニ第九條ノ規定デゴザイマス、即チ第七條ニ於キマシテハ受益者ガ利益ヲ保護スル爲ニ、政府ニ向ツテ當業者ハ資本金ノ十分ノ一一當ル所ノ國債ヲ提供スルノ規定ガアルノデアリマスル、此供託金ニ付マシテハ衆議院ニ於テ修正ガアルノデゴザイマス、其修正ニ依リマシテ、政府ハ命令ヲ以テ此供託金ノ割合ヲ定メルコトノ出來ル規定ニ修正サレタノデアリマス、委員會ニ於テモ其修正ヲ適當ナル修正ト認メマシテ、此修正ニ於テハ政府ハ衆議院ニ於キマシテ、其供託金ヲ二年間ニ分納シテモ差支ナイト云フ言明ヲ致シマシタガ、委員會ニ於キマシテハ一步更ニ進ミマシテ受益者ノ利益ヲ害シナイデ、當業者ノ苦痛ヲ輕減スル意味ニ於テ、更ニ寛大ナル處置ヲスルコトヲ言明シタノデアリマス、又信託預金ニ付マシテモ、銀行業務ノ上ニ於キマシテ所謂銀行預金ヨリハ稍々低キ程度位ノ所ニ其利率ヲ定メタイト云フ所ノ説明ガアツタノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ政府ノ言明ヲ信ジ、尙ホ衆議院ノ修正ヲ適當ナリト認メ、本案ヲ可決スルコトニ決シタノデゴザイマス、但シ信託ノ業務ハ元々信託業務ヲ兼營スルコトヲ得ルノ途ヲ開イタノデゴザイマス、次ニ臺灣銀行法、北海道拓殖銀行法、日本興業銀行法ノ改正ハ、是亦信託法ガ制定ノ當然

ノ結果テゴザイマシテ、主トシテ信託會社ヲシテ銀行ヲ兼營セシメザル趣旨ニ基キマシテ、必要ナル修正ヲ加ヘタノデアリマス、不動產登記法中改正法律案ハ、第三者ニ對抗セシムル爲ニ行使方法ヲ設ケル必要ガアリマスルガ故ニ、此改正ヲ見ルニ至ツタノデアリマス、非訟事件手續法中改正法律案ハ信託業務ヲ裁判所ノ監督ニ置クノ必要ガアリマスガ故ノ改正デアリマス、所得稅法、相續稅法、登錄稅法及ビ印紙稅法ノ改正法律案ハ是亦同様ノ次第デゴザイマシテ、所謂信託財產ヲ認メ、信託行爲ヲ認メタ結果ト致シマシテ、是ガ課稅ノ目的、是ガ課稅ノ利率、課稅ノ方法ニ付マシテ新ナル規定ヲ設ケル必要ヲ生ジタノデゴザイマス、右十二件ハ以上ノ理由ニ依リマシテ衆議院ノ修正案通り、或ハ政府ノ言明ヲ求メ、或ハ希望條件ヲ附シテ全部可決イタシマシタ次第デアリマス、右様ノ次第デアリマスカラ、速ニ御同意アラムコトヲ切ニ希望イタシマス

○議長（公爵徳川家達君）通告ニ依リマシテ發議ヲ許シマス、菅原君
○菅原通敬君 簡単デゴザイマスカラ此席カラ……

○菅原通敬君 私ハ信託法外十一件ノ特別委員長ノ報告ヲ賛成イタシマス一
人デゴザイマス、不本意ナガラ特別委員長ノ報告ニ同意イタスノデゴザイマ

ス、元來私ハ政府提出ノ信託業法案ニハ反対ノ意見ヲ有シテ居ルノデゴザイマス、其反対ノ理由ハ前回私ガ爲シマシタル質問ノ趣意ニ於テ、大體ハ御諒解ヲ得テ居ルコトト思ヒマスノデゴザイマスルガ、特別委員會ニ於テ此衆議院修正ノ案ニ同意スルニ至リマシタル理由ヲバ、一應茲ニ申述ベテ置クノ必要ガアルト信ズルノデアリマス、此場合デアリマスルカラ極メテ簡単ニ申述べテ置ク積リデアリマス、先ツ冒頭ニ一言申上ゲテ置キタイコトハ、近來世間一般ノ人々ガ政治問題ニ熱中スル割合ニハ、經濟問題ニ付テ注意ヲ拂フコトガ甚ダ少ナイ、兎角之ヲ等閑ニ付スルノ傾向ヲ有スルニ至リマシタコトハ、國家ノ爲ニ甚ダ悅ブベキコトデナイト思フノ、デアリマス、此信託業法ノ制定ハ先刻委員長ヨリ御報告ノ中ニモアリマシタ通り、經濟界ニハ一新生命ヲ開クベキ極メテ重要ナル關係ヲ有スル問題デアルノデアリマシテ、決シテ一部當業者ノ利害ニノミ止マルモノデハナイノデゴザイマス、然ニ之ニ關スル調査研究ナルモノハ全ク之ヲ政府當局ノミニ委ネマシテ、政府ノ原案ヲ以テ金科玉條ノ如ク心得、之ニ對シテ何等ノ殆ド言議ヲ聞クコトノ出來ナイト云フ

コトハ、私ハ頗ル遺憾トスル所デアリマス、幸ニシテ衆議院ニ於テ重要ナル點ニ於テ修正サレマシタカラ、茲ニ幾分ノ緩和ヲ見ルコトニナッタノデアリマスケレドモ、若シ當初ノ政府原案ノ如キモノガ其儘成立シテ是ガ施行セラレ、彼ノ嚴重ナル監督ノ下ニ取締厲行ヲ受ケルト云フヤウナコトデアリマシタナラバ、當業者ハ非常ニ壓迫セラレ、財界ハ脅威セラレ經濟社會ニ大ナル惡影響ヲ及ボスコトニナリ、單リ信託業ノ發達ヲ期スル能ハザルノミナラズ、此立法ノ目的ヲモ達スルコトガ出來ナイト云フコトニ必ズ立至ッタデアラウト云フコトヲバ憂フルノデアリマス、即チ先刻委員長ノ御報告ノ中ニアリマシタ此問題ノ要點トナリマシタ所ノ、固有信託業務ノ種類ノ制限ヲ致シ附隨業務ノ範圍ヲ縮小シ、信託會社ノ活動ノ自由ヲ抑ヘテ而シテ榮養ノ源ヲ斷チ、而モ資本金運用ノ範圍ヲ拘束イタシマシテ、加フルニ過重ナル供託金ノ提供ヲ命ジ、サウシテ利殖ノ途ヲ斷タシメテ居ルト云フノデアリマス、尙ホ加フルニ取締役ノ責任ト言ヒ、積立金ノ過重ナ割合ト言ヒ、殆ド國內ニモ外國ニモ其類例ヲ見ザル程ノ峻嚴冷酷ナル立法デアルノデアリマス、而シテ徒ニ取締監督ト云フモノニ熱著シマシテ、保護、誘掖、指導或ハ助成ト云フ方法ト云フモノハ全ク缺ケテ居ルヤウナモノデアリマシテ、此法ナルモノハ信託會社ノ撲滅法デアルト云フヤウナ非難ヲモ受ケテ居ルヤウナコトデアルノデアリマシテ、決シテ社會ノ狀況ニ應ジ經濟ノ實際ニ適セザル所ノモノデアルト信ズルノデアリマス、勿論私ハ弊害ヲ除去スル、取締ノ方法ヲ立テルト云フコトニハ異論ノナイ者デアリマス、是ハ固ヨリ何人モ異論ナイコトデアラウト思フノデアリマス、又立法ノ目的ナリ其趣旨ニ於テモ、私ハ政府ト別ニ考コトニスルノデヤナインデアリマス、唯不幸ニシテ經濟上ノ實際社會ノ事物ヲ觀察スル點ニ於テ、之ヲ判斷スル上ニ於テ政府ト大ニ見解ヲ異ニスルノデアリマス、從テ此立法ノ效果ト云フモノニ付テ、大ニ意見ヲ異ニスルノデアリマス、然ニ先般來私モ特別委員ノ一人トシテ特別委員會ニ於テ政府ト意見ヲ交換シ、同僚ト共ニ審議ヲ盡シタノデアリマスガ、其結果政府ノ趣旨ノアル所モ略明瞭ニナッタノデアリマス、又不備缺點ト認ムベキ點ニ付マシテバ、追テ之ヲ補正スルコトニ各ナラズト云フ所ノ、政府ノ意思ノアル所モ明カニセラレタノデアリマス、又業務ノ範圍ナリ資金ノ運用ノ方法ナリト云フコトニシマシテモ、社會ノ進歩若クハ經濟ノ發達ニ從テ、是ガ改正ヲ爲スト云フコトニモ意ヲ用ヒルト云フコトノ言明モ得タノデアリマス、殊ニ先刻委員

長報告ノ中ニアリマシタ供託金ノ問題及ビ金錢信託ノ保證利率ノ問題、此二點ニ付マシテハ命令ノ許ス範圍ニ於テ、便宜寛大ナル方法ヲ講ジヤウト云フコトノ言明ヲ得タノデゴザイマス、此場合特ニ供託金ノ點ニ付テ私ハ申述べテ置クノ必要ガアルト思フノデアリマス、先刻委員長ヨリ詳細ナル御報告ヲ得タノデアリマスルケレドモ、尙ホ私ハ此場合ニ於テモウ少シ之ヲ明確ニ茲ニ報告シテ置クコトガ必要デアツタラウト思フノデアリマスルガ、私ハ序ナガラ之ヲ補足シテ置キタイト思フノデアリマス、供託金ニ付マシテハ或一部ハ五箇年以内ニ之ヲ分割シ提供スルコトガ出來ル、又他ノ一部ハ信託財產ノ額ガ資本金ノ額ニ達スルニ至ル迄ハ、是ガ提供ヲ猶豫スルコトヲ得ト云フヤウナコトノ二條件ニ付マシテ、政府ニ於テモ之ヲ認メルト云フ所ノ言明ヲ得タノデアリマス、斯様ナ譯デアリマシテ、政府ニ於テ斯様ナ言明ヲナサレ、又私ニ於テ其趣意ヲ認メマスル以上ハ、不完全ニモ此法律ノ出來マスコトガ不成立ニ終ルヨリモ經濟界ノ爲ニ有利デアルト思ヒマシタガ故ニ、慎重ナル審議ヲ遂ゲル爲ニ次ノ議會マデ之ヲ延期セムトスル當初ノ私ノ希望ヲ抛チマシテ、又幾多修正ヲ要スベキ點アリト認メタコトニ付マシテモ、會期切迫ノ折柄、是ガ修正ノ念慮ヲモ断チマシテ、不本意ナガラ本案ニ同意スルコトニナッタノデゴザイマス、何トゾ委員長ノ報告ノ通り、之ヲ直ニ二讀會ニ移サレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今兒玉特別委員長ノ報告セラレマシタ法案全部、第二讀會ニ移シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成
アリマス、從テ此立法ノ效果ト云フモノニ付テ、大ニ意見ヲ異ニスルノデアリマス、然ニ先般來私モ特別委員ノ一人トシテ特別委員會ニ於テ政府ト意見ヲ交換シ、同僚ト共ニ審議ヲ盡シタノデアリマスガ、其結果政府ノ趣旨ノアル所モ略明瞭ニナッタノデアリマス、又不備缺點ト認ムベキ點ニ付マシテバ、追テ之ヲ補正スルコトニ各ナラズト云フ所ノ、政府ノ意思ノアル所モ明カニセラレタノデアリマス、又業務ノ範圍ナリ資金ノ運用ノ方法ナリト云フコトニシマシテモ、社會ノ進歩若クハ經濟ノ發達ニ從テ、是ガ改正ヲ爲スト云フコトニモ意ヲ用ヒルト云フコトノ言明モ得タノデアリマス、殊ニ先刻委員

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部委員長ノ報告ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○子爵西大路吉光君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○大山綱昌君 賛成
○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御
異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二十一、委員長報告、淺田徳則君
大湯鐵道及魚沼鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十三日

右特別委員長

淺田 德則

貴族院議長公爵德川家達殿
〔淺田徳則君演壇ニ登ル〕

○淺田徳則君 唯今上程ニ相成リマシタ大湯鐵道及ビ魚沼鐵道買收ノ爲ニ公
債ヲ發行スル此法律案デアリマス、至テ法律其モノハ簡單ナルモノデアリマ
ス、委員會ノ經過ヲ御報告申上グマス、本案ノ一ハ大湯鐵道會社ノ經營イタ
シマスル、大分縣ノ大分ヨリ小野屋間ニアル十三哩六分ノ鐵道デアリマス、
他ノ一ハ新潟縣下ノ來迎寺、小千谷間ニアル八哩一分ノ是亦私設鐵道會社ノ
經營スル所ノモノデアリマシテ、前者ハ大分、久留米ニ至リマスル省線ノ一
部ニ當ツテ居ルノデアリマス、之ヲ買收イタシマシテ改良イタシテ、即チ省線
ノ貫通ヲ圖ラウト云フノデアリマス、後者即チ魚沼鐵道ノ方ハ是ハ來迎寺、
小千谷間ニハ明治四十四年以來開業イタシマシテ、相當ニ利益ヲ上ゲ來ッタ
線デアリマス、デ御承知ノ如ク此線ハ一ハ信濃川ノ西岸ニアリマシテ、又他
ノ東岸ノ方ニ當リマシテハ上越鐵道ノ線ニ當ツテ居リマスルノデ、上越鐵道ノ
方ハ追々工事ヲ進メマシテ、東小千谷ヨリ又更ニ此方ノ方ニ進ミマシテ、越
後川口ノ邊マデ參ツテ居ルモノデアリマス、其開通ノ爲ニ從來ノ此小千谷ノ線

ト申シマスモノハ利益ヲ減損イタサレマシテ、遂ニ廢業ヲセザルベカラザル
場合ニ立至ツタノデアリマス、ソレ故ニ此鐵道ハ廢止ヲ致シマシテ、政府ニ於
テ買上グラレムコトヲ請フタノデアリマス、段々政府ニ於テ調査ヲ致サレマ
シタ結果、此地方ハ織物其他ニ於キマシテモ相當ノ產額モアリマスルシ、又
軍事上ニ於キマシテモ工兵大隊等モ設ケテアリマシテ、架橋ノ演習等ニハ必
要ノ地區ト相成ツテ居ル趣デアリマス、旁、此線路ハ買收イタシテ、サウシテ
矢張尙ホ存スルノヲバ必要ト認メラレタノデアリマス、ソレデ斯様ノ次第デ
アリマスルカラシテ、此大湯鐵道ノ方ハ無論政府線ト殆ド線路ヲ同ジクシテ
居ルヤウナ次第デアリマスルカラシテ、是ハ買收イタシマシテ、コチラノ方
モ買收ハ致シマシテ、是ハ矢張繼續シテ政府ニ於テ經營スルト云フコトニ相
成リマシタ、デ委員會ニ於キマシテハ、數回質問應答ガゴザイマシテ、政府
ノ方ニ於キマシテハ、只今申シマシタ理由ヲ詳シク説明ヲ致シマシラ、遂ニ
此案ハ討議ニ入リマシテ、或一員ヨリシテ、此魚沼ノ方ニ於キマシテハ、之
ヲ若シ利益ヲ損減スルト云フコトナレバ、政府デ補填ヲ與ヘテ、尙ホ之ヲ繼
續セシムルカ、然ラザレバ先般鐵道網ノ法律案モ決定イタシタコトデアルカ
ラ、他年其鐵道網ニ依テ敷設スル場合ニ於テ、之ヲ買收サレタナラバ宜カラ
ウ、故ニ今暫ク政府ニ於テ買收スルコトヲ見合ハシタラ宜カラウ、斯様ナ說
モアリマシタノデアリマス、ソレデ討論ヲ致シマシタ結果、之ニハ又之ヲ廢
止シテ買收シナイト云フ方ノコトニハ反對ノ方モアリマシテ、遂ニ採決ノ
結果二人ヲ除キマシテ、其他ハ多數ヲ以チマシテ、衆議院送付ノ通り決定イ
タシタ次第ゴザイマス、此段御報告申上グマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ヲ第二讀會ニ移シテ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス、原案ニ御異存ゴザイ
カ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

マセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌ
カ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十二、委員長報告、片桐君
健康保險法案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十三日

右特別委員長

子爵片桐貞央

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵片桐貞央君演壇ニ登ル〕

○子爵片桐貞央君 健康保險法案ニ付マシテ、委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ノ提出ノ理由ハ過日本議場デ當局ヨリ御説明ガゴザリマシタカラ略シマシテ、本案ノ内容ノ大體ヲ簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス、本案ハ疾病保険ト災害保険ノ一部ヲ併セ行ハムトスルモノデゴザリマシテ、即チ從業者、詰リ労働者ノ日常生活ニ時々起リマス所ノ、疾病負傷等ノ傷害ニ對スル短期ノ⋮極ク短イ所ノ傷害ニ對スル醫療ヲ極ク容易ナラシメ、又其間ニ於ケル休養中ノ生活費ヲ補助ヲ致シマシテ、手當金ヲ給付イタシマス、尙ホ又分娩等ニ關シマシテ、分娩ニ對スル其費用ト、又ハ產前產後ノ休養中ニ於ケル所ノ手當金ヲ給付イタシマス、尙ホ死亡ノ場合ニ於キマシテハ、葬

送費用ノ給付ヲ致サウトスルノデゴザイマス、又被保險者ノ範圍ニ關シマシテハ、工場法トカ、又ハ工業法ノ適用ヲ受ケマスル工場、及ビ事業場ニ於キマスル所ノ從業者、即チ労働者、又ハ下級吏員⋮職員ニ對シマシテ加入ヲ強制イタシマス、其他工業的ノ企業ニ於キマスル從業者ニ對シテハ、認可ヲ得マシテ包括的ニ其加入ヲ許サウトスルノデゴザイマス、尙ホ又本保險ハ先づ大規模ノ工場、鑛山等ニ相互的ノ組合組織ヲ以チマシテ、保險ヲ實施シ得ル見込ノアルモノニ對シマシテハ、自治的ノ健康保險組合ヲ設ケマシテ、之ヲ管掌セシメ、其以外ノモノニ對シマシテハ官營ヲ以テ之ヲ致シマシテ、官營ト組合保險トヲ併セ認メヤウトスルノデゴザイマス、又保險ニ要スル費用ノ點ニ於キマシテハ、先づ政府ニ於キマシテハ保險給付ニ必要デゴザイマス、餘ノ費用ハ保險者、及ビ之ヲ使用スル所ノ事業主ヨリ之ヲ徵收イタシマス、被保險者ト事業主トノ保險料ノ分擔ノ割合ト申シマスルモノハ、原則ト致シマシテ被保險者及ビ事業主ニ之ヲ折半ヲシテ分擔サセヤウト云フノデゴザイマス、尙ホ此保險ニ關シマシテ爭議ノ起リマス場合ニハ、通常ノ法律上ノ仲裁手段ニ依リマスル外ニ、尙ホ保險審查會ト云フ制度ヲ設ケマシテ、簡易ニ且迅速ニ之ヲ審查ヲサセマシテ、保險者及ビ從業者ノ權利ヲ保護シタイト云フコトデゴザイマス、是ガ大體ノ本案ノ本旨デゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ色々モゴザイマシタガ、其主モナルモノラ此所デ御紹介申上ゲマスレバ、老廢遺族保險等其他労働保險ノ制度ハ其必要ヲ認メナイカ、特ニ此健康保險ヲ最初ニ實施シヤウト云フ理由ハドウデアルカ、又諸外國ニ於ケル労働保險ノ實施ニ伴テ弊害ガ多クアッタガ、ソレ等ハ十分調査ヲシタカ、又ハ傷病ノ際ニ給與スベキ手當金ノ賃銀ノ百分ノ六十ト定メテアル其根據、又ハシタカラ略シマシテ、本案ノ内容ノ大體ヲ簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス、本續加入ハ労働運動ニ利用サレル虞ハアルカ否ヤ、又ハ被保險者ノ負擔スル保險料ハ著シク高率トナル場合ニハ、其超過分ト云フモノハ、政府デ以テ之ヲ負擔シテハドウカト云フ斯ウ云フヤウナ御質問、是等ガ大體ノ主ナルモノデアリマス、是等ノ御質問其他ヲ見マシテ、一番本案ニ付テ御懸念ノアル點ト申シマスモノハ、労働者ガ不正ニ此制度ヲバ利用イタシマシテ、假病ヲ使ヒアリハシナイカ、斯ウ云フ御心配ガ一般ニ御在リニナルト云フヤウナ感ジカ

イタシマス、政府ハ之ニ對シマシテ、本案ヲ出シマスルニ付テ、其點ニ付テハ最モ細心ナル注意ヲ拂ツテ居ル積リデアル、又理事組織ヲ以テ、其組合制度ヲ設ケテ相互間ニ監督サセ、假病其他ノ不正行爲ニ依テ保険給付ヲ詐取シヤウト云フヤウナ者デアルトカ、又ハ病氣ノ療養ノ指揮ニ從ハザル者、又ハ取締ノ爲ニ其病氣ノ検診斷其他ニ應ゼナイ者等ニ對シテハ、十分注意ヲ致ス規定ヲ設ケマシテ、全部又ハ一部ヲ其給付ニ對シテ提供スル等ノ規定ヲ設ケマシテ、是等ニ對スル弊害ヲ防止シタト云フコトデアリマシタ、委員會ノ質問ヲ致シマシテ、尙ホ本案ニ對スル命令ノ制定及ビ本案ノ運用ト一ノ點ニ對答ハ極ク大略唯今申上ゲタヤウナ次第ゴザイマシテ、委員會ニ於キマシテハ尙ホ此外ニ委員外數名ノ御方ノ御質問モ御許シヲ致シマシテ、十分ニ審査ヲ致シマシテ、尙ホ本案ニ對スル命令ノ制定及ビ本案ノ運用ト一ノ點ニ對シマシテ、又將來本法ニ於キマシテ増補擴張ヲスルヤウナ場合ニ於キマシテハ、議員多數ノ御希望ガゴザイマシタ爲ニ、特ニ農商務大臣ノ出席ヲ求メマシテ、是等ノ言明ヲ得マシテ、委員會ハ是カラ申上ゲル委員會ノ希望決議ト云フモノヲ附ケマシテ、原案ヲ全會一致ヲ以テ可決イタシタヤウナ次第ゴザイマス、希望決議ト申シマスノハ、第一ガ本法ハ第三條ニ規定シテアル標準報酬ニ關スル勅令案ハ勿論、其他本案各條ニ定ムル勅令及ビ命令等ノ草案ハ凡テ政府ガ之ヲ健康保険調査委員ニ付議スベク、而シテ當業者ノ意見ヲ斟酌スル趣旨ヲ以テ、工業家並ニ礦山業者ヨリ更ニ該調査委員ヲ選バレルコト、第二ハ本案第三十一條、保険組合設立命令ニ關シテハ、政府ハ事業主等ト十分ノ協議ヲ盡シテ諒解ヲ得テ之ヲ實行セラレムコト、第三、本案ニ定ムル國庫ノ負擔ハ十分ト認メ難キヲ以テ、政府ハ漸次其率及ビ其額ヲ增加シテ法律ノ範圍ハ頗ル限定セラルノ感ガアル、政府ハ漸次其範圍ヲ擴大シテ社會保險ノ實ヲ舉グベキコト、第五ガ本案ノ定ムル保険範圍ハ廢疾保険ヲ含有セズ、政府ハ成ベク速ニ是等保険ノ制度ヲ立ッベキコト、第六、政府ハ最近ノ時機ニ於テ船員ノ健康保険制度ヲ立案シテ提出スベキコト、是等ノ六ツノ希望決議ヲ委員會ノ希望決議トシテ附シマシテ原案ハ全會一致ヲ以テ可決イタシタル次第ゴザイマス、右御報告申上ゲマス

〔山脇玄君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 山脇君ハ何デスカ

○山脇玄君 少シ本案ニ關係シテ、幸ヒ農商務大臣ガ御出席ゴザイマスカ

ラ、伺ヒタイコトガアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 質問ナラバ宜シウゴザイマス

○山脇玄君 農商務大臣ニ伺ヒマスガ、唯今……實ハ私ハ此案ハ研究イタサヌノデアリマス、唯今委員長ノ御報告ニ依リマスト、此案ハ疾病負傷其他手當トカ、何トカ云フヤウナ範圍ノ極ク狭イ法律案デアリマス、ソコデ伺ヒタドガ此財政回復イタシマシタナラバ、又再ビ東洋ニ參ルテ盛ニ貿易ヲ始メル、失業者ト云フモノハ、大キナ數デアリマス、ソレカラ段々此歐洲殊ニ獨逸ナドアリマスガ、是ナドハ盛ニ參ルコトニナレバ、又此薬品製造業者ハ皆倒レルニ違ヒナイト云フヤウニ、段々歐羅巴カラ東洋ニ向テ輸出ガ盛ニナリマスデアリマスガ、是ナドハ盛ニ參ルコトニナレバ、又此薬品製造業者ハ皆倒レルト云フト、失業者ト云フモノハドレ程出ルカ分ラナイ、私ドモノ考ニハ今茲メウ今既ニ染料ナドハ續々參リマシテ、我國ノ戰時中ニ起タ小サイ會社ハ、バタバタ倒レテ仕舞フ、今ヤ將ニ藥品ナドハ大分獨逸カラ參ルヤウニナツタノザイマス、希望決議ト申シマスノハ、第一ガ本法ハ第三條ニ規定シテアル標準報酬ニ關スル勅令案ハ勿論、其他本案各條ニ定ムル勅令及ビ命令等ノ草案ハ凡テ政府ガ之ヲ健康保険調査委員ニ付議スベク、而シテ當業者ノ意見ヲ斟酌スル趣旨ヲ以テ、工業家並ニ礦山業者ヨリ更ニ該調査委員ヲ選バレルコト、第二ハ本案第三十一條、保険組合設立命令ニ關シテハ、政府ハ事業主等ト十分ノ協議ヲ盡シテ諒解ヲ得テ之ヲ實行セラレムコト、第三、本案ニ定ムル國庫ノ負擔ハ十分ト認メ難キヲ以テ、政府ハ漸次其率及ビ其額ヲ增加シテ法律ノ範圍ハ頗ル限定セラルノ感ガアル、政府ハ漸次其範圍ヲ擴大シテ社會保險ノ實ヲ舉グベキコト、第五ガ本案ノ定ムル保険範圍ハ廢疾保険ヲ含有セズ、政府ハ成ベク速ニ是等保険ノ制度ヲ立ッベキコト、第六、政府ハ最近ノ時機ニ於テ船員ノ健康保険制度ヲ立案シテ提出スベキコト、是等ノ六ツノ希望決議ヲ委員會ノ希望決議トシテ附シマシテ原案ハ全會一致ヲ以テ可決イタシタル次第ゴザイマス、右御報告申上ゲマス

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 労働保険ノ種類ニ於キマシテハ、色ニ失業保險又此養老廢疾ナドニ付テ色ニアルノデゴザイマスガ、此度ノハ健康保険トシテ、唯今委員長ヨリ申述ベマシタル如キ程度ヤ範圍ニ於テ始メルコトニナツ

テ他ノ方ニ進ンデ參ラヌト云フト、第一ニ調ヘニ於キマシテモ特別ノ調査ヲ要スルコトニアリマス、第二ニ政府ノ經費ニ於テモ相當ナル増額ヲ要スル様ナルコトガアルノデアリマスカラシテ、先ツ最初ニ於キマシテハ健康保険、而シテソレハ短期デ凡テ六箇月以内ノ疾病其他ノコトニ付テノ保険ヲ致シタ方ガ宜カラウ、ソレデ追ミ進ンデ參リマスレバ、今申ス如キモノニモ無論進ンデ參ルコトニアリマス、唯今委員ガ其希望條件ニ於テ述ベラレマシタ如ク、此モノニ付テハ追ミ之ヲ擴ケテ行クカ否ヤト云フコトニアリマシテ、先ツ最初ニ於テハ此程度ニ於キマシテ、段々秩序ガ付キ調べガ付イタナラバ進メテ行ク精神デアリマスト云フコトヲ申述べテ置イタノデアリマス、而シテ其コトハ政府ハ今申ス通リニナツテ居リマスガ、唯失業保険ト云フコトニナリマスト、今日ノ所ニ於キマシテハ内務省ノ所管ニ於テ、失業紹介ナドニ付テモ内務省ノ監督ニナツテ居リマスカラシテ、他日行フ時分ニハ其方面ニ於テ行フコトニナツテ居リマス、ソレカラ第二ニ大會社ノ如キモノハ其會社ニ於テ自身デスルコトニナツテ居リマスガ、是ハ是マデモ整頓イタシマシタル會社ニ於テハ、共濟保険ノ如キモノモアルノデアリマス、是ハ此法律ガ出來マシタナラバ、ソレソレ秩序アル大會社ニ於テハ、此法ニ於テ自ラ保険ヲ爲スコトニナルノデアリマス、唯政府ニ於キマシテハ小サキ事業工業ニ於キマシテ、政府自ラ爲シテ是等ノ者ヲ保険ニ入レルコトニ相成ツテ居リマス

○山脇玄君 今一應伺ヒマス、サウシマスルト云フト、此失業保険ト云フモノハ、今日マダ政府當局ハ必要デナイ、緊急ナ必要デアルト御認メニナラナインデアラウト察セラレマス、ソレデアルカラマダ調査モ遂ゲテ居ラナイト云フ御考デアリマセウカ、其點ヲ伺ヒマス、今一ツハ或事業界ニ於テハ既ニ相互ノ保険ヲヤツテ居ル、或ハ今カラ設ケタ場合ニハ、其失業ニ關係アル當業者ハ、本案ノ保険ニ加ハル義務モナケレバ加ハリモシナイト云フコトニナルノデアリマスカ、其點ヲ伺ヒマス

〔國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 第一ノ失業保険ニ付キマシテハ、是ハ必要ナルコトデアルト政府ニ於キマシテモ考ヘテ居ルノデアリマスガ、併シ之ヲ爲サムトスルノニハナカナカ其調べ、又失業者ハ如何ナル者ヲ失業者トスルカト云フコトニ於キマシテ、ナカナカ實際ニ於テハ困難ナ點ガアルノデアリマス、ソレデ此方ハ先ツ後廻シニシテ、サウシテ調べノ出來タ方ニ於テ始メヤ

ウトスウ云フコトニアリマス、必要ナ事柄デアルト云フコトハ認メテ居リマスガ、今申ス如キ意味ニ於テサウシテ遅レテ居ル次第デアリマス、追ミ手ガ届イテ參リマシタナラバ、今ノ如キモノニモ手ヲ擴ダル考デ居リマス、ソレカラ第二ノ方ノコトハ、此法律ガ出來マシタナラバ此法律ニ依リマシテ組合ヲ作リマシテ、サウシテ相互ノ間ニ、大會社ナドニ於キマシテハ、ナスコトニ相成テ居ルノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○子爵西大路吉光君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通り、御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十三、委員長報告、目賀田男爵

内地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ト南洋群島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出入
ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十三日

右特別委員長

男爵目賀田種太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

「男爵目賀田種太郎君演壇ニ登ル」

○男爵目賀田種太郎君 本案ハ内地、朝鮮、臺灣カラ南洋諸島ハ現在ニ於キ

マシテハ外國ノ如クナツ居リマシテ、船舶貨物ノ輸出入、是等ニ對シテ關稅

法、關稅定率法、噸稅法等ガ行ハレテ居リマス、之ガ障壁ヲ撤去イタシマス

ル法案デアリマシテ、委員會ノ審査トシテハ誠ニ適當ナル處置トシテ、委員

會ハ全會一致同意ヲ表シタ次第デアリマス、至テ法案ハ簡單ナモノデゴザイ

マス、朝鮮、臺灣ノコトハ既ニ年所ヲ經テ居リマスガ、南洋諸島ノコトハ是

ハ新ラシイコトデ、ソレニ付マシテ追々審查ライタシマシタ所ガ、南洋ニ對

シ内地ヨリ輸出シマス貨物ハ大凡百萬圓デ、南洋カラ内地ニ輸入スル貨物ハ

大凡七十八萬圓デゴザイマス、段々船舶ノ交通、其他南洋諸島デソレソレ職

業ヲ營ミ労働ヲ致ス等、人口ガ殖エマスルト共ニ、南洋諸島ニ最モ重要ナ内

地トノ關係ハ益進シテ參ルノデアリマス、ソレデ此法案ニ付マシテ之ヲ委員

會ガ可決スルト共ニ、特別委員一人ノ缺席ノ外、アトノ全部希望トイタシマ

シテ、南洋諸島ニ於テ尙大ニ政府ハ進シテソレソレノ施設ヲナシ、又必要ナ

ル經費ヲ之ニ投ゼラレムコトヲ必要トスルト云フコトデアリマス、政府ニ承

ハリマスノニ、南洋諸島ノ諸生産、其他ノ調査ニ對シテ來年度ニ於テハ十五

萬圓ヲ給與スルト云フコトデゴザイマシタ、所ガ委員全部ノ希望トシテハ十

五萬圓ハ甚ダ僅少ノ額デアル、尙進シテ出來ベキ經費ヲ之ニ投ジテ、大ニ南

洋ノ發達、生産ノ増加等ヲ圖ラレタナラバ、内地ノ利益ニナルノミナラズ、

南洋諸島ニ對シテ帝國ノ保護ノ厚キヲ與ヘテ、最モ然ルベキコトニアラウト

云フ希望デゴザイマシタ、政府モ同様之ニ御異存ハナイヤウデアリマシタ、
之ヲ以テ委員會ノ希望ト致シマス次第デアリマス、本案ハ至テ簡單ナモノデ、
ドウカ速ニ決議アラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵柳澤保恵君 委員長ニ質問ガアリマス、唯今本邦ト南洋諸島トノ間ノ輸出入ノ額ノコトガゴザイマシタガ、アレハ最近ノ御調査デアリマスルカ、或ハ過去數年間ノ平均デアリマスルカ、兩方トモ増進スル積リデアリマスカ

○男爵目賀田種太郎君 最近昨年ノ分デアリマス、其前ノモアリマスルガ、大差ナイヤウデアリマス

「伯爵柳澤保恵君、將來ノコトハ」ト呼フ

○男爵目賀田種太郎君 將來ノコトハ、委員會ニ於テハ實ハソレマデ審議イタシマセヌデゴザイマシタ、御必要ナラ政府委員ニ御尋フ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○子爵櫛笥隆督君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○大山綱昌君 贊成

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵櫛笥隆督君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイモノト認メマス、第二讀會ノ決議通り

デ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際諸君ニ御諮詢致シマス、日程第二十四ノ裁判所構成法中改正法律案ハ、刑事訴訟法案ニ關聯シテ居リマシテ、同案ガ未ダ衆議院ニ於テ同意ヲ表セラレマセヌカラ、衆議院ヨリ通知ノゴザイマスマデ後廻シニ致シタク存ジマス、御異議アリマセヌカ

「異議ナシト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、尙諸君ニ御諮詢致シマス、日程第二十五、第二十六ハ同一委員ニ付託セラレマシタカラ、一括シテ問題トシ特別委員長ノ報告ヲ煩シタク考ヘマス、御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十五、第二十六、委員長報告、柳澤伯爵
明治三十五年法律第四十九號中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十三日

右特別委員長

伯爵柳澤 保惠

貴族院議長公爵徳川家達殿

統計資料實地調査ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十三日

右特別委員長

伯爵柳澤 保惠

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 御報告ヲ申上ゲマス、先づ第一案ノ方ヨリ極メテ簡単ニ申シマス、御承知ノ通りニ國勢調査ハ十年毎ニ一回執行スルコトニナツテ居リマス、而シテ第一回ハ大正九年ノ十月一日ニ行ハレマシタ、此法律ニ從ヒ

マスレバ、此次ハ大正九年ニアル譯デアリマス、併ナガラ十年ニ一回ヤリマスト云フコトハ、舊時ハ兎ニ角、最早今日ノ場合ニ於テハ餘リニ期間ガ長ク、其間ニ種々社會的事實ノ變化等モゴザイマスノデ、原則ハ十年ニ致シテ判所構成法中改正法律案ハ、刑事訴訟法案ニ關聯シテ居リマシテ、同案ガ未ダ衆議院ニ於テ同意ヲ表セラレマセヌカラ、衆議院ヨリ通知ノゴザイマスマ度ノ五年毎ニヤリマスノハ、尙ソレヨリ一層簡易ナル調査ヲヤルノデゴザイマス、固ヨリ是マデノ國勢調査モ矢張簡易ナモノトハ考ヘマスルガ、今マス、而シテ其方法等ハ是マデノ調査ト大差ナインデアリマス、項目ハ僅ニ四ツノ事實ヲ調ベマス、即チ姓名ト男女別ト年齢ト配偶關係、先づ此四ツノコトヲ調ベヤウト云フノデアリマス、而シテ此前ノ國勢調査ニハ世帶ヲ入レマシタル申告書、即チ世帶表ナルモノヲ以テヤッタノデアリマスガ、此五年毎ニヤラウト云フノハ、左様デナクシテ單名票ト申シマシテ、個人個々ニ書き現ハシマス所ノ申告書ニ、ソレニ世帶表ヲ付ケタモノデヤルノデアリマス、是ハ日本デハ初メテヤリマスルガ、歐羅巴アタリデハ時ミヤッテ居ルコトデアリマス、費用ハ三箇年デアリマシテ、二十五萬圓デアリマス、之ニ付テ質問モ出マシテ、少ナクハナイカ、又此前ノ時ニハ地方費ノ補助モアリマシタガ、今度ハナイヤウデアルガドウダト云フ御質問モ出マシタ、當局者ハ二十五萬圓ハサウ僅少ト思ウテ居ラヌ、併ナガラ多少ノ不足ノアル場合ニハ、或ハ補充スルコトモアラウガ、是ハ大シタコトハナイダラウト云フコトデアリマシタ、又地方費ノ方ハ補助ヲセヌ積リデアリマスルガ、或ハ場合ニ依レバ、サウ云フコトモアルカモ知レヌト云フコトデアリマス、極メテ簡単ナモノデアリマスカラ、之ヲ以テ先づ第一案ハ終リマス、第二案ノ方ハ表題ハ極メテ範圍ガ廣ウアリマス、統計資料ト申シマシテ、極ク一般的ノ統計資料ヲ蒐メルヤウナ表目ニナツテ居リマスガ、其内容ハ極メテ貧弱デ、僅ニ勞働統計ノ一部分ヲ取ルニ過ギナインデアリマス、勿論政府ニ於テモ勞働統計以外、他ノ産業上ノ調査等モシタイ考ヲ持ッテ居ルノデアリマスケレドモ、是ハ經費等ノ關係デ將來ニ讓リマシテ、先づ差當リ勞働統計資料ダケヲ取ラウ、其計畫ガアリマスノデ、他ニ對シテハ多少後ニ致シタノデアリマス、勞働ト申シマスガ極メテ學者ノ意見モ種々ゴザイマス、其勞働ノ範圍ニ付テモ勞働者ノ定義ニ付テモ、彼是レ説モゴザイマスガ、當局者ハ單ニ筋肉勞働者ヲ調ベヤウト云フ御考デアリマス、尙委員會ニ於キマシテハ筋肉勞働者デハ範圍リマス、而シテ第一回ハ大正九年ノ十月一日ニ行ハレマシタ、此法律ニ從ヒガ狭イ、是ハ監督者ニアラザル從業者ト考ヘタラドウカト云フ、斯ク致シマス

ルト非常ニ範圍ガ違ヒマスノデ、多少當局者ノ考慮ヲ煩ハシタノデゴザイマスガ、先づ當局ノ方デハ普通申シマスル筋肉労働者ニ限ルト云フコトニナックタノデアリマス、而シテ此勞働統計ト申シマシテモ、其中非常ニ範圍ガ狹ウゴザイマシテ、僅ニ工場ト礦山ダケノ労働者デアリマス、此勞働者ニ付テ十數箇條ノ項目ヲ問ヒ、尙事業主ニ向テモ五六箇條ノ項目ヲ問フノデアリマス、是ハ費用モ極メテ少ナク僅カ五六萬ト云フコトデアリマス、尙將來ノ労働統計ニハ或ハ交通或ハ工作ト云フヤウナコトモ見ヤウ、或ハ又一步進ンダコトモアルカモ知レス、而シテ前ニ申シマシタ所ノ簡易ナル國勢調査ノ方モ、此方モ何レモ執行スルニ方リマシテハ、中央統計委員會ト審議ヲ致シマシテ、十分専門家ノ說ヲ尊重シテ執行サルルト云フコトデアリマス、之ヲ以テ第二ノ方ヲ終リマシタ、兩案共ドウゾ簡單ナル案デゴザイマスカラ、滿場一致ノ御賛成ヲ請ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今特別委員長ノ報告セラレマシタ兩案ノ、第二

讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
○子爵櫛笥隆督君 直ニ兩案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○大山綱昌君 賛成
○議長(公爵德川家達君) 直ニ兩案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、兩案全部ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、兩案全部ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
○子爵櫛笥隆督君 直ニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス
○大山綱昌君 賛成
○議長(公爵德川家達君) 直ニ兩案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

大正九年法律第五十二號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十三日

右特別委員長

男爵目賀田種太郎

〔男爵目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵目賀田種太郎君 本案ハ先刻議決ニナリマシタ、内地、朝鮮、樺太、南洋群島ニ關スル關稅撤廢ニ伴ヒマシテ、必然要セラルル法案デアリマシテ、ソレガ爲ニ從來大正九年ノ五十二號法中ニハ、朝鮮臺灣ト云フコトハゴザイマスルガ、南洋ト云フコトハアリマセヌカラ、其五十二號ノ法律ニ「南洋群島」ト云フ字ヲ加ヘルニ止マル、即チ朝鮮臺灣南洋ノ出港稅ヲ設ケルト云フコトニナルノデ、至テ簡單ナ法律案デゴザイマシテ、前ノ案ト共ニ要セラルモノデアリマス、此處ニ於テ尙ホ述べマスルガ、前ノ案ト此案トヲ通ジテ、委員會ノ希望ハ、内地ヨリ南洋ニ至ル船舶交通ヲ尙ホ增加セラレムコトヲ必要ト見タ次第デアリマス、唯今ニ於キマシテハ主ニ政府ノ御用船ガ參ルノミデアリマシテ、其間ニ於テ私有ノ船舶モ參リマスガ、餘リ頻繁デハナイ。彼ノ地ニ於テ此甲ノ島ヨリ乙ノ島ニ至ル間、船待チヲ致シマスル場合ニ多クノ日數ヲ費シテ、ソレガ種々ノ營業職業ニモ防格ヲ致スコトデアリマスルカラ、前案ト此案トヲ通シテ審議ヲ致シマシタル際ニ、是等ノコトニ付テモ、政府ハ相當ナル考慮ヲ與ヘラレムコトヲ望ムト云フコトガゴザイマシテ、此コトヲ併セテ申上ゲテ置キマス、至テ簡單ナ案デゴザイマスルカラ、速ニ決議アラムコトヲ希望シマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
○子爵櫛笥隆督君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、原案ニ御異存ゴザイマセ
又力

「異議ナシ」と呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
○子爵節翁准吉書
○宜ニ第三讀會ノ開リノハシ

○子爵権管階督君 直ニ第二議會ヲ開カレムコトヲ希望シマス
○大山嗣昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ卸異存ゴザイマセヌ

力

「異議ナシ」ト呼フ者アリ】

卷之三

○議長(公爵徳川家達君) 御異存ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御

異有ニサインセヌカ

○議長（公爵徳川家達君）　御異存ナイト認メマス

卷之三

○議長（公爵徳川家達君） 日程第二十八、委員長報告、奥平伯爵

取引所稅法中改正法律案

大正十一年三月二十四日

右特別委員長

伯爵奧平昌恭

貴族院議長公爵德川家達殿
〔伯爵奥平昌恭君演壇ニ登ル〕

タシテアルニモ拘ラズ、長期ニ對シテハ其區別ヲ設ケナイト云フガ、其理由ハドウ云フ譯デアルカ、此質問ニ對シテ商品ニ付マシテハ實際上ニ於テ其生産又ハ輸送等ノ關係上、短期ノ差金取引ハ行ハレナイト云フ見込ヲ政府ハ持テ居ル、又萬一行ハレルコトガアリト致シマシテモ、是ガ税率ヲ輕減スル必要ヲ認メナイト云フ答辯ガゴザイマシタ、此他法文ノ字句ニ關シマシテハ、

取引所法ノ改正ニ伴フ所ノ此稅法ニ於ケル字句ノ改正デゴザイマシテ、何等其以外ニ於テ質問モ應答モゴザイマセヌデ、極ク委員會ニ於キマシテハ問題モナク、從テ討論等モゴザイマセズ、何等修正モナク、委員會ハ一致デ可決イタシタ次第デゴザイマスカラ、何卒全會一致ヲ以テ可決アラムコトヲ望ミマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵柳筍隆督君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、全部ヲ問題ニ供シマス、

全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵柳筍隆督君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ、御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ、御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十九、委員長報告 東京帝國大學臨時

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十四日

右特別委員長

子爵野村益三

貴族院議長公爵徳川家達殿
〔子爵野村益三君演壇ニ登ル〕

○子爵野村益三君 東京帝國大學臨時政府支出金繕入ニ關スル法律案、過般醫學部ノ建物ガ燒失イタシマシタニ付テ、其復舊ノ爲ニ帝國大學特別會計法

第二條ノ政府支出金ノ外ニ、更ニ十萬圓ヲ一般會計ヨリ繕入レルト云フノガ此法案ノ趣旨デアリマス、其金額ノコトニ付マシテハ、唯今御審査中ノ大正十一年度總豫算追加案ノ第二號並ニ特第一號、此兩方ニ掲載シテアルノデアリマス、特別委員會ハ本案ノ適法且ツ重要ナルコトヲ認メマシテ、可決イタシタノデアリマス、何卒御承諾アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵柳筍隆督君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認マス

○子爵櫛笥隆督君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ、御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三十、委員長報告
增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十四日

右特別委員長
男爵木越安綱

貴族院議長公爵徳川家達殿
〔男爵木越安綱君演壇ニ登ル〕

○男爵木越安綱君 唯今上程サレマシタ法律案ハ、憐ムベキ廢兵等ノ救濟ニ依リマス法律案デアリマス、是ヨリ委員會ノ模様ヲ申上ゲマス、此案ノ内容ハ唯今申上ゲマシタ彼ノ憐ムベキ廢兵等ヲ救助スルト云フ處ノコトデアリマシテ、戰鬪ニ於キマシテ負傷ヲシテ、不具廢疾ニナリマシタル方ノ側ノ者ガ甲號ト云フ側デ、第一項カラ第五項マデアリマス、第一項ハ即チ兩眼ヲ盲シ二肢ヲ失ッタ者、ソレカラ等差ヲ付ケマシテ、第五項ニナッテ居リマス、又公務ニ起因シマスル所ノ矢張不具廢疾等ニナリマシタ者ノ分モ、一項カラ五項ソレカラ乙號ノ方ハ第一項ガ百六十圓デ漸次低減シマシテ第五項ニハ四十圓ト云フ額デアリマス、此總計ガ百十二萬圓年額ヲ要シマスルサウデアリマス

惠ニ浴スルト云フコトハ、誠ニ結構ナコトデアリマスガ、併ナガラ唯今述べ

マシタ三十三圓デハ不足デアリマスノデ、當局ニ於テモ財政ノ許ス場合ニハ之ヲ増額スルト云フ答辯ヲ得マシタノデ、委員會ハ將來財政ノ許ス場合ニハ速ニ増額サルルト云フコトノ條件ヲ附シマシテ、全會一致可決ヲ致シマシタ、此段御報告申上ゲマス、案ハ極メテ短簡デ、又諸公ノ同情ヲ得ルコトト信ジマスデ、速ニ御贊成アラムコトヲ希望イタシマス

〔伯爵吉井幸藏君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 吉井伯爵ハドウ云フコトデアリマスカ

○伯爵吉井幸藏君 私ハ動議ヲ…

○議長(公爵徳川家達君) 動議…

○伯爵吉井幸藏君 本案ハ讀會ヲ省略シテ御決定アラムコトヲ希望イタシマ

○伯爵吉井幸藏君 ドウカ皆サン御贊成ヲ願ヒマス

○子爵西大路吉光君 讀會省略贊成

○子爵柳筍隆督君 贊成

○伯爵松平頼壽君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 吉井伯爵ノ讀會省略ノ動議ニハ、定規ノ贊成ガアッ

タト認メマス

〔阪本鉄之助君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 阪本鉄之助君ハドウ云フコトデアリマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 阪本鉄之助君ハドウ云フコトニナカルノデアリマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 此機會ニ於テハチヨット政府ニ御尋ヲシタインデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 政府ニ質問デスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○阪本鉄之助君 ハイ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○阪本鉄之助君 唯今委員長ノ御報告ノ最後ニ、國庫ニ餘裕ガアレバ更ニ増

スト云フヤウナ御言葉ガアッタヤウニ拜聽イタシマシタガ、唯今ノ法案ノ外

ニ更ニ増加サレルト云フ意味デアリマスカ、ソレニ付マシテ本員ノ伺ヒタイ

ノハ、先般來兩回ホド新聞ニ出テ居リマシタガ、頸ニ紙デゴザイマスカ、板

デゴザイマスカ下ゲマシテ、是ガ何圓ニ當ルトカ、是ガドウトカ云フヤウ

ニ、廢兵ヲ賣物ミタヤウニ札ヲ下ゲテ何カシテ歩イテ居ルヤウナ模様ガ、新聞ノ挿繪ニ見エテ居リマスガ、之ヲ見マシテ私ハ誠ニ國家ノ恥辱デアル、我

我國民ハ廢兵ヲ斯クマデニ虐待シテ居ルモノデアルカト云フコトヲ、外國ニタル人ヲ見セテ廣告スルノ意味ニ過ギヌノデアリマスカ、又ハ我國民ガ非常ニ虐待シテ居ルノデアルカ、ドチラカ存ジマセヌガ、即チ斯ノ如キ醜態ガ世間ニ現ハレナイヤウニ、政府タル者ハ宜シク御注意ヲ願ヒタイモノデアル、我國民ハ出來得ルダケ優遇ヲ與フルコトニハ、少シモ客カナル者デハナク、今日ノ所デ勿論足ルトハ考ヘマセヌ、併シ可ナリ宜シクナツテ居ルモノト安心ヲシテ居ツタノデアリマスガ、此人が何圓ノ給與ニ當ル者トカ何トカ云フ札ヲ下グテ、議院ノ前門ヲ訪問シタト云フヤウナコトハ誠ニ醜態ト存ジマス、唯今委員長ノ御言葉モアリマシテ、唯今ノニ又更ニ幾ラカ御増シニナツテ、初メテ満足ヲ與ヘルコトニナカルノデアリマスカ、今日御改正デ先ヅ以テ安心ヲ與ヘルモノト考ヘマスガ、若シ不安心デアルナラバ、今日ノヤウニ色ミナ支出ヲナサル位ナラバ、彼等ニモ十分ノコトヲナサツテ、彼等ノ満足ヲ致スヤウニナサツタ方ガ宜イデハナイカト存ジマスガ、其邊ノ程度ハ如何ナモノデゴザイマスカ、唯今私ノ所感ヲ述べマシタコトニ付テ、政府委員ノ御意見ヲ伺ツテ見タイト考ヘルノデアリマス

○政府委員(神野勝之助君) 本案ノ増加ノ程度ヲ以テ十分ダトハ考ヘテ居リマセス、併ナガラ財政上ノ關係ヲモ考慮イタサネバナリマセス、他ノ官吏其他ノ恩給トノ釣合モゴザイマスカラ、其邊ハ尙ホ十分根本的ニ調査イタシテ見マセヌト云フト、唯今之ヲ將來如何ニスルカト云フコトハ申上ゲ兼ネマス、併ナガラ出來得ルナラバ、出來ルダケ十分ニヤルヤウニイタシタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマスノデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵前田利定君 此際議事日程變更ノ動議ヲ提出イタシマス、即チ一昨日豫算委員ニ御付託ニナリマシタ、豫算案七件ノ中第二號大正十一年度總豫算

追加、第四號大正十一年度總豫算追加、第五號大正十一年度總豫算追加、特

第一號大正十一年度各特別會計豫算追加、特第二號大正十一年度特別會計豫算追加、追第二號豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル件、之ヲ唯今日程ニ上サレマシテ會議ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵西大路吉光君 贊成ヲイタシマス

○議長(公爵德川家達君) 前田子爵ノ議事日程變更ノ動議ニ、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 大正十一年度歲入歲出總豫算追加案第二號外五件ノ會議ヲ開キマス、豫算委員長報告、前田子爵

一大正十一年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)

一大正十一年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)

一豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

一大正十一年度歲入歲出總豫算追加案(第四號)

一大正十一年度歲入歲出豫算追加案(特第二號)

一大正十一年度歲入歲出總豫算追加案(第五號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモ

ノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十五日

豫算委員長

子爵前田 利定

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵前田利定君演壇ニ登ル〕

○子爵前田利定君 唯今日程ニ上リマシタ豫算案六件ハ、一昨日當議場ニ於テ豫算委員ニ御付託ニナッタモノデアリマス、此豫算各案内容ニ付マシテハ一昨日大藏大臣ヨリ御説明ガゴザイマシタ故、之ヲ再ビ申スコトハ省キマスガ、其主ナル歲出ヲ申上ダマスレバ、監獄ノ作業ノ改良擴張及ビ囚徒ノ就

役ノ時間ノ延長ニ伴ヒマスル経費、廣島陸軍兵器支廠ノ災害復舊費、先般燒失イタシマシタ丸ノ内ノ東京中央郵便局ノ新營費等ガ主ナルモノデアリマス

ス、其他「ゼノア」經濟財政會議ニ我ガ代表者ノ出張イタシマス經費、英國ノ皇太子殿下ノ御來遊アラセラルニ付テ歡迎シ奉ル諸費用、廢兵ノ恩給ノ増加等ガ主ナルモノデアリマス、今朝此會議ヲ開キマシテ、分科ニ移シマセズ總會ニ於テ之ヲ衆議院議決案ノ通りニ全部可決イタシマシタノデアリマス、質問モ多少ゴザイマシタガ其二三ヲ申上ダマスト、「ゼノア」會議ノコト、軍艦ヲ南米ニ派遣スルコト、在外ノ朝鮮人ノ保護取締ニ關スル費用、其他二三質問ガゴザイマシタケレドモ、格別ノコトモアリマセズ、何等ノ意見ノ提出モナク、全部可決ニ相成リマシタ次第デアリマス、尙ホ此ノ際ニ御含ミノタメニ申添ヘテ置キマスルコトハ、矢張一昨日豫算委員ニ御付託ニナリマシタ第三號大正十一年度總豫算追加、是ハ陪審法ノ實施ニ伴ヒマス費用ガ中ニ這入ッテ居リマス、是ハ議場ニ於キマシテマダ本法ガ通過イタシテ居リマセヌガ故ニ、適當ノ時期ニ於テ御報告ヲ申上ダヤウト思ヒマス、保留イタシテ置キマス、右様御報告申上ダマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今豫算委員長ヨリ一括シテ報告セラレマシタ豫算案六案、御異議ガナケレバ、一括シテ議題ト致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○磯部四郎君 此際日程ヲ變更セラレマシテ、陪審ニ關スル法律案ヲ議セラレムコトヲ望ミマス

○子爵西大路吉光君 贊成ヲ致シマス

○阪本鉄之助君 本員ハ反對ヲ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 採決イタシマス、磯部四郎君ノ陪審法案ノ第一讀會ノ續ヲ此際議スルタメニ、議事日程ヲ變更スルト云フ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 多數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 帰審法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、副委員長磯部四郎君

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十五日

右特別委員長

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔磯部四郎君演壇ニ登ル〕

○ 磯部四郎君 委員長ニ御差支ガゴザイマスノデ、私ハ代ツテ特別委員會ノ
經過ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ政府ヨリ提出ニ相成リマシタ其理由ニ付テ
ハ、先達テ十分政府委員ヨリノ御説明モアリマスルシ、又此案ニ對シマシテ
種々ノ質問モ十分ニゴザイマシテ、遂ニ委員會ニ廻リマシタ次第デゴザイマ
ス、是ヨリ私ハ此本案ニ對シマスル大體ノ委員會ニ於テ現ハレマシタ質問竝
ニ答辯ノ大要ヲ述べタイト考へマス、勿論此法案ハ是マデ司法權ノ作用ニ關
シマシテ、國民ノ參與ト云フモノハ無カッタモノガ、今回此法律ニ依テ刑事
ノ或一部分ニ付テ國民ノ參與ヲ得テ、依テ以テ即チ此今ノ裁判ノ公平ヲ知ラ
シムルト云フ趣意ニナツテ居リマスノデ、實ニ重大ナル案件ト考へマスルノ
デゴザイマス、ソレニ付マシテハ、第一ニ委員會ニ於テ出マシタ問題ハ、元
來憲法ノ第五十七條ニ依リマスルト、即チ帝國臣民ハ裁判官ノ裁判ヲ受クル
ノ權能ヲ有スル、斯クアルノニ向ツテ、國民ノ選舉ニ依テ列スル所ノモノハ、
是ハ裁判官デナイガ、或ハ憲法ニ抵觸シナイカト云フ問題ガ第一番ニ出マシ
タノデゴザイマス、ソレニ付マシテハ即チ委員會ノ質問ニ對シマシテ政府委
員ノ御答ニ依リマシテモ、決シテ憲法ノ第五十七條ト此案トハ抵觸スルモノ
デハゴザイマセヌ、何トナレバ國民ノ參與ハ唯評決ヲ裁判官ニ呈シテ、裁判官
ノ意思ガ決定シテ初メテ裁判ヲスルニ致シマシテ、決シテ此ノ國民ノ參與ス
ル其意見ヲ以テ裁判官ヲ拘束スルモノデナイ、カルガ故ニ裁判官ハ常ニ此法
案ノ實際ニ生マレマスル上ト致シマシテモ、裁判ニ付テハ十分ニ自由ノ權利
ヲ有ツテ居ラルルト云フコトデアリマス、又ソレニ相違ナイノデゴザイマス、
ソコデ又出マシタ問題ハ、然ラバマルデ此陪審法ト云フモノハ、決シテ歐洲
等ニ行ハレルガ如キ裁判官ヲ拘束スル所ノ力ノナイモノトスルト、一種證據

ニ過ギナイモノデハナイカト云フ御質問ガ出マシタ、之ニ付テハ一種ノ證據ガアツタカラ其證據ニ拘束セラレテ裁判官ガ裁判ヲ與ヘナケレバナラナイト云フ義務ハナイ、之ニ反シマシテ陪審員ノ意見ニ從フノ義務ハゴザイマセ故ニ若シ陪審員ノ意見ニシテ裁判官ノ意思ニ合ハナイ場合ニ於キマシテハ、即チ更ニ第二回、第三回、第四回、何百回デモ陪審員ノ組織ト云フモノヲ變更シテ、更ニ新ラシイ陪審員ニ付テ裁判ノ事實ヲ認定セシメルコトガ出來ル、此點ニ於キマシテハ證據ノヤウナモノデハナイ、ナカナカ勢力ノ強イモノデアルト云フコトガ是ガ第一番ニ現ハレマシタ問題デゴザイマス、ソレカラ第二ニ生ジマシタノハ極クアラマシニ申上ゲマスガ、第一條ニ於テ「裁判所ハ本法ノ定ムル所ニ依テ裁判ヲ爲ス」斯ウヤッテモ宜シイ譯デハナイカト云フ議論ガゴザイマシタガ、之ニ付マシテ政府委員ノ答辯ノ趣意ハ、第一條ニ付スコトヲ得「トアルノバ、「得ル」ト云フノハ誠ニ穩カナラヌ、所謂「裁判所ハ法律ノ定ムル所ニ依テ裁判ヲ爲ス」斯コトヲ好マナイ、之ヲ辭退スルト言ヘバ、尙ホ陪審ナクシテ今日ノ如クニ裁判ヲ與ヘル、又之ニ反シテ假令テハ最モ辛苦ヲ嘗シタノデアル、ナゼナレバ本法ノ陪審員ハ或ハ法定ノモノト雖モ、被告人其モノニ於テ陪審員ヲ煩ハスコトヲ好マナイ、之ヲ辭退スルテハ、是亦陪審ヲ與ヘナケレバナラナイ、斯ノ如クシテ詰リ或ハ之ヲ與フルモ與ヘザルモ、裁判ヲ爲ス上ニ於テハ、裁判官ハ自由ノ全權ヲ有ッテ居ルト云フコトヲ示サムガタメニ、裁判所ハ斯クスクシテ即チ判斷ヲナスコトヲ得、決シテ他ノ力ニ拘束セラレテ判斷ヲ爲スモノデハナイト云フ、深重ノ意味ヲ現ハシテ居ルノガ此第一條デアル、斯様ナコトニゴザリマシタ、又第六條ニ於キマシテ元來此法律ノ定メタル所ノモノヲ、ソレヲ被告人ガ好メバ其通リニシテ置クシ、イヤナレバ何時デモ辭スルト云フコトハ妙ナ陪審デハナテ陪審ヲ煩ハサズ、裁判官ノ裁判ヲ得タイト云フ念慮ノアル以上ハ、何モノレニ強ヒテ陪審ヲ與ヘルノ必要モナイデハナイカ、即チ之ヲ受クルノモ受ケマシテ、所謂裁判官ノ裁判ヲ受ケル點ニ於テ自分ハ十分ナル信用ヲ持ッテ敢ザルモ被告人ノ望ミニ任セルト云フ事柄ハ、如何ニモ自由主義ヲ採ツタモノ

ニシテ、誠ニ是ハ適度ノモノデアラウト云フノガ、六條ニ付テ起リマシタ所
謂何ンデゴザイマス、ソレカラ第十二條ニ付テ所謂陪審ノ能力問題ニ付マ
シテ、ドウデアラウ、日本人ヲ裁判スルノハ日本人ノ陪審デ澤山デアルケレ
ドモ、外國人等ガ被告人ニナツタ場合ニ於テ、何等東西南北ヲ知ラザル所ノ
外國人ノ爲ニ、日本人ノ所謂陪審デハ甚ダ不都合デハナイカ、何トカ之ニ付
テハ特別ノ方法ヲ設ケルノ必要ハナイカト、斯ウ云フ御質問ガ出マシタ所
ガ、今日ノ場合ニ於キマシテハ治外法權ヲ撤回セラレテ、今日如何ナル外國
人ト雖モ總テ日本ノ法律ニ服従シテ居リマス以上ハ、刑事ニ於テモ民事ニ於
テモ、悉ク外國人ノ爲ニ特別ノ規定ヲ設ケマセヌカラ、單ニ此陪審制度ノ爲
ニ特別ノ制度ヲ設クルノ必要ガナイ、斯ウ云フ御答ニナリマシタ、ソレカラ
陪審員ノ名簿ニ付キ何カ異議ヲ申立ッタ場合ニ、其ノ異議ト云フモノハ、裁
判官ガ一旦決定スレバ之ニ付テ故障等ヲ申出ルコトハ出來ヌト云フノハドウ
云フ譯デアルカト云フ、斯ウ云フ御質問モ出マシタ、所ガ是ハモウ所謂選舉
名簿ト等シイヤウナモノデ、多クノモノヲ村長ガ之ヲ選ンデ帳簿ニ記スルノ
デアリマスルカラ、其上ニ若シ間違ガアッタナラバ、之ヲ裁判官ニ一旦決定
シテ貰ッタナラバ、其上ニ尙ホ之ヲ控訴ヲスルトカ故障ヲ申立テルト云フヤ
ウナ手數ヲ要スルコトハアルマイ、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、ソレカラ
又三十一條ニ付テ問題ハ陪審裁判ガ二日以上續クトキニ補充員ヲ設ケル必要
ガアツテ、一日ノトキニハナゼ補充員ヲ設ケ置クノ必要ハナイカト云フ御質
問デゴザイマシタガ、成程偶々一日ニ事件ガ終ルヤウナトキデモ、十二名ナ
ラ十二名ノ陪審員ノ中ニ、或ハ疾病ニ罹ル者モ無キニシモアラズデアラウ、
ケレドモ健全ナル者ガ朝出テ來テ、サウシテ暫クノ間ニ陪審員ノ席ニ坐ッテ
陪審ノ職務ヲ行フ場合ニ、必シモ之ガ疾病等ガアルモノデアラウトハ豫測セ
ラレズ、殊ニ又サウ云フ場合ハ百ニ一ツ若クハ千ニ一ツデアラウカラ、千
ニ一ツ百ニ一ツノ場合ヲ豫想シテ、サウ云フモノヲ設ケ置クコトハ必要ハア
ルマイ、唯徒ニ費用ガ嵩ムノミニシテ、是等ノ必要ハナカラウ、之ニ反シテ
二日モ三日モ續クト云フ場合ニナレバ、多クハ老年ノ人モアリマセウカラ、
病氣モ或ハ生ズルノ虞アルカラ、茲ニ於テ補充員ヲ設ケナケレバナラヌ、斯
ウ云フ御返事デアリマシタ、ソレカラ第七十九條或ハ九十五條等ニ付テ色
ノ御質問モゴザイマスルケレドモ、之ヲ要シマスルノニ、詰リノ所、ソレ等
ハ皆日本ノ今日ノ程度カラ酌取ツテ、餘程我國ノ適當スル所ノモノヲ以テ決

ニシテ、誠ニ是ハ適度ノモノデアラウト云フノガ、六條ニ付テ起リマシタ所
謂何ンデゴザイマス、ソレカラ第十二條ニ付テ所謂陪審ノ能力問題ニ付マ
シテ、ドウデアラウ、日本人ヲ裁判スルノハ日本人ノ陪審デ澤山デアルケレ
ドモ、外國人等ガ被告人ニナツタ場合ニ於テ、何等東西南北ヲ知ラザル所ノ
外國人ノ爲ニ、日本人ノ所謂陪審デハ甚ダ不都合デハナイカ、何トカ之ニ付
テハ特別ノ方法ヲ設ケルノ必要ハナイカト、斯ウ云フ御質問ガ出マシタ所
ガ、今日ノ場合ニ於キマシテハ治外法權ヲ撤回セラレテ、今日如何ナル外國
人ト雖モ總テ日本ノ法律ニ服従シテ居リマス以上ハ、刑事ニ於テモ民事ニ於
テモ、悉ク外國人ノ爲ニ特別ノ規定ヲ設ケマセヌカラ、單ニ此陪審制度ノ爲
ニ特別ノ制度ヲ設クルノ必要ガナイ、斯ウ云フ御答ニナリマシタ、ソレカラ
陪審員ノ名簿ニ付キ何カ異議ヲ申立ッタ場合ニ、其ノ異議ト云フモノハ、裁
判官ガ一旦決定スレバ之ニ付テ故障等ヲ申出ルコトハ出來ヌト云フノハドウ
云フ譯デアルカト云フ、斯ウ云フ御質問モ出マシタ、所ガ是ハモウ所謂選舉
名簿ト等シイヤウナモノデ、多クノモノヲ村長ガ之ヲ選ンデ帳簿ニ記スルノ
デアリマスルカラ、其上ニ若シ間違ガアッタナラバ、之ヲ裁判官ニ一旦決定
シテ貰ッタナラバ、其上ニ尙ホ之ヲ控訴ヲスルトカ故障ヲ申立テルト云フヤ
ウナ手數ヲ要スルコトハアルマイ、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、ソレカラ
又三十一條ニ付テ問題ハ陪審裁判ガ二日以上續クトキニ補充員ヲ設ケル必要
ガアツテ、一日ノトキニハナゼ補充員ヲ設ケ置クノ必要ハナイカト云フ御質
問デゴザイマシタガ、成程偶々一日ニ事件ガ終ルヤウナトキデモ、十二名ナ
ラ十二名ノ陪審員ノ中ニ、或ハ疾病ニ罹ル者モ無キニシモアラズデアラウ、
ケレドモ健全ナル者ガ朝出テ來テ、サウシテ暫クノ間ニ陪審員ノ席ニ坐ッテ
陪審ノ職務ヲ行フ場合ニ、必シモ之ガ疾病等ガアルモノデアラウトハ豫測セ
ラレズ、殊ニ又サウ云フ場合ハ百ニ一ツ若クハ千ニ一ツデアラウカラ、千
ニ一ツ百ニ一ツノ場合ヲ豫想シテ、サウ云フモノヲ設ケ置クコトハ必要ハア
ルマイ、唯徒ニ費用ガ嵩ムノミニシテ、是等ノ必要ハナカラウ、之ニ反シテ
二日モ三日モ續クト云フ場合ニナレバ、多クハ老年ノ人モアリマセウカラ、
病氣モ或ハ生ズルノ虞アルカラ、茲ニ於テ補充員ヲ設ケナケレバナラヌ、斯
ウ云フ御返事デアリマシタ、ソレカラ第七十九條或ハ九十五條等ニ付テ色
ノ御質問モゴザイマスルケレドモ、之ヲ要シマスルノニ、詰リノ所、ソレ等
ハ皆日本ノ今日ノ程度カラ酌取ツテ、餘程我國ノ適當スル所ノモノヲ以テ決

メタコトデアリマスルカラ、其詳細ノ事柄ハ何卒一ツ速記録等ニ依テ何シテ
謂何ンデゴザイマス、ソレカラ第十二條ニ付テ所謂陪審ノ能力問題ニ付マ
シテ、ドウデアラウ、日本人ヲ裁判スルノハ日本人ノ陪審デ澤山デアルケレ
ドモ、外國人等ガ被告人ニナツタ場合ニ於テ、何等東西南北ヲ知ラザル所ノ
外國人ノ爲ニ、日本人ノ所謂陪審デハ甚ダ不都合デハナイカ、何トカ之ニ付
テハ特別ノ方法ヲ設ケルノ必要ハナイカト、斯ウ云フ御質問ガ出マシタ所
ガ、今日ノ場合ニ於キマシテハ治外法權ヲ撤回セラレテ、今日如何ナル外國
人ト雖モ總テ日本ノ法律ニ服従シテ居リマス以上ハ、刑事ニ於テモ民事ニ於
テモ、悉ク外國人ノ爲ニ特別ノ規定ヲ設ケマセヌカラ、單ニ此陪審制度ノ爲
ニ特別ノ制度ヲ設クルノ必要ガナイ、斯ウ云フ御答ニナリマシタ、ソレカラ
陪審員ノ名簿ニ付キ何カ異議ヲ申立ッタ場合ニ、其ノ異議ト云フモノハ、裁
判官ガ一旦決定スレバ之ニ付テ故障等ヲ申出ルコトハ出來ヌト云フノハドウ
云フ譯デアルカト云フ、斯ウ云フ御質問モ出マシタ、所ガ是ハモウ所謂選舉
名簿ト等シイヤウナモノデ、多クノモノヲ村長ガ之ヲ選ンデ帳簿ニ記スルノ
デアリマスルカラ、其上ニ若シ間違ガアッタナラバ、之ヲ裁判官ニ一旦決定
シテ貰ッタナラバ、其上ニ尙ホ之ヲ控訴ヲスルトカ故障ヲ申立テルト云フヤ
ウナ手數ヲ要スルコトハアルマイ、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、ソレカラ
又三十一條ニ付テ問題ハ陪審裁判ガ二日以上續クトキニ補充員ヲ設ケル必要
ガアツテ、一日ノトキニハナゼ補充員ヲ設ケ置クノ必要ハナイカト云フ御質
問デゴザイマシタガ、成程偶々一日ニ事件ガ終ルヤウナトキデモ、十二名ナ
ラ十二名ノ陪審員ノ中ニ、或ハ疾病ニ罹ル者モ無キニシモアラズデアラウ、
ケレドモ健全ナル者ガ朝出テ來テ、サウシテ暫クノ間ニ陪審員ノ席ニ坐ッテ
陪審ノ職務ヲ行フ場合ニ、必シモ之ガ疾病等ガアルモノデアラウトハ豫測セ
ラレズ、殊ニ又サウ云フ場合ハ百ニ一ツ若クハ千ニ一ツデアラウカラ、千
ニ一ツ百ニ一ツノ場合ヲ豫想シテ、サウ云フモノヲ設ケ置クコトハ必要ハア
ルマイ、唯徒ニ費用ガ嵩ムノミニシテ、是等ノ必要ハナカラウ、之ニ反シテ
二日モ三日モ續クト云フ場合ニナレバ、多クハ老年ノ人モアリマセウカラ、
病氣モ或ハ生ズルノ虞アルカラ、茲ニ於テ補充員ヲ設ケナケレバナラヌ、斯
ウ云フ御返事デアリマシタ、ソレカラ第七十九條或ハ九十五條等ニ付テ色
ノ御質問モゴザイマスルケレドモ、之ヲ要シマスルノニ、詰リノ所、ソレ等
ハ皆日本ノ今日ノ程度カラ酌取ツテ、餘程我國ノ適當スル所ノモノヲ以テ決

○矢口長右衛門君 簡單デアリマスカラ此席カラ……

○議長(公爵德川家達君) 政府ニ對スル質疑デスカ

○矢口長右衛門君 委員長ニデス、本員ガ此陪審法案ノ提出セラレタ當時本
員ノ頭ニ浮ビマシタコトハ、斯ウ云フ肝要ナル問題ヲバ何故ニ斯ノ如ク短期
ノ間ニ提出サレタノデアルカ、斯ウ云フ私ハ疑ガ起ツタノデアリマス、即チ
本案ガ提出サレタノハ此三月十四日デアリマス、今日ニ至テ漸ク十日間ノ時

日デゴザイマス、而シテ其條項ハ何項ゴザイマスカ、是ハ百十四項ト云フ
數多ノ條項ガゴザイマス、此問題タルヤ、言フマデモゴザイマセヌ、既ニ
樞密院等ニ於テハ二箇年モ掛ソテ種々ノ討議モサレタト云フノデアリマス、又
朝野ノ間ニ於テモ非常ナル議論ガアツタ考ヘルノデアリマス、是ガ衆議院
ノコトハ姑ク是ハ申シマセヌ、デ此短期間ニ於テ、能ク早ク御審議ナツタカ
ト云フ疑ガアル、之ヲ襄メテ申シマスレバ、御手際ナリト云フ讚辭ヲ呈シタ
イガ、少シク疑ツテ見マスレバ甚ダ審議上ニ付キ早過ギハシナイカト、斯ウ
云フ疑ガ起ルノデアリマス、ソレハ何回御開キニナリマシタノデアリマス
カ、又其採決等ニ付テ、質問終結ト云フヤウナコトガ、出ハ致シマセヌデゴ
ザイマシタカ、(聽取シ難シ)ソンナ疑ガアリマスガ、慎重審議ハ勿論ノコト
デゴザイマス、又徒ニ問題ヲ離レテ無用ノ質問ヲスルコトハ是ハ避ケナケレ
バナラヌケレドモガ、肝要ナル問題ハ審議ニ審議ヲスルト云フノガ議員タル
者ノ任務ト考ヘマス、然ニ其所謂ドレ位ノ日數ヲ費シ如何ナル風デアツタカ
ト云フ其邊ノトコロヲドウカ委員長ヨリ御報告ヲ願ヒタイモノデアリマス
○磯部四郎君 申上ゲマス、特別委員ハ初ニ於キマシテ、少シク速記等ニ
差支ヲ生シタルガ爲ニ、懇談會ノ名義ヲ以テ一日特別委員會ヲ開キマシタ、其
時ノ懇談會デゴザイマスカラ、自然速記ハアリマセスケレドモ、其懇談會ニ
付マシテハ先程モ申上ゲマシタ通り、特別委員ノ一名ヨリシテ尙ホ此コトハ
繼續委員デモ設ケテ一層調ベタ方ガ宜カラウト云フ御説モ出マシタノデゴザ
モノデゴザイマスルカラ、此上ニ尙ホ議スペキ點モナカラウ、勿論其コトニ
テ、其中又色ニ骨ヲ拾ヒマスレバ僅二十二三條ニ問題ガ終ラウト思フノデ
ス、是ダケノ事柄ヲ唯今申上ゲマシタ度數ヲ以テ十分ニ御調べ下サイマシタ
モノデゴザイマスルカラ、此上ニ尙ホ議スペキ點モナカラウ、勿論其コトニ
テ、十分ニ矢張御質疑ニナツタ次第デアリマス、私ノ考ヘマスルニハ條章ト
シテハ百何條モゴザイマスルカラ、其質問モ御聽キヲ申上げ
シテハ勿論委員會ノ欲スル所デハアリマスルカラ、其質問モ御聽キヲ申上げ
テ、十分ニ矢張御質疑ニナツタ次第デアリマス、私ノ考ヘマスルニハ條章ト
シテハ百何條モゴザイマスルカラ、三十條内外ノモノ
○議長(公爵德川家達君) 休憩ヲ致シマス、午後七時三十分ヨリ開會イタシ
マス

午後六時二分休憩

午後七時五十三分開議

案ニ付マシテハ、丁度唯今モ仰セノ通リ百條以上ノ法文デハアリマスルガ、
其中第三章以下、第三章以下ハ全ク手續上ノ問題デアリマシテ、殆ド法律上
ノ問題トハ成リマセヌ、詰リ三十四條……第一條ヨリ第三十四條ノ所マデガ

第一章第二章トナツテ居リマシテ、此中ニ種々ノ問題ガアリマス、之ニ付テ
多クノ質疑等モアツタ次第デアリマス、ソレカラ其日ハ即チソレデ質問ニ終
リマシタ、尙ホ一回昨日モ……一昨日モ其間ニ又本會議ニ於テ所謂定足數ニ
缺ケルト云フコトデ、其委員會ヲ終ルコトガ出來ナクシテ中途ニ此方へ出マ
シタ、ソレカラ更ニ委員會ヲ開キマシテ、サウシテ唯今申上ゲマスル通リ、
第一章第二章ト云フコトニ付マシテハ、各章ヲ分ッテサウシテ殆ド逐條審

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔長書記官朗讀〕

本日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ之ヲ衆議院ニ回付セ

リマシタ、尙ホ一回昨日モ……一昨日モ其間ニ又本會議ニ於テ所謂定足數ニ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、矢口君ニ御尋ヲ致シマス
ガ、マダ矢口君ノ質疑ハ繼續サレルノデアリマスカ

云ノハドウ云フ意味デアルカ、審ニ陪スルト云フコトデアルカ、將又陪シテ審スルト云フノデアルカ、重要ナルモノデアリマスカラ之ヲ伺ヒマス、ソレカラ陪審ト云フコトハ六十九條ニ於テ宣誓ニ依テ位置ヲ爲スモノト思ヒマス、即チ陪審ノ效力ハ宣誓ニ依テ位置ヲナスモノト思ヒマス、サウスルト陪審ト云フコトハ何故陪審ト云フ語ヲ用ヒラレルノデアリマスカ、陪審ト云フコトハ譯語デアッテ、翻譯ノ言葉デアッテ、私共ハ矢張審ニ陪スルト云フコトデアラウト思ヒマス、陪審ト云フコトハ即チ原語ニ於テハ宣誓者ト云フコト、誓ヒヲ爲ス人、ソレ故ニ陪審ト云フコトハドウナナルノデアルカ、ソレト、誓ヒヲ爲ス人、ソレ故ニ陪審ト云フコトハドウナナルノデアルカ、ソレ故ニ陪審ガドウ云フ效力ヲ生ズルカ、ソレヲ伺ヒマス、尙種々伺ヒタイコニ依テ陪審ガドウ云フ效力ヲ生ズルカ、ソレヲ伺ヒマス、尙種々伺ヒタイコトモアリマスガ大體陪審ノ性質ニ於テ右ノ一點ヲ伺ヒタイ、政府委員ノ説明ヲ求メマス

〔政府委員馬場鍊一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鍊一君) 御答ヲ致シマスガ、陪審ト云フ言葉ハ譯語デアリマス、恐ラク審ニ陪スルト云フ意味デアラウト思ヒマス

○男爵目賀田種太郎君 唯今宣誓ノ效力ヲ伺ヒマシタ、ソレハ如何デアリマスカ

〔政府委員馬場鍊一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鍊一君) 本案ニ於キマシテモ、陪審ノ宣誓ト云フコトハ最モ重キヲ置イテ出來テ居リマスノデ、其實ハ外國ニ於ケル陪審ト、考ニ於テ同一デアルノデアリマス

○男爵目賀田種太郎君 然ラバ此陪審ト云フコトハ外國ノ譯語デアル、外國ノ譯語デ、「ヂエラール」ト云フコトデ、誓ヒヲ爲スノデアル、陪審ハ誓ヒニ依テ效力ヲ生ズル、斯ウ云フ説明デアリマス、然ラバ此六十五條ノ宣誓ト云フモノハ刑法ニ於ケル普通證據人ノ證人ノ宣誓ト同一デアルカ、凡ソ裁判所

○男爵目賀田種太郎君 「左ニ掲クル者ハ陪審員ノ職務ヲ辭スルコトヲ得、其他民法上ノ行爲ニ付テ宣誓ヲ爲スモノハニツアルト思ヒマス、一ツハ神ニ誓フノデアル、一ツハ確言スルノデアル、其確言デアルカ、宣誓デアルカ、神ニ誓フノデアルカ、外國ノハ神ニ誓フコトニ依テ初メテ「ヂエラール」即チ宣誓者ト云フ陪審ノ效力ヲ生ズルノデアル、日本ノ陪審ハ唯自カラ確言シテサウシテ陪審、即チ外國ノ譯語ニ言フ如キ陪審ト云フ 效力ヲ持ツ譯デアルカ、其點ヲ伺ヒマス

○「政府委員馬場鍊一君演壇ニ登ル」
○男爵目賀田種太郎君 尚引續イテ伺ヒマスルガ、矢張陪審ノ評議當ヲ得ズ、若シ判斷當ヲ得ズ若クハ答申當ヲ得ズ、即チ其宣誓ノ趣意ニ背イテ陪審員ガ故意ニ間違ヒヲナシ、故意ニ提供セラレタル證據ヲ判斷セズ、然ル場合ニハ矢張偽證罪ニ問ハレルノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス、ソレカラモウレバ、茲ニ一つノ定年法ヲ設ケテアル、外國ニ於テ陪審員ニ對シテ定年法ヲ設ケテアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○「政府委員馬場鍊一君演壇ニ登ル」
○政府委員(馬場鍊一君) 陪審ノ評議ハ個々ノ陪審ノ答申トシテ現ハレルノデアリマセヌガ故ニ、果シテ偽證ナルヤ否ヤト云フコトハ所謂證人ノ場合ニ於ケルガ如ク明確デナイト思ヒマス、即チ陪審員ハ若シ其答申ニ付テ、若クハ自己ノ意見ノ表示ニ付テ、他人ノ請託ヲ容レタト云フ場合ニ於テハ、公務員濱職ノ罪ニ關スル刑法ノ制裁ガアルト思ヒマス、併ナガラ唯陪審員ガ宣誓シタト云フコトニ依テノ犯罪ハ、ソコニ成立ツトハ思ハナイノデアリマス、第二ノ御質問ハ一寸聞キ兼ネマシタガ……

○男爵目賀田種太郎君 第二ノ質問ハ陪審員ノ定年法ノコトデアリマスガ、是ハ十六條ノ第一項ニ設ケテアリマスガ、是ハ如何ナル譯カ
○政府委員(馬場鍊一君) 定年法、陪審員ニ付テノ定年法ハ本案ニハ設ケテゴザイマセス

○男爵目賀田種太郎君 「左ニ掲クル者ハ陪審員ノ職務ヲ辭スルコトヲ得、一、六十歳以上ノ者」是ハ定年法デハナインデスカ

○政府委員(馬場鍊一君) 是ハ六十歳以上ノ者ニ付テハ自己ノ體力其他ヲ考ヘマシテ、是ハ辭スルト言フコトガ日本ノ今日ノ國情其他ニ於テ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フ考カラ唯辭職ヲ得ルト云フ意味デアリマス、定年法ト云フ趣旨デハゴザイマセス

○男爵目賀田種太郎君 サウスルト隠居ヲスル者ニ付テハドウデス

○政府委員(馬場鍊一君) 民法ニ於キマシテモ六十歳以上ノ者ハ隠居ヲ爲スコトガ出來ルヤウナ次第デアリマスカラ、先ツ六十歳以上ニ至テハ老體ノ方ト見ラレルノデアルカラ、本人ノ御意思ニ依テ辭スルコトヲ認メタイ、斯ウ云フ考デアリマス

○男爵目賀田種太郎君 尚ホ伺ヒマス、唯今政府委員ノ説明ニ依ルト、陪審員ノ個々ノ其宣誓ニ付責任ヲ生ジナイ、十二人一體トナリ、陪審員ノ爲シタル判断若クハ答申シテ、陪審員一體トナリ責任ヲ有スルモノデアル、陪審官ガ個々ノ錯誤個々ノ故意ノ誤リ、ソレ等ニ付テハ責任ヲ有サナイ、或ハ人ニ誘惑サレル、或ハ請託ヲ受ケル、其十二人ノ中ノ或部分ガ請託ヲ受ケル、旁シテモ責任ヲ有セヌト云フヤウナ御答辯デアリマシタガ、果シテサウデアリマスカ、ソレカラ……

○政府委員(馬場鍊一君) 一寸其點ニ御答イタシマスガ、ソレガ公務員デアリマスカラ、例ヘバ被告人ヲ庇護シタト云フ場合ニ於テハ、公務員トシテノ瀆職罪ガ成立ツタト云フ趣意デ御答イタシマシタ

○男爵目賀田種太郎君 七十二條ニ證據ト爲ルベキ書類圖畫等規定ガゴザイマス、尙ホ此外ニ於テ民法或ハ刑事訴訟法ニ於テ定ムル證據物件、證據物件ト云フ有形無形共ニ七十二條以外ノモノハ無論證據トシテ許サレルコトト存ジマスガ、ソレハ如何デアリマスカ、又現在ノ民法、刑事訴訟法ニ依ルト、凡ソ其證據ニ關スル法律ノ條文ハ甚ダ少ナイヤウデアリマスル、又證據ノ採用拒否ニ付テノ法律ハナインデアリマス、此度ハ刑事訴訟法ニハドノ位ノ規定ガアルカ、大體本員ノ考デハ此七十二條ニ掲グタル證據物件ノ規定ハ甚ダ狭イヤウデアリマス、此以外ノ證據ハ何故取ラレナインデアリマスカ、無論取ルベキモノト思フ、ソコデ七十二條ノ規定ト云フモノハ、此規定以外ノモノヲ何カ現在若クハ將來定メラレル證據法ニ依ルモノヲ皆ナ許サレルノデアルカ、ソレヲ伺ヒタイ

〔政府委員馬場鍊一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鍊一君) 審理ニ付キマシテハ言フマデモナク、所謂直接審理ノ主義ヲ徹底シタイト云フ考デアリマス、公判廷ニ於テ直接ニ取調ベタル所ノ證據ヲ以テ證據トスルト云フノガ原則デアルノデアリマス、ソコデ七十一條ニ「證據ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外裁判所ノ直接ニ取調ヘタ

ルモノニ限ル」、飽ク迄直接審理ニ依ル主義ヲ明瞭ニ致シマシタノデアリマス、併ナガラ七十二條乃至七十四條ニ於キマシテ、已ムヲ得ザル場合ニ於テ

ハ其公判廷ニ於テ取調べタル以外ノ證據ヲ採用スル、斯ウ云フ主義ヲ採リマシタノデアリマスカラ、刑事訴訟法ニ於テ採用シマスル證據ヨリハ、證據ノ範圍ガ餘程限定サレルノデアリマス、是ハ陪審制度ヲ採用スル上ニ於テ斯ク無クテハナラヌト思フノデアリマス

○男爵目賀田種太郎君 政府ハ民事訴訟法若クハ刑事訴訟法ニ於テ、證據ニ關スル法律ノ條文、若クハ特ニ單行法トシテ證據法ナルモノヲ制定セラレル意思アリヤ否ヤ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレカラ今一ツハ第七十八條ニ於テ「裁判長ノ説示ニ對シテハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス」、此意味ハドウ云フコトデアリマスカ、何故ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得ナイノデアリマスカ、其理由ヲ伺ヒタイ

〔政府委員馬場鍊一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鍊一君) 刑事訴訟法竝ニ陪審法以外ニ證據法ヲ制定スルハゴザイマセヌ、ソレカラ七十八條ノ裁判長ノ説示ニ對シテ異議ヲ申立ツルコトヲ許シマセヌ趣旨ハ、若シ七十八條ニ於テ裁判長ガ法律竝ニ事實ノ問題ニ關シテ説示ヲ爲スニ付テ、之ニ一々論議ヲ許シ、異議ノ申立ヲ許シマシテハ終局スル所ガナインデアリマス、即チ例ヘバ殺人罪ト云フノハ如何ナル罪ガ殺人ノ罪ニナルカ、斯ウ云フコトハ裁判長ノ説示ニ依テ決メルヨリ外途ガナイノデアリマス、之ヲ若シ辯護人ヲシテ辯論ヲ致シマシタナラバ、遂ニ終局スル所ガゴザイマセヌ、ソレ故ニ其説示ニ對シテ辯護人ノ異議ノ申立ヲ許サヌ、併ナガラ若シ裁判長ガ法律上或ハ事實上ノ説示ニ付テ、法律ノ示ス所ニ違ツテ或ハ不當ノ説示ヲシマシタ場合ニ於テハ、上告ニ依テ之ヲ破棄スル途ヲ認メテ居リマス、此點ニ於テ十分ナル救濟ハアルコトハ如何ナリマススルノコトヲ上告ニ依テ破棄スルト云フコトハ、證據ノコトヲ上告ニ依テ破棄スルト云フコトハ如何ナル信ズルノデアリマス告スル場合ハ法律ノ問題デ證據ハ即チ事實デアリマス、ドウシテサウ云フコトガ出來マスカ、ソレヲ伺ヒマス

〔政府委員馬場鍊一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鍊一君) 只今ノ御問ノコトハ證據ニ付テノ真否ニ付テハ證據ノ原則デアルノデアリマス、即チ裁判長ハ法律ノ論點、事實ノ論點並ニ證據ノ

要領ニ付説示致スノデアリマス、此説示ヲスル、ソレニ付テ斯ノ如キ説示ハ不都合デアル、或ハ斯ノ如キ議論ハ法律論トシテ不都合デアルト云フ辯論ハ許サヌ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス

○男爵目賀田種太郎君 七十八條ニ依レバ異議ヲ申立ルコトハ出來マスマイガ、質問ハ出來マス、ソレハ如何、ソレカラ今一ツ刑事訴訟法或ハ將來ノ民事訴訟法ニ於キマシテ、證據ニ對スル法律ノ規定ヲ設ケヌト云フコトハ、是ハ政府ノ趣旨、即チ司法事務ニ關スル政府ノ趣旨デ……唯今ノ政府委員ノ答辯ハ十分デナイヤウデアリマス、場合ニ依リマシテハ總理大臣ニモ伺ヒタイ、少々十分ニ思ヒマセヌ、今少々御叮嚀ニ願ヒマス

〔政府委員馬場鍵一君演壇ニ登ル〕

○政府委員（馬場鍵一君） 質問ヲ致スコトニ付テハ別ニ止メテハアリマセヌ、唯異議ヲ申立テルト云フコトハ禁ジテ居リマス、ソレハ異議ヲ許シマシテハ遂ニ終局スル處ノ途ガゴザイマセヌガ故ニ、斯ノ如キ規定ヲ置キマシタノデアリマス

○男爵目賀田種太郎君 唯今ノ第二ノ問題ハドウナルノデアリマスカ

〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員（山内確三郎君） 私ハ唯今承リマシタ、テスガ、何カ民事ニ付テ、刑事ニ付テ、制限形式のノ證據ニ付テ何カ規定ヲ置クカト云フヤウナ……

○男爵目賀田種太郎君 チヨット申シマス、サウ云フノデハナイ、陪審ノ關係スベキ、陪審ガ判斷ヲ與フベキ證據書類ハ七十二條ニ規定シテアル、最前政府委員ヨリ承リマシタトキニハ、ソレハソレノミデアルト云フコトデアリマシタ、然ル所日本ノ民事訴訟法或ハ刑事訴訟法ニ於テ、證據ニ關スル法律ノ規定ハ誠ニ少ナインデアリマス、ソレ故ニ此七十二條以外ニ於テ證據ニ關スル法律ノ規定ヲ尙ホ設ケラルベキカ、ソレハ將來ノ民事訴訟法刑事訴訟法ニ於テモ設ケラレルカ、又ハ單行ノ證據法ヲ制定セラレルヤト云フコトヲ伺ッタノデアル、ソレニ付テ政府ノ意思ヲ伺ッタノデアリマス

○政府委員（山内確三郎君） 御答イタシマス、別段唯今ノ所特別ノ證據法ヲ作ルト云フコトハ、考ヲシテナイノデアリマス

○男爵目賀田種太郎君 九十五條ニ於テ陪審ノ答申ヲ不當ト認ムル……此不當ト認ムルト云フコトハ、其範圍ハ如何デアリマスカ、伺ヒタウゴザイマス

〔政府委員馬場鍵一君演壇ニ登ル〕

○政府委員（馬場鍵一君） 培審ノ答申ヲ不當ト認ムルト申シマスルハ、裁判官ガ犯罪事實アリト考ヘテ居リマス場合ニ、犯罪事實ナシト云フ答申ヲスル、若クハ其反対ノ場合、大體斯ウ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○男爵目賀田種太郎君 唯今ノ説明ハ甚ダ不十分ニ存ジマスルガ、段々刻限モ過ギマスカラ是ハ討論ニ於テ更ニ申上ゲマスガ、少シ足ラヌヤウニ思ヒマス、尙ホ伺ヒタイノハ百一條ニ於テ陪審ノ答申ヲナシ、ソレニ判決ヲ與ヘタ場合ニハ控訴ヲナスコトヲ得ズ、是ハ外國ノ例ハドウナツテ居リマスカ、或外國ニハ控訴ヲ許ス規定デアルヤウデアリマス、如何ナル場合ニ許スカ、日本ニ於テハ初メ裁判所構成法ニ依テ、一審ニ審ニ審トアル事實ノ裁判ニ付テハ控訴ヲ許スコトニナツテ居ル、イマ日本ノ一般ノ民俗ニ於テ、一般ノ社會狀態ニ於テ、一般ノ通信交通其他ノ事情ニ於テ、唯、一審デ犯罪ヲ定メルト云フコトハ頗ル危險ニ思フ、現ニ今マデノ裁判ニ於テ人違ヒ即チ有罪ト認メテ刑セラレル者ガ全ク無罪ノ人デアツタ云フコトガ、サウ云フ例ガ幾ラモアルダラウ、現ニ陪審官ヲ參加セシメタ裁判ナドニ於テ、後ニ新シイ事實ヲ發見シモ致方ナインデアルガ、私ハ一番此百一條ニ於テ此邦ニ於ケル陪審制度ガ危險ト思フ、ソレ故ニ外國ニ於テハドウ云フ例ガアルト云フコトヲ伺ヒタウゴザイマス

〔政府委員馬場鍵一君演壇ニ登ル〕

○政府委員（馬場鍵一君） 外國ニ於キマシテハ私ハ委シイコトヲ存ジマセヌガ、極メテ制限セラレタル範圍ニ於テ控訴ヲ認メテ居ル國ガアルヤウニ承知イタシテ居リマス、我國ニ於テ何ガ故ニ控訴ノ途ヲ開カナカツカト申セバ、陪審ノ事件ニ付マシテ其審理ノ手續ニ於テ極メテ鄭重ヲ極メルノデアリマス、即チ我國ノ殊ニ陪審ハ陪審ノ答申ニ依テ裁判官ガ事實判断ヲ拘束セラレズシテ、陪審ノ答申ニ加フルニ裁判官ノ判断ヲ以テスル事實判断デアリマス、斯ノ如ク鄭重ニ、殊ニ直接審理ノ手續ヲ盡シタル所ノ事實審ニ付テハ、更ニ控訴ノ途ヲ開クノ必要ハナイ、斯ウ云フコトニ考ヘマシタ次第デアリマス、後ハ御意見ノ相違カト考ヘマス

○男爵目賀田種太郎君 如何ナレバ政府委員ハ意見ノ相違ト言ハレルカ、政府ノ調べラレタ所ノモノヲ私ハ質問シテ居ル、全體ニ於テ政府委員ハ陪審ニ参加シテ裁判所ガ裁判ヲナストキニ、控訴ヲナスノ例ハ外國ニアルト仰セラ

レタ、然ラバ外國ノ例ヲ聞クノデアリマス、何ガ故ニ馬場政府委員ハ外國ノコトハ能ウ知ラヌト仰シヤル、御調べニナツタラ御知ラセラ願ヒタイ、前ニハ例ガアルト言ヒ、今ハ分ラヌト仰シヤッタ、ソレデハ議員ハ誠ニ迷惑スル、ソレカラ先キハ意見ノ相違トハ何ト云フコトダ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ先ヅ其コトヲ伺ヒタイ……議長、政府委員ヲシテ答辯セシメラレムコトヲ……

〔政府委員馬場鍊一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鍊一君)甚ダ恐縮デアリマスガ、モウ一遍御問ノ趣旨ヲ……○男爵目賀田種太郎君 本員ハ迷惑デアリマス、唯今明白ニ申上ゲマシタ、併シ申上ゲマズ、先日外國ニ於テハ百一條ノ場合ニ於テ控訴ヲナス例ガアルト仰セラレタ、ソレ故ニ今承ルト唯伺ヘバ外國ノコトハ能ウ知ラヌト仰セニナル、ソレデハ困リマス

○政府委員(馬場鍊一君)外國ニハ制限セラレタル範囲ニ於テ控訴ノ途ヲ開イテ居ル國モアリマスノデアリマス、併ナガラ其例ヲ採ラナイ、其採ラナカッタ理由ハ唯今申述ベタ理由ニ依テ申述ベタノデアリマス、併ナガラ現ニ外國ニモ採ツテ居ル例モアリマスガ、之ヲ採ル採ラヌト云フコトニナリマスト、矢張是ハ御意見ノ相違デアラウト思ヒマシタノデアリマス

○男爵目賀田種太郎君 サウ云フコトハ伺ヒマセヌ、サウ云フコトハ決シテ伺ツタコトハアリマセヌ、其外國ニ於テノ例ハドノ國デドウ云フ法律ノ規定デアリマスカラ聞イタノデアリマス、……議長、政府委員ヲシテ答辯セシメラレムコトヲ……ドウ云フ例ニナツテ居ルカ……

○議長(公爵徳川家達君) 御著席ヲ請ヒマス

〔政府委員池田寅二郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(池田寅二郎君)英吉利ノ例ニ付テ御答イタシマス、千九百七年ノ條例ニ依リマシテ、刑事ノ裁判ニ付マシテ控訴ヲ認メタノデアリマス、其如何ナル場合ニ控訴ヲ許スカト申シマスレバ、被告人ガ有罪ノ判決ヲ受ケマシタ場合ニ、其被告人ヨリ控訴ヲ申立ツルコトヲ許シテアルノデアリマス○男爵目賀田種太郎君 其他ノ例ハ如何デアリマスカ、英國以外ノ例ハ如何デアリマス、政府委員ニ之ヲ伺ヒタウゴザイマス

○政府委員(池田寅二郎君)取調べマシタ範囲ニ於キマシテハ、英吉利以外ニ於テハ、陪審ノ裁判ニ對シテ控訴ヲ認メテ居ル所ハ無イト思ヒマス

○男爵目賀田種太郎君 無イト思ヒマスデハ分リマセヌ、無イナラ無イ、有ルナラ有ルト明白ニ願ヒマス、思ヒマスデハ分ラヌ

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ速ニ答辯ヲ願ヒタイ、成ベク議事ヲ進行セシメタイ

○男爵目賀田種太郎君 便宜ノ爲ニ他ノ質問ヲ致シマス、其中ニ御考ヲ願ヒマス、八十二條ニ於テ「裁判長ハ評議ヲ爲サシムル爲陪審員ヲシテ評議室ニ退カシムヘシ」、先日政府委員ニ質問イタシマシタ所ガ、若シ陪審員ガ其日ノ中ニ判断ヲ爲ス能ハザルトキニハ如何ニスルカト尋ネマシタ所ガ、政府ハ宿舍ヲ造ル、裁判所内ニ宿舍ヲ造ル、若クハ旅館ヲ指定シテ之ヲ監視ヲ附スルト云フコトデアリマス、又豫算ノコトニ付テ昨日承ハリマシタ所ガ大藏省ノ政府委員ノ答モ同様デアリマス、此ノ所ニ於テハ評議室ニ退カシムベシトアル、評議室ト旅館ト宿舍ト如何ナル違ヒガアリマスカ、之ヲ伺ヒマス

〔政府委員馬場鍊一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鍊一君)御答イタシマスガ、評議室ハ裁判所ノ構内ニ設ケマシテ、評議ノ爲ニソコニ陪審員ガ集マル設備ヲスルノデアリマス、若シ陪審事件ニ付テ其日ノ中ニ事件ガ終了イタシマセヌデ、公判ガ翌日ニ瓦ルヤウナ場合ニハ、成ベク裁判所ノ構内ニ宿舍ヲ建テマシテ、ソコニ宿泊セシメテ他人トノ交通ヲ遮断スルト云フヤウニ致シタイト云フ考デアリマス○男爵目賀田種太郎君 引續イテ政府委員ニ伺ヒマスガ、裁判所内ニ宿泊セシムルト云フコトハ帝國ノ制度カ知レマセヌガ、ソレハ外國ニハナイコトデ、決シテ宿泊ハ許サヌ、評議室デ評議ヲ繼續シテ判断ヲナサシムルガ當然デアル、ソレハ非常ナ問題ト思ヒマス、ソレニ付テハドウ云フ御考デスカ

〔政府委員馬場鍊一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鍊一君)公判ガ一日デ濟ミマスレバ宜シウゴザイマスガ、複雜ナル事件デアレバ二日ニモ三日ニモ瓦ルノデアリマス、ソレ故ニサウ云フ場合ニハ矢張宿泊所ニ泊メテ置クト云フコトガ適當ナル處置デアルト思テ居ルノデアリマス

○男爵目賀田種太郎君 政府委員ノ説明ニ依ルト、陪審員ナルモノハ宣誓ヲナサレテヤルノデ、強力ナル效力ヲ有シテ居ル、即チ控訴モ許サヌ、陪審員ノ參加シタル裁判ニ於テハ、裁判官以外ニ事實ノ裁判ヲナスガ故ニ、殆ド事實ト判断ト效力ヲ同ジクスル裁判ヲ爲スガ故ニ控訴ヲ許サヌ、ソレガ故ニ陪

審ト云ヘバ即チ眞ノ裁判デ即チ裁判官デアル、全ク事實ノ裁判官デアル、憲法ノ五十八條ニ於テ帝國ノ裁判官ハ法律ニ依テ規定セラレタル者ガ之ニ任ゼラレテ裁判ヲ爲スモノデアル、陪審ハ若シ政府委員ノ如ク、是ハソレ程ノ效力ヲ有スルナラバ即チ裁判官ト同等デアリマス、是ハ帝國憲法ニ抵觸セザルヤ否ヤ、此點ヲ伺ヒタイ

〔政府委員馬場鍊一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鍊一君) 裁判官ハ陪審員ノ答申ニ基キマシテ裁判ヲ致シマスノデアリマスガ、其ノ事實判断權ハ飽クマデ裁判官ガ持ツテ居ルノデアッテ、裁判官ノ事實判断權ヲ法律上拘束スルノデナイ、斯ウ解スル以上ハ、只今日賀田男爵ノ御話ノ如ク、陪審員ガ裁判官デアルト云フコトハ言ヘナイ、然ラバソレガ憲法ニ抵觸スルト云フコトハ言ヘナイノデアリマス

○男爵目賀田種太郎君 最前伺ヒマシタ英國以外外國ノ例ハ如何デスカ、御調ニナリマシタカ、如何デスカ

〔政府委員馬場鍊一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鍊一君) 私ノ信ズル所デハ英國以外ニハ無イト思ヒマス

○男爵目賀田種太郎君 質問ハモウ……

○議長(公爵德川家達君) 目賀田男爵ハ何デスカ

○男爵目賀田種太郎君 更ニ意見ヲ述ベタイト思ヒマス、只今デ宣シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 只今デハイケマセヌ、適當ノ時ニ申上グマス、若

規禮次郎君

○若規禮次郎君 陪審ノ制度ハ英吉利デハ誠ニ圓滿ニ行レテ居ルヤウデアル、是ハ英吉利人ノ特性トシテ、職務上ノ責任ヲ盡スコトニ於テハ何事ニモ左右セラレズ、一二良心ノ命ズル所ニ依テ働くト云フヤウニナツテ居ルノガ、彼ノ國ノ大體ノ國風ノヤウデアリマス、ソレト共ニ感情ノ爲ニ刺戟セラレテ冷靜ノ態度ヲ失フコトガナイト云フノガ、又英國人ノ特性ノヤウニ思フノデアリマスガ、ソレデアリマス故ニ此陪審制度ガ英國ニ於テハ殊ニ圓滿ニ行ハレテ居ツテ、總テノ制度ヲ御設ケニナルト、後トニ至ツテ非常ニ悔ヒラレナケレバナラヌト云フコトガ起ルノデアリマスガ、ソレガ果シテ其通リニ行キ得ルヤ否ヤ、元來私共ハ外國ニ於テ、英吉利ダケデハ成功シテ居ルケレドモ、其他之ヲ真似シタ國ニ於テハ皆失敗シテ居ル、此失敗ノ制度ヲ日本デ之ヲ設ケナケレバナラヌト云フ考ノ起ツタノハ何ノ爲デアルカ、是ハ所謂裁判所ニ於テ居ルヤウニ私ハ考ヘマスガ、英吉利ノ制度ト云フモノヲ真似ヲシテ拵ヘタ大陸ニ於テハ、陪審制度ハ私共ノ見ル所ニ依レバ全ク失敗ノヤウデアル、大陸ノ裁判ニ於テ陪審ニ掛ツタ裁判ハ多クハ感情ノ爲ニ左右セラレテ、適正ナル裁判ヲ爲シ得ナイト云フコトハ、是ハ世界ノ公評デアラウト思ヒマス、

斯様ナ制度ヲ今日日本ニ真似ヲシテ御採用ニナルノデアル、是ハ餘程ヨク考テニナツタナラバ、私ハ十年經テ必ズ後悔ナサルト固ク信シテ居ルノデアリマス、斯様ナ重大ナル問題ヲ殊ニ時間ノ少イ間ニ決定セラレムトスル事柄ニ付テハ、甚ダ之ヲ遺憾トスルモノデアリマスガ、只今申上ゲル通り此制度ガシテ、而モ感情ノ爲ニ左右セラレヌト云フモノデナケレバイカヌノデアリマスガ、私共ハ日本ノ國民ハ是ダケノ特性ハ有ツテ居ルトハ思ヒマス、併ナガラ陪審制度ヲ適用スル場合ニ於テ、果シテソレガ其通リニ行クノデアリマセウカ、罪人ヲ前ニ控ヘテ置イテ之ヲ有罪ナリト云フ決定ヲスレバ、彼ガ仕返シヲシハセヌカト云フヤウナ考ヲ起スコトガナクシテ、果シテ此陪審制度ガ行ハルルデアルヤ否ヤ、又誠ニ憐レッボイヤウナコトヲ言ヘバ、感情ニ動カサレルコトナクシテ、冷靜ニ能ク事實ヲ判断スルコトガ日本ノ國民ニ出來ルヤ否ヤ、出來ルト申上グナケレバナリマセヌガ、私ハ誠ニ之ヲ今日ハ確定ニ信ズルコトガ出來兼ネテ居ルノデアリマス、國民性ノ成ベク良イ所ヲ申シタイノデアリマスガ、斯様ナ重大ナル制度ヲ設ケラレルトキニハ、國民ノ弱點ヲモ御互ニ考ヘマスト云フト、弱點ヲ隠ス隠スト云フノガ、美點デアルト言ツテ居ツテ、總テノ制度ヲ御設ケニナルト、後トニ至ツテ非常ニ悔ヒラレナケレバナラヌト云フコトガ起ルノデアリマスガ、ソレガ果シテ其通リニ行キ得ルヤ否ヤ、元來私共ハ外國ニ於テ、英吉利ダケデハ成功シテ居ルケレドモ、其他之ヲ真似シタ國ニ於テハ皆失敗シテ居ル、此失敗ノ制度ヲ日本デ之ヲ設ケナケレバナラヌト云フ考ノ起ツタノハ何ノ爲デアルカ、是ハ所謂裁判所ニ於テ居ルヤウニ私ハ考ヘマスガ、英吉利ノ制度ト云フモノヲ真似ヲシテ拵ヘケル人權蹂躪ガ甚ダシカツタカラ是ガ起ツタノデアリマス、裁判所ガ若シ人權ヲ尊重セラレテ、總テ誠ニ平穩ニ、公平ニ、被告人ヲ取扱ハレタナラバ、陪審制度ヲ設ケヤウナント云フヤウナ、遲レタル考ガ日本ニ起ル筈ハナイノデアリマス、是ガ今日必要デアルト云フテ國民カラ唱ヘラルルノハ、裁判所ニ

於ケル人權蹂躪ノ事件ガ頻繁トシテ起ル故ニ、何ヲシタナラバ、アレガ防ゲ
アル、アレデモ採フテ實行シタナラバ、幾ラカ人權ノ尊重ガ出來ルノデアラ
ウト云フ、萬已ムヲ得ズ求メル故ニ、已ムヲ得ズシテ初メテ陪審制度ニ向ッ
テ救濟ヲ求メヤウト考ヘタノガ、初メテ今日日本國民ガ陪審制度ヲ考ヘタ基
デアルト私ハ思ツテ居ルノデアリマス、是ハ誠ニ私ハ申上グタクハナイケレ
ドモ、陪審法案ナルモノハ今日ノ裁判所ニ對スル一種ノ不信任デアルノデア
リマス、裁判所ガ公平ニ深切ニ被告人ヲ扱ハレタナラバ、國民ガ陪審制度ナ
ドヲ設ケヤウナント云ア考ガ起ル譯ハナイ、大陸デ斯ノ如ク失敗シタ法律ヲ、
日本ニ於テ之ヲ眞似シヤウナント云フコトガ起ル譯ハナイ、餘リニ人權蹂躪
ガ甚シイガ故ニ、何トカ之ノ仕様ガナイカ何カナイカト搜ス中ニ、陪審制度
ト云フモノデアルガ、アレデモヤツタラバ幾ラカ裁判所ノ人權蹂躪ガ防ゲル
モノデハナカラウカト考ヘタノガ、日本國民中ニ陪審制度ヲ考ヘタ私ハ元ダ
ラウト思フ、刑法ナリ刑事訴訟法ノ施行セラレタノハ明治十五年デアリマ
ス、今日マデ五十年經ツタ、五十年ノ間我ミハ公平ナ裁判ヲ受ケテ満足シテ
居ツタノデアリマス、最近ニ至テ屢々人權蹂躪ノ事實ヲ發現シタノデアリマ
ス、茲ニ至テ五十年間外國ノ誠ニ弊害ノアル制度ノ無カツタ、誠ニ結構ナル
日本ノ裁判制度ニ向ツテ、外國ノ弊害ノアル制度ヲ迎ヘナケレバナラナイト
云フ考ヲ、國民ニ起サセタト云フ事柄ハ、確ニ私ハ是ハ裁判ニ對スル國民ノ
一種ノ不信任デアリマス、私ハ斯様ナコトハ申スコトハ好ミマセヌ、日本ノ
裁判ハ公平デアッテ、之ニ信賴スルノガ當然デアルト申シタイノデアリマス
ガ、陪審制度案ガ今日ノ急要ナル案ダト唱ヘラルルニ至ツタ事情ヲ考ヘマス
ルト云フト、ドウシテモ一種ノ、裁判ニ對スル不信任デアルト言ハナケレバ
ナラヌ、是ハ誠ニ困ツタコトデアル、併ナガラ求メラレタ救濟ノ方法ハ私ハ
決シテ適當ナル救濟ノ方法ヲ求メラレタト思ヒマセヌ、英吉利人デアッテ、
英吉利デ實行スルナラバ初メテ圓滿ナル陪審ノ制度ガ行ハレル、歐羅巴ノ大
陸ハ總テ失敗シテ居ル、東洋ニハ曾テ斯様ナ制度ガナイ、日本ノ國民ガ果シ
ス、ソレガ議會ノモウ閉院式ヲ舉ゲラルル前日ニ於テ、閉會ニ至ルマデニ僅
ニ三時間十五分ヲ殘シテ居ル間ニ、斯様ナ重大ナ問題ヲ此所デ強制的ニ我ミ
ニ協贊ヲ求メラルト云フ事柄ハ、私ハ誠ニ是ハ遺憾トスルノデアリマス、

ソコデ政府ニ御尋シタイノハ、此度ノ陪審法ニ依リマスト云フト、元來陪審法ヲ必要トシタノハ、唯今申上グルヤウナ事情デアッテ、主トシテ政治ニ關係ナルヤウナ犯罪ニ付テ起ツテ居ルノデアリマス、選舉法ノ違反デアルトカ、或ハ地方長官ガ縣會ヲ左右シタ疑ガアリハセヌカト云フヤウナ問題ノトキニ、非常ナ人權蹂躪ガ起ツタ、ソコデ政治上ニ關係シテ居ル人達ガ、今日ノ裁判ノ狀態ニ對シテ非常ナ恐怖心ヲ抱イテ居ルノデアル、此狀態ニ置イタナラバ、日本ノ國民ハ立憲政治ノ治下ニ居リナガラ、我ミノ生命、財產、自由、是ノ安全ト云フモノガ誠ニ困ツタコトダト云フ考ガ起ツタカラ、初メテ陪審制度ト云フモノヲ設ケヤウト云フ考ガ、輿論ニナツタトハ申上ゲマセヌガ、國內ニ蔓ツテ參ツタノデアル、然ニ今度ノ法案ニ依リマスト云フト、陪審制度ヲ法定ニ設ケラルルモノハ、死刑ニ處セラルル者カ、然ラザレバ無期徒刑ニ處セラルベキ犯罪ヲ爲シタ者ニ限ツテ陪審制度ヲ設ケル、其他ハ三年以上ノ懲役ニ處セラルベキ者ニ對シテ、被告人ガ請求シタラバ初メテ陪審ノ制度ヲ設ケルト云フ此法律ノ規定デアリマス、是マデ裁判所ニ於ケル人權蹂躪ト云フ問題ハ、主トシテ政治ニ關係ノアル嫌疑事件ニ於テ起ツタノデアル、其事柄ハ今日ノ陪審法ハ多クハ適用ハナイノデアリマス、而シテ人ヲ殺シタトカ血ヲ著ケタト云フヤウナ、死刑ニ處セラレルカ、無期懲役ニ處セラレル疑ノアル者ニ付テノミ陪審制度ヲ設ケヤウト云フノガ此度ノ法律デアリマス、ソコデ第一ニ伺ヒタイノハ、是ハ委員長ニ伺ツテモ宜シイ、又政府ニ伺ツテモ宜シイデアリマスガ、死刑ニ處セラレ、無期懲役ニ處セラレルヤウナ事件ニシテ、從前裁判所ガ不公平ナ裁判ヲシタ、アノ通りデアルカラ陪審ガナケレバ事實ノ判断ガ危ズナイト云フヤウナ事件ガ、ドレダケ起ツタノデアリマスカ、私ハ今日マデノ裁判所デハ人權蹂躪アリト云ヒマスケレドモ、人權ノ蹂躪ハ公判ニ於テハナイデアリマス、又裁判官ノ判決ニ於テハ私ハ日本ノ判決ハ、左様ナ不公平ナ判決ハナカツタト思フノデアリマス、世間ニ於テ人權蹂躪ト稱ヘラレルノハ、檢事ノ搜査ニ於テ、檢事ノ訊問ニ於テ非常ニ亂暴ナコトヲシタ、公ノ公判ニ至ルマデノ間ニ於テ人權蹂躪ハ行ハレタノデアル、公判ニ至テカラ後ニハ、ソンナ不公平ナコトハナイ、裁判所ニ於テモ私ハ不公平ナ裁判ハ今マデアッタトハ思ハナイノデアリマス、然ニ死刑ニ處セラル者、無期懲役ニ處セラルベキ犯罪ヲ犯シタ者ニノミ限ツテ、此度ノ陪審制度ヲ設ケル、陪審制度ハ公判ニ付テノ問題デアリマス、檢事検査ナルモノニ付テハ陪

審ノコトハ役立タヌノデアリマス、人權蹂躪ガ若シアリトスレバ、依然トシテ行ハレルノデアリマス、公判ニ付テハ何ニモ關係ガナインデアリマス、公判ニ付テ而モ死刑或ハ無期懲役ニ處セラルルニ付テ、陪審ノ制度ヲ初メテ設ケラレルト云フナラバ、死刑若クハ無期懲役ニ處セラレベキ犯罪ノ疑ノアル者ニ付テノ公判ニ付テ、非常ニ不公平ナ裁判ガアル、ソレガ爲ニ無辜ニシテ死刑ニ處セラレタ、無辜ニシテ無期懲役ニ處セラレタト云フ事件ガ澤山アツタ、故ニ初メテ此陪審ノ制度ヲ設ケテソレヲ救濟スルト云フ御考デアルト云フノデアリマスカ、其主ナル實例ヲ茲ニ舉ゲテ御示シラ願ヒタイ

○磯部四郎君 唯今若櫻君カラ政府委員ニ質問シテモ宜シイ、委員長ニ問ウテモ宜シイト云ノデアリマスガ、兩方一時ニ御答スル譯ニハ行キマセヌガ、ドッヂカラ言ッタガ宜シウゴザイマスカ、チヨット御尋ネ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 磯部君ニ問ヒマスガ、議長カラ質問者ニ尋ネヨト云フ御註文デスカ

○磯部四郎君 サウ、デス

○議長(公爵德川家達君) 磯部君御自身デ、若櫻君ニ御尋ネニナツタ方ガ宜シウゴザイマス

○磯部四郎君 ドッヂニ致シマセウカ

○若櫻禮次郎君 磯部君ニハ後カラ又御尋ネスルコトガアリマスカラ、此問題ダケハ政府ノ方カラ御答辯ヲ願ヒマス

○磯部四郎君 イヤ謹ンデ致シマス

〔政府委員林頼三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(林頼三郎君) 唯今ノ御尋ニ對シテ御答致シマス、政府ガ陪審法案ヲ提出致シマシタ理由ハ、既ニ特別委員會等ニ於テモ詳細述ベマシタ通り、決シテ人權蹂躪ノ聲ガ世間ニ激シイノデ、ソレガ爲ニ起ツタコトデハゴザイマセヌ、大體二ツノ理由カラ陪審法ヲ制定スル必要ヲ感ジマシタ、其一ハ立憲ノ本義ヲ全ウスル政治上ノ理由、一ツハ司法裁判ニ國民ノ信賴ヲ厚クスルト云フ司法上ノ理由、斯ウ云フコトヲ主モナ理由ニ致シテ居リマス、ソレハ政治上ノ理由ト云フノハ、私ヨリ殊更ニ申上グルマデモナイ、國民ノ翼賛ニ依テ國務ヲ遂行スルト云フコトガ、立憲ノ本義デアルト信ジテ居リマス、即チ立法ニ議會ガアツテ國民ガ參與シ、行政ニハ地方自治ノ制度ガアツテ國民ガ之ニ參與スル、獨リ司法ト云フ國務ニ付テノミ國民ガ全ク無關係ノ地

位ニアル、斯ウ云フコトハ適當ノ制度デナイ、國民ノ今日ノ進歩ノ程度ニ於テ、國民ヲシテ司法事務ニ或程度ニ干與セシムルト云フコトハ適當ナコトデアラウ、斯ウ云フコトガ大體一ツ理由デゴザイマス、又一ツハ今日ノ裁判ハ儘ニ置キマシテ、裁判ト云フモノハ全ク常職ノ裁判官ノミガ集ツテ、國民ハ全然關係スルコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトニナリマスト、國民ガ裁判ニ付テ或ハ信用ニ付テ疑ヲ抱クヤウニナリハセヌカト云フ處ガ段々アリマス、茲ニ於テ國民ヲシテ裁判ニ干與セシメマスト云フコトニナリマスト、裁判ノ信用ト云フモノガ益高マッテ、國民ハ裁判ニ信賴シ裁判ニ悦服スル、斯ウ云フヤウナコトニナルデアラウト云フコトヲ信ジマス、是ガ司法上ノ理由デゴザイマス、其二ツノ理由ガ主トナリマシテ、陪審制度ヲ樹立シナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニ考ヘマシタ次第デアリマスガ、併ナガラ我國最初ノ制度デモアリマスシ、陪審ニ掛ケマス事件ノ範圍ヲドノ位ノ程度ニスルト云フコトハ餘程考慮スル必要ガアルト考ヘマシタノデ、其所デ御尋ノ如ク、死刑又ハ無期懲役ニ當ル事件ト云フノハ法定陪審トナツテ居ルノデゴザイマスガ、是ニハ申上ゲルマデモナク死刑トカ無期刑ニ處セラレル事件ト云フ意味デハゴザイマセヌ、法定刑ノ中ニ死刑無期刑ガ這入ツテ居ル犯罪ハ總テ之ニ當ル、斯ウ云フコトニナリマスノデ、其裁判ノ結果ガ必シモ死刑無期刑ニ歸著スル譯デモアリマセヌ、是ハ申上ゲルマデモアリマセヌガ、チヨット先程ノ御尋ガ少シドウデアラウト云フコトヲ考ヘマスカラ、念ノ爲ニ申上ゲテ置キマスノデアリマス、サウ云フ次第デゴザイマシテ、御尋ノ死刑トカ或ハ無期刑ニ當ツタ事件ニ付テ、今日マデドレ程不當ト感ズルヤウナ裁判ガアツカ、斯ウ云フコトニ付テハ、別段具體的ノ事件ニ付テサウ云フ重イ處分ヲシタ裁判ニ、不當ナコトガアツタト云フコトハ是ハ感ジマセヌデゴザイマス、尤モ全然無イトハザイマセヌ、大體二ツノ理由カラ陪審法ヲ制定スル必要ヲ感ジマシタ、其一ハ立憲ノ本義ヲ全ウスル政治上ノ理由、一ツハ司法裁判ニ國民ノ信賴ヲ厚クスルト云フ司法上ノ理由、斯ウ云フコトヲ主モナ理由ニ致シテ居リマス、ソレハ政治上ノ理由ト云フノハ、私ヨリ殊更ニ申上グルマデモナイ、國民ノ翼賛ニ依テ國務ヲ遂行スルト云フコトガ、立憲ノ本義デアルト信ジテ居リマス、即チ立法ニ議會ガアツテ國民ガ參與シ、行政ニハ地方自治ノ制度ガアツテ國民ガ之ニ參與スル、獨リ司法ト云フ國務ニ付テノミ國民ガ全ク無關係ノ地

○若櫻禮次郎君 色々説明ヲ伺ヒマシタガ、問ハナイコトヲ自然御答ニナツタ、固ヨリ法律ハ茲ニ概念ヲ捕ヘテ置イテ言フノデアリマスカラ、法文ノ上ニ死刑ニ處スルト書イテアルモノ、又ハ無期懲役ニ處スルト云フコトガ書イ

テアルモノ、ト云フコトハ分リ切ッタコトデアリマス、サウ云フコトハ説明ヲ伺ハヌデモ分リ切ッタコトデアル、唯今御答辯ノ中ニ一ツノ理由ガアル、其一ツノ方ハ是ハ俗人ニ分リ易イヤウニ政府ガ説明シテ居ラレル理由デ、私共ハ一向理由ニモ何ニモナラヌト思ッテ居リマスガ、又一ツノ理由ハ裁判ニ對スル國民ノ信用ヲ厚クスルガ爲ニ之ヲ設ケタト云フ御説明デアル、ソレガ即チ私ノ問ウテ居ル所デアル、私共ハ是マデモ裁判所ノ判決ニ於テ死刑ニ處セラレタリ、無期懲役ニ處セラレタルモノハ裁判所ハ事實ノ認定ヲ誤マッタコトナク、刑ノ適用ニ於テモ誤ル所ナク適用セラレテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマス、今日モ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレヲ政府委員ハ國民ノ信賴ガ薄クナル虞ガアルカラ陪審制度ヲ設ケル、斯ウ仰シャルト云フト、何處カ國民ガ裁判ニ信賴セナイ所ガアルラシク思フノデアリマス、私ハ國民ノ一人デアリマスガ、裁判ニハ信賴シテ居ル、是マデモ信賴シテ居ル、公平デアッタト思ッテ居ル、陪審制度ナドハ一ツモ要ラヌト思ッテ居ル、死刑ニ處セラルベキモノ、無期懲役ニ處セラルベキモノニ付テハ、事實ノ認定ガ誤ッテ居ナイト考ヘテ居ル、刑ノ適用ノ問題ハ今日ノ法律ニ依テハ關係ガアリマセヌカラ申上グマセヌ、事實ノ認定ニ於テモ左様ナコトハナイト思ッテ居ル、ソレガ司法當局ガ國民ノ信賴ヲ薄クスル疑ガアルト仰シャルト、何カ其所ニ隠レタル暗イ方面ガアルヤウニ聞エマスガ、其暗イ方面ノ實例ヲ舉ゲテ茲ニ御説明ヲ願ヒタイ、私ハ法文ノ意味ヤ、立法ノ趣意ナドヲ伺ッテ居ルノデアリマセヌ、今日マデ政府ガ此法律ヲ設ケナケレバナラヌト御考ヘニナッタ、實際ニ於テ不公平ナル裁判ハ斯ウ云フ事件ガアッタ、斯ウ云フコトガアルカラ陪審制度ヲ設ケテ置カヌト云フト危イト御考ヘニナッタ、其實例ヲ承リタイノデアリマス

〔政府委員林頼三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(林頼三郎君) 御答致シマス、今日マデノ實例ニ於キマシテ、不當デアッタト信ズルモノハ、別段私ノ知ル所デハゴザイマセヌ

○若槻禮次郎君 唯今ノ政府委員ノ答辯ニ依テ、陪審法ヲ設ケラレル必要ガ全然ナイト云フコトガ明カニナッタノデアリマス、然ル後更ニ條文ニ付テ今度ハ磯部君ノ御説明ヲ願ヒタイ、唯今委員長ノ御報告ニ依リマスト云フト、陪審ガ間違ッテ居ルト認メタトキニハ、更ニ又他ノ陪審員ニ其審査ヲセシメテ、百遍モニ二百遍デモ、千遍モニ一萬遍デモ、何處マデモ結局陪審員ノ審

查ガナクラネバ裁判ガ出來ヌト云フ點ニ於テ、上訴ト云フコトハ大ニ違フト云フコトヲ御説明ニナッタ、條文ニ依テ見マスト死刑又ハ無期懲役ニ該ルベキ犯罪ニ付テハ陪審ニ付スルコトヲ得、私ハ茲ニ條文ヲ持ツテ居リマセヌガ、多分サウ云フ條文デアッタト思ヒマス、付スコトヲ得カ、付スデモ宜シイ、又スル裁判官ガ陪審員ノ、協定デアッタカ評議デアッタカ決議デアッタカ知ラヌガ、其思フ、ソレヨリ外條文ガナイヤウニ思ヒマスガ、結局陪審員ノ審査ガナケレバ判決ガ出來ヌト云フノハ、ドノ條文ニ依テ御ヤリニナルノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○磯部四郎君 唯今若槻君ヨリ陪審ノ評決ガ裁判官ノ心證ト合致シナイ場合ニ於テハ、次ノ陪審ニ付スルコトガ出來ル、ソレカラ萬遍デモ所謂心證ト合致スルマデ付スルコトヲ得ルト云フコトハ此法文ニ明カニ書イテアル、唯今言ハレマシタ……

〔若槻禮次郎君「九十五條デセウ」ト述フ〕

○磯部四郎君 即チ九十五條ニ「裁判所ノ答申ヲ不當ト認ムルトキハ訴訟ノ如何ナル程度ニ在ルヲ問ハス決定ヲ以テ事件ヲ更ニ他ノ陪審ノ評議ニ付スルコトヲ得」デアリマス、是ハ無論陪審ノ所謂被告人ニ追窮ヲ致シマシタガ：之又法定ノ陪審ヲ辭セザル場合ヲ言フノデアリマス、茲ニ於テ何回モ移スコトヲ得ル、何度も何度モ陪審員ガ評議シテ裁判官ノ心證ト合致シナイトキニハ、其評決ニ付スルコトナクシテ何度デモ移スコトガ出來ル、百遍モニ千遍モ、千遍モニヤルト云フコトハ是ハ理窟ノ上ニ申上グタノデ、若槻君モ御承知デアリマセウガ、今日ノ裁判所ニ於キマシテハ上告審ト云フモノガ破棄ヲ致シマシテ其事件ヲ他ニ移スコトガアル、即チ全國ニ控訴院ハ六ツシカアリマセヌ、私ハ三十年來所謂在野法曹トシテ今日マデ參リマシタ、二回カ三回大審院ノ判決ガ、控訴院ノ判決ト異ナリマシタ、サウシテ遅レタコトガゴザイマスケレドモ、六回共各控訴院ヲ廻ツテ更ニ大審院へ來テ、今日ノ規定ニ依テ大審院デ判決シナケレバナラヌト云フコトハ、遭遇シタコトハ今マデナインデアリマス、カルガ故ニ理窟ノ上カラ申シマスレバ、九十五條ニ於テ更ニ他ノ方へ移スコトガ出來ル、何度も移スコトガ出來ルト云フコトハ何處ニモ制限ガアリマセヌ、若槻君ノ言ハレルノハ移スコトヲ得トアルノデアルカラ、何度も移スコトガ出來ルノデアラウト云フ御尋デアラウト想像イ

タシマスガ、此陪審ヲ辭スルト辭セザルトハ、一旦辭セラレマシタ以上ハソ
レハ被告人ノ隨意權能ニ致シマシテ、一旦付セラレタモノヲ被告人ヨリ辭セ
ザル場合ニ於テハ、裁判所ガ其陪審ヲ列ネ除ケテサウシテ自分勝手ニ裁判ス
ルト云フコトハ出來ナイノデアリマス、矢張百遍デモ、千遍デモ廻ル所ニ廻
ランケレバナラナイ、ソレダケノコトヲ御答致シマス

ハ、次ギカラ次ギ次ギト移サレルト云フコトハ他ノ條文ノ規定ヲ俟タズ、九十五條ノ規定ニ依テ明カデアッタカト考ヘマス、ソレダケノ御答ニシテ置キマス、マダ御答シタイコトガ澤山ゴザイマスケレドモ、ソレダケニシテ置キマス

○若槻禮次郎君 私ノ御尋シタノハ、ドノ條文ニ依テ左様ニナリマスカト云
フノデアリマス、九十五條ハ私先キニ申上ゲマシタ通リ私モ承知シテ居リマ
ス、第一條ニ陪審ニ付スルコトヲ得ト云フノデアリマス、得ト云フノハ陪審
ニ付セナイデモ宜イ、陪審ニ付スルコトヲ得ト云フノデアリマスカラ、付セ
ナイデモ宜シイ、付スルコトガ出來ル、付シテカラ其陪審ガ不當デアルトス
ルトキニハ裁判官ハ是ヲ他ノ陪審員ノ審査ニ付スルコトガ出來ルノデアリマ
ス、ソレハ磯部君ノ言ハレル通り、理論上カラハ千遍デモ百遍デモ出來マ
ス、事實ハ一遍カ二遍デ済ムカモ知レヌ、其點ニ私ハ疑ヲ有ツテ居ルノデハ
アリマセヌ、併ナガラ不當ト認メテ居ツテモ、必ズ何所カニ結局ノ陪審員ノ
審査ヲ經ナケレバナラヌト云フ條文ガ何所ニアルカ、此條文ヲ私ハ見出サヌ
ノデアリマス

「磯部四郎君」其條文ハ書イテアリマス』ト述フ】

○議長(公爵徳川家達君) 磯部四郎君

○磯部四郎君 第一條デアリマス、第一條ニ於キマシテハ、裁判所ハ本法ノ定ムル所ニ依リ刑事案件ニ付陪審ノ評議ニ付シテ事實ノ判断ヲ爲スコトガ出来ルト云フノハ、即チ裁判所ニ事實判断竝ニ法律適用ノ全權ヲ得セシメタノデ、陪審ノ評決ニ左右セラレナイト云フダケノ事柄ヲココニ書キマシタノデアリマス、此「得」ト申シマシテハ、申上ゲル迄モナク所謂出來ルト云フ權能ヲココニ記載シテアルノデアラウト考ヘマス、ソレカラ九十五條ニ於キマシテハ先程若櫻君ヨリ質問ヲ受ケマシテゴザイマスガ、此九十五條ニ於ケル場合ト云フノハ、即チ陪審ノ評決ヲ不當ト認ムルトキハ更ニ次ノ陪審ニ付スルコトガ出來ルト云フノデアリマス、サウ致シマシテ陪審ヲ辭スルノ權能ハ陪審員ニモゴザイマセヌケレバ、法律ノ規定シテアル所ニ於テ又裁判官ニモ一旦設ケタ陪審ヲ勿ネテ、自分勝手ニ裁判スルコトハ出來ナクナッタノデアリマス、獨リ此陪審ヲ斷ルノ權能ハ被告人其人ニ存在シテ居ルノデアリマスカラ、若シ陪審ノ決定ニシテ即チ裁判官ノ心證ニ副ハザル所ノモノアル以上

憲法ノ規定ニ觸レル所ヲ巧ミニ避ケルガ爲メニデハナイ、其コトモ是カラ伺
タイト思ヒマスガ、憲法ニ觸レルノヲ巧ミニ避ケルノデハナイガ、一遍斯ウ
決メルト云フト憲法ニハ祇觸セナイヤウニト云フ極メテ巧妙ナル御説明ヲ爲
サレタ、巧妙ナル御説明ヲ爲サラナケレバナラヌ其所以ガ、即チ日本ニ於ケ
ル此度ノ陪審制度ナルモノガ、本當ノ陪審制度デナイト云フコトヲ明カニ示
シテ居ルノデアル、陪審制度ヲ設ケラレルナラバ、陪審員ノ決定ニ付テハ裁
判官ハ拘束セラレナケレバナラヌ、ソレヲ拘束セラレテ何遍モ移シテ、ソン
ナラバ結局移シテ最後ニ自分ノ意ニ適フマデ評決アルマデハ移スト云フ條文
ハ何所ニアルカト云フト、其條文ハナイノデアリマス、移スコトハ出來ルト
云フダケノコトデアリマス、ソレデアリマスカラ私ハ委員長ガ先程御報告ニ
ナツタ事柄ハ、法案ニハ規定ノナイコトヲ御報告ニナツタヤウニ了解イタシマ
スガ、左様デアリマセウカ

○磯部四郎君　只今若梶君カラシテ、ソレデハ此法案ニアル陪審制度ハ本當ノ陪審制度デナイ、是ハ所謂偽物ダ、斯ウ云フヤウナ風ニ論鋒ヲ起サレマシテゴザイマスガ、陪審制度ハ諸國總テ絶對ニ同一デハナイノデ、各國ニ

依テ異ッテ居リマス、現ニ佛國ノ如キニ於キマシテハ、アノ位ニ陪審ヲ尊重スル所デゴザイマシテモ、裁判官ニ於テ無罪ト主張シ……想像シテ居ル者ヲ、ソレヲ陪審員ガ有罪ト決定イタシマシタルトキニハ、佛蘭西ニ於テモ其裁判官ハ陪審員ノ決議ニ從ヒマセヌ、次ノ即チ陪審員ニ更ニ問題ヲ持ツテ來ル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、又先程ヨリ英國委員ノ御話モ出マシテゴザイマスガ、英國人ハ責任ヲ重ズル、日本人ハ甚ダ輕ミシトイ云フ事柄ヲ口ニセラレマシタガ、私ハ左様ニハ考ヘマセヌ、成程輕ミシク言フ人モゴザイマセウガ、責任ヲ重ズルノモ矢張日本國民ノ性格ト私ハ考ヘテ居リマス、カルガ故ニ其ノ日本ノ所謂陪審ニ付ス、サウシテ此陪審ノ權限ト云フモノハ、所謂諸國ノ權限ニ制限ヲ加ヘテアルト云フガ爲ニ、是ハ嘘ノ陪審デアルト云フガ如キ御議論ハ、甚ダ私ハ不思議ニ考ヘラレマスルノデ、其國ノ風土、其國ノ關係……適度ニ於テ所謂伸スベキモノハ伸スコトヲ得ルシ、又縮メルモノハ縮メテモ、少シモ是ガ爲メ陪審タル性質ハ失ハナイト私ハ考ヘマスルカラ、直チニ歐羅巴ニ多ク行ハレテ弊害多々アル所ノ、裁判官ヲ拘束スルガ如キ強キ權利ヲ有ツ所ノ陪審員ガ、之ガ本當ノ此ノ本法……法案ニ書イテアル所ノ陪審案其モノデアルト云フ事柄ハ、若観君ノ洵ニ平生熟慮セラレタル御議論ヲセラルニ拘ラズ、甚ダ不思議ニ私ハ考ヘラル、其九十五條ニ於テ磯部ナルモノハ條文ニ無イ所ヲ申立テタト云フコトゴザイマスガ、是ハ甚ダ私ニ於テ迷惑ヲ致ス、私ハ如何ニ申シマシタカト言ヘバ、即チ陪審員ノ評決ニシテ裁判官ノ心證ト合致セザル場合ニ於テハ、裁判官ハ其評決ニ服從スルノ義務ハナイ、服従スルノ義務ガナケレバ次ノ陪審員ニ之ヲ移ス、其次ノ陪審員亦先例ノ通リデアッタナラバ、更ニ之ヲ第三ノ陪審員ニ渡ス、斯ウシテ幾百遍ナリトモ理窟ノ上ニ於テ即チ裁判官ノ所謂自由ナル意思ヲ以テ裁判ヲナシ得ルニ至ルマデ、陪審ヲ變更スルコトガ出來ルト云フノハ、即チ九十五條ノ條文ニ依テ明カニ規定シテ居ルノデゴザイマス、ソレヲ強ヒテ他ニサウ云フ條文ガナイ以上ハ、磯部ナル者ハ誠ニ間違タ説明ヲスルト云フコトノ御判定デアリマスガ、私ハサウ云フコトハ決シテゴザリマセヌ、全ク茲ニアル通リノ條文ニ付テ申述ベルノデゴザイマスカラ、其點ニ付マシテハ宜シク議場ノ御判断ニ任スト云フヨリ外一言ナカラウ、只今ノトコロデハ御質問ノ程度ハ去ツテ全ク御意見ト考ヘマスカラ、私ハ此上ハ此問題ニ付テハ御答ヲ致スコトヲ致サヌト考ヘマス

○若規禮次郎君 私ハ此英吉利ニ於ケル圓滿ニ陪審制度ノ行ハレタコトニ付テ述ベテ、而シテ我國ニ於テ是ガ英國ノ如ク又圓滿ニ行ハルルヤ否ヤト云フコトニ付テ、聊カ疑ラ持ツテ居ルト云フコトヲ申上ゲマシタガ、之ヲ申上ゲルセウニハ餘程注意シテ私ハ述ベテ居ルノデアリマス、是ハ速記ニ付テ御覽ヲ願ヒタイ、只今磯部君ノ言ハレル如ク、日本人ハ輕卒デアルカラ陪審制度ハ出來ルカドウカ分ラヌト云フヤウニ述べタト仰シヤルケレドモ、左様ナコトハ言ウテ居リマセヌカラ、是ハ速記録ヲ能ク御覽ヲ願ヒタイ、ソレカラ私ハ磯部君カ何遍デモ結局陪審ノ意見ガナケレバ判決ガ出來スト仰シヤツタガ、左様ナ條文ハドコニアリマスカト云フコトヲ御尋シタノデアリマス、トコロガ只今ノ御答ハ、九十五條ニ依リマスレバ自分ガ不當ト認メレバ何遍デモ他人ノ陪審員ニ付スルコトガ出來ルト云フ條文ガアルト云フ、ソレハ固ヨリ私ハ承知シテ居ルノデアリマス、裁判官トシテハ何遍デモヤルコトガ出來ル、其代リ若シ陪審ニ付スルトコロガ逆モイケヌト思ヘバ、止メテ自分デ判決ガ出来ルノデアリマス、是ガ出來ヌト云フコトガドコニ條文ガアリマスカ、ソレデアリマス

○磯部四郎君 只今若観君ノ言ハレマスルノハ、陪審員ノ答申ヲ不當ト認メタトキニハ、裁判官ハソレヲ止メテ勝手ニ裁判ガ出來ルトスウ云フコトニ只今御説明デゴザイマシタ、ソレハ斷ジテゴザイマセヌ、此九十五條ノ法文ヲ御覽下サイマスレバ、一回ノ陪審トモナケレバ二回ノ陪審トモゴザイマセヌ、絶對ニ「陪審ノ答申ヲ不當ト認ムルトキハ訴訟ノ如何ナル程度ニ在ルヲ問ハズ決定ヲ以テ事件ヲ更ニ他ノ陪審ノ評議ニ付スルコトヲ得」、斯ウゴザイマスノデ、其裏ニ於テ若シ陪審員ノ言フコトガ自分ノ心證ニ合致シナイガ、陪審員ヲ設ケテ……サウシテ裁判所ガ勝手ニ裁判スルコトガ出來ルト云フ條文ハ斷ジテゴザイマセヌ、又ソレガアルナラバ陪審法ト云フモノハ何ノ役ニモ立タナイモノト考ヘマスカラ、其條文コソ断ジテアリマセヌ、私ノ申シテ居リマスコトハ九十五條ニ依テ十分ニ説明シ得ラルコト考ヘマス、左様御了承シ願ヒマス

○若規禮次郎君 モウ條文ノ解釋論ハ止メマシテ、政府ニ御尋致シマスガ、此陪審法ヲ執行スルガ爲ニドレダケ經費ヲ要スルノデアルカ、而シテ之ヲ何時カラ御施行ニナルノデアルカ、施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ定ムルトアリマスガ、政府ノ腹案デハ何時カラ之ヲ執行ナサル御計畫デアリマスカ

〔政府委員林頼三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(林頼三郎君) 御答ヲ致シマス、費用ハ大體經常費ト致シマシテ、三百五十萬圓前後要スルコトト考ヘテ居リマス、ソレカラ實施ノ時期ハ大正十二年ノ積リデゴザイマス

○若槻禮次郎君 先程豫算委員長カラ報告セラレマシタニ依リマスルト、追加豫算ノ第何號デアリマシタカ存ジマセヌガ、陪審ノ制度ニ付テ歐羅巴ニ行ハレテ居ル所ノモノヲ見ニ行クガ爲ニ、追加豫算ガ提出ニナッテ居ルノデアリマス、之ヲ私共誠ニ不思議ニ思フノデアリマス、陪審制度ガ必要デアッテ、愈々實施スルト云フコトヲ御考ヘニナル前ニ於テ、第一ニ國情ニ於テ陪審ヲ必要トスルヤ否ヤ、必要トシテ、果シテ圓滿ニ行ハルルヤ否ヤ、外國ニ於テ如何様ニナッテ居ルヤ否ヤ、其ノ外國ニ於ケル實際ノ利益ノアル所ハドウ云フ所デアルカ、弊害ノアル所ハドウ云フ所デアルカト云フコトヲ御調ベニナッテカラ、初メテ陪審法案ヲ提出ナサレテ、日本ニ於テ陪審ノ制度ヲ實施ナサレルガ當然デアル、然ニ茲ニ法律案ヲ出シテ置イテ、サウシテ唯今政府委員ノ説明ニ依レバ 大正十二年カラ行フ、モウ後九箇月バカリスルト、此法律ハ行ハレルノデアリマス、其頃ニ初メテ歐羅巴亞米利加ヘ陪審ノ實地ノ模様ヲ見ニ行クテ研究スルト云フノハ何事デアリマスカ、是ハ私ハ總テ事柄ガ熟シテ居ナイ……最モ必要デアルコトニ必要ハナイ、死刑ナリ、無期懲役ト云フヤウナモノニ付テハ裁判所ハ事實ノ認定ヲ誤ツコトモナカラネバ、法律ノ適用モ誤ツタコトモナインデアリマス、何モサウ云フコトニ陪審制度ヲ定メル必要ハナイノデアリマス、而シテ歐羅巴ノ模様モ一向司法省ハ御承知ニナッテ居ナイ、日本ニ於テ之ヲ適用シテ然ルヤ否ヤモマダ十分ニ御考ガ付カヌ、ソレヲ殊ニ會期ノ切迫シタモウ今日ハ三時間ナインデアリマス、閉會マデ……サウ云フ時ニ斯ウ云フ法律ヲ通過セシメヤウナト云フコトハ、是ハ誠ニ遺憾千萬ナコトデアルト私ハ存ジマスガ、是カラ先キ述ベマスト云フト意見ニナリマスカラ、私ノ質問ハ是ダケデ止メマスクレドモ、斯様ナ法案ガ此議場ニ成立スルコトハナイトハ存ジマスケレドモ、是ガ成立シテハ大變ナコトド私ハ思フノデアリマス

○阪本彰之助君 私ノ御尋ネシヤウトスルコトハ一寸各條ノ細目ニ瓦ルコトデアリマスガ、マダ唯今マデ御質問ガゴザイマセヌカラ、私ガ御尋致シマスガ、此法律ハ臺灣朝鮮ニハ及バヌノデアリマスカ、ソレヲ先ヅ御尋ネ致シマスガ、北海道ハ無論廳府縣ト……第十四條ノ第六ニ「在職ノ廳府縣長官」ト島司トアリマシテ、北海道ノ支廳長ト云フモノハゴザイマセヌ、ソレハ郡長以上ノモノデアリマシテ郡長ガ此所ニ書カレテ、即チ陪審員ノ職ニ就クコトガ出來ヌトアリマス以上、北海道廳ノ支廳長ト云フモノハ出來ナイト存ジマスガ、之ヲ御省キニナリマシタノハ如何ナコトデアリマスカ、ソレヲ一寸同ヒタイ

〔政府委員林頼三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(林頼三郎君) 御答イタシマス、北海道ノ支廳長ハ列舉ノ中ニハゴザイマセヌ

○阪本彰之助君 或ハ誤脱カト存ジマスガ、無イトハッキリ御答ニナリマスレバ、理由ヲ御尋致シマスガ、北海道ノ支廳長ハ内地ノ郡長ト同一ノ職務ヲ執ルモノデ、寧ロソレヨリモ職權ハ廣イノデアリマス、内地ノ郡長スラモ陪審員ニナルコトヲ避ケルコトニナッテ居リマスガ、北海道ノ支廳長ヲ省イタト云フコトデアリマスガ、理由ヲハッキリト御示シヲ願ヒタイ

〔政府委員馬場鉄一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鉄一君) 法文トシテハ支廳長ヲ入レル方ガ適當デアラウト思ヒマス、是ハ確ニ法文トシテハ缺點デアリマスガ、檢事ノ忌避權ニ依テ若シ支廳長ガ陪審ニ適當デナイト認メマシタトキニハ、忌避權ヲ行フコトノ適當ナルモノデアラウト思ヒマス、法文トシテハ郡長支廳長ト掲グルノガ適當刻既ニ若槻君ヨリモ御尋アリマシタヤウニ、陪審員ガ陪審ノ事務ノ片付キマヌ中ハ歸宅スルコトヲ許サレヌ、或ハ裁判所内ニ留メ置カレルカ、監視ヲ受ケル所ノ旅館ニ退クカ、其外ニ途ハナイノデアリマス、是ガナカナカニ今

日マデノ様子ヲ見マスト、公判ニ入りマシテ一日ヤ二日デ片付カヌコトガアリマスガ、相當ノ職務ヲ有チ、相當ノ仕事ヲシテ居ル人ヲ此爲ニ長ク、隨分長イノガアルダラウト思ヒマスガ、其間殆ド拘留同様ナ目ニ合セラレルノデアリマスカ、是ハ法案ハ覺悟シテ居ルノデアリマスカ、如何ニモ慘酷ナコトト思ヒマスガ、是ハ如何ナモノデアリマス、モウ一應先刻ノ御答以上御答ヲ願ヒマス

〔政府委員林頼三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(林頼三郎君) 御答イタシマス、御尋ノ通り今日ノ刑事訴訟ノ實際ニ於キマシテ、公判ガ數回ニ瓦リマシテ且ツソレガ數日ニ瓦ルト云フコトモゴザイマス、併シ此陪審法ニ於キマシテハ、其點ニ付テ十分ニ考慮イタシテ、特ニ公判準備ノ規定ヲ精密ニ致シマシテ、陪審員ヲ呼出シマセヌデ、公判準備ヲ全ウ致シマシテ、サウシテ公判期日ニハ必要ナル證人ハ全部呼出シ、其他必要ナル證據物、證據書類等ハ全部其前ニ取揃ヘマシテ、サウシテ一事件ハ一日ニ終了スル、斯ウ云フコトニ致シタイト云フ考デ立案イタシテ居リマス、從テ今日行ハレテ居ル訴訟手續ノ如ク、一事件ノ公判ガ數回ニ瓦ルト云フヤウナコトハ、此法案ヲ實施シマス上ニ於テハ極メテ稀ナコトニナリマス、大概ハ一日デ終ルコトト考ヘテ居リマス

○阪本鉄之助君 更ニ伺ヒマスガ、九十五條ノ裁判所陪審ノ答申ヲ不當ト認

ムルトキハ云々、此コトニ付テモ若櫻君ヨリ縷々御尋ガアリマシタガ、尙ホ本員ハ了解ニ苦シム點ガアリマス、不當ト認メルト云フコトハドウ云フ程度ニアルノデアリマスカ、裁判所ガ不當ト認メテモ陪審員ハ相當ト認メルコトガアルデアラウ、此時ニハ恰モ裁判所ト陪審員ノ間ハ原告ト被告ノヤウナ關係ニナルノデゴザイマシテ、原告ハ不當ト認メテモ被告人ハ相當ト認メルガ爲ニ意見ノ相違ニナル、然ニ酒ノ好キナ者ニ持ツテ行ッテ是非牡丹餅ヲ喰へ、牡丹餅ヲ喰ハナイ間ハ何遍デモ外ノ下戸ノ陪審員ヲ呼出スト云フコトニナルト思ヒマスガ、此不當ト認メルトキ云々ト云フ、此不當ト認メルト云フコトノ解釋ハドウ見タラ宜シイノデアリマスカ、素人ニ分ルヤウニ御説明ヲ願ヒマス

〔政府委員林頼三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(林頼三郎君) 御答致シマス、不當ト認メルトキ云フノハ、要スルニ裁判所ガ陪審ノ答申ヲシタ所ト別ナ觀察ヲ持ツタトキ、即チ陪審ノ答申

ト裁判所ノ考ト一致シナイ、是ガ不當ト認メルトキニ當ルト考ヘマスデアルヤウニ考ヘマス、其不當ト云フコトノ程度ヲ、モウ少シドウ云フヤウナ、何カ事例ニ付テ御示シニナリタイ、或ハ一旦不當ト見込ンダコトハ何處マデモ、何遍デモ陪審員ヲ取替ヘルノデアリマスカ、唯今ノ御説明ニ依ルト左様ニモ聞エルノデアリマスガ、如何ニモ我意ヲ張ツテ、又我意ヲ張ラザルヲ得ヌ、苟モ裁判所タルモノガ不當ノ判断ヲ有ツ筈ハナイ、即チ其不當ト認メタトキニハ陪審員ノ意見ニ從ハヌト云フコトデアレバ、殆ド陪審ハ何ノ爲ナルカト云フコトヲ疑ハザルヲ得ヌ、先刻問答モアツタヤウニ何遍デモ陪審員ヲ取換ヘルコトニナレバ、際限ノナイコトニナルヤウニ考ヘマスガ、其邊ハ何カ圓滑ニ此運用ガ出來ルト云フ御見込ガアリマスカ、其コトヲ御答ヲ願ヒマス

〔政府委員林頼三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(林頼三郎君) 不當ト認メタノハ例ヲ舉ゲテ見ヨト云フコトデアリマスガ、例ヘバ陪審ハ問ニ對シテ然リト答ヘ、又問ニ對シテ然リ若クハ然ラズト答フルコトニナツテ居リマス、即チ然リト云フノハ犯罪事實ヲ肯定イタシマシタコトニナル、所ガ裁判所ハ其肯定ハ間違ツテ居ル、否定スルノガ相當デアリ、モット具體的ニ云ヘバ人ヲ殺シタ事實ガアルト陪審ハ答申イタシタノニ、裁判所デハ此被告人ガ殺シタノデハナイ、斯ウ云フ風ニ見マシタ場合ハ、即チ觀察ガ全然一致シナイノデアリマス、此法文ノ不當ト認ムルト云フトキニ明白ニ當ルト考ヘマス、次ニソレデハ陪審ノ答申ト裁判所ノ見解ト一致シナイトキニハ幾度モソレラ繰返スコトニナツテ治リガ付カナイ、又役ニモ立タヌト云フヤウナ御疑ノヤウデアリマスガ、是ハ法律上ハ成程サウ云フ結果ニナリマスガ、不當ト認メタ場合ニハ更ニ他ノ陪審ノ評議ニ付スルコトニナツテ居リマシテ、回數ハ限ツテアリマセヌ、併ナガラ一ツノ事件ニ付テ

ウモ違フト云フコトハ多ク生ジナイコトデアリマス、又度ミ意見ガ合ハヌト
云フコトニナレバ再考ヲシテ、自己ニ誤ガアレバ之ヲ改メルト云フコトニナ
ルカラ、實際上ハサウハ度ミ意見ガ變ツテ度、他ノ陪審ノ評議ニ付スルト云フ
コトハ生ジナイコト考ヘテ居リマス

○阪本鉄之助君 更ニ續キマシテ唯今ノコトニ關聯シテ、九十七條ニ付テ御
尋イタシタイト思ヒマス、九十七條ニ陪審ノ答申ヲ採擇シテ云々トアリマス、
ソレデ見マスルト陪審ノ意見ヲ採擇スル場合モアルヤウデアリマス、且ツ其
採擇ト云ヒマスト、陪審ノ答申ニ依ルト云フ意味ニモナルヤウデアリマスガ、
陪審ノ答申ニ依ルト云フコトニナリマスト、例ノ憲法論ナドガ出テ參ルヤウ
デアリマス……本員ノ發言中デゴザイマスガ、定足數ヲ缺キハイタシマセヌ
ノデゴザイマセウカ、定足數ヲ缺キマスナラバ質問ヲ差控ヘマスガ、如何デ
アリマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲイタシマス

午後九時四十二分休憩

午後十時八分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

本日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ修正ニ同意シ奏
上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

刑事訴訟法案

本日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨

ヲ衆議院ニ通知セリ

府縣制中改正法律案

北海道會法中改正法律案

北海道地方費法中改正法律案

大正九年法律第十二號中改正法律案

信託法案

信託業法案

擔保附社債信託法中改正法律案

不動產登記法中改正法律案
非訟事件手續法中改正法律案

所得稅法中改正法律案
相續稅法中改正法律案

登錄稅法中改正法律案
印紙稅法中改正法律案

日本興業銀行法中改正法律案
臺灣銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案
大湯鐵道及魚沼鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

健康保險法案
内地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ト南洋群島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出入
ニ關スル法律案

明治三十五年法律第四十九號中改正法律案
統計資料實地調查ニ關スル法律案

大正九年法律第五十二號中改正法律案
取引所稅法中改正法律案

東京帝國大學臨時政府支出金綠入ニ關スル法律案
增加恩給等ノ増額ニ關スル法律案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ前刻ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、阪本
君

○阪本鉄之助君 先刻ノ續キヲ御尋イタシマス、第九十七條ニ陪審ノ答申ヲ
採擇シテ判決ノ言渡ヲ爲スト云フコトガアリマスガ、此採擇ト云フ文句ハ陪
審ノ答申ニ依ルト云フ意味ノヤウデアリマスガ、若シ依ルト云フコトニナリ
マスト、例ノ憲法二十四條ノ議論ガ出テ來ルノデアリマス、此採擇ト云フ意
味ハドウ云フ意味デアリマスカ、此採擇ト云フコトニ付テ御答ヲ願ヒタイノ
デアリマス、採擇スルト云フコトニナレバ、サッキ御尋シタ九十五條ノ不當ト
云フコトニ抵觸スルヤウニモ思ハレマス、陪審ヲ採擇スルト云フコトガアレ
バ、必ズシモ裁判所ガ再審ヲ求メタリシナクテモ宜シイ、採擇ト云フコトガ
依ルト云フコトニナレバ、即チ陪審員ノ意見ヲ採ルト云フコトニナル、採ル
ト云フコトニナレバ裁判官ヲ拘束スル意味ニナリハセヌカト思フガ、其邊ガ

明瞭ヲ缺イテ居リマスカラ、之ヲ一ツ御答ヲ願ヒタイ

〔政府委員馬場鎌一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鎌一君) 御答ヲ致シマスガ、陪審ノ意見ヲ採擇スル場合ニ二通リノ場合ガアラウト思ヒマス、即チ一ハ陪審ノ意見其モノ……無罪ナリ犯罪事實無シト云フ答申ヲ採擇スル場合モアリマス、又犯罪事實アリト云フヲ不當ト認メマシタ場合ニハ更ニ他ノ陪審ニ掛ケルノデアリマス、陪審ノ意見ヲ相當ト認メル場合ニ於テハ、犯罪事實アリトスル場合ニハ刑ノ適用問題ガ起ルノデアリマス、犯罪事實ナシトスル答申ヲ相當ト認ム場合ニハ無罪ノ判決ヲスルコトニナルノデアリマス、要スルニ採擇ト云フ文字ヲ使ヒマシタノハ、飽クマデ裁判官ニ於テ事實判断權アリト云フ、斯ウ云フコトヲ明條ノ上ニ現ハスト云フ趣旨カラ出タノデアリマス

○阪本鉄之助君 分リマシタ、然ラバ九十七條ノ一項二項三項ニ依リマシテ陪審ノ答申ヲ採擇シテ、是ハ無罪ナラ無罪トシテ、其答申ニ依テ無罪ト云フ判斷ヲ致スト云フコトニナルノデアリマス、サウスルト陪審ノ答申ト云フモノガ裁判ノ基礎ニナッタ云フコトニナリマスト、裁判官ノ權力ヲ拘束セラルコトニナッテ、憲法二十四條ニ抵觸スルト云フコトニナリハシナイノデアリマスカ、其邊ノ關係ハドウナリマスカ

〔政府委員馬場鎌一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鎌一君) 憲法トノ關係ニ於キマシテハ陪審ノ答申ガ其儘ニ裁判官ヲ羈束スル即チ陪審ガ犯罪事實アリト答申シタナラバ其通リニ事實判断ヲセネバナラヌ、斯ウ云フコトデアレバ憲法ニ抵觸スルト思フ、併ナガラ陪審ノ答申ト判事ノ考ヘテ居ル所ト一定シタ場合、此場合ニ於テハ即チ陪審ノ答申ヲ結局採擇スルノデアリマス、少シモ法律上カラ云ヘバ拘束シナイト見テ居リマス故ニ憲法ニ違反シナオスウ解釋ヲシテ居リマス

○阪本鉄之助君 本員ノ質問ハ暫ク之ニ止メテ置キマス

〔此時男爵目賀田種太郎君「總理大臣ガ見エマシタカラ……」ト呼フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 目賀田男爵ノ御順ハ此次デアリマス、池田男爵

○男爵池田長康君 本員モ陪審制度ニ付マシテ、聊カ御尋イタシタイノデアリマス、一ツハ憲法上ノ問題デアリマス、次ニハ裁判ノ實質ニ關スル問題デアリマス、此二點ニ付マシテ一應御尋イタシタイト思フノデアリマス、本員

見ヲ申上グマス前提トシテ、尙ホ一應確メテ置カナケレバナラヌト思フノデ

○政府委員(馬場鎌一君) 只今林局長ノ御話ガアリマシタガ、本案ヲ設ケル所ノ必要ハ、ガザイマス、只今林局長ノ御話ガアリマシタガ、本案ヲ設ケル所ノ必要ハ、立憲ノ本義ニ依ル政治上ノ理由、サウシテ司法事務ニ干與セシムル、斯ウ云フ一つノ理由トシテノ御話デアリマシタガ、其概括的精神ハ、我ガ憲法第五十七條第五十八條ト其御精神ハ抵觸スバヤ否ヤ、其點ニ付テ抵觸シナイト云フ御見解デアリマセウガ、其根據ヲ一應承テ置キタイ、今林局長ハ居ラレマセヌカ、御出デニナラナケレバ馬場君デモ宜シウゴゾガイマス

〔政府委員馬場鎌一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(馬場鎌一君) 御答ヲ致シマス、林局長ガ居リマセヌカラ、私カラ……憲法ノ五十七條ニ裁判所ガ行フト云フ意味ハ、而シテ五十七條ニハ法律ニ依ルトアリマス、此裁判所ガ司法權ヲ行フト云フ意味ハ、御承知ノ如クニ法律ニ定ムル手續ニ依テ行フト云フ意味ガ一ツノ意味デアリマス、若シモ陪審ノ事實判断ガ裁判官ヲ羈束スル、即チ政府ノ見テ居ル所デハ事實ノ判断モ亦裁判ノ一部デアル、斯ウ見テ居リマスルガ故ニ、事實判断權ガ陪審員ノ手ニ全然アリマスルト云フコトニナレバ、我ガ憲法ニ抵觸スルト考ヘルノデアリマス、併ナガラ裁判官ガ事實判断權ヲ行フニ付テ、法律ニ定ムル手續上、陪審員ノ意見ニ基イテヤル、陪審員ノ意見ヲ徵シテヤルト云フ、斯ウ云フコト法律デ定ムレバ何等差支ナイ、斯ウ憲法ヲ解釋シテ居ルノデアリマス

○男爵池田長康君 馬場君ノ只今ノ御答辯デハ……私ハ林政府委員ヨリノ御答辯中ノ御精神ニ付テ御尋イタシタノデアリマスガ、馬場君ノ今ノ御答辯ハ私ノ了解スル點ニハ甚ダ遠イノデアリマス、私ノハ概括的ニ司法事務ニ干與スル、立憲ノ本義ニ依ル政治上ノ理由ニ依リ國民ニ司法事務ニ干與セシムルト云フ、此概括的ノ責任ガ憲法第五十七條、憲法第五十八條ニ抵觸スルヤウデアリマスガ、其點ハ暫ク措キマシテ、次ニ御伺ヒ致シタイノハ、憲法上ニ定メテ居リマスル所ノ裁判ト云フコトヲ、如何様ニ御解釋ニナッタヤウカ、是ハ一應本員トシテ伺テ置キタイト思ヒマス

〔政府委員林頼三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(林頼三郎君) 只今チヨット席ニ居リマセヌノデ御尋ヲ途中カラ

アリマス

マスガ、憲法上ノ裁判ト云フコトヲドウ解シテ居ルカ、斯ウ云フ御尋ニ私ハ
聽取リマシタ、裁判ト云フコトニ付マシテハ御承知ノ通ソ色ム論ハゴザイマ
ス、併ナガラ今日政府ニ於キマシテハ、裁判ト云フコトハ單ニ法律ノ適用ノ
ミデアル、斯ウ云フコトニ解スル說ハ如何デアラウカト思ヒマスノデ、事實
ヲ認定スルコトモ裁判ノ一ツノ効キデアラウ、事實ノ認定、法律ノ適用共ニ
裁判ノ効キデアラウ、斯ウ云フコトニ大體考ヘテ居リマス

○男爵池田長康君 今度御提出ニナリマシタ陪審制度ニ於キマシテ、國民ガ
陪審員タル所ノ資格ヲ得マシテサウシテ事實ノ評決ヲスル、サウ云フコトニ
承知イタシテ居リマス、尙ホ先程委員長ヨリ色ム御報告ノ中ニ、今度ノ陪審
法ノ九十何條デアリマシタカ、アレニ依リマシテグルグル廻ヅテ、結局極マル
所ガナイヤウナ御話ニナツテ居ル、サウ致シマスルト結局此ノ事實ノ評決ト云
フモノニ裁判官ガ拘束セラレルト云フ、理論上ノ結論ヲ私ハ得ルト思フ、サ
ウ致シマスルト陪審員ガ裁判ニ容喙スルト云フコトニ思ハレマスガ、其點ニ
向テハドウ云フ風ナ御解釋ヲ取ッテ居ラレルカ

〔政府委員林頼三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(林頼三郎君) 御答イタシマス、陪審法案ニ於キマシテハ、陪審
員ハ裁判長カラ問ヒマシタ問題タル事實ニ付テ之ヲ評議シマシテ、裁判所ヘ
其ノ意見ヲ答申スル、而シテ裁判所ニ於テ其答申ヲ見マシテ、而シテ不當デ
アルト思フナラバ更ニ他ノ陪審ノ評議ニ付スル、斯ウ云フコトニナリマスカ
ラ、結局裁判所ガ、陪審ノ答申ガ相當ナリト信ズル場合デナケレバ裁判ヲ致
シマセヌ、即チ陪審員ノ意見ト裁判所ノ判断ト一致シタ時ニ判決ガ下ルノデ
アリマスガ、其判断ハ誰ガスルカト云フト、裁判所ガ致シマス、陪審員ハ事
實ニ付テ其有無ヲ評議シテ裁判所ニ答申ヲ致スノデ、事件ニ付テノ判断ハ飽
クマデモ裁判所ガ致スノデアリマス、其事柄ヲ陪審法案ノ第一條ニ於テ特ニ
宣言イタシテ居リマス、サウ云フ次第デゴザイマスカラ、事實ノ認定ガ裁判
デアルト云フコトニ極メマシテ、此法案ニ於テ陪審員ガ評議シテ答申スルト
云フコトハ、決シテ陪審員ガ裁判ソノモノニ干與スルノデハナイ、裁判權ノ
効キデ判断ヲスルノデハナイト云フ、斯ウ云フコトニ明白ニ御答ヘ申上ゲテ
差支ナイト考ヘマス

○男爵池田長康君 唯今ノ御答ハ見様ニ依テサウ云フコトニナル、見方ニ依
リマスト其反對ニ、拘束力ヲ受ケルト云フ解釋モ亦出ルノデアリマスガ、併

シソレハ議論デアル、但シモウ一應伺ッテ置カナケレバナラヌノハ、若シモ陪
審員トソレノ評決ト、ソレカラ裁判官ノ判断ト一致シナカッタナラバドウ云フ
コトニナルカ、何處迄モ一致シナケレバナラヌ、是ハ事實上ノ問題ト致シマ
シテハ、甚ダ遠イノデアルケレドモ、法規ヲ解釋シマスル上ニハ、一應是ハ
伺ッテ置カナケレバナラヌト思ヒマス

〔政府委員林頼三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(林頼三郎君) 御尋ノヤウニ、陪審ノ答申ト裁判所ノ意見ト一致
シナイト云フコトニナリマスレバ、理論トシテハ裁判ヲ下スコトガ出來ナイ、
斯ウ云フコトニナリマス

○議長(公爵德川家達君) 池田男爵ニ伺ヒマスガ、司法次官ノ出席ヲ求メラ
セヌカラ、御出席ヲ求メマス

○議長(公爵德川家達君) 池田男爵ニ伺ヒマスガ、司法次官ノ出席ヲ求メラ
レマスカ

○男爵池田長康君 ハア

○議長(公爵德川家達君) 今迄見エテ居ラレマシタガ、唯今出席シテ居ラ
ヌヤウデアリマスガ

○男爵池田長康君 司法大臣モ御病氣デ居ラセラレルヤウニ拜承シテ居リマ
ス、一般的の司法制度ノ問題ニ付マシテハ、聊カ専門ノ矢張當局ニ居ラレル方
ニ承リタイト考ヘマス、併ナガラ此ノ司法制度ト云フコトニ付マシテハ、實
ハ總理大臣ニ伺ヒマシテモ宜ノデアリマスケレドモ、總理大臣ニ此點ヲ御
伺ヒ致シマシテモ、其方ノ事ハ十分御答ガ出來ヌカト思ヒマスカラ、遠慮イ
タシマシテ御伺ヒ致シテ居ルノデアリマス、若シカ之ニ付マシテ十分ナル御
答辯ヲ下サル方ガアリマスレバ、本員満足イタシテ質問ヲ致シマス

〔政府委員林頼三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(林頼三郎君) ドウ云フ御尋カ存ジマセヌガ、御尋ニヨリマシテ
ハ今司法次官ガ少シ差支ヘテ居リマスカラ、私カラデモ御答ガ出來ルカト存
ジテ居リマス

○男爵池田長康君 此陪審制度ト直接ノ關係ハアル譯デハアリマセヌ、ケレ

ドモ此度陪審制度ヲ御設ケニナル場合ニ於キマシテハ、司法制度ト云フモノニ付マシテ、一應政府ノ御意嚮ヲ伺ッテ置カナケレバナラヌト思フノデアリマス、尙ホ自己ノ意見ト致シマシテハ後ニ述ベマスルガ、政府ノ御意嚮ヲ此處デ承ッテ置カナケレバナラヌ、元來此社會ノ狀態ガ日々進化シテ參リマスカラシテ、先程モ若観君ヨリ御質問ニナッタ、司法裁判ノ實質ニ付テハ實ハ信賴シテ居ル、裁判ノ實質ニ對シテハ實ハ本員ハ國民ハ信賴シテ居ルト考ヘテ居ル、併ナガラ社會ノ進化ニ伴ヒマシテ、裁判ノ實質其モノニ對シテ疑惑ヲ懷ク時代ガ來ハシナイカト云フコトヲ本員ハ心配シテ居ル、即チ裁判官ガ複雜ナル世ノ中ニ於テ、各種ノコトニ理解力ヲ有ツト云フ點ニ付マシテハ、相當ノ方針ト居フモノヲ今日カラ立テテ置カナケレバナラヌ、是ガ陪審制度其モノニ最モ大切ナ問題デアル、尙ホ此點ニ付テ意見ハアルノデアリマスルガ、其意見ハ後ニ述ベマスガ、其點ニ對スル司法次官ノ御意嚮ヲ伺ヒタイ、是ハ國務大臣ノ御意嚮ヲ伺ヒタイノデアリマスケレドモ、司法次官ガ國務大臣ノ意嚮ヲ平素御聞キニナッテ居ルト思ヒマスカラ、ドウゾ其點ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山内確三郎君) 私ハツイ外ノ用事デ茲ニ這入テ居リマセヌノデ、御質問ノ趣旨ヲ少シ終ヒノ方ダケ聞イタノデアリマスガ、甚ダ恐縮デゴザイマスガ、簡單ニモウ一度御尋ラ願ヒタイ
○男爵池田長康君 ソレデハ簡単ニ申上グマス、裁判其モノノ實質ヲ向上セシムルニ付マシテ、何等カ政府當局ニ於カレテハ御考ヲ御持チニナッテ居ルヤ否ヤ、之ヲ伺ヒタイ、陪審制度其モノヨリモ、此點ガ私ハ重要ナ點デアルト信ジテ居ルノデアリマス

〔政府委員山内確三郎君演壇ニ登ル〕
○政府委員(山内確三郎君) 大分大キナ問題デアリマス、裁判制度ノ實質ヲ良クスルト云フコトニ付マシテ、從前及ヒ現在將來ニ付マシテ、政府當局ノ考ヘテ居リマスノハ、第一ニ裁判官ノ諸般ノ知識ヲ養成スルト云フコトガ、又人格ヲ高クスルト云フコトガ、是ガ第一ニ急務デアルト云フコトハ申スマデモナイ、然ニ我ミノ考デハ左程ニモナイト思フノデアリマスルガ、稍、世間デハ裁判官ト云ヘバ即チ非常識ナモノデアルト云フヤウナコトデアルト云フヤウナコトヲ、一二ノ例ガ元デアリマスルケレドモ、一般ニ聞クノヲ甚ダ遺憾ト考ヘテ居ルノデアリマス、此點ニ付マシテハ制度ニ於テモ缺陷ガアルトニ關スル缺陷ヲ補ヒ、尙ホ裁判官ノ知識ヲ養成スル、此兩點ニ付マシテ、諸デ承ッテ置カナケレバナラヌ、從テ裁判官ノ知識ヲ養成スル、ソレハ諸般ノ事ニ關スルノ改善ノ方法ヲ講ジナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、從テ裁判官ノ知識ヲ養成スルト云フコトニ付マシテハ、ソレハ諸般ノ事柄モアルノデアリマス、或ハ今日マデ我ミガ最モ必要ト考ヘテ居リマスノハ、而シテ實行シツツアルノハ、年々裁判官ヲ海外ニ派遣シテ而シテ海外ノ裁判ノ實狀ハ勿論、海外ニ於ケル所ノ經濟、社會其他ノ事柄ニ付テ親シク研究シ、以テ世ノ中ノ實情ニ……世界ノ實情ニ明ルクセシメルト云フコトハ、第一ノ必要ノ點ト考ヘテ居ルノデアリマス、更ニ内地ニ於キマシテ、獨リ法律ヲ研究スルノミナラズ、或ハ經濟事情、或ハ商事ノ關係、其他ノ關係ニ付テ、親見ハ後ニ述ベマスガ、其點ニ對スル司法次官ノ御意嚮ヲ伺ヒタイ、是ハ國務大臣ノ御意嚮ヲ伺ヒタイノデアリマスケレドモ、司法次官ガ國務大臣ノ意嚮ヲ考ヘテ、是等ノ點ニ付テハ諸般ノ方法ヲ講ジテ、其目的ヲ達シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、制度ノ缺陷ノ程度ニ付マシテハ、或ハ民事ノ裁判等ニ於キマシテモ、刑事ノ裁判等ニ於キマシテモ、刑事ハ別ニ致シマス、先ヅ民事ニ付テ申シマシテモ、單純ニ黑白ヲ争フト云フコトガ、是ガ今日ノ裁判制度ノ源ニナッテ居ルノデアリマス、即チ争ヒハ必ズ法律ニ依テ其權利ノ有ルトコロ、無イトコロ、是ノミヲ定メル、即チ法律ニ依テノミ人ノ權利義務ノ分レル所ヲ定メヤウトスルノガ今日ノ法律制度、即チ裁判制度ニナッテ居ルノデアリマス、併ナガラ凡ソ社會ノ民事ニ關スル爭ヒ等ハ、必ズシモ法律ノミヂヤナイ、此點ニ於テハ制度上諸般ノ仲裁ノ制度モ必要デアルト云フノデ、第一著ニ掛リマシタノガ、ツイ此間兩院ノ協賛ヲ受ケタ借地借家法ノ如キハ其一ツデアル、是等ノ仲裁制度トナレバ、唯單ニ法律一點ノミヲ以テ事ヲ定メルニアラズシテ、即チ自ラ其ノ事務ヲ取扱フニ付テ社會ノ實狀ヲ見ナケレバナラヌノデアリマス、獨リ權利義務ノ存在ノミナラズ、餘程其社會上ノ事情等ヲ洞察シナケレバナラズ、此必要ガ生ズル、其必要ノ結果ハ仲裁制度ニ從前ノヤウニ法律ヲ研究スルノミナラズ、此職務ヲ執ル上カラ社會ノ實狀ニ付テ深ク研究シナケレバナラズ、此必要ガ生ズル、其必要ノ結果ハ仲裁制度ノ結果トシテ民間ノ争ヒヲ圓滿ニ解決スルコトガ出來ル、而シテ之ヲ圓滿ニ解決スル所ノ知識ニ依テ養成スルコトガ出來ルト考フルノデアル、而シテ又更ニ得ル所ハ、此爲ニ恰モ刑事ニ於ケル陪審制度ト同様ニ、裁判官ノミガ裁

判スルニ非ズシテ、例へバ借地借家調停等ニ於テ、素人ヲ是ニ參與セシムル

コトニ於テ、其間裁判官ノ考ガ民間ニ通ジ、民間ノ考ガ裁判官ニ通ズルト云フコトデ、意思ノ疏通ヲ是ニ依テ得ルト云フコトガアルト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、或ハ此點ハ私ハ、陪審ニ付テ此陪審制度ヲ布クノモ、一ツノ理由ハソコニアルト考ヘテ居ル、必ズシモ裁判官ガ非常識ナルガ故ニデナ

イ、裁判官ノナス裁判ガ此法律制度ノ下ニ於テ、其信ズル所ガ最モ善イト信ジテ居ツテモ、併ナガラ裁判ヲ受ルモノハ、裁判官ト遠ザカッテ居ルガ爲ニ、

其間ニ意思ノ疏通ヲ缺ク其結果トシテ、裁判ノ實狀ヲ或ハ疑フヤウナコトモ起ルノデ、疏通スルト云フ意味ニ於テ人民ヲシテ裁判ニ干與セシムルト云フコトモ、即チ陪審制度ヲ布クコトモ是ニ依テ裁判官ノ常識ヲ養フ道トスル、

裁判ノ最モ親シムベキ道トスル缺陷ヲ補フト云フコト、ソレカラ裁判官ノ人格、其知識ヲ養成スルト云フコト、研究制度相俟ッテ以テ其兩善ヲ期セムトスル考ヲ以テ居ル、餘リ事が抽象的ニナッテ或ハ御問ヒノ御旨ニハ副ハヌカ知リマセスガ、大體私ハサウ云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、尙ホ是デ御不満足デアリマスレバ、御質問ニ應ジテ私ノ考ヘテ居ルダケヲ御答イタシタイトト考ヘマス

〔政府委員林賴三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(林賴三郎君) 御答ヘ致シマス、第一ノ御尋ニ對シマシテハ、唯今ノ國情ニ於テ陪審制ヲ行ヒマスノニハ、陪審法案ニ定メマシタ犯罪ノ範圍ガ適當デアルト考ヘテ居リマス、遠イ將來ノコトハ之ヲ豫言スル譯ニハ參リマセス、今日ハ此範圍ヲ以テ適當ト考ヘテ居リマス、又政府ニ於テハ民事事件ニ付テ今日陪審制ヲ布ク考ハゴザイマセス、ソレダケ御答ヘ申シテ置キマス

○男爵池田長康君 私ノ質問ハ是デ終リマス

○議長(公爵德川家達君) 目賀田男爵

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ總理大臣ニ質問ヲ致シマス

〔男爵目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵目賀田種太郎君 本案ノ先日貴族院ニ提出ニ際シテ、本員ガ質問ニ對シテ、若観君ノ質問ニ對シテ、(聽取シ難シ)國民ヲ司法事務ニ干與セシムル必要ガアル、此見地カラ陪審制度ヲ設ケル理由デアル、斯ウ仰セニナリマシタ陪審ヲ拜見イタシマスルト、所謂犯罪ハ重罪ニノミ限ツテ居ルヤウデアリマス、而シテ(聽取シ難シ)先ヅ此位ノ範圍デアルト仰シャイマシタガ、尙ホ之ヲ廣ク行ハレルト云フ考デアリマスカ、又刑事ノミニアラズシテ、或ハ民事等ニモサウ云フモノヲ及ボサルル考デアルノデアリマスカ、成程陪審制度ニ付マシテハ、各國ニ於キマシテモ民事ノ方ノ事ヲ干與サレナイヤウニ思ヒマシタ、元來憲法ハ御承知ノ如ク明治二十三年二月十一日ニ制定セラレマシテ、當時ノ聖勅ニ於テハ、憲法ヲ按ジ朕ガ子孫及朕ガ臣民ニ宣布ス、此憲法ノ改正ハ、朕ガ自カラ提議ノ道ヲ執リ容易ク紛更ヲ見ルコトナカラシムベシトアリマス、是ガ憲法制定ノ時ノ聖諭デアリマス、即チ憲法ヲ制定スルト云フ御話デアリマシタガ、ソコデ林局長ガ御話ニナリマシタ國民ノ司法事務ニ干與セシムルト云フ見地カラ申セバ、殊ニ刑事ノミニアラズ民事ノ點ニ付テ、殊ニ裁判官ガ社會ノ實情ニ於テ或ハ理解ガ出來ズ、或ハ分ラヌト思フ、斯ウ云フモノニ對シテ或ハ事實陪審制ト云フヤウナコトモ亦必要デアルカモ知レヌ、但シ私ハソレハ絶対ニ陪審ト云フモノハ否認スルモノデアリマスケレドモ、當局ハ左様ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、其點ノ御意嚮ヲ伺ヒタイ

ニ瓦ルコトデアツテ、誠ニ容易ナラヌコトデアル、僅ニ今ヨリ一時間十分ノ間ニ議スベキコトデハナイト思フ、ソレ故更ニ總理大臣ニ伺ヒマスレバ、先ノ政府委員ノサウ申シタコトハ、一時ノ何カ説明ノ誤リデアル、唯政府委員ノ意氣ガ其所ニ至ッタマデデアル、政府ハヨモ左様ナコトハ考ヘラレマイト思フ、併シ政府委員ニシテ之ヲ言フ以上ハ、總理大臣ハ矢張其責ニ任ゼラルベキモノト思ヒマス、先ツ此コトヲ伺ッテ置キマス、ソレヨリ尙ホ總理大臣ニ伺ハタイコトハ多々アリマスルガ、餘リ御煩勞ト思ヒマスカラ、政府委員若クハ委員長ニ伺ヒマス

○國務大臣子爵高橋是清君演壇ニ登ル

○國務大臣(子爵高橋是清君) 目賀田男爵ニ御答ヲ致シマス、政府委員ノ御答ヲシタ時ニハ私ハ聞イテ居リマセヌデシテ、果シテ唯今御述ベニナツタ通りデアルヤ否ヤハ知リマセヌガ、私ニ於テハ憲法ノ改正ヲスルト云フ考ハ、今日少シモ持ツテ居リマセヌ

○男爵目賀田種太郎君 誠ニ然ルベキコト存ジマス、總理大臣ノ御答ニシテ初メテ本員ヲ満足セシメタノハ是ガ初メテデアリマス、大ニ總理大臣ノ明快ナル御答ニ感謝イタシマス、誠ニ有難ク……更ニ總理大臣ニ對シ一段ノ信用ヲ加ヘタコトト思ヒマス、是ヨリ尙ホ刑事局長ニ伺ヒタイコトガ多々アリマスガ、今時間モ段々延ビテ參リマシタ、段々形勢ヲ見マルニ寧ロ委員長ノ方ガ餘程此方ニ付テ御精シイヤウデ、殊ニ在野法曹トシテ今マデ多年研究セラレタコトト思ヒマス、先ヅ以テ委員長ニ伺ヒタイ

○議長(公爵德川家達君) 目賀田男爵ニ申上グマスガ、委員長ト仰セラレマスガ、副委員長ノコトダラウト思ヒマスガ

○男爵目賀田種太郎君 副委員長デス

○議長(公爵德川家達君) 磯部君ハ今モウ席ニ居ラレマセヌ

○男爵目賀田種太郎君 左様デスカ

〔「伯爵柳澤保惠君」聞ヘマセヌデシタ「ト述フ」〕

○議長(公爵柳澤保惠君) 相對ノ御話ハ御断リテ致シマス

○男爵目賀田種太郎君 柳澤伯爵ヨリ發言セラレマシタ、私ハ相對ニハ申シマセヌ、議長

○議長(公爵德川家達君) 目賀田男爵

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ委員長ガ歸ラレマシタラ、議長……磯部副委員長ニ質問イタシタイ、一體此陪審制度ハ英吉利ガ元デゴザイマシテ、陪審ト申シマスルコトハ即チ宣誓審ト云フコトデ、其宣誓ト云フコトハ外國ニ於テハ神ニ誓フト云フコトデアル、神ニ誓ハザルモノハ宣誓デハナイノデアリマス、日本ニ於テモ宣誓、祈誓ト云フコトハ矢張神ニ誓フト云フコトデアル、維新前ハ勿論、維新後ニ於キマシテモ矢張政府ノ官吏、公務ニ從事スル者ハ神ニ誓フタノデアリマス、維新ノ後……無論祭政一致、祭政一致デアラレタケレドモ、神祇官ヲ廢サレテヨリ以來、政務ト祭務、祭ト政トハ分レマシテ、ソレヨリ以後普通ノ公吏、官吏、ソレ等ハ宣誓ヲシナインデアリマス、ソレデ假令日本ノ法律ニ於テ、第六十九條ノ宣誓ト申シマシテモ、當時神ニ對シテ誓ハセル宣誓ハ、目今外國ニ行ハレテ居ル法理ニ於テハ宣誓デハナイ、假令字ハ宣誓ト書キマシテモ宣誓ニハナラヌノデアリマス、ソレハ本員モ略調ベマシタ所ガサウナツテ居リマシタ、磯部法學博士ハ定メテ宣誓ト書イテ神ニ誓ハルル宣誓ト……效力ヲ有スル外國ニ例ガアル、ソレ等ニ依テ委員長トシテ之ニ答ヘラレルグラウト思ヒマス、我國ノ宣誓ト云フコトハ神ニ依ラザレバ宣誓トハナラヌ、神ニ依ラザル宣誓ハ之ヲ確言ト云フ、陪審ト云フモノハ宣誓デアルト云フ、ソレデアルカラは昔ノ翻譯語デアル、サウシテ之ガ宣誓ニ依ラズ、確言ニ依テ陪審トナルナラバ、確言デモ行ケル、陪審ニ似テ陪審デハナイ、故ニ此宣誓ト云フコトハ、ドノ位ノ確言ト云ヘバ自分ガ唯ニ確言スルト云フコトデアル、外國ニ言フ如キ陪審デハナイノデアリマス、此點ニ付テ如何ナル委員會ニ於テ評議ガアリマシタカソレヲ伺ヒタイ、ソレカラニ背イテ不當ナル行爲ヲスル、或ハ外部ヨリ誘惑ヲ受ケル、或ハ最モ間違ッタル思想ヲ以テ判断ヲ下ス、不當ナリト云フ場合ニハ矢張第六十九條ノ第二項ニ依テ、宣誓ヲ爲サシタル者ハソレハ偽證罪ニ問ハルカト云フ質問ニ對シテ、陪審ハ十二人一體トナツテ居ルガ故ニ個々別々ノ行爲ニ付テハ餘程ムツカシイ、十二人一體ニナツテ判断ヲシマシタル以上ハ其内容ニ付テ、其内容ノ錯誤、内容ノ過失ニ付テハドウモ餘程ムヅカシイト云フ政府委員ノ答辯ノヤウニ承リマシタガ、之バ一體ドウナルノデアリマスカ

○磯部四郎君 目賀田男爵ノ御質問ニ御答イタシマス、陪審ト云フ文字ハ宣

誓者ト云フ字カラ來テ居ル、宣誓ト云フノハ神ニ誓ツテ宣誓ト云フ、斯ウ云
フ御見解ノヤウニ伺ヒマスガ、然ニ私ハ嘗テ佛蘭西ニ居リマシタ時分ニ、日
本人ガ訟廷へ證人ニ喚バレマシタ、此際ニ神ニ誓ヘト云フカラ、私ハ耶蘇教
デハナイ又佛教モ別ニ信ジテ居ナイト言ッタ、サウシタラ然ラバ「コンシエン
ス」ニ御誓ヒナサイ、即チ自分ノ良心ニ御誓ヒナサイト云フコトデアリマシ
タカラ、日本人ガ佛蘭西ノ訟廷ニ於テ、自分ノ良心ニ誓ッテ證言ヲ致シ來ッタ
ト云フ事實ガアリマス、カルガ故ニ即チ神ヲ信ズル者ハ神ノ神前ニ於テ誓ヲ
爲シマセウガ、又信ゼザル者ニ向ッテハ唯今申上ゲマス通リ良心ニ誓ヘト云フ
コトニナッテ居リマス、併シソレハ如何ヤウニゴザイマシテモ、唯今ノ法案ノ
文字ニ現ハレテ居リマス所ハ、陪審ト云フ文字デ、宣誓トハ書イテゴザイマ
セヌ、宣誓スルト云フノハ日本ニ於テハ鑑定人モ致シマス、通辯モ宣誓イタ
シマスシ證人モ致シマスシ、又訟廷ニ於テ此宣誓ヲ要求スル所ノ者ニ向ッテハ
宣誓モ致シマス、其命ズル所ノ宣誓ハ日本ニ於テハ所謂良心ニ誓ハセマス、
歐羅巴ニ行ッタラバ唯今ノ御話ノヤウナ御見解デ、宣誓ト云フ文字ハ通過イタ
シマスカ知レマセヌガ、日本ニ於テハ宣誓ト云フ事柄ハ、良心ニ誓フテ以テ
宣誓ト訟廷ニハ通用イタシマス、ソレカラ今一ツノ御尋ハ何デゴザイマスカ
〔男爵目賀田種太郎君「陪審員ニシテ外部ヨリ……」ト述フ〕

○議長(公爵德川家達君) 目賀田男爵

〔男爵目賀田種太郎君「宜シウゴザイマスカ」ト述フ〕

イマス

○男爵目賀田種太郎君 餘程前デゴザイマシタ……今一ツハ陪審員ガ人ノ誘
惑ヲ受ケ、正當ニ信ズベキコトヲ誤マリテ不當ナル行爲ヲスル、所謂證據人
トシテノ偽證罪ト同ジヤウナコトヲ爲シタ時ハ、即チ宣誓ヲ破ッタ時ハ、偽證
罪ニ觸レシメルカト云フ間ニ對シテ、政府ハ其委員ヲシテ、ソレハ餘程困難
デ、陪審員ハ十二人ヲ一體トシテ個々別々ニ付テハ餘程ムヅカシイ(聽取ス
ル能ハズ)十分ニ了解シテ居ル、磯部君ニ御尋セヨト云フコトデゴザイマシタ
○磯部四郎君 御答ヲ申上グマス、十二人一體ニナッテ居ルト云フコトデゴザ
イマスガ、此法案ニ依リマスルト云フト、意見ガ半數ニ分レタトキハ云々ト
云フ規定ガゴザイマスガ、必ラズ陪審員ハ十二人連帶デ以テ一體ニ答ヲシナ
ケレバナラヌト云フ義務ハ負フテ居ナイカト考ヘマス、而シテソレガ困難デ

誓者ト云フ字カラ來テ居ル、宣誓ト云フノハ神ニ誓ツテ宣誓ト云フ、斯ウ云
フ御見解ノヤウニ伺ヒマスガ、然ニ私ハ嘗テ佛蘭西ニ居リマシタ時分ニ、日
本人ガ訟廷へ證人ニ喚バレマシタ、此際ニ神ニ誓ヘト云フカラ、私ハ耶蘇教
デハナイ又佛教モ別ニ信ジテ居ナイト言ッタ、サウシタラ然ラバ「コンシエン
ス」ニ御誓ヒナサイ、即チ自分ノ良心ニ御誓ヒナサイト云フコトデアリマシ
タカラ、日本人ガ佛蘭西ノ訟廷ニ於テ、自分ノ良心ニ誓ッテ證言ヲ致シ來ッタ
ト云フ事實ガアリマス、カルガ故ニ即チ神ヲ信ズル者ハ神ノ神前ニ於テ誓ヲ
爲シマセウガ、又信ゼザル者ニ向ッテハ唯今申上ゲマス通リ良心ニ誓ヘト云フ
コトニナッテ居リマス、併シソレハ如何ヤウニゴザイマシテモ、唯今ノ法案ノ
文字ニ現ハレテ居リマス所ハ、陪審ト云フ文字デ、宣誓トハ書イテゴザイマ
セヌ、宣誓スルト云フノハ日本ニ於テハ鑑定人モ致シマス、通辯モ宣誓イタ
シマスシ證人モ致シマスシ、又訟廷ニ於テ此宣誓ヲ要求スル所ノ者ニ向ッテハ
宣誓モ致シマス、其命ズル所ノ宣誓ハ日本ニ於テハ所謂良心ニ誓ハセマス、
歐羅巴ニ行ッタラバ唯今ノ御話ノヤウナ御見解デ、宣誓ト云フ文字ハ通過イタ
シマスカ知レマセヌガ、日本ニ於テハ宣誓ト云フ事柄ハ、良心ニ誓フテ以テ
宣誓ト訟廷ニハ通用イタシマス、ソレカラ今一ツノ御尋ハ何デゴザイマスカ
〔男爵目賀田種太郎君「陪審員ニシテ外部ヨリ……」ト述フ〕

○議長(公爵德川家達君) 目賀田男爵

〔男爵目賀田種太郎君「宜シウゴザイマスカ」ト述フ〕

イマス

○男爵目賀田種太郎君 餘程前デゴザイマシタ……今一ツハ陪審員ガ人ノ誘
惑ヲ受ケ、正當ニ信ズベキコトヲ誤マリテ不當ナル行爲ヲスル、所謂證據人
トシテノ偽證罪ト同ジヤウナコトヲ爲シタ時ハ、即チ宣誓ヲ破ッタ時ハ、偽證
罪ニ觸レシメルカト云フ間ニ對シテ、政府ハ其委員ヲシテ、ソレハ餘程困難
デ、陪審員ハ十二人ヲ一體トシテ個々別々ニ付テハ餘程ムヅカシイ(聽取ス
ル能ハズ)十分ニ了解シテ居ル、磯部君ニ御尋セヨト云フコトデゴザイマシタ
○磯部四郎君 御答ヲ申上グマス、十二人一體ニナッテ居ルト云フコトデゴザ
イマスガ、此法案ニ依リマスルト云フト、意見ガ半數ニ分レタトキハ云々ト
云フ規定ガゴザイマスガ、必ラズ陪審員ハ十二人連帶デ以テ一體ニ答ヲシナ
ケレバナラヌト云フ義務ハ負フテ居ナイカト考ヘマス、而シテソレガ困難デ

裁判ノ實例ニ至リマシテハ未ダ心得マセヌ
○伯爵柳澤保惠君 私ハ此際緊急動議ヲ提出イタシマス、唯今陪審法案ノ審
議中デゴザイマスガ、質問モ多々アル又賛成、御反対ノ意見モ相當ニアルヤ
コトニナッテ居リマス、併シソレハ如何ヤウニゴザイマシテモ、唯今ノ法案ノ
文字ニ現ハレテ居リマス所ハ、陪審ト云フ文字デ、宣誓トハ書イテゴザイマ
セヌ、宣誓スルト云フノハ日本ニ於テハ鑑定人モ致シマス、通辯モ宣誓イタ
シマスシ證人モ致シマスシ、又訟廷ニ於テ此宣誓ヲ要求スル所ノ者ニ向ッテハ
宣誓モ致シマス、其命ズル所ノ宣誓ハ日本ニ於テハ所謂良心ニ誓ハセマス、
歐羅巴ニ行ッタラバ唯今ノ御話ノヤウナ御見解デ、宣誓ト云フ文字ハ通過イタ
シマスカ知レマセヌガ、日本ニ於テハ宣誓ト云フ事柄ハ、良心ニ誓フテ以テ
宣誓ト訟廷ニハ通用イタシマス、ソレカラ今一ツノ御尋ハ何デゴザイマスカ
〔男爵目賀田種太郎君「陪審員ニシテ外部ヨリ……」ト述フ〕

○議長(公爵德川家達君) 目賀田男爵

〔男爵目賀田種太郎君「宜シウゴザイマスカ」ト述フ〕

イマス

○伯爵松平賴壽君 賛成
○議長(公爵德川家達君) 唯今ノ柳澤伯爵ノ陪審法案ノ議事ハ一時中止ヲ致
シマシテ、議事日程ノ二十四、三十一、三十九、四十、四十一、四十二、此
各法案ノ委員長ノ報告ヲ求ムル爲ニ議事日程變更ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立
ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

イマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二十四、裁判所構成法中改正法律案、政府
提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、松室致君
裁判所構成法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正十一年三月二十二日

右特別委員長

伯爵寺島誠一郎

貴族院議長公爵德川家達殿

○松室致君 裁判所構成法中改正法律案ノ委員會經過ノ御報告ヲ致シマス、

此案ハ刑事訴訟法改正ノ結果トシテ當然ノ改正デアリマスルノト、臺灣朝鮮等ノ法官ヲ内地ニ採用スルコトガ出來ルト云フコトヲ其序ニ改正スルト云フ

兒玉伯爵

趣意デアルノデアリマス、是ハ委員會ニ於テ一言ノ異議モ無ク、全會一致デ可決イタシマシタ、此段御報告イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵柳澤保惠君 贊成

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、全部ヲ問題ニ供シマス、

全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ日程第三十一、大正八年度歲入歲出總決算、

大正八年度各特別會計歲入歲出決算報告並決議案一件、會議、委員長報告、

大正八年度歲入歲出總決算並大正八年度各特別會計歲入歲出決算及既往年

度検査未確定金額ノ検査確定シタルモノヲ審査スルニ

第一

大正八年度歲入歲出總決算官有物中遞信省所管郵便局ニ於テ其ノ所屬職員中印紙切手類ヲ横領セル件

右ハ政府ノ措置不當ナリト認ム

第二

大正八年度歲入歲出總決算歲出經常部陸軍省所管第二款軍事費第十項兵器彈藥費中陸軍兵器本廠ノ支出ニ係ル件

大正八年度歲入歲出總決算歲出臨時部內務省所管第四款港灣改良費第五項神戸港修築費中內務省神戸土木出張所ノ支出ニ係ル件

大正八年度歲入歲出總決算歲出臨時部陸軍省所管第五款軍備充實費第一項營繕及初度調辦費中第十二師團經理部ノ支出ニ係ル件

大正八年度歲入歲出總決算歲出臨時部海軍省所管第二十五款大正三年臨時事件費第一項大正三年臨時事件費中吳海軍經理部ノ支出ニ係ル件

大正八年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管專賣局歲出第一款專賣局作業費第二項事業費中大阪專賣支局ノ支出ニ係ル件

大正八年度各特別會計歲入歲出決算文部省所管東京帝國大學歲出經常部第一款東京帝國大學第二項物件費中傳染病研究所ノ支出ニ係ル件

大正七年度歲入歲出總決算歲入臨時部第一款官有物拂下代第二項地所款東京砲兵工廠作業費第三項材料素品費中東京砲兵工廠歲出第一款東京砲兵工廠作業費第一項臨時警務費中朝鮮總督府ノ支出ニ係ル件

大正八年度各特別會計歲入歲出決算陸軍省所管東京砲兵工廠歲出第一款東京砲兵工廠作業費第一項臨時警務費中朝鮮總督府ノ支出ニ係ル件

拂下代中北海道廳上川河西兩支廳ノ徵收ニ係ルモノ二件

大正八年度各特別會計歲入歲出決算文部省所管東京帝國大學歲出經常部第一款東京帝國大學第二項物件費中傳染病研究所ノ支出ニ係ル件

大正七年度歲入歲出總決算歲入臨時部第一款官有物拂下代第二項地所款東京砲兵工廠作業費第一項臨時警務費中朝鮮總督府ノ支出ニ係ル件

拂下代中北海道廳上川河西兩支廳ノ徵收ニ係ルモノ二件

右ハ政府ノ措置穩當ヲ観クモノト認ム

第三

大正八年度歲入歲出總決算歲入經常部第一款租稅第二項所得稅中伊丹稅務署、八幡稅務署、西宮神戶兩稅務署、橫濱稅務署、兩國橋外一稅務署、盛岡稅務署、藤枝稅務署ノ徵收ニ係ルモノ九件、神田橋稅務署、永代橋稅務署ニ於テ徵收ニ至ラナリシモノ二件、東稅務署ノ不納缺損ニ係ル件、永代橋外二稅務署、京橋稅務署、西稅務署、名古屋稅務署、神田橋稅務署、同上、永代橋外十一稅務署、神田橋稅務署、北稅務署、神田橋稅務署、延岡稅務署、札幌稅務署、神田橋稅務署、同上、橫濱稅務署、永代橋稅務署、神戶稅務署、西稅務署、永代橋稅務署、京橋稅務署、西稅務署、淀橋稅務署、南稅務署、東稅務署、西宮稅務署、京橋稅務署、今市稅務署、龜戶稅務署、福知山稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ四十二件、永代橋稅務署、神戶稅務署、西稅務署、神田橋稅務署、桐生稅務署ノ徵收過ニ係ルモノ五件、第三項營業稅中永代橋稅務署、神戸稅務署、八幡稅務署、淀橋稅務署、小樽稅務署、東稅務署、横濱稅務署、同上、東稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ九件、橫濱稅務署、仙臺稅務署、福岡稅務署ノ徵收過ニ係ルモノ三件、第四項相續稅中上京稅務署、神田橋稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ二件、第十項關稅中橫濱稅關ノ徵收不足ニ係ル件、第二款印紙收入第一項印紙收入中橫濱稅關ニ於テ印紙ヲ以テ納入セシムヘキ件、村上區裁判所ニ於テ登錄稅トシテ印紙ヲ以テ納付セシメタル件、第三款官業及官有財產收入第一項郵便電信電話收入中東京外六遞信局ニ於テ歲入ニ編入スヘキ件、第二項森林收入中高知大林區署ニ於テ歲入ニ編入セサル件、第八項東京砲兵工廠益金中東京砲兵工廠ノ徵收ニ係ル件、第四款雜收入第三項辦償及違約金中文部省ノ徵收ニ係ル件、第五項雜入中農商務省ニ於テ徵收ニ至ラサル件、歲入臨時部第一款官有物拂下代第三項建物拂下代中文部省ノ徵收ニ係ル件、第十四款戰時利得稅第一項戰時利得稅中伊丹稅務署、八幡稅務署、橫濱稅務署、兩國橋外一稅務署ノ徵收ニ係ルモノ五件、東稅務署ノ不納缺損ニ係ル件、永代橋稅務署外二稅務署、京橋稅務署、名古屋稅務署、神田橋稅務署、永代橋外四稅務署、神田橋稅務署、橫濱稅務署、神戸稅務署、西稅務署、永代橋稅務署、

京橋稅務署、西稅務署、淀橋稅務署、南稅務署、東稅務署、西宮稅務署、龜戶稅務署、福知山稅務署、和歌山稅務署、永代橋稅務署、松原稅務署、幸橋稅務署、舞鶴稅務署、倉敷稅務署、幸橋稅務署、神田橋稅務署、神田橋稅務署、岸和田稅務署、鹿兒島稅務署、御坊稅務署、峯山稅務署、神田橋稅務署、同上ノ徵收過ニ係ルモノ十一件

大正八年度歲入歲出總決算歲出經常部陸軍省所管第二款軍事費第二項廳費中第九師團經理部ノ支出ニ係ル件

大正八年度歲入歲出總決算歲出經常部海軍省所管第二款軍事費第七項造船造兵及修理費中佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル件、第九項患者費中佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル件、第十一項艦營費中佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル件

大正八年度歲入歲出總決算歲出經常部司法省所管第三款監獄第四項在監人費中高松監獄ノ支出ニ係ル件

大正八年度歲入歲出總決算歲出經常部文部省所管第四款醫師藥劑師試驗費第二項事務費中文部省ノ支出ニ係ル件、第六款普通教育費第三項普通教育諸費中文部省ノ支出ニ係ル件、第八款獎勵費第一項科學研究獎勵費中文部省ノ支出ニ係ル件

大正八年度歲入歲出總決算歲出經常部農商務省所管第六款北海道拓殖費第八項港灣費中北海道廳網走築港事務所ノ支出ニ係ル件

大正八年度歲入歲出總決算歲出臨時部農商務省所管第六款北海道拓殖費新設費第一項兵器製造所新設費中東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル件、第三十二款大正三年臨時事件費第一項大正三年臨時事件費中陸軍東京經理部ノ支出ニ係ル件、第三十七款伊國飛行家羅馬東京間飛行贊助費第一項伊國飛行家羅馬東京間飛行贊助費中陸軍東京經理部ノ支出ニ係ル件

大正八年度歲入歲出總決算歲出臨時部海軍省所管第七款水陸設備費第一神田橋稅務署、橫濱稅務署、神戸稅務署、西稅務署、永代橋稅務署、神田橋稅務署、橫濱稅務署、神戸稅務署、西稅務署、永代橋稅務署、

一項水陸設備費中佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル件、吳海軍經理部ノ支出ニ係ルモノ二件、橫須賀海軍經理部ノ支出ニ係ル件、吳海軍經理部ノ支出ニ係ル件、佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル件、第二十五款大正三年臨時事件費第一項大正三年臨時事件費中海軍省經理局ノ支出ニ係ル件

大正八年度歲入歲出總決算歲出臨時部司法省所管第二款營繕費第十六項松本分監幼年監建築費中長野監獄ノ支出ニ係ル件

大正八年度歲入歲出總決算歲出臨時部文部省所管第四款臨時調查費第二項實業教育調查費中文部省ノ支出ニ係ル件、第十二款大正三年臨時事件費第一項大正三年臨時事件費中文部省ノ支出ニ係ル件

大正八年度歲入歲出總決算歲出臨時部農商務省所管第二款製鐵所擴張費第二項工場費中製鐵所ノ支出ニ係ル件、第三款營繕費第二項新營費中大阪工業試驗所ノ支出ニ係ル件、茶業試驗場ノ支出ニ係ル件

大正八年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管專賣局歲出第一款專賣局作業費第二項事業費中宇都宮外七專賣支局三田尻專賣支局ノ支出ニ係ルモノ九件

大藏省所管朝鮮總督府歲入臨時部第一款戰時利得稅第一項戰時利得稅中京城府ニ於テ徵收不足ニ係ル件、第二款官有物拂下代第一項土地拂下代中咸鏡南道咸興郡ノ徵收ニ係ル件、歲出臨時部第七款營繕費第六項新營及設備中朝鮮總督府ノ支出ニ係ル件、第二十四款騷擾事件費第一項騷擾事件費中忠清北道、朝鮮總督府、咸鏡北道、咸鏡南道、咸鏡北道ノ支出ニ係ルモノ五件

大正八年度各特別會計歲入歲出決算、大藏省所管臺灣總督府歲入經常部第一款臺灣收入第二項官業及官有財產收入中臺灣總督府營林局ノ徵收ニ係ル件、歲出臨時部第二款事業費第八項道路橋梁費中臺灣總督府土木局ノ支出ニ係ル件

大正八年度各特別會計歲入歲出決算陸軍省所管東京砲兵工廠歲出第一款東京砲兵工廠作業費第三項材料素品費中東京砲兵工廠ノ支出ニ係ルモノ二件

大正八年度各特別會計歲入歲出決算陸軍省所管千住製絨所歲入第一款

千住製絨所作業收入第二項雜收入中千住製絨所ノ徵收ニ係ル件

大正八年度各特別會計歲入歲出決算海軍省所管海軍工廠資金歲出第一款材料物品費第一項材料物品費中佐世保海軍工廠ノ支出ニ係ル件

大正八年度各特別會計歲入歲出決算鐵道省所管帝國鐵道資本勘定歲入第一款鐵道資金收入第三項雜收入中鐵道院ノ徵收ニ係ル件、歲出第一款鐵道建設及改良費第一項建設費中鐵道院ニ於テ決算額ニ編入ヲ要スル件、第二項改良費中鐵道院ニ於テ決算額ニ編入ヲ要スル件、鐵道院ノ支出ニ係ルモノ四件、第二款鐵道用品及工作費第一項用品及工作費中鐵道院及鐵道省ノ支出ニ係ル件

大正八年度各特別會計歲入歲出決算鐵道省所管帝國鐵道收益勘定歲入第一款鐵道作業收入第一項運輸收入中鐵道院ノ徵收ニ係ル件、第二項雜收入中鐵道院ニ於テ收入ニ至ラサル件、歲出第一款鐵道作業費第一項事業費中鐵道省ノ支出ニ係ル件、第二項利子及債務取扱諸費中鐵道院ニ於テ支出ヲ要スル件

官金中大藏省所管國庫金預金利子ノ協定宜シキヲ得ス國庫ノ不利ヲ來シタル件

官金中遞信省所管各遞信局及爲替貯金局等ニ於テ其ノ所屬歲入金ノ金庫ニ拂込ヲ了セサル件

大正六年度歲入歲出總決算歲入經常部第一款租稅第三項營業稅中神戶稅務署ノ徵收不足ニ係ル件

大正七年度歲入歲出總決算歲入經常部第一款租稅第二項所得稅中厩橋稅務署、西稅務署、品川稅務署、西稅務署、東稅務署、淀橋稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ六件、第三項營業稅中神戶稅務署、東稅務署、同上ノ徵收不足ニ係ルモノ三件、歲入臨時部第十三款戰時利得稅第一款戰時利得稅中厩橋稅務署、西宮稅務署、西稅務署、東稅務署、淀橋稅務署、唐津稅務署、平戶稅務署、淀橋稅務署ノ徵收ニ係ルモノ八件、品川稅務署ノ徵收過ニ係ル件、佐世保稅務署ノ徵收ニ係ル件

大正七年度歲入歲出總決算歲出經常部海軍省所管第二款軍事費第七項造船造兵及修理費中海軍省經理局ノ支出ニ係ル件、佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル件、歲出臨時部海軍省所管第七款水陸設備費第一項水陸設備費中佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル件、第二十三款大正三年臨時

事件費第一項大正三年臨時事件費中海軍經理局ノ支出ニ係ル件

大正七年度歲入歲出總決算歲出臨時部農商務省所管第十二款大正三年臨時事件費第一項大正三年度臨時事件費中農商務省臨時米穀管理部ノ支出ニ係ル件

右ハ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スヘキモノト認ム

第四

其他異議ナシ

右及報告候也

大正十一年三月二十四日

決算委員長 伯爵兒 玉秀雄

貴族院議長公爵德川家達殿

決議案

貴族院ハ遞信省所屬職員兵庫縣寶塚郵便局長津下某、福岡縣八幡郵便局通信書記水町某、同田中某、京都府七條郵便局通信事務員小谷某、東京中央郵便局通信書記補松岡某等カ大正七年以降數年ニ瓦リ收入印紙切手類其ノ額貳百四拾參萬八千八百圓ヲ横領シタルハ政府ノ監督其ノ宜シキヲ得ス官紀弛廢シ國庫ニ多大ノ損害ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリト議決ス

〔伯爵兒玉秀雄君演壇ニ登ル〕

○伯爵兒玉秀雄君 大正八年度決算ハ現内閣ノ豫算ノ結果デゴザイマスル、加之審査スペキ事項ガ非常ニ多數ニ上ボッテ居リマシタルガ故ニ、特ニ審查期限ヲ三週間延長イタシマシテ、慎重ニ審議ヲ致シマシタ、委員會ハ總會ヲ開クコト二回、分科會ヲ開クコトハ度々デゴザイマシタ、其結果不當ト決議イタシマシタルモノガ一、政府ノ措置穩當ヲ缺クモノト認メタルモノ十一、政府ニ將來ノ注意ヲ促スベキモノト認メタルコト二百四十一件、其他異議ナシト決シタノデアリマス、政府ノ措置穩當ヲ缺クモノト認メタルモノハ、陸軍兵器本廠ニ於キマシテ競争入札ニ付スベキモノヲ隨意契約ニ依リマシタル件、神戸土木出張所ニ於キマシテ目的外ノ工事施行ノ件、大阪專賣支局ニ於キマシテ工事施行上注意ヲ缺キタルモノ二件、第二師團經理部ニ於キマシテ目的外ニ使用シタルモノ一件、吳海軍經理部ニ於キマシテ新營ヲ數箇月後著手セザル件一件、朝鮮總督府ニ於キマシテ巡査被服購入ニ關スル件、傳染病研究件、東京砲兵工廠ニ於キマシテ「グリセリン」購入ニ關スル件、衆議

究所ニ於キマシテ競爭入札ニ付スベキモノヲ隨意契約ニ依リタル件一件、北海道上川河西兩支廳ニ於キマシテ徵收上ニ關スル件二件デアリマス、其詳細ノコト及ビ注意事項ニ屬スル事柄ハ速記録ニ譲リマス、大正八年ハ御承知ノ通リ經濟上最モ景氣ノ好イ時デアツタノデアリマス、其結果人心動モスレバ放漫ニ流レ、官紀動モスレバ紊亂セムトスルノ傾キガアツタノデアリマス、其影響ヲ受ケマシテ大正八年度ニ於キマシテ、不正行為ニ屬スル所ノモノガ多敷ニ上ボリマシタルガ爲ニ、委員會ハ希望條件ヲ議決シタノデアリマス、大正八年度ノ決算ニ於テ不正行為ノ事件頗ル多シ、之ヲ審査スルニ多クハ監督取締ノ不行届ニ歸ス、政府ハ十分ナル注意アラムコトヲ望ム、尙ホ前後ニ御報告申上ゲル事柄ハ、決算ヲ審査スルニ當リマシテ政府ノ措置不當ト認メタルモノガゴザイマス、決算委員會ガ不當ノ決議ヲ致シマシタル事柄ハ、大正四年來絶エテナイ所デアリマス、今茲ニ此決議案ヲ報告スル事柄ハ、委員會ノ頗ル遺憾トスル所デアリマス、本事件ハ當議場ニ於テ屢々論議セラレ、又天下ノ耳目ヲ震動シタル所謂寶塚事件デアリマス、斯ノ如キ事件ガ現内閣就職ノ當時ニ於テ其端ヲ發シ、數年間ニ瓦リテ不正行為ハ發覺セラレズ、遂ニ二百餘萬圓ノ印紙切手類ノ横領ヲ見ルニ至ラタノデアリマス、斯ノ如キハ政府監督ノ怠慢ナルコトハ勿論ノコト、官紀ノ紊亂實ニ極マレリト言ハザルヲ得ナイノデアリマス、過日當議場ニ於キマシテ殆ド満場一致ヲ以テ通過イタシマシタル、綱紀肅正ノ建議案ヲ思フナラバ今更一種ノ感ヲ深クスルモノガアルノデアリマス、只今此決議案ヲ朗讀イタシマシテ、私ノ報告ヲ終ラムトスルモノデアリマス、「決議案」、「貴族院ハ遞信省所屬職員兵庫縣寶塚郵便局長津下某、福岡縣八幡郵便局通信書記水町某、同田中某、京都府七條郵便局通信事務員小谷某、東京中央郵便局書記補松岡某等カ大正七年以降數年ニ瓦リ收入印紙切手類其ノ額貳百四拾參萬八千八百圓ヲ横領シタルハ政府ノ監督其ノ宜シキヲ得ス官紀弛廢シ國庫ニ多大ノ損害ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリト決議ス

○議長(公爵德川家達君) 決算委員長ノ報告ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 次ハ日程第三十九、未成年者飲酒禁止法案、衆議

院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

未成年者飲酒禁止法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十四日

右特別委員長
候爵蜂須賀 正韶

貴族院議長公爵德川家達殿

○議長(公爵德川家達君) 是ハ衆議院送付案デゴザイマスカラ、政府ノ同意ヲ求メマス

○議長(公爵德川家達君) ……宜シウゴザイマス、蜂須賀侯爵

「侯爵蜂須賀正韶君演壇ニ登ル」

○侯爵蜂須賀正韶君 未成年者禁酒法案ニ付キマシテ、委員會ノ經過及ビ結果ヲ報告イタシマス、是ハ數年ニ亘リマシタ衆議院提出ノ案デ、諸君ニ於カレマシテモ御承知ノ案ト存ジマス、政府當局ノ意見ヲ聽キマシタル所、此法律ハ若シ決定セラルルナラバ、豫テ設定シテ居リマス所ノ喫煙禁止ノ法案ヨリハ、取締易イト云フコトデアリ、又學校教育及ビ社會教育ニ委カセルヨリハ、斯ル法令ガ出マスルナラバ、取締上比較的厲行シ易イ、斯ウ云フコトデアリマシタ、又未成年者ニシテ、未ダ飲酒ノ習慣ノ付カナイ者ニハ、斯ル法令ガ出マシタナラバ、初ヨリシテ習慣ヲ造ラヌト云フコトニナルノデ、其點ニ於テ效果ガアルト云フコトデアリマス、委員會ニ於キマシテハ出席委員七人ノ中六人賛成、一人ノ反対デゴザイマシタ、反対意見ハ從來ノ反対者、法案ニ對シテノ反対者ノ意見ノ如ク、斯ノ如キモノハ法令デ定メルモノデハナイ、自發的自覺ニ待ツヨリ外ナイ、或ハ教育上ニ於テ相當ノ注意スル方デ宜カラウ、斯ウ云フ風ナ意見デアリマシタノデアリマス、又賛成者ノ方ハ、政府當局ニ於テ兒童ノ保護ニ關スル法令ヲ豫テ設定シタイト云フコトデ、目下考慮中デアルト云フコトデアリマスノデ、唯今申上ゲマシタル所ノ禁煙法ヨリハ取締ガ易イト云フ點ニ於キマシテ賛成セラレタノデアリマス、大多數ヲ

○山脇玄君 私ハ委員長ニ伺ヒタク、唯今ノ御報告ニ依リマスト、此禁酒法案ヨリハ……禁煙法案ヨリハ取締ガ易イト云フコトデアリマスガ、或ハサウカモ知レマセヌ、私ノ委員長ニ伺ヒタイノハ、斯ウ云フ問題ハ御聽キニナラ

ナカツタカト云フコトヲ伺ヒタク、元來私ガ豫テ他ノ質問ニ付テ大體述ベタコトガアリマスガ、今日ノ我國ノ品行デスカ、風紀トカ何トカ申シマス、此品行紊亂ト云フモノハ、私共ノ見ル所デハ中老古老が多ク其種ヲ薄クト云フコトハ、私ハ固イ信仰ヲ有ツテ居ルノデアリマス、サウデアリマスカラ、未成年者ノ禁酒ヲ嚴重ニ取締ルト云フコトハ、ドウシテモ末デアッテ、ソレヨリハ中老古老ノ節酒ヲ主張シ、節酒ヲ取締リマスレバ、自然ト未成年者ノ飲酒ト云フモノモナクナルニ違ヒナイ、其證據ニハ御覽ナサイ、今日地位名望アリ殊ニ財產ノアル實業家ハ、私共ノ聞及ブ所デハ家庭團樂ト云フモノハ丸デナイ、ソレハ言葉ヲ換ヘテ申シマスルト、朝起キル、子供ハ學校へ行ク、亭主ハノコノコ九時頃ニ起キテ、顔ヲ洗ツテノコノコ飯ヲ喰ッテドッカヘ出ル、晝ハ子供ハ學校デ勉強シテ親父ハ外ニ於テ腹ヲ充ス、サウシマスルト云フト、到底夕飯ニ家族皆集ツテ、其日ノ出來事ヲ樂シク話合ッテ、サウシテ食事ヲスルト云フヤウナ、是ハマア亞米利加始メ段々進歩シタ世ノ中デハ、サウ云フ工合ニ夜食ト云フモノニ一家團樂ヲ求メテ即チ生活シテ居ルノデアリマス、然ニ我國デハ私共ノ寡聞カモ知レマセヌガ、殊ニ此財產アル實業家ナドハ一週間ニマア一度ト申シマスルカ、一度漸ク其ノ夜食ヲ家デスル、ソレナラバ是ハ其人ハ夜食ヲ食べナイカ、私ハ元來二食主義デアリマスカラ晝ハ食べマセヌ、矢張ニ食主義デ夜食ヲ食べヌカ知レヌガ、私ハ大ニ疑フ懷イテ或實業家ニ質シテ見マシタ、俺ハニ食主義デアル、晝一飯ヲ廢シテ居ルガ御前モ二食主義デ夜食ヲ廢シテ居ルノカト云フタラ、イイエサウデハアリマセヌ、實ハ其質問ハ當人ニ聞イタノデナク、其家ノ即チ主婦妻君ニ私ハ尋ねタノデアリマス、サウスルト其妻君曰ク、ナカナカソンナコトデハナイ、三食イタスノデアリマス、ソレナラバナゼ家ニ歸ツテ食事ヲシナイト云ッタラ、イヤソレハドウモ申上ゲルノハ甚ダ困ルノデスガ、實ヲ云ヒマスト、實ハ待合ト云フ所ヘ行ツテ夜食ヲ食べル、サウスルト云フト一週間ノ中デ六日ハ待合デ夜食ヲ食べル、タツタ一遍ダケ家デ夜食ヲ取ルト云フヤウナ狀況ニナッテ居リマス、諸君、サウ云フヤウナ家庭ガ何處ニアリマセウカ、世ノ中ガ文明ガ進ムニ從テ、家族團樂ト云フモノハ夜食ニアルト私ハ信ズル、サウシテ家族一同集テ愉快ニ其日ノ出來事ヲ話スト云フ所ニ、大ニ此子供ノ教育ニ資スル所ガアラウト思ハレル、ソレヲ一日、我ガ子ト親シク接スルコトガ出來ナイト云フヤウナ家庭ハ、家庭ト申サレマセヌ、私ハソンナ有様デハ家庭ト云フコ

トハ出來マイト思フ、マアサウ云フ地位名望ノアリ、或ハ財産ノアル人ガ我國ニ我儘ニ生活シテ居ツテ、サウシテ未成年者ノ飲酒ヲ禁ズルト云フヤウナコトハ如何デアリマセウカ、是モ即チ根本ヲ直サズシテ末ヲ即チ直スト云フ

○議長(公爵徳川家達君) 採決イタシマス、本案第二讀會ニ移シテ御異存ゴ
テ居ルヤウデアル、日本ガ急ニ老人マデ絕對ニ禁ズルコトハ是ハ出來ナイ、
是ハ漸進デナケレバナラナイノデ、斯ル結構ナル法律案ハ速ニ可決アラムコ
トヲ望ミマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決イタシマス、本案第一讀會ニ移シテ御異存ゴ
ザイマセヌカ

「異議ナシ」と呼フ者アリ】

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○男爵阪谷芳郎君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵櫛笥隆督君贊成

○侯爵蜂須賀正韶君
贊成

○伯爵柳澤保惠君 贊成

○議長（公爵徳川家達君）直ニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌ

力

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

THE HISTORY OF THE CHINESE IN AMERICA

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、全部ヲ問題ニ供シマス、

全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」と呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○男爵阪谷芳郎君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵櫛笥隆督君
贊成

○大山綱昌君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ御異存ニザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アツ

卷之三

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通ツデ御

異存ゴザイマセ又カ

「異議ナシ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシ

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第四十、第四十一ハ同一委員ニ付託セラ

レマシタカラ、一括シテ委員長ノ報告ヲ煩ハシマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス

身元保證ニ關スル法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十二日

貴族院議長公爵徳川家達殿

右特別委員長
伯爵寺島 誠一郎

（小字ハ特別委員ノ修正、——ハ同削除ノ符號ナリ）

○身元保證契約ハ其ノ日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ身元保證人ニ

於テ之ヲ解除スルコトヲ得

但シ身元保證ノ期間カ不确定ナルトキ又ハ五年ヲ超過スルモノナルトキハ身元保證契約成立ノ日ヨリ五年ヲ經過シタル後ニ非サレハ之ヲ解除スルコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ契約ノ解除ハ六箇月前ノ豫告ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二條 身元保證契約成立ノ日ヨリ五年ヲ經過シタルトキハ其ノ契約ハ當然解除セラレタルモノト看做ス但シ此ノ期間ハ商工業見習者ノ身元保證ニ付テハ之ヲ十年トス

第三條 身元保證契約ノ解除ハ將來ニ向テノミ其ノ效力ヲ生ス

第四條 前三條ノ規定ニ反スル特約ニシテ身元保證人ニ不利益ナルモノハ之ヲ爲ササリシモノト看做ス

附 則

本法ノ規定ハ本法施行前ニ成立シタル身元保證契約ニ亦之ヲ適用ス但シ第一條第一項及第二條ノ期間ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

民事訴訟法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正十一年三月二十二日

貴族院議長公爵徳川家達殿
〔松室致君演壇ニ登ル〕

○松室致君 身元保證ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過及ビ結果ニ付テ御報告ヲ致シマス、此法律案ハ至テ簡單ナ法律案デアリマスルケレドモ、此第一條ノ意味ガ餘リ廣過ギマシテ、學校生徒ノ保證、官吏ノ保證、官公吏ノ保證ト云フヤウナモノマデ含ンデ、餘リ廣過ギルト云フ所カラ致シマシテ、御手許ニ廻ツテ居リマスル案ノ如ク修正サレマシタ、是ハ全會一致デアリマシタ、ソレカラ民事訴訟法中改正法律案、之ニ付テ御報告ヲ致シマス、是ハ原案通り可決イタシマシタ、此段御報告イタシマス

〔阪本鉄之助君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長（公爵徳川家達君）阪本君ハドウ云フコトデアリマスカ

○阪本鉄之助君 委員長ニ御尋致シタイノデアリマス

○議長（公爵徳川家達君）宜シウゴザイマス

○阪本鉄之助君 ドウゾ……宜シウゴザイマス、御席へ御歸リヲ願ヒマス、

御席デドウゾ……此ノ身元保證ノ方ノ案デアリマスガ、御修正ニナリマシテ此「雇傭契約其ノ他ニ因リ他人ノ事務ヲ處理スル者ノ爲ニ」云々トアリマス、斯ウナリマスト他人ノ事務ヲ處理スル者ノ以外ニ、婢僕ノ類其他種々アリマスガ、此法案ノ支配ヲ受ケヌコトニナリマスガ、受ケヌコトニナリマス

ト、却テ此ノ身元保證ト云フモノノ範圍ガ極ク狹クナリマスガ、其邊ハドウ云フ御評議振リデアッタノデアリマスカ

○松室致君 御答致シマス、此明文ニ含マナイモノハ勿論此中ニ入ッテ居マセヌ、即チ他人ノ爲ニ事務ヲ處理スルト云フ中ニ含マレヌモノハ、全ク此中ニ含マレヌ、斯ウ云フ御答ヲスルヨリ外仕方ガアリマセヌ

○阪本鉄之助君 ソレハ能ク分ッテ居リマス、サウスルト其結果ハ、若シ事務ヲ取扱フ者以外ノ者ガ雇ツテアリマシテ、ソレガ身元保證契約ガシテアリマスト、二年經ツテモ三年經ツテモ契約ヲ解除スルコトガ出來ナイ、却テ事務ヲ取扱フ方ノ者ハ二年デ盡キルノニ、他ノ雇人ハ二年經ツテモ五年經ツテモ契約ヲ解除スルコトガ出來ナクテ、其契約ヲシタ人ハ非常ニ迷惑ヲスルト云フ結果ニナリハセヌカト思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○松室致君 實例ヲ承リタイ

○阪本鉄之助君 是マデ身元保證ト云フモノニハ別ニ規定ガアリマセヌカ

大正十一年三月二十三日

右特別委員長

男爵山川健次郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔服部一三君演壇ニ登ル〕

○服部一三君 委員長ガ病氣缺席デアリマス故ニ、本員ガ代ツテ報告ヲ致シマス、御承知ノ通リ治安警察法第五條第二項ニ於キマシテ、「女子及未成年者ハ公衆ヲ會同スル政治集會ニ會同シ若クハ其發起人タルコトヲ得ス」トアリマシテ、今日マデ女子ハ政談演説會等ニ參ルコトモ出來マセズ、又其發起人トナルコトモ出來ヌノデアリマス、此案デハ「女子及」ト云フ字ヲ削ッテ、今後ハ演説會等ニ列スルコトヲ自由ニスルト云フ案デアリマス、ソレデ委員會ニ於

キマシテハ、二三質問應答ヲ重ネマシタ末、全會一致ヲ以テ今日ハ女子ノ教育モ餘程進ンデ參リマシタ、又社會ノ狀態モ此原案ヲ許シテ宜シト云フ考デアリマシテ、全會一致ヲ以テ原案ニ決シマシタ、又政府ノ意嚮ヲ尋ねマシタ所ガ、政府ニ於テモ原案ニ賛成スルト云フコトデゴザイマシタ、右報告ニ及ビマス

○議長(公爵徳川家達君) 通告ニ依リマシテ發言ヲ許シマス、高橋琢也君

○高橋琢也君 私ハ通告ヲ致シテ置キマシタガ、時間ガ如何ニモ迫ツテ居リマスシ、通告ヲ致シタトキハ、少ナクモ一時間半位費ス積リデアリマシタガ、併シ今委員長ノ報告ヲ承リマスト、全會一致ヲ以テ可決シタト云フコトデゴザイマス、又議場ノ空氣ヲ見マシテモ、是ハ十分通過スルモノト認メマス、私ハ全然賛成ヲ致スモノデゴザイマス、演説ハ却テ差控ヘマシタ方ガ宜カラウカト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵鶴筈隆督君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵鶴筈隆督君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○大山綱昌君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、第二讀會ノ決議通りデ、御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○公爵二條厚基君 此際日程ヲ變更イタシマシテ、引續イテ日程第四十三以下ニ掲グル請願全部ヲ一括シテ議セラレムコトヲ希望イタシマス

○子爵前田利定君 賛成イタシマス

○高橋琢也君 賛成

「和田彦次郎君發言ノ許可ヲ求ム」

○議長(公爵徳川家達君) 少シ御待チ下サイ、只今マダ議事日程變更ノ動議ノ決ヲ採ツテ居リマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 二條公爵ノ日程第四十三ヨリ第百三十八マデノ請願ヲ、一括シテ議スルト云フ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○意見書案

國立大公園設置ノ件
静岡縣山林會長道岡秀彦呈出

右ノ請願ハ靜岡縣ハ北ニ世界的名山ナル富嶽ヲ仰キ其ノ山麓一帶ノ地域ハ

風光明媚ニシテ實ニ天然ノ樂園ヲ形成シ内外人ノ等シク懽仰シテ參集スル

モノ夥多ナルニ拘ハラス何等特別ノ施設ナキハ遺憾ナルヲ以テ國費ニ依リ

此ノ附近ノ地ヲ包擁セル一大公園ヲ設備セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院

ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別

冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

大淀外ノ浦港間鐵道敷設ノ件

宮崎縣南那珂郡飫肥町長高山眞平外二十八名呈出

右ノ請願ハ宮崎縣宮崎郡大淀驛ヨリ南那珂郡飫肥町ヲ經テ同郡外ノ浦港ニ

至ル一帶ノ地方ハ氣候溫暖ニシテ景勝ノ地多ク豊富ナル海陸ノ資源ヲ包藏

スルノミナラス外ノ浦港ハ香港及南洋ニ通スル航路ニ最近接スル天與ノ良

港ナルヲ以テ速ニ大淀外ノ浦港間ニ鐵道ヲ敷設シ同地方ニ於ケル產業ノ開

發ニ資セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモ

ノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

岐阜縣揖斐郡池田村ニ登記所設置ノ件

岐阜縣揖斐郡本鄉村池田村組合管理者安藤榮太外二名呈出

右ノ請願ハ岐阜縣揖斐郡本鄉、池田、八幡及宮地ノ四村ハ郡内ノ主要部分

ニシテ戸口多ク爲ニ登記事件繁多ナルニ拘ラス他郡内ナル大垣區裁判所神

戸出張所ノ管轄ニ屬スルハ附近住民ノ不便渺少ナラサルヲ以テ前記各村ノ

中樞地タル池田村ニ登記所ヲ設置セラレタク廳舍ハ指命ニ隨ヒ建築シテ貸

與スヘシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候

大正十一年 月 日

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

貴族院議長 公爵徳川家達

因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
大正十一年 月 日
貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

貴族院議長 公爵徳川家達

意見書案
濱松辰野間鐵道敷設ノ件

長野縣下伊那郡飯田町長小西吉太郎外三十五名呈出

右ノ請願ハ濱松辰野間鐵道ハ東海道線濱松驛ヲ起點トシ天龍川沿岸ヲ遡リ
長野縣下伊那郡飯田町ヲ經テ中央線辰野驛ニ至ルモノニシテ之カ敷設開通
ノ曉ニハ日本ノ南北兩海岸ヲ一直線ニ連絡シ交通ノ便ヲ極ムルノミナラズ
沿線地方ハ米作蠶桑菜ニ適シ又林產物鑛產物ニ富メルヲ以テ此等ノ產業一
大發展ヲ實現スヘキハ蓋疑ヲ容レサルトコロナリ故ニ政府ニ於テ速ニ同鐵
道ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノ
ト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案
弘前田代間輕便鐵道敷設ノ件

青森縣弘前商業會議所會頭佐藤才八呈出

右ノ請願ハ奥羽本線弘前驛ヨリ青森縣中津輕郡西目屋村大字田代ニ至ル輕
便鐵道ハ西目屋、相馬兩村ニ於ケル豐富ナル鑛產及林產ノ開發上頗ル緊要
ナルノミナラズ附近目屋溪、岩木山神社、嶽ノ温泉等ノ勝地ニ往復スルニ利
便ヲ與フルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院
ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別
冊及送付候也

大正十一年 月 日

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

貴族院議長 公爵徳川家達

意見書案

軍人恩給法中改正ノ件

沖繩縣那霸市高橋町陸軍步兵中尉大見謝恆亨外四十二名呈出

京都市上京區下鴨膳部町平民小野寺實外百三十一名呈出

福岡縣久留米市莊島町陸軍工兵中佐松本三省外百三名呈出

福井縣福井市老松下町士族陸軍步兵少佐小幡環外三十九名呈出

東京府豊多摩郡瀧谷町平民陸軍中將阿部貞次郎外百二十五名呈出

岐阜縣岐阜市本町士族陸軍步兵大佐宮本雅之助外六百五十名呈出（五通）

三重縣安濃郡長野村平民若林作太郎外九名呈出

栃木縣宇都宮市材木町豫備役一等軍醫吉田三平外三十六名呈出

茨城縣水戸市大字上市田見小路士族無職業富岡三造外二十八名呈出

三重縣多氣郡五ヶ谷村平民農高山傳七外十一名呈出

嚴手縣盛岡市仁王小路士族又重完吾外五十一名呈出

島根縣能義郡山佐村平民岩田房市外五十七名呈出（五通）

東京府荏原郡目黒村平民小山文吉外三十六名呈出

東京府荏原郡目黒村士族秀島熊六外三十九名呈出

右ノ請願ハ大戰後諸物價暴騰ノ爲軍人恩給享受者ハ逐日窮境ニ陥リ就中廢兵及遺族ノ困難ハ殊ニ甚シスクテハ軍事思想ノ消長ニ關スルコト甚大ナルヲ以テ大正九年軍人恩給法ニ改正ヲ加ヘラレタルモ其ノ額尙現今ノ經濟状態ニ適應セサルモノアルヲ以テ同法ヲ根本的ニ改正シテ相當ノ増額ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付

テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

貴族院議長 公爵德川家達

意見書案

札幌沼田間鐵道敷設ノ件

北海道札幌區北二條平民族館業大竹敬助外三百二十三名呈出

右ノ請願ハ北海道沼田驛ヨリ雨龍郡北龍、雨龍、樺戸郡新十津川、浦臼、月形、石狩郡當別、札幌郡札幌ノ諸村ヲ經テ札幌驛ニ達スル鐵道ヲ敷設スルハ石狩川沿岸一帶ニアル無限ノ森林ト豊富ナル農產、礦產ヲ開發スルノミナラス既設鐵道ト相俟テ運輸交通ヲ便ナラシメ且拓殖上軍事上ニモ利スルコト多キヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付

候也

大正十一年 月 日

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

貴族院議長 公爵德川家達

意見書案
軍人恩給法中改正ノ件

東京府荏原郡目黒村平民菅原儀藏外四十七名呈出

福島縣若松市南町平民金子德三郎外六十三名呈出（二通）

右ノ請願ハ名譽ノ犠牲者タル軍人及軍人遺族ヲシテ生活難ニ泣カシムルハ國民一般ノ軍人思想ノ消長ニ關スルコト甚大ナルニ拘ラス軍人恩給法第九條ニ依ル增加恩給ヲ受クル者又ハ其ノ遺族ノ受クル扶助料ハ甚少額ニシテ到底物價暴騰ノ今日一人ノ糊口ヲモ支ヘ難キノ狀態ナルヲ以テ軍人恩給法ヲ改正シ相當ノ増額ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付

大正十一年 月 日

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

貴族院議長 公爵德川家達

意見書案

東京市牛込區喜久井町士族鈴木正廣外九十七名呈出（三通）

右ノ請願ハ軍人恩給法制定以來數次ノ改正アリシト雖皆一時的應急策ニシテ其ノ給與額ハ未現時ノ諸物價ニ適應セサルハ甚遺憾ナルヲ以テ速ニ同恩給法ヲ根本的ニ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

盲啞教育令發布ノ件

東京市神田區南甲賀町士族鍼術業千葉勝太郎外四百三十五名呈出

右ノ請願ハ盲啞者ノ教育機關トシテハ現今各都市ニ設立セラレタル學校及講習所等アルモ盲啞教育令ノ發布ナキ爲各機關ノ組織方針一定セス其ノ闕點渺カラサルヲ以テ速ニ盲啞教育令ヲ發布シ是等盲啞者ニ對スル普通教育並職業教育ノ普及ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿
内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

五所川原青森間鐵道敷設ノ件

青森縣北津輕郡小泊村長秋元金四郎外十一名呈出

右ノ請願ハ青森縣北津輕郡五所川原町ヨリ同郡小泊港東津輕郡三厩港ヲ經テ青森市ニ至ル鐵道ヲ敷設スルハ國防上並産業開發上必要ナルノミナラス近ク竣功スヘキ小泊漁港修築ト相俟テ地方交通ニ利スルコト渺少ナラサルヲ以テ速ニ之ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

松前鐵道敷設ノ件

北海道松前郡福山町士族公吏金田彌太郎外二百八十九名呈出

右ノ請願ハ北海道ノ南端ヲ遠ル松前鐵道ヲ敷設スルハ本州ト北海道トノ交通ヲ便ナラシムルノミナラス國防上並經濟上貢獻スルコト多キニ拘ハラス僅ニ其ノ一部タル函館上磯間ニ輕便鐵道ノ敷設ヲ見タルノミナルハ甚遺憾ナルヲ以テ速ニ其ノ工事ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

德佐大井間鐵道敷設ノ件

山口縣阿武郡萩町長代理助役石津吉之助外二十五名呈出

右ノ請願ハ山口線德佐驛ヨリ未成線タル萩益田間鐵道中大井ニ達スル鐵道ハ山口縣奥阿武地方ニ於ケル交通ノ不便ヲ除キ米產、林產及鑄產等ノ產業ヲ促進シ且陰陽兩道ヲ連絡スル捷路トナルヘキモノナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

益田萩間鐵道一部速成ノ件

島根縣美濃郡小野村長田村寛一外四名呈出

右ノ請願ハ島根縣美濃郡益田町ヨリ山口縣阿武郡田萬崎村ニ至ル鐵道ヲ成スルハ山陰鐵道幹線ノ一部ヲ開通セシムルモノナルノミナラス田萬崎村

ノ沿岸ハ有名ナル北海ノ良港江崎港ヲ有シ海陸交通ノ連絡ニ利便ヲ與フル
モノナレハ速ニ同工事ニ著手セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大
體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候
也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

益田萩間鐵道速成ノ件

山口縣阿武郡萩町長代理助役石津吉之助外二十二名呈出

右ノ請願ハ山陰鐵道幹線ノ一部ヲナセル益田、萩間鐵道ノ敷設セラレサル

ハ地方住民ノ甚困惑スルトコロナルヲ以テ大正十一年度ニ於テ之レカ實行
ニ著手セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト
議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月

貴族院議長 公爵徳川家達

意見書案

萩小郡間鐵道敷設ノ件

山口縣阿武郡萩町長代理助役石津吉之助外二十五名呈出

右ノ請願ハ山陽鐵道小郡驛ヨリ山陰鐵道未成線中萩町ニ通スル地方ハ人口
稠密土地膏腴ニシテ農耕產物ニ富ムヲ以テ兩地間ニ鐵道ヲ敷設シ同地方ノ

開發ニ資セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキ
モノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月

貴族院議長 公爵徳川家達

意見書案

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

貴族院議事速記録第三十二號

大正十一年三月二十五日

請願會議

萩正明市間鐵道速成ノ件

山口縣阿武郡萩町長代理助役石津吉之助外二十五名呈出

右ノ請願ハ山口縣下萩町ヨリ同縣下正明市ニ至ル鐵道ヲ敷設スルハ沿岸一
帶ノ豐富ナル利源ヲ開發スルノミナラス其ノ工事モ比較的容易ナルヲ以テ
大正十一年度ヨリ之カ起工ニ著手セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意
ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送
付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

土浦飯能間並境古河間鐵道敷設ノ件

茨城縣猿島郡境町長代理助役戸張清三郎外二十四名呈出

右ノ請願ハ茨城縣下土浦ヨリ境町ヲ經テ埼玉縣下飯能ニ至ル鐵道並境古河
間鐵道ヲ敷設スルハ沿線地方ニ於ケル貨客ノ運輸ヲ便ナラシメ諸種ノ產業
ヲ發達セシムル所以ナルヲ以テ速ニ之ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴
族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

川内宇佐間鐵道敷設ノ件

高知縣高岡郡高岡町長井上清水外九名呈出

右ノ請願ハ高知縣高岡郡川内村ヨリ宇佐村ニ至ル地方ハ同郡平野ノ要部ヲ
占メ水陸ノ物産ニ富ムノミナラス絲、和紙等ノ製造盛大ナリ殊ニ有名ナル
社寺名所等アリテ旅客ノ來往頻繁ナルニ拘ラス將ニ敷設セラレントスル土
佐鐵道ノ恩澤ニ浴スルヲ得サルハ遺憾ナルヲ以テ速ニ川内村ヨリ宇佐港ニ
達スル同鐵道支線ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ

採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

富山縣水見郡速川村ニ登記所設置ノ件

富山縣水見郡速川村長堀田彌十郎呈出

右ノ請願ハ富山縣水見郡久目、速川、熊無、上庄、佛生寺及布勢ノ各村ハ地域廣大ニシテ戸口多ク登記事件夥多ナルニ拘ラス現在管轄ノ登記所ノミニテハ住民ノ不便甚シキヲ以テ地理上最適當ノ位置ナル速川村字久米ニ登記所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

三戸毛馬内間鐵道敷設ノ件

青森縣三戸郡三戸町酒造業松尾藤平外五百四十九名呈出

右ノ請願ハ東北本線三戸驛ヨリ青森縣下斗川、田子、上郷ノ三村及秋田縣下不老鑛山、大湯村ヲ經テ毛馬内町ニ於テ私設秋田鐵道ニ連絡スル鐵道ハ沿線地方ニ於ケル豊富ナル農産鑛產等ヲ開發スルノミナラズ風光明媚ナルトトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

根室斜里間鐵道敷設ノ件

北海道根室郡根室町平民酒造業兼古萬吉外百三十七名呈出

右ノ請願ハ北海道根室郡根室町ヨリ標津郡ヲ經テ斜里郡斜里村ニ至ル鐵道ハ沿道ニアル廣大ナル根室原野ニ交通ノ利便ヲ與ヘ移民拓殖ヲ獎勵スル等國富ヲ増進スル著シキモノアルヲ以テ速ニ同鐵道ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

熱海下田間鐵道敷設ノ件

静岡縣田方郡伊東町長鈴木藤左衛門外十二名呈出

右ノ請願ハ静岡縣田方郡熱海町ヨリ同郡伊東町ヲ經テ賀茂郡下田町ニ至ル鐵道ハ附近海陸ノ利源ヲ開發スルノミナラス沿道無數ノ温泉等ニ來往スル旅客ノ交通ニ利便ヲ與フルコト大ナルヘキヲ以テ熱海伊東間ヲ第一期ニ伊東下田間ヲ第二期トシ之カ敷設工事ニ着手セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

上磯江差間鐵道敷設ノ件

北海道檜山郡江差町質商西谷嘉右衛門外三十名呈出

右ノ請願ハ北海道上磯郡上磯町ヨリ木古内村ヲ經テ檜山郡江差町ニ至ル鐵道ノ敷設ハ渡島半島ニ包藏スル豊富ナル利源ヲ開發スルノミナラス江差漁港修築ノ完成ト相俟テ同道ノ拓殖上最必要ナルヲ以テ速ニ之ヲ實施セラレ

意見書案

タシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ
議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

松阪櫻井間鐵道敷設ノ件
三重縣飯南郡松阪町士族公吏林虎次郎外六名呈出

北海道紋別郡上湧別村平民商佐々木知治外二百三十九名呈出
北海道網走郡網走町平民商遠藤熊吉外百九十一名呈出
右ノ請願ハ湧別線中湧別驛ヨリ紋別、常呂及網走ノ三郡ヲ經テ網走港ニ至
ル鐵道ハ沿線地方ニ於ケル農產、林產、礦產及水產ノ豐富ナル利源ヲ開發
スルノミナラス佐呂潤湖畔ノ明媚ナル風光ヲ探ル旅客ニ便利ヲ與フルモノ
ナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ
採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案
上磯鐵道敷設ノ件

青森縣東津輕郡油川町長西田林八郎外九名呈出

右ノ請願ハ青森縣東津輕郡上磯地方ノ海岸一帶ハ豊富ナル海陸ノ資源ヲ包
藏スルモ今日産業ノ遲遲トシテ振ハサルハ交通ノ不便ニ基因ス故ニ鐵道ノ
開通ヲ見ムカ啻ニ一地方ノ利便ナルノミナラス地形上本州ト北海道等トノ
交通ヲ容易ナラシムルニ至ルヘキヲ以テ青森ヨリ三廻港ヲ經テ小泊ニ至リ
陸奥鐵道ニ連絡セムトスル鐵道ヲ急設セラレタク且應急策トシテ上磯森林
鐵道ヲ農商務省ヨリ鐵道省ニ移管シ線路車體ニ改良變更ヲ加ヘ一般公衆ニ
開放セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議
決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

田名部大間鐵道敷設ノ件
意見書案

青森縣下北郡田名部町商河野榮藏外百十八名呈出

右ノ請願ハ未成線大湊鐵道田名部驛ヨリ青森縣下北郡大畠村ヲ經テ同郡大
間港ニ至ル鐵道ハ沿岸地方ノ林產、礦產ノ利源ヲ開發シ殊ニ水產業振興ニ
資スル大ナルノミナラス大間港ハ北海道トノ最近地點ナルニ依リ海陸交通
ノ連絡上且國防上ニモ必要ト認ムルヲ以テ速ニ同鐵道ヲ敷設セラレタシト
ノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法
第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

漁港修築費國庫補助法制定ノ件

岡山縣岡山市野田尻町平民水產業高草美代藏外四名呈出

右ノ請願ハ我國ハ沿岸線七千四百餘哩ヲ有シ漁業ノ發達ヲ期セムトセハ尙多クノ漁港漁船曳揚場等ヲ修築セサルヘカラサルハ明ナルヲ以テ之ヲ獎勵セムカ爲漁港修築費國庫補助法ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿
内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

自働航送船増加ニ關スル件

岡山縣岡山市野田尻町平民水產業高草美代藏外四名呈出

右ノ請願ハ近時貨客ノ激増ニ伴ヒ津輕海峽ノ連絡一層ノ敏活ヲ要スルニ拘ラス其ノ設備ノ十分ナラサルハ遺憾ナルヲ以テ速ニ自働航送船二隻以上ヲ増加セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿
内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

北海道枝幸郡頓別村士族公吏北條瀧三郎外六十一名呈出

右ノ請願ハ北海道枝幸郡頓別村字濱頓別ヨリ同郡枝幸村ヲ經テ紋別郡興部村ニ至ル鐵道ハ同國ニ於ケル豊富ナル農產、林產、礦產等ノ利源ヲ開發スルノミナラス目下工事中ナル稚内築港ノ價值ヲ増大セシムルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿
内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

軍人恩給法中改正ノ件

石川縣金澤市野田寺町平民橋本小一郎外四十四名提出

右ノ請願ハ大戰後諸物價暴騰ノ爲軍人恩給享受者ハ逐日窮境ニ陥リ就中癪兵及遺族ノ困難ハ殊ニ甚シスクテハ軍事思想ノ消長ニ關スルコト甚大ナルヲ以テ大正九年軍人恩給法ニ改正ヲ加ヘラレタルモ其ノ額尙現今ノ經濟狀態ニ適應セサルモノアルヲ以テ同法ヲ根本的ニ改正シ免除恩給、增加恩給並遣族扶助料ノ增額ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿
内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

三原吳間鐵道敷設ノ件

廣島縣賀茂郡竹原町長松阪昭二外十六名呈出

右ノ請願ハ山陽線鐵道三原驛ヨリ田野浦、忠海、竹原、三津、内海、仁方及阿賀等ノ町村ヲ經テ吳驛ニ達スル海岸線鐵道ハ該地方ニ於ケル豊富ナル海陸物資ノ集散並交通上便利ナルト共ニ吳鎮守府ト山陽本線鐵道トノ連絡上最必要ナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿
内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

四日市木之本間鐵道敷設ノ件

三重縣四日市市長稻見貞藏呈出

候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

右ノ請願ハ三重縣下四日市驛ヨリ滋賀縣下木之本驛ニ至ル鐵道ハ四日市、敦賀兩港ヲ連絡シテ對外貿易ノ發展ヲ促進スルノミナラス近ク兩港修築ノ

完成ト相俟テ產業ヲ開發スル所以ナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ

旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第

六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

四日市木之本間鐵道敷設ノ件

三重縣三重郡朝上村長櫻井邦太郎呈出

右ノ請願ハ三重縣下四日市驛ヨリ滋賀縣下木之本驛ニ至ル鐵道ハ四日市、敦賀兩港ヲ連絡シテ海外貿易ノ發展ヲ促進スルノミナラス沿線地方ニ於ケ

ル豊富ナル利源ヲ開發スル所以ナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六

十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

掛川大井間鐵道敷設ノ件

靜岡縣小笠郡掛川町長久保田銀次郎外七十名呈出

右ノ請願ハ東海道線掛川驛ヨリ岐阜縣下大井町ニ達スル鐵道ハ沿線地方ノ

產業ヲ發展セシムルノミナラス國防上貢獻スルコト至大ニシテ既ニ第四十

四回帝國議會ニ於テ貴族院ニ採擇セラレタルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

角館鷹巢間鐵道敷設ノ件

秋田縣北秋田郡鷹巢町長河田與惣左衛門外十五名呈出

右ノ請願ハ秋田縣仙北郡角館町ヨリ北秋田郡阿仁合町ヲ經テ鷹巢町ニ達ス

ル鐵道ヲ敷設スルハ沿線地方ニ於ケル豊富ナル林產、鑛產及農產ノ利源ヲ開發スルノミナラス交通運輸上並國防上ニモ貢獻スル所大ナルヘキヲ以テ速ニ之ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

相生釧路間鐵道敷設ノ件

北海道釧路區浦見町平民會社員佐藤國司外千二十九名呈出

右ノ請願ハ北見國相生ヨリ釧路國釧路港ニ至ル地方ハ網走、阿寒兩川ノ流

域ニシテ面積廣大地味肥沃、林產、鑛產ニ富ミ風光明媚ニシテ移民遊客ノ來往多キヲ以テ兩地ヲ連絡スル鐵道ヲ敷設スルハ是等ノ富源ヲ開發スル所大ナルヘキヲ以テ速ニ之ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

貴族院議事速記録第三十二號 大正十一年三月二十五日 請願會議

意見書案

區裁判所管轄變更ノ件

廣島縣賀茂郡川尻町長河崎正水外十名呈出

右ノ請願ハ廣島縣賀茂郡川尻町ハ元吳區裁判所ノ管轄ナリシカ竹原區裁判所設置ト共ニ其ノ管轄ニ移サレタルモ川尻竹原兩町間ハ距離非常ニ遠ク且

交通不便ニシテ人民ノ困難一方ナラサルヲ以テ速ニ吳區裁判所ノ管轄ニ復舊セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト

議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

四日市木之本間鐵道敷設ノ件

三重縣三重郡竹永村長太田貞外三名呈出(四通)

右ノ請願ハ三重縣四日市驛ヨリ滋賀縣伊香郡木之本驛ニ達スル鐵道ハ四日市、敦賀兩港ノ連絡ヲ便ニシテ對外貿易ノ發展ヲ促進スルノミナラス本邦中部地方ノ富源ヲ開發シ且軍事上最必要ナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿
意見書案

貴生川加茂間輕便鐵道敷設ノ件

右ノ請願ハ滋賀縣甲賀郡長野町長奥田二郎外十二名呈出

右ノ請願ハ滋賀縣甲賀郡貴生川村ヨリ北柚、南柚、雲井、長野、小原、朝宮ノ各町村及京都府相樂郡湯船、東和束、中和束、西和束、瓶原ノ各町村

ヲ經テ關西線加茂驛ニ至ル地方ハ陶器、茶、薪炭、木材及石材等ノ產出多キノミナラス附近ニハ紫香樂宮等ノ名所舊蹟アリテ貨客ノ集散頻繁ナルニ

モ拘ラス交通不便ニシテ地方民ノ不利甚シキヲ以テ草津線貴生川驛ヨリ前記各町村ヲ經テ關西線加茂驛ニ至ル輕便鐵道ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニ

シテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

旭川遠輕間鐵道速成ニ關スル件

北海道紋別郡遠輕村平民農信太壽之外百五十三名呈出

右ノ請願ハ北海道紋別郡遠輕村ヲ中心トスル地方ハ廣大ナル沃野ニシテ之ニ包藏スル豐富ナル利源ハ交通機關ノ完備ニ伴ヒ開發セラルヘキハ疑ヲ容レナル所ナルヲ以テ未成線旭川遠輕間鐵道敷設工事ヲ旭川ヨリ着手スルト共ニ遠輕ヨリモ起工シ一日モ早ク之カ開通ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿
意見書案

斜里ヨリ根室線ニ通スル鐵道敷設ノ件

北海道斜里郡斜里村士族農有坂克己外百三名呈出

右ノ請願ハ北海道斜里郡斜里村ヨリ標津、根室ノ兩郡ヲ貫キ根室線ニ達スル鐵道ハ肥沃ナル大原野ニ交通ノ利便ヲ興ヘ豐富ナル利源ヲ開發シテ同道拓殖ニ資スルヨト大ナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

長野縣下上高地ニ國立公園設置ノ件

長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出

右ノ請願ハ長野縣南安曇郡上高地ハ海拔五千尺ノ高原ニシテ山水ノ雄壯ナル實ニ日本アルバス登山道路ノ要地ニ當リ天然ノ靈趣自ラ備ハレルヲ以テ之ニ人工的設備ヲ加ヘ同地ニ國立公園ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年

月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

盲人教育令發布ノ件

東京市本鄉區元町平民鍼接業千野良泉外九百六十九名呈出

右ノ請願ハ盲人教育機關トシテ全國ニ數十ノ盲人學校アリト雖未盲人教育令ノ發布ナキヲ以テ教育ノ方針一定セス其ノ發達ヲ阻礙スルコト大ナルニ依リ速ニ盲人教育令ヲ發布シ之ヲ統一シテ其ノ普及發達ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年

月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

延岡三田井間鐵道敷設ノ件

宮崎縣西臼杵郡岩井川村平民農川中米吉外五名呈出

右ノ請願ハ宮崎縣東臼杵郡延岡町ヨリ西臼杵郡三田井町ニ達スル鐵道ハ沿線地方ノ豐富ナル林產、鑛產及畜產ヲ開發シ將ニ成ラムトスル日豐線鐵道ノ營養線トナルノミナラス高千穗ノ靈地ニ至ル者ニ利便ヲ與フルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

幼稚園令制定ノ件

東京市四谷區傳馬町幼稚園長山下ツヤ外四名呈出

神奈川縣橫濱市足曳町吉田幼稚園主持田直次郎外十一名呈出

東京府豊多摩郡戸塚町幼稚園長千葉ひで外六名呈出

右ノ請願ハ幼兒教育機關トシテ各地ニ幼稚園ノ設備アルモ其ノ發達ハ他ノ教育諸機關ニ比シ遲延タルノ狀態ナルハ甚遺憾トスル所ナルヲ以テ幼稚園令ヲ制定シテ其ノ普及改善ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

青森縣中津輕郡長田浦脛呈出

右ノ請願ハ奥羽本線弘前驛ヨリ青森縣中津輕郡西目屋村大字田代ニ至ル鐵道ハ沿線地方ニ於ケル豐富ナル鑛產及林產ノ開發上頗緊要ナルノミナラス附近目屋溪、岩木山神社、嶽ノ温泉等ノ勝地ニ往復スルニ利便ヲ與フルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

宮崎三田井間鐵道敷設ノ件

宮崎縣西臼杵郡岩井川村平民農川中米吉外五名呈出

右ノ請願ハ宮崎縣東臼杵郡延岡町ヨリ西臼杵郡三田井町ニ達スル鐵道ハ沿線地方ノ豐富ナル林產、鑛產及畜產ヲ開發シ將ニ成ラムトスル日豐線鐵道ノ營養線トナルノミナラス高千穗ノ靈地ニ至ル者ニ利便ヲ與フルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

高田川井間鐵道敷設ノ件

右ノ請願ハ巖手縣氣仙郡高田町ヨリ上閉伊郡遠野町ヲ經テ下閉伊郡川井村ニ至ル鐵道ハ沿線地方ニ於ケル豊富ナル林產、礦產等ヲ開發スルノミナラ

ス軍事上重要ナル線路ナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

東海道線鐵道線路一部變更ノ件

静岡縣小笠郡掛川町長久保田銀次郎外二十六名呈出

右ノ請願ハ東海道線鐵道堀ノ内、金谷兩驛間ハ線路ノ屈曲多ク且勾配ノ急ナルヲ以テ故障頻發シ危険甚シキニ依リ金谷驛ニ近キ牧ノ原隧道ノ西口ヨリ靜岡縣小笠郡河城、日坂及東山口ノ各村ヲ經テ西山口村大字満水ニ於テ現在線ニ接續スル線路ヲ敷設シ此闕點ヲ除カレタシトノ趣旨ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

野岩羽鐵道延長敷設ノ件

右ノ請願ハ栃木縣下都賀郡栃木町士族辯護士榎原經武外百五十六名呈出

右ノ請願ハ近時詐稱廢兵ノ橫行甚シク爲ニ眞ノ廢兵ノ名譽ヲ毀損シツツアルハ請願人等ノ忍ヒサル所ナルヲ以テ言語動作ニ依リ若ハ傷病軍人徽章類似ノモノヲ佩用シテ廢兵ト稱シ行商スル者及廢兵ト誤認スル恐アル文字等

郡古河町ニ至ル鐵道ハ沿線地方ニ於ケル豊饒ナル農產、林產ノ富源ヲ開發シ數多ノ日光觀勝ノ旅客ニ利便ヲ與フルノミナラス他日野岩羽鐵道ノ開通ト相俟テ交通上重要ナルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

傷病軍人無賃乗車ニ關スル件

巖手縣盛岡市平山小路士族柴内魁三外七名呈出

東京市麻布區谷町平民中村中郎外五十九名呈出

福島縣若松市南町平民金子德三郎外二十七名呈出(一通)

右ノ請願ハ戰鬪若ハ公務ノ爲不具廢疾トナリタル軍人ニ對シ大正三年陸海軍省告示ニ依リ國有鐵道無賃乘車ノ特典ナキニ非ラスト雖種種ナル制限アリテ治ク之ニ沿スルコトヲ得サルハ國家ニ功勞アル軍人ヲ優遇スル所以ニ非ラナルヲ以テ軍人恩給法第九條ニ該當スル將校下士卒全部ニ對シ同條第一項第二項症者ハ附添人共同條第三項乃至第六項症者ハ當人ノミ無賃乗車ヲ許可セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

詐稱廢兵取締ニ關スル件

大阪市東區寺山町大阪廢兵協會長後藤幾太郎外百名呈出

ヲ商號中ニ使用スル者ニ對シ適當ノ取締法ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

東北地方ニ於ケル鐵道敷設ニ關スル件

巖手縣氣仙郡盛町長須藤覺三郎外二十五名呈出

右ノ請願ハ宮城、巖手、青森及秋田ノ諸縣ニ亘ル東北地方ハ多大ノ富源ヲ抱擁スルニ拘ラス從來交通ノ便完カラス海陸ノ連絡ニ不便ナルハ實ニ遺憾トル所ナリ然ルニ政府ヨリ第四十四回帝國議會ニ提出セル鐵道敷設法案ハ同地方ニ於ケル交通機關完成ノ目的ヲ達セシムルモノナレハ速ニ該法案ヲ確定シ且未成線鐵道ノ速成ヲ圖リ以テ地方ノ開發ニ資セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

鳥取縣鳥取市西町墨刺職井口千代藏呈出

右ノ請願ハ御肖像並勅語掲載ノ印刷物取締ニ關スル件
スノ因トナルヲ以テ之ヲ紙面ノ上段又ハ附錄ニ奉掲セシメ若ハ之ヲ切抜キ奉祀セシムル等適當ナル取締方法ヲ設ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

意見書案

傷病軍人無賃乗車ニ關スル件

右ノ請願ハ廢兵ニ對シ大正三年陸軍省告示ニ依リ國有鐵道無賃乗車ノ特典ナキニ非スト雖種種ナル制限アリテ治ク之ニ沿スルコトヲ得サルハ國家ニ功勞アル軍人ヲ優遇スル所以ニ非ラサルヲ以テ軍人恩給法第九條ニ該當スル將校下士卒全部ニ對シ國有鐵道及汽船ノ無賃搭乗ヲ許可セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

在外國賣淫婦取締法制定ニ關スル件

東京市赤坂區靈南坂町牧師小崎弘道外四百五十名呈出

右ノ請願ハ海外ニ密航スル賣淫婦ノ取締宜シキヲ得サル爲奸黠ノ輩無智ノ婦人ヲ誘拐シ之ヲシテ世界ノ各地ニ於テ奴隸ニ劣ラサルノ境遇ニ沈淪セシム斯ノ如キハ我國ノ一大汚辱ナルヲ以テ之カ取締ヲ嚴重周到ナラシムルヤウ適當ナル法律ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

意見書案

點字書ノ版權ニ關スル件

東京市神田區南甲賀町士族鍼術業千葉勝太郎外四百三名呈出
右ノ請願ハ點字ノ發明ハ盲人教育ノ發達ヲ促シ從テ點字書籍並雑誌等ノ發

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

行日ニ盛ナルモ未版權所有ノ制ナキハ甚遺憾ナルヲ以テ著者ノ責任ヲ明ニシ發行者ノ利益ヲ保護スル爲速ニ點字書版權所有ノ制ヲ設ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案
青森港修築ノ件

青森縣青森市大町公吏樋口喜輔外二十五名呈出

右ノ請願ハ青森港ハ本縣北端ノ要港ニシテ北日本ノ交通及經濟ヲ左右スヘキ關門ナルモ灣形大ニ失スル爲國庫ノ補助ヲ得テ之ヲ修築シタルモ其ノ規模狹小ニシテ完全ニ同港ヲ利用スルヲ得スノ如キハ北海道樺太及西比利亞等トノ通商並北邊警備上遺憾ナルヲ以テ同港ヲ第一種港ニ編入シ國費ヲ以テ完全ナル修築ヲ加ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案
御肖像掲載ノ印刷物取締ニ關スル件

山梨縣甲府市柳町鍼治業長田保春呈出

右ノ請願ハ御肖像ヲ新聞雜誌其ノ他ノ印刷物ニ奉掲スルハ不知不識ノ間ニ不敬ヲ犯スノ因トナルヲ以テ取締法ヲ制定シ之ヲ禁止スルカ或ハ附錄等ニ奉掲シテ永久保存ヲ爲シ得ルヤウセラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿
意見書案
右ノ請願ハ奈良縣吉野郡以南ノ地方ト和歌山縣東牟婁郡新宮町トハ古來物資ノ需給關係密接ナルニモ拘ラス敏速ナル通信機關ヲ闕クハ產業發展上遺憾ナルヲ以テ兩町間ニ在ル賀名生外二十郵便局ニ公衆電話事務ヲ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

三重縣桑名郡七取村ニ電話交換局設置ノ件
意見書案

三重縣桑名郡七取村商伊藤榮一外三十三名呈出

右ノ請願ハ三重縣桑名郡七取村ハ西濃地方ヨリ三重縣ニ通スル要地ニシテ近時戸口繁殖產業亦發展シ電話事務頻繁ナルニモ拘ラス未電話交換ノ設備ナキハ住民ノ遺憾トスル所ナルヲ以テ同村ニ電話交換局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案
森林鐵道解放ニ關スル件

青森縣東津輕郡油川町長西田林八郎外九名呈出
右ノ請願ハ青森縣青森市以北ノ東津輕郡各町村ハ豊富ナル利源ヲ包藏スルニ拘ラス產業ノ微微トシテ振ハサルハ交通不便ニ基因スルヲ以テ鐵道開通

迄ノ應急策トシテ農商務省所管森林鐵道ヲ一般公衆ニ開放セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

漁船擔保貸付ニ關スル件

靜岡縣磐田郡於保村平民農川島瀧藏外四名呈出

右ノ請願ハ日本勸業銀行法及農工銀行法ニハ水產業者ニ對スル金融ノ規定アルモ漁業者財產中主タル漁船ニ依リ何等金融ノ便ヲ圖ルニ由ナキハ甚遺憾ナルヲ以テ勸業、農工兩銀行法ニ漁船擔保ノ貸出ヲ認ムルノ條項ヲ加ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

滋賀縣伊香郡鹽津村ニ電信電話架設ノ件

滋賀縣伊香郡鹽津村長平塚享三外十二名呈出

右ノ請願ハ滋賀縣伊香郡鹽津村ハ北陸ニ通スル要路ニ當リ古來貨客ノ集散般賑ヲ極ムルモ電信電話ノ通信機關ナキヲ以テ產業ノ發展ヲ阻礙シ住民ノ不便不利甚シキヲ以テ速ニ同村ニ電信並電話ヲ架設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

涌別川治水ノ件

北海道紋別郡遠輕市街地平民農三澤恆助外七十二名呈出

右ノ請願ハ北海道紋別郡ヲ貫流スル涌別川ハ毎年洪水汎濫シテ沿岸地方ヲ浸シ被害名狀スヘカラサル爲流域住民ノ不安甚シク同地方ノ發達ヲ阻礙スルコト大ナルヲ以テ速ニ同川ニ對シ根本的治水工事ヲ施サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

麻鄉郵便局ニ集配事務並電話事務開始ノ件

山口縣熊毛郡麻鄉村長中村芳平呈出

右ノ請願ハ山口縣熊毛郡麻鄉村ハ戸口多ク近時世ノ進運ニ伴ヒ郵便事務益繁多ナルニ拘ハラス之ヲ管轄スル平生局ハ距離遠ク通信上敏活ヲ闕キ住民ノ不便一方ナラナルヲ以テ麻鄉郵便局ニ集配事務並電話事務ヲ開始セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

鎮南浦港修築ノ件

朝鮮平安南道鎮南浦商業會議所會頭川添種一郎外七十八名呈出

右ノ請願ハ鎮南浦港ハ朝鮮半島主要ノ港灣ニシテ日清戰役以來年ト共ニ發展シ貨物ノ集散頻繁ヲ極ムルニ拘ラス完全ナル築港ノ設備ナキヲ以テ出入船舶ノ不便ヲ感スルコト夥シキハ甚遺憾ナルニ依リ同港ヲ修築シテ其ノ港灣利用ヲ完カラシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇ス

ヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案 戸ヶ崎郵便局ニ電信並電話事務開始ノ件

埼玉縣北葛飾郡戸ヶ崎村長内田瀧次郎外四名呈出

右ノ請願ハ埼玉縣北葛飾郡戸ヶ崎、八木郷、潮止、彦成及早稻田ノ各村ハ

東京府ニ接續スルヲ以テ戸口日ニ増加シ交通亦頻繁ヲ極ムラニ拘ラス未

電信電話ノ架設ナキハ產業發展上甚遺憾ナルヲ以テ速ニ戸ヶ崎郵便局ニ電

信並電話事務取扱ヲ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ

採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案 岩内港修築ノ件

北海道岩内郡岩内町平民梅澤榮之助外九百七十二名呈出

右ノ請願ハ北海道岩内郡岩内港ハ同地方ニ於ケル豊富ナル海陸物産ノ集散

地ニシテ同道届指ノ港灣ナルカ故ニ其ノ修築ニ對シテハ多年種種ノ努力ヲ

重ヌルモ其ノ結果應急的施設ニ止マリ未完全ノ域ニ達セサルハ甚遺憾トス

ル所ナルヲ以テ國費ヲ以テ完全ナル修築工事ヲ施サレタントノ旨趣ニシテ

貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

枝幸漁港修築ノ件

北海道枝幸郡枝幸村公吏宮崎喜一郎外百六十三名呈出

右ノ請願ハ北海道枝幸郡枝幸港ノ沖合ハ本郡有數ノ大漁場ナルモ沖合漁業ニ使用スル發動機船ノ安全ナル碇繫港ナキハ同地方ニ於ケル漁業ヲ發展セシムル所以ニ非サルヲ以テ工事容易ナル枝幸港ヲ漁港トシテ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

滋賀縣甲賀郡大野村長政次郎呈出

右ノ請願ハ滋賀縣甲賀郡大野村ハ東海道ノ要路ニ位シ產業大ニ發達シ交通頻繁ニシテ郵便物複雜ナルニ拘ハラス之カ集配ハ水口郵便局ノ管轄區域ニ

屬シ住民ノ不便甚シキヲ以テ大野郵便局ニ集配事務取扱ヲ開始セラレタシ

トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案 廣島縣山縣郡上殿村ニ郵便局設置ノ件

右ノ請願ハ廣島縣山縣郡上殿村ニ郵便局設置ノ件

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案 廣島縣山縣郡上殿村長今田知博呈出

右ノ請願ハ廣島縣山縣郡上殿村ハ鄰接セル殿賀、筒賀及戸河内ノ各村ノ一部ト自ラ山間三區域ヲ作シ戸口多ク產業發達シ郵便事務夥多ナルニ拘ハラス之ヲ管轄スル戸河内郵便局ノ集配區域ハ非常ニ廣汎ニ過キ通信上敏活ヲ闕クハ住民ノ甚不便トスル所ナルヲ以テ上殿村ニ郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院

法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

奥尻島漁港修築ノ件

北海道奥尻郡奥尻村平民公更新納晴秋外七十名呈出

右ノ請願ハ北海道奥尻郡奥尻島附近ハ魚族豊富ニシテ古來著名ノ漁場ナリ

シモ近時魚族ノ棲息ハ漸次沖合トナリ爲ニ帆船、發動機漁船ニ依ル遠洋漁

業ヲ計畫セムトスルモ安全ナル碇泊港ナキハ斯業ヲ發達セシムル所以ニ非

ラナルヲ以テ同島釣懸村ニ漁港ヲ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ

願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊

及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

業ヲ計畫セムトスルモ安全ナル碇泊港ナキハ斯業ヲ發達セシムル所以ニ非

ラナルヲ以テ同島釣懸村ニ漁港ヲ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ

願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊

及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

業ヲ計畫セムトスルモ安全ナル碇泊港ナキハ斯業ヲ發達セシムル所以ニ非

ラナルヲ以テ同島釣懸村ニ漁港ヲ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ

願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊

及送付候也

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

所得稅調查期間ニ關スル件
意見書案

秋田縣雄勝郡湯澤町農小川長右衛門外四名呈出

右ノ請願ハ所得稅調查委員會ノ期限ハ八月三十一日ト決定セラレタルモ輓近

稅務署ハ事務頓ニ激増シタルニ依リ七月末日迄ニ申告書全部ヲ同委員會ニ

整理提案スルコト困難ニシテ從テ調査モ精密ヲ期シ難キノ憾アルヲ以テ同

期限ヲ九月三十日ト改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ

採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

北長野外二郵便局ニ電信竝電話事務開始ノ件

三重縣安濃郡北長野村長古川義三外二名呈出

右ノ請願ハ三重縣安濃郡長野、高宮及片田ノ三村ハ交通ノ要衝ニ當リ產業

ノ發達著シキニ拘ラス電信電話事務ノ取扱局ヲ距ルコト遠ク通信ノ敏活ヲ

闕クハ往民ノ不便トスル所ナルヲ以テ長野、高宮及片田ノ三郵便局ニ電信

竝電話事務取扱ヲ開始セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ

採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

北長野外二郵便局ニ電信竝電話事務開始ノ件

意見書案

大連市山縣通平民貿易業三島清一外三十三名呈出

右ノ請願ハ大連取引所ハ大正十年金建取引ニ改正以來同取引所ノ發達ヲ阻

礙シ延テ南滿洲鐵道沿線ニ在ル各取引所モ之カ爲大ナル打擊ヲ受ケ遂ニ北

滿洲地方ノ貨物ハ大連ニ南下セヌ浦鹽ニ東送セラルルニ至ルノミナラス支那商人ノ困憊甚シク爲ニ日支ノ親善ニ影響スルノ憾アルヲ以テ特產物ニ付

再銀建取引ノ途ヲ開カレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇ス
ヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

意見書案

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

江差招魂社修繕ノ件

北海道檜山郡江差町平民商村田勘次郎外十三名呈出

右ノ請願ハ明治戊辰己巳ノ戰役ニ國事ニ殉シタル志士九十二名ヲ祀レル北海道檜山郡江差招魂社及同志士ノ墳墓ヲ風雪ノ爲空シク朽廢ニ歸セシムルハ國民奉公ノ精神ヲ鼓吹スル所以ニ非サルヲ以テ國費ヲ以テ速ニ之ヲ修繕セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

新宮川改修ノ件

奈良縣吉野郡十津川村士族農上谷長丸外五十六名呈出

右ノ請願ハ新宮川ハ奈良縣ノ南部ヨリ發シ和歌山縣ニ入り熊野灘ニ注ク大河ナルヲ以テ沿道幾萬ノ住民ハ豊富ナル物資ノ唯一ノ交通路トシテ之レヲ利用スト雖屢洪水氾濫ヲ來シ土地ノ改良並産業ノ發展ヲ阻礙セラルハ甚遺憾ナルカ故ニ速ニ國費ヲ以テ治水工事ヲ施行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

右ノ請願ハ德島縣美馬郡穴吹村ハ縣道ニ沿ヒ交通頗頻繁ニシテ各種ノ産業大ニ發達セルモ電話ノ設備ヲ闕キ村民ノ蒙ル不利益尠カラナルヲ以テ穴吹郵便局ニ電話事務取扱ヲ開始セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

上太田郵便局ニ電信並電話事務開始ノ件

和歌山縣東牟婁郡上太田村公吏後半治外二十九名呈出

右ノ請願ハ和歌山縣東牟婁郡上太田村ハ地域廣ク產業ノ發達見ルヘキモノアルニ拘ハラス未電信並電話ノ設備ナク通信上敏活ヲ闕クハ甚遺憾トスル所ナルヲ以テ上太田郵便局ニ電信並電話事務取扱ヲ開始セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

軍人恩給法中改正ノ件

三重縣安濃郡藤水村士族河邊與三郎外八十名呈出(十二通)

佐賀縣小城郡小城町陸軍歩兵少佐岡孫六外二千五百二十名呈出(七十
八通)

山形縣東田川郡藤島村平民久松宗次郎外八十八名呈出

右ノ請願ハ大戰後諸物價暴騰ノ爲軍人恩給享受者ハ逐日窮境ニ陥リ就中廢兵及遺族ノ困難ハ殊ニ甚シ斯クテハ軍事思想ノ消長ニ關スルコト甚大ナル

ヲ以テ大正九年軍人恩給法ニ改正ヲ加ヘラレタルモ其ノ額尙現今ノ經濟状態ニ適應セサルモノアルヲ以テ同法ヲ根本的ニ改正シテ相當ノ増額ヲ圖ラ

レタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

軍人恩給法中改正ノ件

東京市芝區二本榎本町平民商榎本喜作外二十四名呈出(十二通)

右ノ請願ハ軍人恩給法數次ノ改正ハ受恩給者ヲシテ幾分増額ノ恩典ニ浴セシメラレタルモ此改正ハ一時經濟上ノ變遷ニ依ル應急策ニシテ根本的ノモノニ非ラス從テ軍人ノ各階級ヲ通シ生活難ニ陥レルモノ尠カラス殊ニ増加恩給ト退職又ハ免除恩給ヲ併給セラルモノノ遺族扶助料ハ文官ハ併給總額ノ三分ノ一ナルニモ拘ハラス武官ニ在リテハ退職又ハ免除恩給ノミノ三分ノ一ニ止リ公平ヲ失スル嫌アルヲ以テ速ニ同法ヲ改正シ國家ニ功勞アル者ノ生活ヲ安固ナラシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

北海道廣尾郡茂寄村平民商林寅太郎外六百八十一名呈出

ムルハ本邦屈指ノ大漁場タル日高十勝兩國沖合ノ漁業ヲ發展セシムルノミニラス陸上ノ富源ヲ開發セシムル所以ニシテ工事亦容易ナルヲ以テ速ニ之

ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

幼稚園令制定ノ件

山梨縣甲府市櫻町私立進徳幼稚園主進藤つる呈出

栃木縣宇都宮市本郷町宇都宮幼稚園長上野松次郎呈出

右ノ請願ハ幼兒教育機關トシテ各地ニ幼稚園ノ設備アルモ其ノ發達ハ他ノ教育諸機關ニ比シ遲滯タルノ狀態ナルハ甚遺憾トスル所ナルヲ以テ幼稚園令ヲ制定シテ其ノ普及改善ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

義務教育費國庫負擔金増額ノ件

茨城縣北相馬郡取手町長根本守外二十三名呈出

右ノ請願ハ市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル國庫ノ負擔金ハ僅少ニシテ物價暴騰ノ今日市町村ハ財力涸渢シ教育費支出ノ爲ニ他ニ何等ノ施設ヲモ爲シ得ルサルノ狀況ナルヲ以テ同法ヲ改正シテ其ノ支出額ヲ相當増額セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

瀧ノ上ルベシベ間鐵道敷設ノ件

北海道紋別郡瀧上村平民農岡本政道外百八十四名呈出

ヘシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ
議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

右ノ請願ハ北海道紋別郡瀧ノ上原野ヲ經テ「ルベシベ」ニ
至ル鐵道ハ沿線地方ニ於ケル豊富ナル林產、農產ノ利源ヲ開發スルノミナ
ラス同道拓殖上竝交通上重要ナルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシ
トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院
法第六十五條ニ依リ別冊送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

帶廣苦小牧間鐵道敷設ノ件

北海道河西郡帶廣町商高倉安次郎外千七百六十四名呈出

右ノ請願ハ北海道十勝、日高兩國ハ氣候溫暖ニシテ積雪少ク海陸ノ產物豐
饒ナルニモ拘ラス產業開發ノ曙光ヲ見サルハ交通機關ノ備ラサルニ因ルヲ
以テ釧路線帶廣驛ヨリ廣尾、浦河、鵡川ヲ經テ室蘭線苦小牧驛ニ達スル鐵
道ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノ
ト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

札幌琴似間ニ停車場設置ノ件

北海道札幌區北四條平民農松尾留太郎外十名呈出

右ノ請願ハ函館本線札幌驛ハ札幌區ノ東北端ニ偏倚シ漸次發展ノ機運ニ向
ヘル西部ノ住民ハ交通上却テ不便ヲ蒙ルコト甚シキニ依リ札幌、琴似兩驛
間ニ停車場ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇ス
ヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

厚岸區裁判所復設ノ件

北海道厚岸郡厚岸町會社員龍岡信熊外二百三十六名呈出

右ノ請願ハ北海道厚岸郡厚岸町ハ海陸貨物集散ノ要衝ナルヲ以テ戸口多ク
産業亦發達シ隨テ裁判事件夥多ナルニ拘ハラス厚岸區裁判所廢廳以來釧路
區裁判所ノ管轄ニ屬シタルハ住民ノ甚不便トスル所ナルニ依リ厚岸區裁判
所ヲ復設セラレタク今尙現在セル舊廳舍ノ修繕費ノ幾部ハ町民ヨリ寄附ス

豊松平川兩郵便局間ニ電話架設ノ件
意見書案

廣島縣神石郡新坂村農岡和藤二外二十九名呈出

右ノ請願ハ廣島縣神石郡ト岡山縣川上郡トハ相隣接シテ密接ノ關係ヲ有スルニ拘ハラス相互間ノ通信ハ専ラ遲延タル郵便ニ依ルノ外ナキハ產業發展上甚遺憾ナルヲ以テ若松、平川兩郵便局間ニ電話線ヲ架設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

新舊文官ノ恩給並遺族扶助料不權衡更正ニ關スル件

福岡縣福岡市荒戸町士族無職業岡田三吾外六十七名呈出

右ノ請願ハ明治四十三年四月官吏增俸以前ニ退職シタル文官及死亡シタル文官ノ遺族等ハ増俸ノ恩惠ニ均霑スルヲ得シテ其ノ恩給及扶助料ハ薄給

時代ノ俸給ニ基クカ故ニ其ノ額少ク新舊文官恩給ノ不權衡甚シ既ニ軍人ニ對シテハ新舊恩給等差撤廢ノ例モアレハ新舊文官ノ恩給及扶助料ニ對シテモ其ノ不權衡ヲ更正シ大正八年四月一日ニ遡リ之ヲ給與セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

鹿兒島縣揖宿郡指宿村長鎌田正矩外五名呈出

右ノ請願ハ鹿兒島市ヨリ同縣下揖宿及枕崎ヲ經テ加世田ニ至ル鐵道ハ沿線地方ニ於ケル豊富ナル海陸ノ資源ヲ開發スルノミナラス薩摩半島ノ交渉ヲ完カラシムルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ

別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

意見書案

領石郵便局ニ電信事務開始ノ件

高知縣長岡郡久禮田村長山崎知心外四名呈出

右ノ請願ハ高知縣長岡郡久禮田村ハ其ノ位置國道ニ沿ヒ近時製紙其ノ他ノ產業盛ニシテ貨物ノ集散激甚ナルニ從ヒ通信上敏活ヲ要スルニ拘ハラス村内ノ領石郵便局ハ電信事務ヲ取扱ハサル爲人民ノ不便甚シキニ依リ同局ニ電信事務ヲ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣子爵高橋是清殿

○議長(公爵德川家達君) 和田彦次郎君ハ…

○和田彦次郎君 此中ニ於キマシテ第百二十ノ請願、是ハドウカ特ニ採決ノ場合ニ、之ダケラ別ニ採決ナサルコトヲ希望イタシマス
〔贊成ト呼フ者アリ〕

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認ヌマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程ノ第百二十ノ請願ニ付テハ質疑ノ通告ガゴザイマスカラ、先づ以テ日程第四十三ヨリ第百十九マデ、日程第百二十一ヨリ第百三十八マデノ請願ヲ一括シテ問題ト致シマセウ、是等ノ請願ハ請願委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認ヌマス
○男爵毛利五郎君 私ハ此大連取引所ニ關スル件ニ付キマシテ政府ノ御所見

ヲ伺ヒタイ、是ハ此ノ金建銀建ノ問題ハ、私ハ隨分長ク研究シテ居リマスガ、

マダ自分ガドチラガ宜イト云フコトハ考ガ付キマセヌ、但シ此請願ヲ讀ミマ

スルト云フト、僅カ一年足ラズ政府ガ金建ヲ施行シテ居ラレルノヲ、若シ之

ヲ茲デ採用スレバ政府ハ此銀建ヲ採ラレルノデアリマスカ、外ト違ヒマシテ

外國ニ於テ、僅カニ一年ノ間ニ金建ハ惡イカラ直グ銀建ニ變ヘルト云フコト

ハ、如何ニモ政府ノ威信ニ關係スルヤウニ想ヒマス、金建銀建ノドチラガ宜

イカト云フコトハ、私ハマダ言明スル譯ニ參リマセヌケレドモ、政府ハ如何

ニ御考ヘニナリマスカト云フコトヲ、チヨット伺ヒタイノデアリマス

〔政府委員公爵山縣伊三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(公爵山縣伊三郎君) 御答イタシマス、政府ノ意見トシテハ、ヨ

シ此請願ガ採擇ニ決シマシテモ、大連取引建直ニ關スル現在ノ制度ハ變更イ

タシマセヌ、之ヲ變更スルノ理由モナシ又必要モ今日ハ認メナイノデアリマ

ス、御承知ノ通リ此建直問題ハ、大正二年設置當時ニ於テ金建ニ決ッタノデア

リマス、ソレガ事情ニ依テ是マデ延ビ延ビニナッテ居ツタノガ、昨年十月十五

日ヨリ之ヲ實行イタシタノデアリマス、爾來頗ル順調ニ是ガ參ッテ居ルノデ

アツテ、今日ハ取引高モ從來ノモノニ比スルト餘程多クナッテ居ル位デアリマ

スル、然ニ一部ノ者ハ之ニ反抗シテ種々ナル手段ヲ執リ、大ニ運動ヲシテ居

ルノデアリマスル、併シ是ハ何ヨリ實際ニ旨ク行ツテ居ルノガ證據デアリマシ

テ、決シテ彼等ガ言フガ如キ有様デハナインデゴザイマス、ソレカラ世間ニ

唯誤解ガアリハシナイカト思フノハ、全ク政府ハ金ヲ使フコトヲ、金貨ヲ使

フコトヲ……金貨デハアリマセヌ、銀貨ヲ使用スルコトヲ禁ジタガ如クニ考

ヘテ居ル者ガアル、所ガソレハサウ云フ譯デハナインデアリマス、御承知ノ

通り取引所デ唯取引ノ決済ヲ金デスルト云フダケノコトデアツテ、銀ヲ金ニシ

タト云フマデノコトデアリマス、而シテ此正金銀行ヨリ是マデ發行シテ居ル

所ノ圓銀券ハ、之ヲ證票ト稱ヘマスルガ、此證票ハ大正六年十一月、勅令改

正ニ依テ既ニ強制通用力ヲ失ッテ居ルノデアリマス、ソレハ是マデノ習慣デ告

示ヲ以テ繫イデ今日來タノデアリマスガ、告示ヲ以テ之ヲ廢シタ以上ハ、今

日ハ全ク效力ナキモノデアツテ、法貨デハナインデアリマス、ソレヲ今更金ト

銀ニシテ兩建ニシテ之ヲヤッテ行クト云フコトハ、到底出來得ナイコトニナ

ツテ居ル、斯様ナ次第デアリマスカラ、政府ニ於テハ今日之ヲ變更スル意思ハ

毫モアリマセヌデゴザイマス、尙ホ御不審ノ點ガアレバ其點ニ付テ又御答ヲ

○男爵毛利五郎君 此際私ハ意見ヲ申シテ宜シウゴザイマスカ、此事ニ付致シマス

○議長(公爵德川家達君) 意見ヲ御述べニナリタイ……

○男爵毛利五郎君 此所デ簡単ニ……

○議長(公爵德川家達君) 他ニ質疑ノ通告ガゴザイマスカラ、ソレガ終リマシテカラ願ヒタイモノデゴザイマス、武井男爵

○男爵武井守正君 私モ質問ガシタイノデゴザイマスガ唯今長官カラノ御説明ニ依リマシテ了解イタシマシタ、通告ヲ取消シマス

○議長(公爵德川家達君) 板倉子爵ハ質疑デゴザイマスカ

○子爵板倉勝憲君 ハイ

○議長(公爵德川家達君) 此際願ヒタイモノデゴザイマス

○子爵板倉勝憲君 此席デ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○子爵板倉勝憲君 唯今此請願ニ付テ關東長官ノ御話ガゴザイマシタ、私ガ

第一ニ伺ヒタイノハ此金建ノ問題ニ付テ、非常ニ圓滑ニ行ハレテ、何等差支

ナイト云フコトガ第一、第二ハ向フデハ圓銀デハ行ハレス、金デアル、圓銀

デハ實際行ハレスト云フ御話デゴザイマスガ、第一ニ私ガ伺ヒタイノハ、圓

滑ニ行ハレテ居ツテ、何カ爲ニスル者ダケガ之ヲ運動スルト云フ御説明デゴザ

木、其他重要物産株式會社、其以上二三十ノ會社デゴザイマスガ、大連ト云

フ所ハサウ大キナ所デハゴザイマセヌガ、殆ド大連ノ大ナル商店ノ支店長ナ

リ何ナリガ、名ヲ列シテ今日迄金建ニ反對シテ、銀建ニセヨト云フ請願ヲ出

シテ居ルト云フコトハ、圓滑ニ行ハレテ居ルト云フ御説明トハ違フダラウト

思フ、又單ニ一部ノ者ダケガ之ニ反對ノ聲ヲ舉ゲテ居ルト云フ御説明トモ矛

盾シテ居ルヤウニモ考ヘルノデゴザイマス、是ガ日本全國ト云フコトデゴザ

イマスレバ、唯三井、三菱、鈴木ト云フヤウナモノガ、十會社ヤ十五會社反

對シマシテモ、一部ノ者ト云フコトガ出來マセウガ、大連ニ於テハ是等ハ最

モ重要ナル最モ大キイ會社ダラウト思フ、之ヲ單ニ一部ノ爲ニスルモノト云

フ風ニ言ハルルノハ、如何ナ次第デゴザイマセウカ、又ソレガ銀券ガ發行サ

レテ圓銀ト云フモノハ今日殆ド通貨デモ何デモナイモノデアル、然ニ其圓銀ニ依テ銀建ニスルト云フコトハ、不可能デアルト云フヤウナ御説明ガゴザイマスルガ、此點ニ付テモ此大連ノ商人ガ半年前、十箇月以前ニハ其圓銀ノ銀建ヲヤツテ居ッタ、又今日デモ銀建ハ出來マセヌケレドモ、ドウカ銀券ヲ澤山發行シテ下サイト請願シテ居ル、銀建ニ依テ立派ニ決済ガ出來ルカラ、銀建ヲドウカ御許シヲ願ヒタイト斯ウ云ツテ居ルノデアリマスガ、是ガ政治上ノ問題トカ何トカ云フモノデナクシテ、商人ガ自分デ十箇月以前マデハソレヲヤツテ居ッテ、サウシテ現在ニ於テ之ヲ十箇月以前ノヤウニシテ下サイト云フコトハ、關東廳長官ノ御説明ノヤウニ出來ナイト云フコトデハナカラウカト思フノデゴザイマス、先ヅ此二點ダケ最初ニ質問致シタイト思ヒマス

〔政府委員公爵山縣伊三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(公爵山縣伊三郎君) 御答イタシマス、私ガ圓滑ニ行ハレテ居ルト云フノハ、即チ取引所ノ今日ノ取引ノ有様デアリマスルガ、唯今御説ニ依ルト三井其他ノ者ガ取引ヲシテ居マスト云フコトデアリマスルガ、是等ノ者ハ皆實際ハ取引シテ居ルノデ、獨リ鈴木ノ支店ガ取引ヲシテ居リマセヌデス、是ハ自分が取引ハシナクテモ他ノ取引人ニ賴ンデ取引ヲシテ居ル、其他營口ニ於テモ悉ク皆ヤツテ居ルノデアリマス、ソレデ私ガ圓滑ニ取引ハ行ハレテ居ルトスウ言フタ譯デアリマス、是ハ反對ト仰シャイマスガ、是等ノ者ハ自分ガ一文デモ多クノ利益ヲ得レバ、其方ノ利益ニ向テ行ク皆人達デアリマスカラ、多少ノ不平ハアルカモ分リマセヌ、アルカモ分リマセヌガ、此アルト云フモノハ誠ニ僅カナモノデアッテ、全般ノ取引人ハ非常ニ喜ンデ居ル、ソレカ直取引ヲシテ居ルノデアリマス、ソレハ是マデハ御承知デモアリマセウガ、銀ノ爲ニ神戸ナラ神戸カラ直チニ注文スルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレハ支那ノ銀ガ始終變^ツテ行クモノデアリマスカラ、ソレデドウシテモ取引ガ自由ニ出來ナカッタ、ソレガ今日ハ自由ニ出來テ居ルノデアリマス、又支那人ニ於テモ取引ヲシナイト云フコトヲ此反對者ハ言ウテ居リマスケレドモガ、皆取引ヲシテ居ル、是マデ一時取引ヲセナカッタ者ヲ、反對者ハドウシテモ之ヲ中止サセルト云フノデ營口ニソレヲ移シタノデ、ソレガ三十八名バカリアリマス、此人間等モ皆今日ハ大連ヘ歸^ツテ商賣ヲシテ居ルノデアリマスカラシテ、唯聲ヲ大キクシテ反對スルノミデアッテ、實際ノコトハ洵ニ旨ク行^ツテ居

ルンデアリマス、ソコデ此取引高モ從來ヤツテ來タモノヨリモ今日ハ多クナッテ居ル、ソレヲ殊更ニ之ヲ始終少ナイ少ナイト云フノハ私共ニハ解ラナイ、マスルガ、是ハ何カ私ハ爲ニスル所デアルデアラウトスウ考ヘテ居建ヲヤツテ居ッタ、是ハ考ヘテ居ルノデアリマス、若シ是ガドウシテモ旨ク行カズニ、今日モマダ取引ヲセヌト云フコトニナレバ、私ガドウシテアノ職ニ居ラレマセウ、是ハ私ハ屹度責ヲ引イテ今日ハソコニ職ヲ奉ゼヌコトニナツテ居ルデアラウ、ソレガ旨ク行^ツテ非常ニ私ハ喜ビ、亦政府ニ於テモ近來旨ク行^ツテ居ルノヲ非常ニ喜ンデ居ラレル、サウ云フヤウナ次第デアリマスカラ、ドウゾ御安心アッテ……御安心ニナルヤウニ願マス○議長(公爵德川家達君) 最早十一時五十分ニ相成リマシテゴザイマスカラ、陪審法案モゴザイマスガ、逆モ議了ハシマセヌカラ、本院規則第五十八條ニ依リマシテ延會ヲ宣告致シマス

○議長(公爵德川家達君) 只今内閣總理大臣ヨリ通牒ヲ受領致シマシタカラ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

大正十一年三月二十五日

貴族院議長公爵德川家達殿

内閣總理大臣 子爵高橋是清

通牒

本月二十六日貴族院ニ於テ帝國議會閉會式執行被仰出候

○議長(公爵德川家達君) 是ニテ散會致シマス

〔拍手起ル〕

午後十一時五十一分散會

大正十一年三月二十五日